ながくて幸せ実感調査隊メンバー

ながくて幸せ実感アンケート報告書

～みんなでつくろう　幸せのモノサシ～

平成26年12月

長久手市

ごあいさつ

日頃から、市政の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

長久手市では現在、「幸福度の高いまち＝日本一の福祉のまち」の実現に向けて、「つながり」「あんしん」「みどり」の３つのフラッグを基本理念に、様々なプロジェクトに取組んでいます。その中の「つながり」に関するプロジェクトの一つが、「ながくて幸せのモノサシづくり」です。

これまでの右肩上がりの時代では、ＧＮＰやＧＤＰなど経済成長を示す指標や、満足度、重要度のように行政ニーズを推し量る指標など、発展やサービスの拡充を尺度としていました。ところが、誰も経験したことのない人口減少社会を迎え、今までの価値観だけでは判断することができない新たな時代が到来しました。「人々は発展するために生まれてきたのではなく、幸せになるためにこの地球にやってきたのです。」という南米ウルグアイ大統領の有名なスピーチにあるように、これからの時代には、「幸せ」という大きな概念や価値観に立って物事を考え、そのための尺度が必要なのではないかと考えました。

その新しい尺度の設定に向けた取組が「ながくて幸せのモノサシづくり」です。このモノサシは、従来の指標や統計データの背景に隠れていた市民の生活実感や地域の状態を把握し、地域や暮らしの中にある本当の課題を見つけ、みんなで解決策を考えて行動していくことを目指すために必要な道具と考えています。

ながくて幸せ実感アンケートは、ながくて幸せのモノサシづくりを進めるにあたり、「今の長久手の幸せを測る」をテーマに、市民の皆様の暮らしの状況や地域の状態などを確認することを目的として実施しました。この取組では、有志の市民と若手の市職員による「ながくて幸せ実感調査隊」を結成し、地域生活指標開発の専門家である関西大学の草郷孝好教授の力をお借りして、市民と市職員が主体となり、調査票の作成から調査結果の分析まで一緒になって取組みました。私が拝見したワークショップでは、市民と市職員が同じ立場で互いの意見に耳を傾け、活発な議論を交わし、急がず、柔軟に、丁寧に結論を導き出す姿がありました。その姿はまさに、「長久手方式」の新しいまちづくりの第一歩であると、思わず笑みがこぼれました。この場を借りて、市民メンバーの皆様に厚くお礼を申し上げます。

「ながくて幸せのモノサシづくり」は、これからも市民と一緒になって取組んでいきますが、まずは、ぜひこのアンケート結果を積極的に活用してください。この中には、きっと何かのヒントがあるはずです。皆様に多くの発見をもたらし、議論し、新たな取組を考えるきっかけになればと切に願います。

平成２６年１１月　長久手市長　吉田一平

ながくて幸せ実感調査隊の取組を終えて

「未来に向けた新しいまちづくりとは、何から始めればよいのか。」このテーマに向かって、長久手市では市民と行政、議会の関係を変えていく新たな取組がなされました。市民は何でも役所頼みではなく、自分たちにできることは自分たちで実行していくという地道な活動を始めました。議会は、市民の声を直接聞く機会として議会報告会を設けました。また、行政は、市政まなび舎の開催、まちづくりに関する講演会の企画、職員と市民とが意見交換する数々のワークショップの開催など、積極的な情報公開、市民が学ぶ機会の提供、市民の声を聞く姿勢を鮮明に打ち出しました。

このような、市民と行政による新しいまちづくりのための取組の中で、特徴的であったのが、「市民目線で幸せを測る長久手独自のモノサシづくり」を目指した「ながくて幸せ実感調査隊」でした。それは、今の長久手の幸せを測ることを目的として、「ながくて幸せ実感アンケート」を実施することを当面の目標とする、市民と若手職員、事務局、専門家（行政コンサルタント）、学識経験者（草郷先生）から成るメンバーの集まりでした。

この取組では、平成２５年１０月から平成２６年８月までの１０か月に渡り、延べ１０回のミーティングを重ね、市民と職員が中心となってのアンケート票づくりとその結果をまとめたことの意義はありましたが、それ以上に「新しいまちづくりのために、もっと『大切なこと』を準備してきた！」ということに気づきました。従来こうした取組では、事務局や専門家、学識経験者が中心になるのですが、事務局はあえて細かな段取りを示さず、当初から市民と職員が議論し、アンケートの内容からアンケートの分析結果のまとめまで、いつも同じ目線で話し合って来ました。アドバイザーである草郷先生の人柄に魅せられ、お互いをニックネームで呼び合い、参加した市民メンバーと若い職員が緊張しないように、自由でリラックスした雰囲気の中で、いつも活発な話ができました。それは、同じテーマに向かい、組織や立場を超えて、市民と「胸襟を開いて」話し合うことの大切さを知る機会となりました。また、市民と行政が知恵を出し合うための場づくりであり、市民と行政がまちづくりのためのパートナーとして、信頼関係を築いていくための一つの試みであったのではないかと思います。

今後は、私たち市民が当事者感覚を持って、地域でどのように主体性を発揮した活動ができるかが問われており、さらに、従来の関係性を変えていく試みが求められているということでもあると思います。

ながくて幸せ実感調査隊一同

目　　次

序章　調査の概要 1
（１）調査の目的 1
（２）ながくて幸せ実感調査隊ミーティング開催経過 1
（３）活動の特徴 2
（４）調査対象及び調査方法 2
（５）調査票の回収状況 2
（６）グラフの見方等 3
（７）本文のコメントについて 3
（８）問３（P.24）及び 問８～問 16（P.44～97）の評点の算出方法 3

第１章　回答者の属性 4
（１）性別（問 19（1)） 4
（２）年齢（問 19（2)） 4
（３）職業（問 19（3)） 5
（４）年収（問 19（4)） 6
（５）通勤先・通学先（問 19（5)） 7
（６）住まい（問 19（6)） 8
（７）配偶者の有無（問 19（7)） 8
（８）家族形態（問 19（8)） 9
（９）同居の家族（問 19（9)） 10
(10) 小学校区（問 19（10)） 11
(11) 居住歴（問 19（11)） 11

第２章　幸せ感について 12
（１）幸せ感の点数とその点数を選んだ理由（問１） 12
（２）大事だと思う分野（問２） 22
（３）生活の満足度（問３） 24

第３章　住み心地について 28
（１）住みよいまちだと思うか（問４） 28
（２）愛着を感じているか（問５） 31
（３）今後も住み続けたいか（問６） 33
（４）魅力的な点・魅力的でない点（問７） 36

第４章　暮らしやお住まいの地域(生活実感）について 44
４－１　健康について 45
（１）健康的な暮らし（問８（1)） 48
（２）居住地域の運動環境（問８（2)） 48
（３）健康的な食生活（問８（3)） 49
（４）精神的安らぎ（問８（4)） 49
（５）心豊かな生活（問８（5)） 50
（６）病院等の充実度（問８（6)） 50
４－２　子育て・教育について 51
（１）出産・育児（問９（1)） 54
（２）地域における子どもの成長（問９（2)） 54
（３）地域における子育て環境（問９（3)） 55
（４）子育て・教育に関する相談（問９（4)） 55
（５）家庭内における子どもとのコミュニケーション（問９（5）-1） 56
（６）地域における子どもとのコミュニケーション（問９（5）-2） 56

４－３　自然やごみなどの環境について 57
（１）豊かな自然環境（問 10（1）） 60
（２）公園や遊び場（問 10（2）） 60
（３）まち並み（景観・風景）（問 10（3）） 61
（４）ごみの分別（問 10（4）） 61
（５）環境に配慮した生活（問 10（5）） 62
４－４　人や地域のつながりについて 63
（１）地域を盛り上げていく活動や行事への参加－１（問 11（1）-1） 66
（２）地域を盛り上げていく活動や行事への参加－２（問 11（1）-2） 66
（３）あいさつや近所づきあい―１（問 11（2）-1） 67
（４）あいさつや近所づきあい―２（問 11（2）-2） 67
（５）あいさつや近所づきあい―３（問 11（2）-3） 67
（６）自宅以外の居場所（問 11（3）） 68
（７）「たつせ」があるか（問 11（4）） 68
（８）困ったときに頼りになる相談相手―１（問 11（5）-1） 69
（９）困ったときに頼りになる相談相手―２（問 11（5）-2） 69
（10）困ったときに頼りになる相談相手―３（問 11（5）-3） 69
（11）国籍・文化の異なる人にとっての住みやすさ（問 11（6）） 70
４－５　防災・防犯について 71
（１）災害に備えた話し合いや防災訓練への参加（問 12（1）） 74
（２）家庭内での災害に対する自主的備え（問 12（2）） 74
（３）災害時における避難場所、避難方法の周知（問 12（3）） 75
（４）地域における治安（問 12（4）） 75
（５）地域における安全安心の取り組み（問 12（5）） 76
４－６　福祉について 77
（１）地域の助け合い（問 13（1）） 80
（２）市・事業者による福祉サービスの周知（問 13（2）） 80
（３）高齢者や障がい者を手助けできるか（問 13（3）） 81
（４）自分または家族の介護についての不安（問 13（4）） 81
（５）地域が高齢者・障がい者にとって暮らしやすいか－１（問 13（5）-1） ... 82
（６）地域が高齢者・障がい者にとって暮らしやすいか－２（問 13（5）-2） ... 82
４－７　文化・生涯学習について 83
（１）伝統・文化への関心（問 14（1）） 85
（２）芸術文化に接する機会（問 14（2）） 85
（３）知識・能力を伸ばす機会（問 14（3）） 86
（４）地域における自慢すべき「宝」の有無（問 14（4）） 86
４－８　生活インフラについて 89
（１）買い物、通院の便（問 15（1）） 92
（２）出かける際の移動の便（問 15（2）） 92
（３）出かける際の移動の安全（問 15（3）） 93
（４）就業環境（問 15（4）） 93
（５）インターネットや電子メールの利用（問 15（5）） 94
４－９　まちづくりにおける地域の役割について 95
（１）地域における社会貢献の意思（問 16） 97
（２）課題解決におけるコミュニティの重要性（問 17） 97
（３）地域コミュニティへの参加の意思（問 18） 98

第５章　総括 101
（１）今後に向けて 101
（２）総括（ながくて幸せのモノサシづくりアドバイザー） 102

資料編

１．ながくて幸せ実感調査隊の活動の歩み 108
２．評点算出結果一覧表（年齢別、小学校区別） 190
３．担当職員による深読み分析 200
４．アドバイザーによる一考察 208
５．ながくて幸せ実感アンケート調査票 235

序章　調査の概要

（1）調査の目的

本市では、「つながり」、「あんしん」、「みどり」を基本的なキーワードに、市民と行政がともに課題を見つけ、考え、解決していくために様々な取組を積み重ねていくことができるまち、「一人ひとりの幸福度の高いまち＝日本一の福祉のまち」を目指して、だれもが地域で役割や居場所を持ち、互いに助け合うことができ、生きがいを持って充実した日々を過ごすことができるまちづくりを小学校区単位で推進するなど、新たなまちのかたちづくりに向けて様々な取組を開始しました。

そして、こうした地域自治の構築に向けた仕組みづくりの一環として、①まちづくりは目指す方向に向かって上手く進んでいるのか、②市民生活や地域社会の状況を把握できているのかについて、市民とともに確認していく「尺度＝道具」としてのモノサシが必要ではないかと考え、市民目線による「ながくて幸せのモノサシづくり」に取り組むことになりました。

そこで、本調査では、「ながくて幸せのモノサシづくり」を進めるにあたって、その基礎的な知見を得るために、まずは市民の皆様の日常生活や地域生活の実感をお聞きする「ながくて幸せ実感アンケート」の実施を通じて、長久手の姿や市民の皆様の暮らしの状況等を確認することを目的として実施しました。

調査の実施にあたっては、有志の市民と市職員による「ながくて幸せ実感調査隊」（以下「調査隊」という。）を結成し、『今の「ながくての幸せ」を測ってみよう！』をキャッチフレーズに、計10回のミーティングの開催を通じて、「幸せ」に欠かせないことや大切なこと、確認すべきことについて、何度も議論を重ねてアンケート調査票を作成しました。また、調査結果の分析においても、ワークショップの開催を通じて調査隊のメンバー参加型で進めました。

（2）ながくて幸せ実感調査隊ミーティング開催経過

回	日時	検討テーマ
第１回	平成２５年 １０月２８日（月）	「将来の望ましい長久手の姿を考えよう！」
（市民まつり）	１１月１０日（日）	市民インタビュー「ながくて市民の幸せ集め」
第２回	１１月２５日（月）	「幸せ実感アンケートづくりに入ろう！」
第３回	１２月９日（月）	「今日もアンケートをつくろう！」
第４回	１２月２０日（金）	「質問項目を選ぼう！」

回	日時	検討テーマ
第５回	平成２６年 １月２９日（水）	「みんなでアンケート票を直そう！」
第６回	２月６日（木）	「今日もみんなでアンケート票を直そう！」
第７回	２月１２日（水）	「完成したアンケート票を発表して市長に渡そう！」
第８回	５月９日（金）	「集計結果から見えてくること、分析したいことを考えよう！」
第９回	７月４日（金）	「幸せ実感調査隊の活動を振り返ろう！」
第１０回	８月２２日（金）	「アンケートの活用方法、まちづくりへのアイデアを考えよう！」

※詳しくは、資料編（P. 108～189）を参照。

（３）活動の特徴

本市のまちづくりの方向性にもあるように、この取組においても「市民目線」と「市民と職員の協働」を進め方の基本としています。このため、調査隊では結果として 10 回のワークショップを重ねましたが、事務局が誘導しすぎることなく、取組の趣旨を逸脱しない範囲で臨機応変に対応し、毎回の進捗に応じて次回のプログラムを検討しました。その結果、協働でアンケート票を作成し、集計結果から見える気づきや結果の活用、活動の振り返り、アンケート結果からまちづくりへのアイデア出しまで行うことができました。

また、この取組は、市民、若手職員、事務局それぞれの能力開発、人材育成という側面も持ち合わせています。これは、市民と若手職員においては、新たな知識の取得はもちろん、アイデア出しから合意形成、プレゼンテーションなどの能力が習得でき、何よりも互いの立場を理解し、立場を超えて作業を進めることができました。事務局は、企画・立案力はもちろん、折衝力、プレゼンテーション、そして何よりも雰囲気作りの大切さを学びました。

（４）調査対象及び調査方法

①調査対象者

・住民基本台帳から無作為に選んだ市内在住の満 18 歳以上の市民 5,000 人

②調査方法

・郵送による配布・回収

③調査期間

・平成 26 年２月 28 日～平成 26 年３月 24 日

（５）調査票の回収状況

・回収状況は、下表のとおり。

表-1　回収状況

A：配布数	B：回収数	C：有効回収数	D：有効回収率 D＝C／A
5,000	1,878	1,871	37.4%

（６）グラフの見方等

・グラフは、原則として単数回答は帯グラフ、複数回答は横棒グラフやダンゴ形のグラフを用いて表現しています。基数となる実数はｎとして掲載し、各グラフの構成比（%）はｎを母数とした割合を示しています。

・図中の構成比（%）は、複数回答、単数回答ともに、小数点以下第２位を四捨五入しています。その関係で合計は必ずしも 100.0%にはなりません。

・一部のグラフにおいては、「回答なし」は省略してあります。また、設問のカテゴリー（選択肢）などの表現は、一部省略している場合があります。

（７）本文のコメントについて

・要点は、各設問の調査結果のポイントを簡潔に記述しています。

・全体は、各設問の単純集計の結果や、設問内における各項目との比較などについて記述しています。

・年齢別は、年齢別にクロス集計を行った結果について記述しています。

・小学校区別は、小学校区別にクロス集計を行った結果について記述しています。

・調査隊・調査隊からの提言は、「ながくて幸せ実感調査隊」（前述）ミーティングなどで頂いたコメントを抜粋して掲載しています。

（８）問３（P.24～27）及び 問８～問 18（P.44～99）の評点の算出方法

各分野における生活の実感や実態については、下記の方法により５段階の得点をつけて、回答者の平均となる評点を算出しました。生活の実感や実態の分析はこの評点をもとに行っています。なお、算出した評点については、小数点第３位で四捨五入しています。

選択肢	選択肢	選択肢	得点
1. 満足している	1. そう思う	1. ある	５点
2. どちらかといえば満足している	2. まあそう思う	2. まあある	４点
3. どちらともいえない	3. どちらともいえない	3. どちらともいえない	３点
4. どちらかといえば不満である	4. あまりそう思わない	4. あまりない	２点
5. 不満である	5. そう思わない	5. ない	１点

評点＝｛「1. そう思う」の回答者数×（５点）＋「2. まあそう思う」の回答者数×（４点）
＋「3. どちらともいえない」の回答者数×（３点）＋「4. あまりそう思わない」の回答者数
×（２点）＋「5. そう思わない」の回答者数×（１点）｝÷総回答者数

選択肢	選択肢	選択肢	得点
1. そう思う	1. 参加している	1. 行われている	５点
2. まあそう思う	2. まあ参加している	2. まあ行われている	４点
3. どちらともいえない	3. どちらともいえない	3. どちらともいえない	３点
4. あまりそう思わない	4. あまり参加していない	4. あまり行われていない	２点
5. そう思わない	5. 参加していない	5. 行われていない	１点
6. 該当しない	6. やっていることを知らない	6. やっていることを知らない	計算に含めない

評点＝｛「1. そう思う」の回答者数×（5点）＋「2. まあそう思う」の回答者数×（4点）
＋「3. どちらともいえない」の回答者数×（3点）＋「4. あまりそう思わない」の回答者数
×（2点）＋「5. そう思わない」の回答者数×（1点）｝÷（総回答者数－「6. 該当しない」の回答者数）

★問 16 については、以下の計算式で算出しています。

評点＝｛「1. 思っている」の回答者数×（４点）＋「2. あまり考えていない」の回答者数×（２点）｝
÷（総回答者数－「3. わからない」の回答者数）

第１章　回答者の属性

（１）性別（問19（１））

問19（１）　あなたの性別は、どちらですか。【○は１つ】

要点

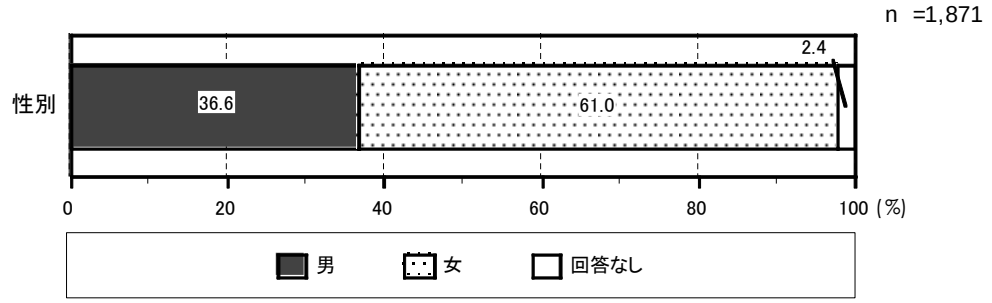
女性が約６割、男性が４割弱となっており、女性からの回答が多くなっています。

全体

○「男性」が 36.6%、「女性」が61.0%と「女性」の割合の方が多くなっています（図1-1）。

○調査時点における市内全体の男女の比率が、ほぼ同じ割合であるのに対して、今回の調査では「女性」の割合が「男性」の割合を24.4 ポイント上回っています。

図1-1　性別



（２）年齢（問19（2））

問19（2）　あなたの年齢は、次のうちどれですか。【○は１つ】

要点

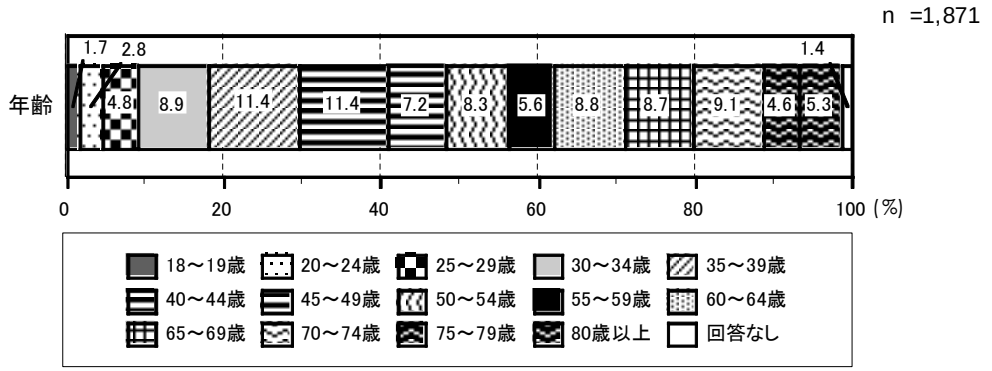
「35～39 歳」と「40～44 歳」がそれぞれ 11.4%と最も多い一方で、20 歳代以下は、１割未満と少なくなっています。

全体

○「35～39 歳」と「40～44 歳」がそれぞれ 11.4%と最も多く、次いで「70～74 歳」（9.1%）となっている一方で、20 歳代以下は、9.3%と少なくなっています（図1-2）。

○長久手の実際の人口構成と比べて、60 歳代以上の高齢者層の回答割合が多い一方で、20 歳代以下は、少なくなっています。

図1-2　年齢



（３）職業（問19（3））

問19（3）　あなたの職業は、次のうちどれですか【○は１つ】

要点

「会社員」が25.2%と最も多いものの、「無職」（22.9%）、「家事専従」（18.3%）の２項目に「学生」（3.1%）を合わせた“非就業者”は全体の44.3%を占めています。

全体

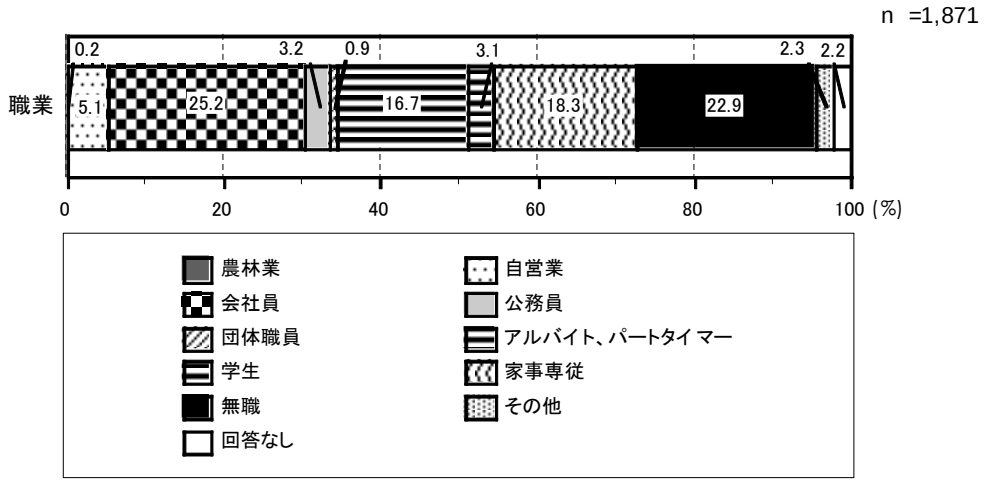
○「会社員」が25.2%と最も多く、「無職」（22.9%）、「家事専従」（18.3%）と続いています。

○「無職」（22.9%）、「家事専従」（18.3%）の２項目に「学生」（3.1%）を合わせた“非就業者”は全体の44.3%を占めています。

○一方、上記の“非就業者”（44.3%）と「回答なし」（2.2%）、「その他」（2.3%）を除いた残りの 51.2%が、「自営業」や「アルバイト・パートタイマー」などを含めた“就業者”となっています。

○“就業者”の中でも、「アルバイト・パートタイマー」が全体の 16.7%を占めていますが、「会社員」と「公務員」、「団体職員」を足し合わせた、いわゆる“サラリーマン”は全体の 29.3%を占め、「アルバイト・パートタイマー」の割合を上回っています。また、「農林業」と「自営業」については、合わせても全体の 5.3%となっています。

図1-3　職業



（4）年収（問19（4））

問19（4）　あなたの家庭全体の年収（年金を含む。）はどのくらいですか。【○は１つ】

要点

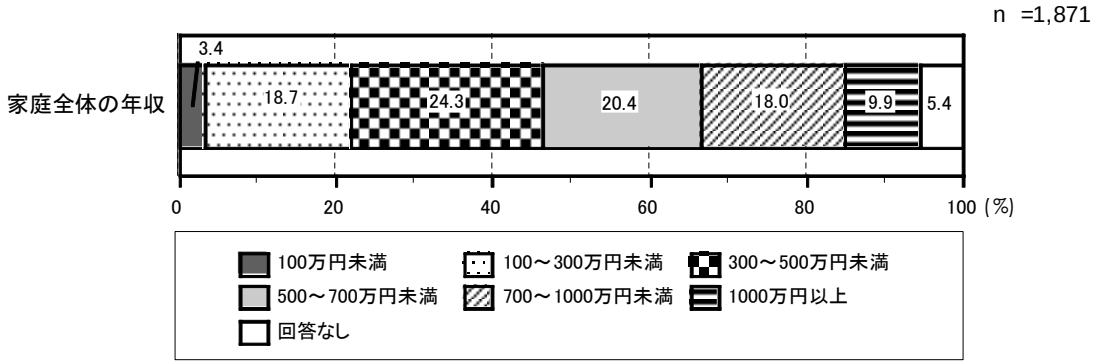
「300～500万円未満」が24.3%で最も多くなっていますが、年収500万円を境にそれ未満とそれ以上の年収の世帯は、ほぼ同じ割合になっています。

全体

○「300～500万円未満」が24.3%で最も多く、次いで「500～700万円未満」が20.4%となっており、500万円を境にそれ未満とそれ以上の年収の世帯は、ほぼ同じ割合（500万円未満：46.4%、500万円以上：48.3%）になっています。

○「1000万円以上」の高額所得者が１割近くとなっています。（図1-4）。

図1-4　年収



（５）通勤先・通学先（問 19（5））

問 19（5）　あなたの通勤先・通学先は、次のうちどれですか。【○は１つ】

要点

回答者の 52.6%が通勤・通学しており、このうち通勤先・通学先で最も多いのは、「名古屋市」で 23.5%となっており、次いで「自宅」を含む市内が 16.7%、名古屋市を除く隣接自治体（尾張旭市、瀬戸市、豊田市、日進市）は、合わせて 9.9%にとどまっています。

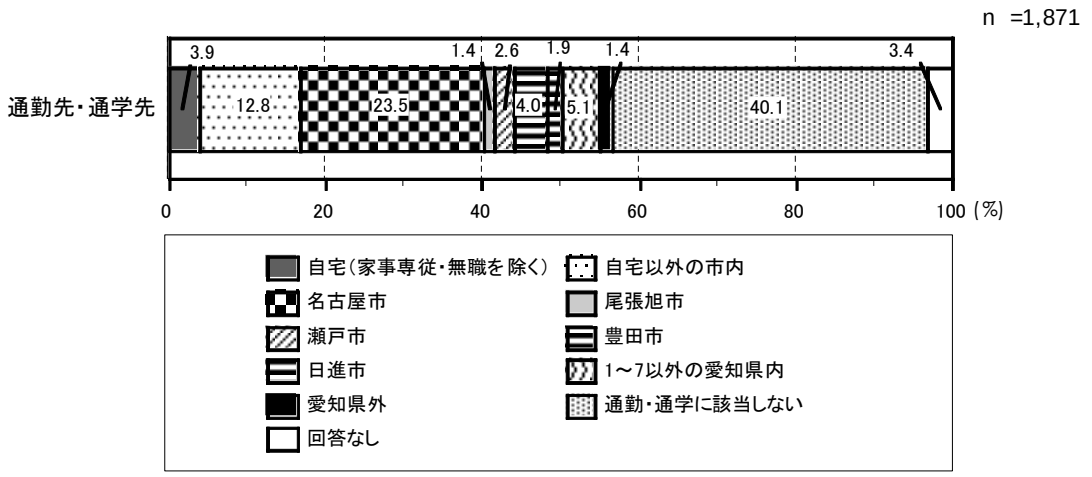
全体

○「通勤・通学に該当しない」が 40.1%を占め、これと「回答なし」(3.4%)、「自宅（家事専従・無職を除く）」(3.9%) を除いた残りの 52.6%が通勤・通学しており、通勤先・通学先で最も多いのは、「名古屋市」で23.5%となっています。

○次いで、「自宅以外の市内」が 12.8%となっており、名古屋市を除く隣接自治体（尾張旭市、瀬戸市、豊田市、日進市）に通勤・通学している回答者は、合わせて 9.9%にとどまっています（図 1-5）。

○通勤・通学している回答者の通勤・通学先の内訳は、「名古屋市」が 44.7%、「自宅」を含む市内が 31.7%、名古屋市を除く隣接自治体（尾張旭市、瀬戸市、豊田市、日進市）が 18.8%となっています。

図 1-5　通勤先・通学先



（6）住まい（問19（6））

問19（6）　あなたのお住まいは、次のうちどれですか。【○は１つ】

要点

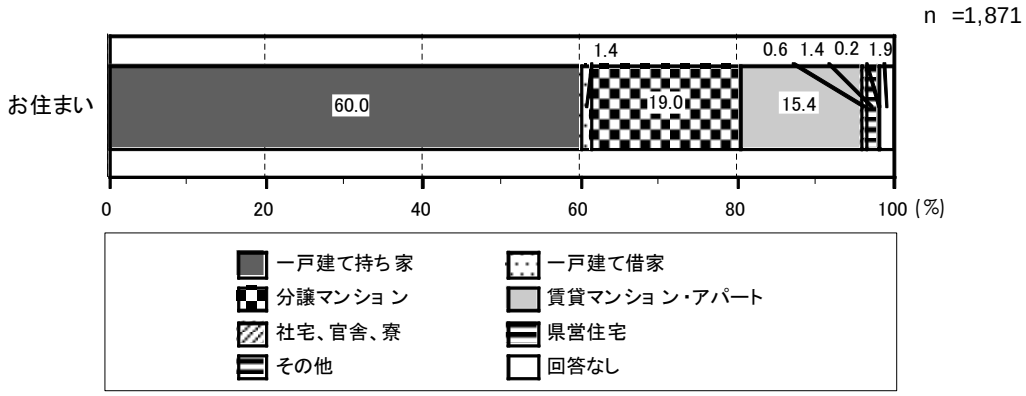
回答者の約８割が持ち家（「一戸建て持ち家」（60.0%）や「分譲マンション」（19.0%））に居住しています。

全体

○回答者の住まいは、「一戸建て持ち家」が60.0%、次いで「分譲マンション」が19.0%となっており、約８割が持ち家に居住しています。

○借家の中では、「賃貸マンション・アパート」が15.4%となっています。

図1-6　住まい



（7）配偶者の有無（問19（7））

問19（7）　あなたには配偶者がいますか。【○は１つ】

要点

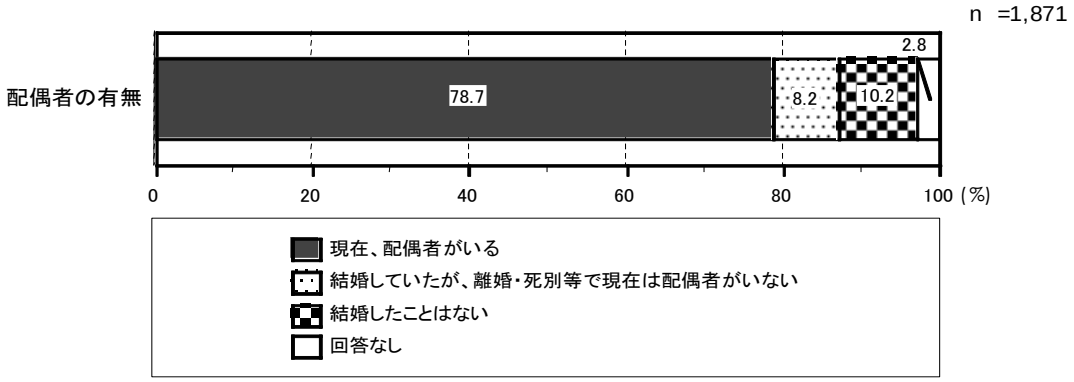
「結婚経験あり」が86.9%、「結婚経験なし」が10.2%になっています。

全体

○回答者の配偶者は、「現在、配偶者がいる」が 78.7%となっており、「結婚していたが、離婚・死別等で現在は配偶者がいない」（8.2%）と合わせると、結婚経験のある回答者は 86.9%に達しています。

○一方、結婚経験のない回答者は10.2%にとどまっています（図1-7）。

図1-7　配偶者



（８）家族形態（問 19（8））

問 19（8）　あなたのご家族の形態は、次のうちどれですか。【○は１つ】

要点

「二世代家族」が 54.0%と最も多く、次いで「夫婦だけ」が 27.6%と続いています。

全体

○回答者の家族の形態は、「二世代家族」が 54.0%と最も多く、次いで「夫婦だけ」が 27.6%と続いています。

○「三世代家族」（7.7%）と「単身世帯」（7.3%）は共に１割未満となっています（図 1-8-1）。

○「夫婦だけ」の世帯（27.6%）のうち半数以上が「高齢夫婦世帯」（14.3%）であり、また、「単身世帯」（7.3%）のうちが「高齢単身世帯」（2.7%）となっています（図 1-8-1、図 1-8-2）。

図 1-8-1　家族の形態

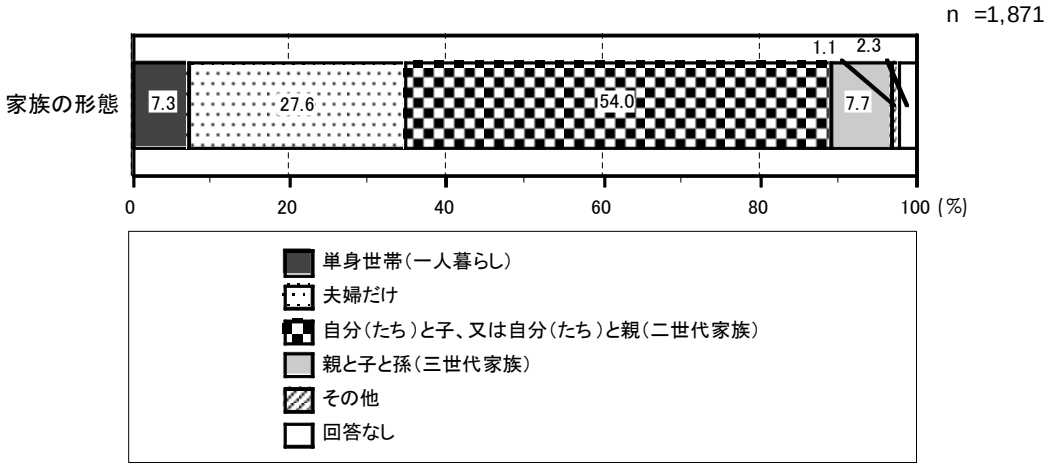
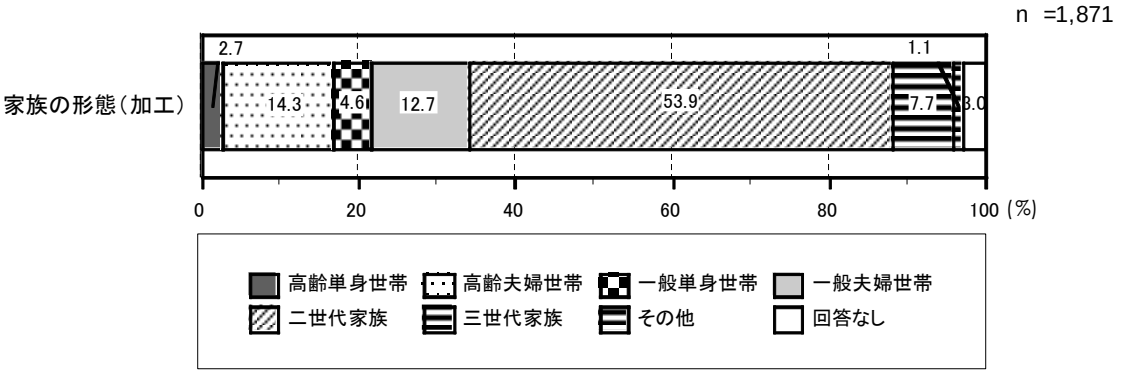


図 1-8-2　家族の形態（データ加工したもの）



（9）同居の家族（問 19（9））

問 19（9） あなたの同居のご家族には、次のいずれかにあてはまる方がいますか。あなたご自身を含めて、あてはまる人をすべて選んでください。

要点

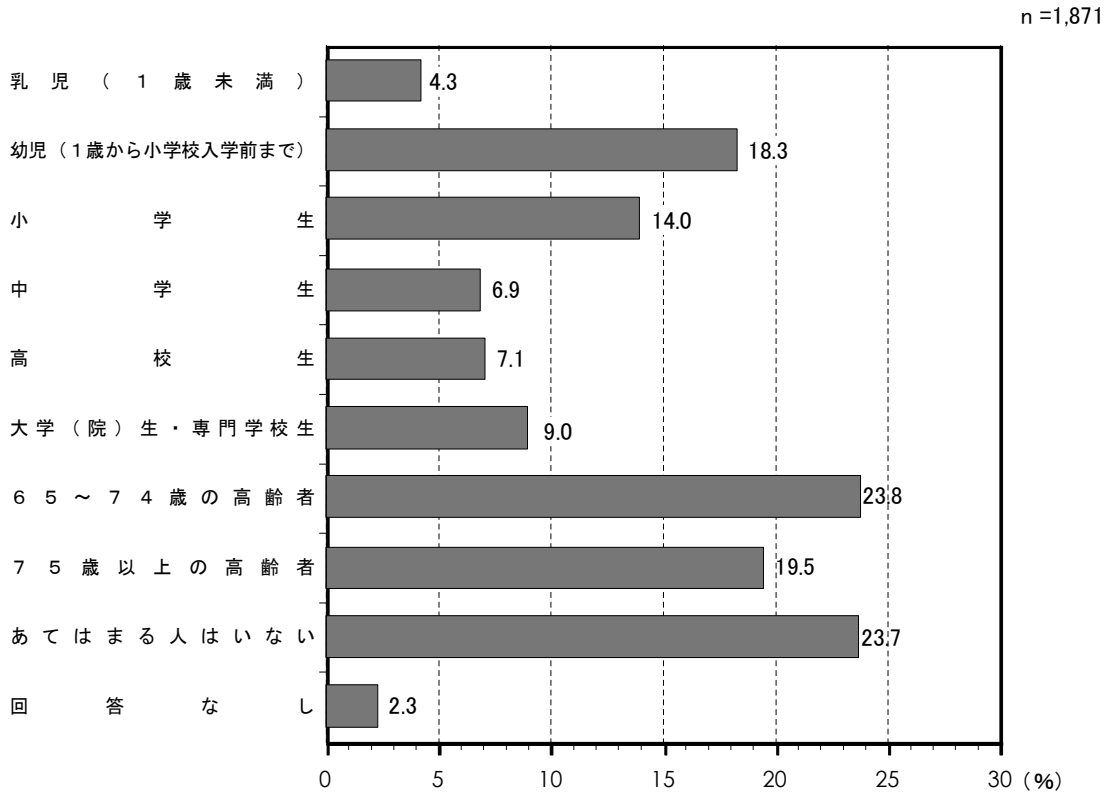
子どもや学生、65 歳以上の高齢者などの同居の家族がいる世帯が 74.0%となっており、そのうち、「65～74 歳の高齢者」（23.8%）がいる世帯や「75 歳以上の高齢者」（19.5%）がいる世帯、「幼児（1 歳から小学校入学前まで）」（18.3%）がいる世帯が多くなっています。

全体

○「あてはまる人はいない」（23.7%）と「回答なし」（2.3%）を除く残りの 74.0%は、子どもや学生、65 歳以上の高齢者がいる世帯となっています。

○「65～74 歳の高齢者」（23.8%）がいる世帯が最も多く、次いで、「75 歳以上の高齢者」（19.5%）、幼児（18.3%）、小学生（14.0%）と続いています（図 1-9）。

図 1-9　同居の家族



（10）小学校区（問19（10））

問19（10）　あなたの小学校区はどこですか。【○は１つ】

要点

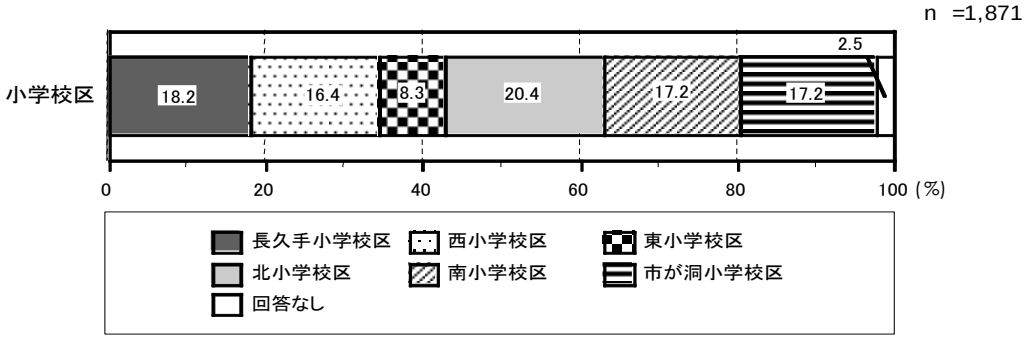
居住地区については、「北小学校区」が 20.4%と最も多く、次いで、「長久手小学校区」（18.2%）が多くなっています。実際の小学校区別の世帯数の割合とは多少のずれがみられます。

全体

○居住地区については、「北小学校区」が 20.4%と最も多く、次いで、「長久手小学校区」（18.2%）、「南小学校区」（17.2%）、「市が洞小学校区」（17.2%）と続いています（図 1-10）。

○実際に世帯数が最も多い小学校区は、「南小学校区」で、次いで、「北小学校区」、「市が洞小学校区」、「西小学校区」「長久手小学校区」「東小学校区」と続いていることから、実際の学区別の世帯数の割合とは多少のずれがみられます。

図 1-10　小学校区



（11）居住歴（問19（11））

問11　あなたは、長久手市に居住して何年になりますか。【○は１つ】

要点

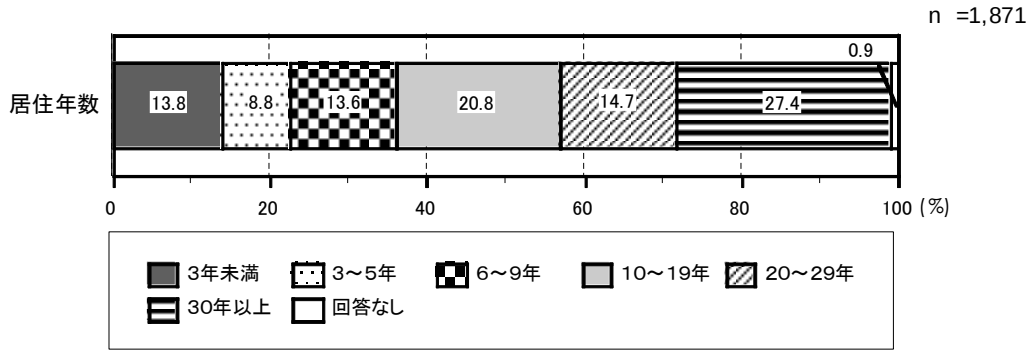
居住年数「30 年以上」が 27.4%と最も多いものの、居住年数が５年以下も 22.6%を占めており、人口増加が続いている本市の特徴を表わしています。

全体

○居住年数「30 年以上」が 27.4%と最も多く、次いで「10～19 年」が 20.8%と続いています。

○居住年数が 20 年以上が全体の 42.1%を占めているものの、居住年数が 10 年未満についても 36.2%を占めています。また、居住年数が５年以下も 22.6%を占めており、人口増加が続いている本市の特徴を表わしています（図 1-11）。

図 1-11　居住歴



第２章　幸せ感について

（１）幸せ感の点数とその点数を選んだ理由（問１）

問１　あなたは現在幸せですか。「とても幸せ」を１０点、「とても不幸」を０点とすると、何点くらいになると思いますか。あてはまる数字（点数）を選んでください。【○は１つ】

①幸せの点数

要点

幸せ感の点数は、「８点」が 29.1%と最も多く、次いで「７点」(18.3%)、「10 点」(13.7%)と続いており、全体平均の点数は、7.41 点となっています。性別では、男性よりも女性の方が、年齢では、30 歳代の点数がそれぞれ高くなっています。

全体

○０点～10 点の 11 段階で現在の幸せ感をたずねたところ、「８点」が 29.1%と最も多く、次いで「７点」(18.3%)、「10 点」(13.7%) と続いています（図 2-1-1)。

○全体平均は、7.41 点です（図 2-1-2)。

○６点以上が全体の８割以上、７点以上が７割以上を占めており、本市における回答者の幸せ感は高い水準にあるといえます。

○幸せ感が４点以下の回答は 5.6%みられます。また、０点もわずかとはいえ 0.6%みられます。(図 2-1-1)。

性別

○性別でみると、女性の方が男性よりも幸せ感の点数が若干高くなっていますが、全国的に見ても同様の傾向です（図 2-1-2)。

図 2-1-1　幸せ感の点数

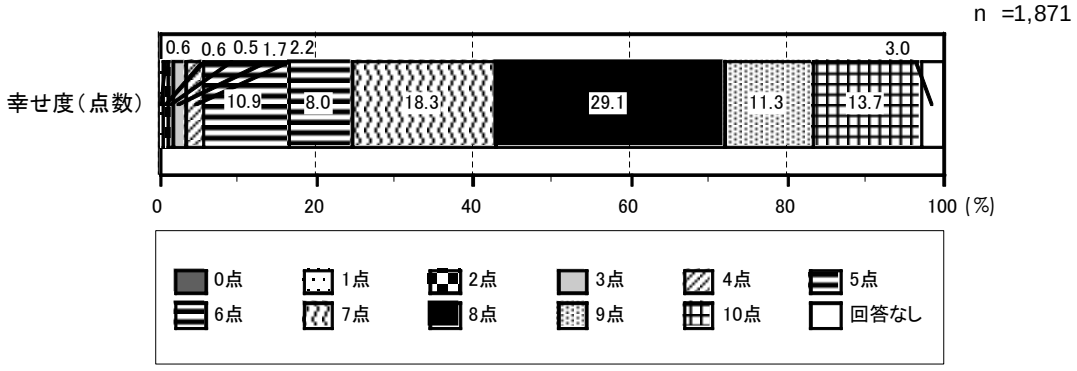
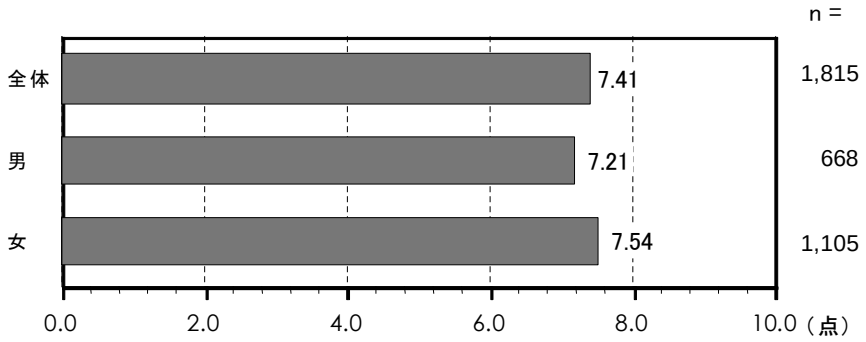


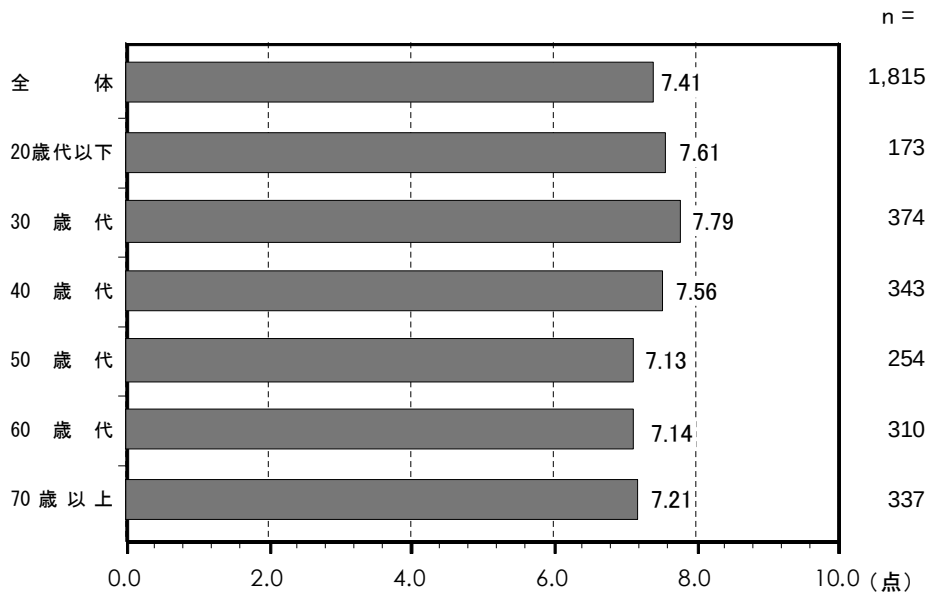
図 2-1-2　性別　「幸せ感の点数」



年齢別

○年齢別でみると、30 歳代の幸せ感が 7.79 点と、全体よりも 0.38 点上回っています。その一方で、50 歳代以上の幸せ感の点数は、全体よりも若干低くなっています（図 2-1-3）。

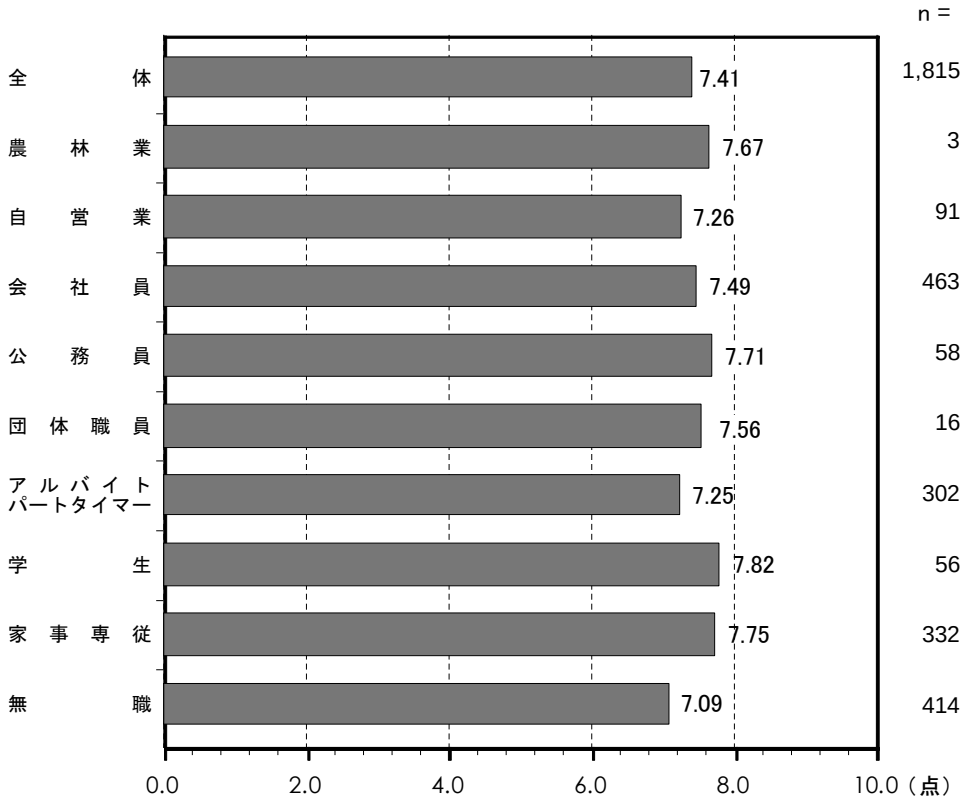
図 2-1-3　年齢別「幸せ感の点数」



職業別

○職業別でみると、「学生」（7.82）をはじめ、「家事専従者」（7.75）や「公務員」（7.71）の幸せ感が全体値と比べて若干高くなっている一方で、「無職」（7.09）や「アルバイト・パートタイマー」（7.25）の幸せ感が若干低くなっています（図 2-1-4）。

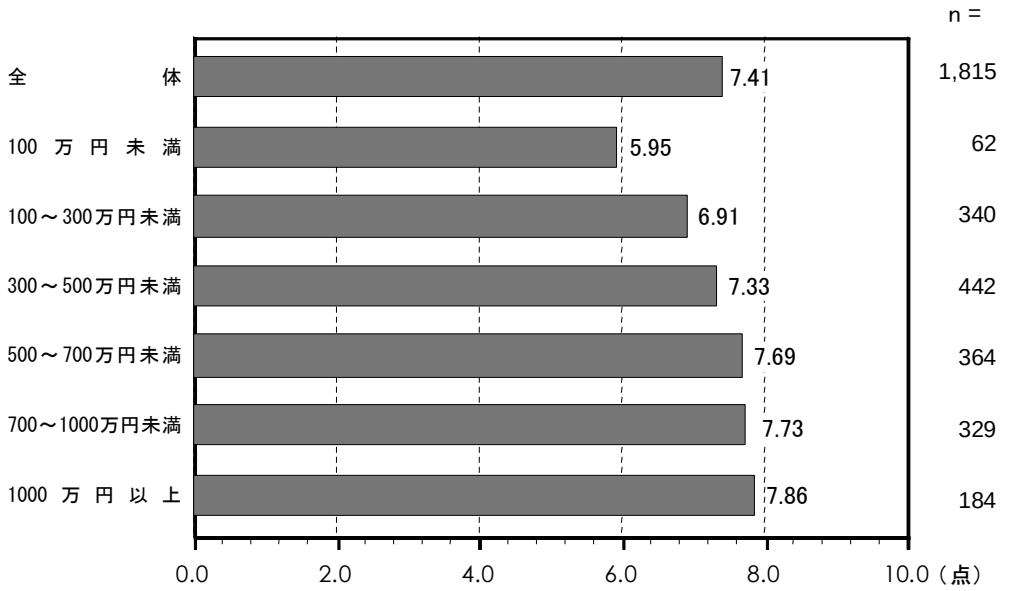
図 2-1-4　職業別「幸せ感の点数」



家庭の収入別

○家庭の年収別にみると、年収が高いほど、幸せ感の点数が順次高くなる傾向が顕著にみられます（図2-1-5）。

図2-1-5　家庭の収入別「幸せ感の点数」



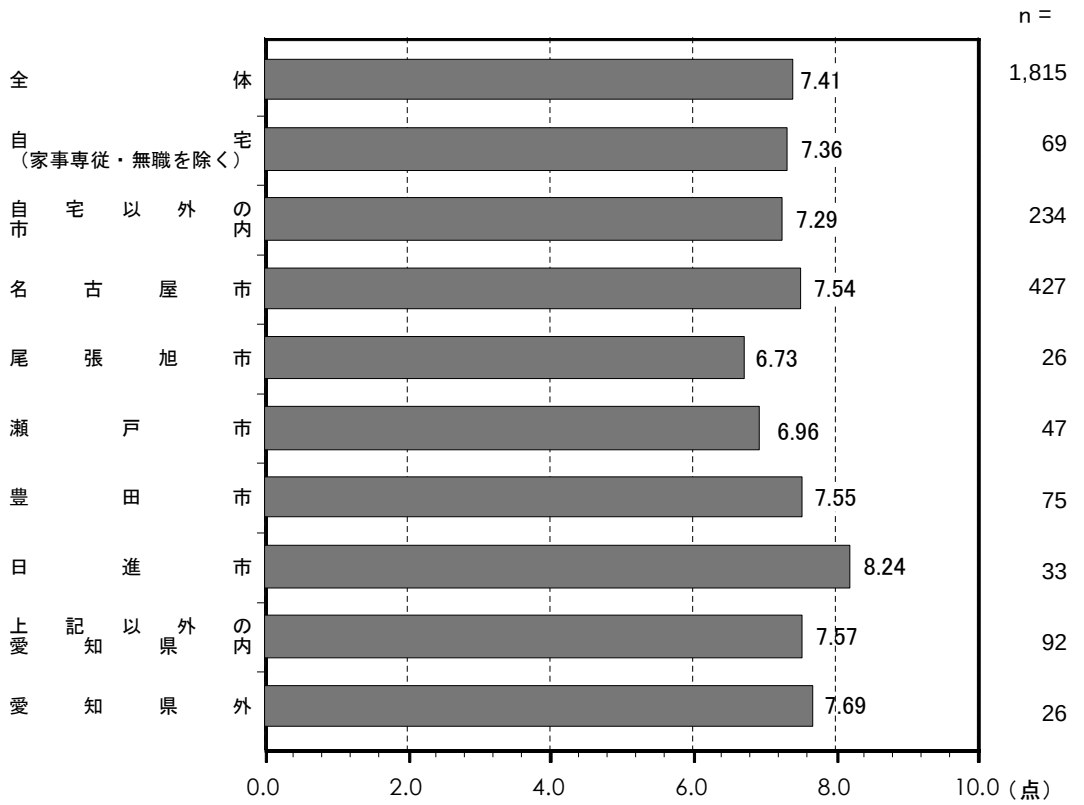
調査隊

○年収の高さは、幸せ感の点数に正比例しています。
○年収がおおむね500万円以上あれば幸せ感の点数の差は小さくなっています。

通勤・通学先別

○通勤・通学先別にみると、日進市に通勤・通学している回答者の幸せ感が高い一方で、尾張旭市や瀬戸市に通勤・通学している回答者の幸せ感が全体よりも低くなっていますが、いずれもサンプル数が少ないため、有意義な差があるとまではいえないと思われます（図2-1-6）。

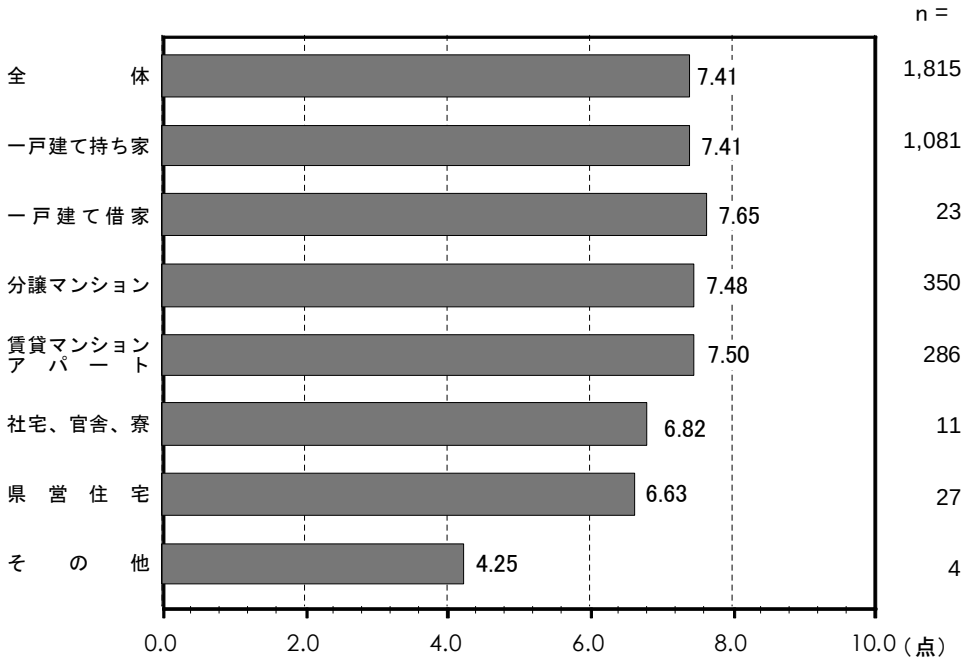
図2-1-6　通勤・通学先別「幸せ感の点数」



住まいのタイプ別

○住まいのタイプ別でみると、一戸建て借家に居住している回答者の幸せ感が若干高くなっている一方で、「県営住宅」や「社宅、官舎、寮」に居住している回答者の幸せ感が全体よりも低くなっていますが、いずれもサンプル数が少ないため、有意義な差があるとまではいえないと思われます（図2-1-7）。

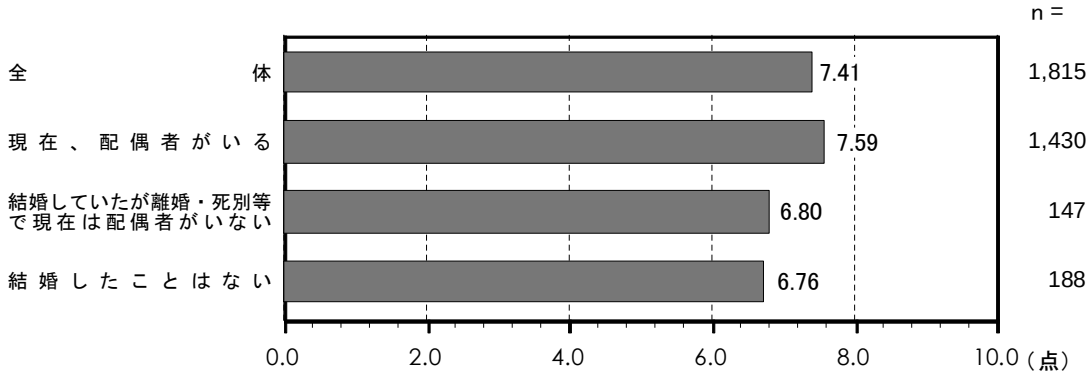
図2-1-7　住まいのタイプ別「幸せ感の点数」



配偶者の有無別

○配偶者の有無別でみると、「現在、配偶者がいる」回答者の幸せ感（7.59）は、全体より高くなっている。一方で、「結婚していたが離婚・死別等で現在は配偶者がいない」回答者の幸せ感（6.80）や「結婚したことはない」回答者の幸せ感（6.76）は、全体よりも低くなっており、配偶者の存在は幸せ感の重要な要素の一つであると考えられます（図2-1-8）。

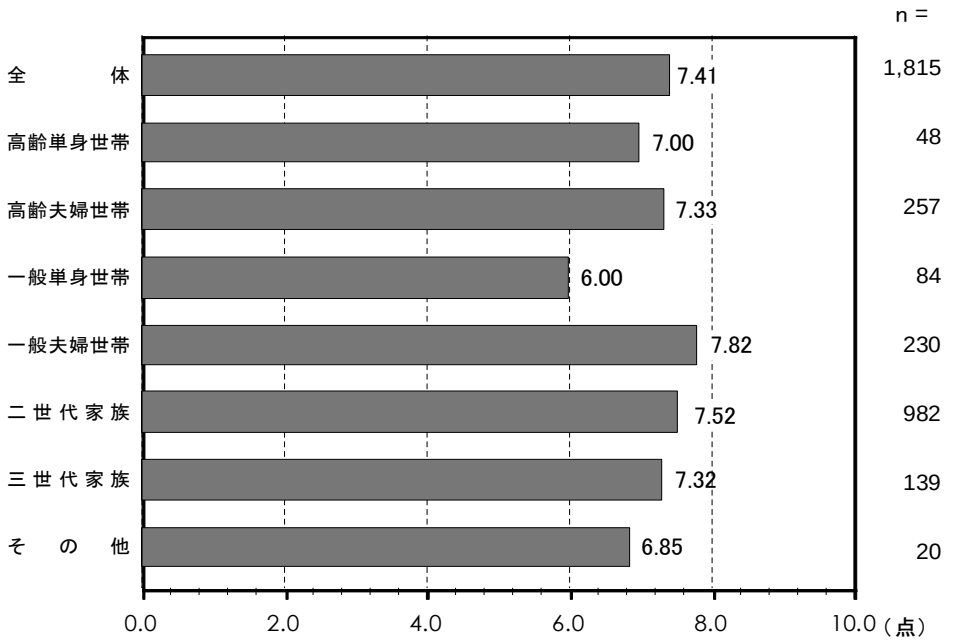
図2-1-8　配偶者の有無別「幸せ感の点数」



家族の形態別

○家族の形態別でみると、「一般夫婦世帯」(7.82)、「二世代家族」(7.52) の幸せ感は全体より高く、「一般単身世帯」(6.00) 及び「高齢単身者」(7.00) の幸せ感は全体よりも低くなっています。
○家族の存在が幸せ感の重要な要素の一つであると考えられます (図2-1-9)。

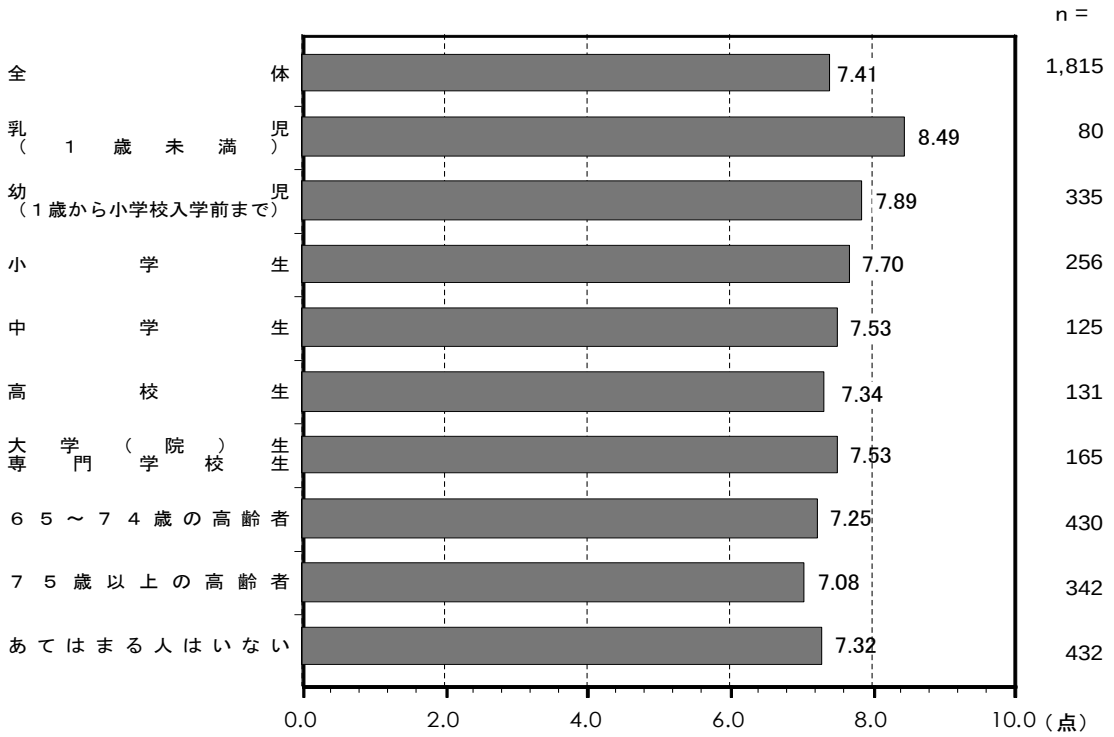
図2-1-9　家族の形態別「幸せ感の点数」



同居家族別

○同居家族の有無別（子どもや学生、65歳以上の高齢者との同居の有無別）でみると、「乳児」(8.49) や「幼児」(7.89)、「小学生」(7.70) といった小さな子どもと同居している回答者は幸せ感が高くなっています。
○一方、「75 歳以上の高齢者」(7.08) と同居している回答者は幸せ感が全体よりも低くなっています (図2-1-10)。

図2-1-10　同居家族別「幸せ感の点数」

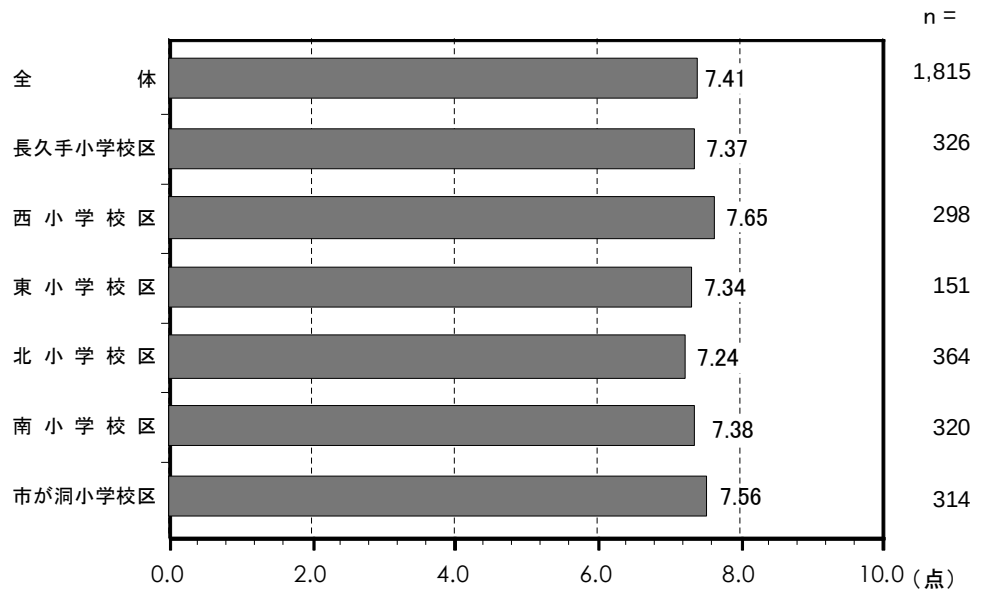


調査隊	○子育て世代である 30 歳代の幸せ感が高かったこと（図 2-1-3）や図 2-1-10 の結果から、小さな子どもの存在が幸せ感の重要な要素の一つであると考えられます。

小学校区別

○小学校区別でみると、「西小学校区」（7.65）と「市が洞小学校区」（7.56）の幸せ感が全体より若干高くなっていますが、大きな差はみられません（図 2-1-11）。

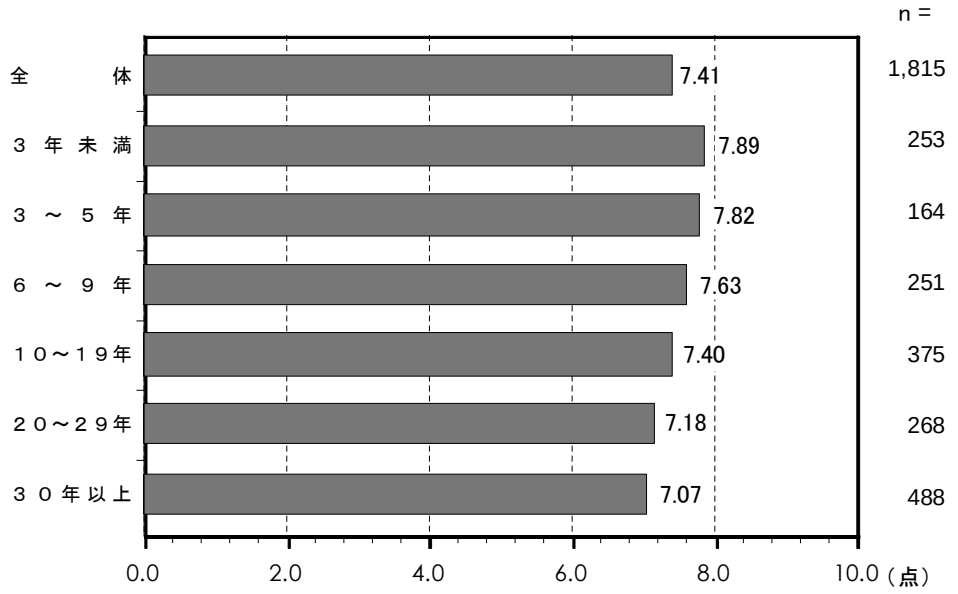
図 2-1-11　小学校区別「幸せ感の点数」



居住年数別

○居住年数別でみると、居住年数が短いほど幸せ感の点数が順次高くなる傾向がみられます。居住年数 10 年を境に、それ以上になると全体よりも低くなっています（図 2-1-12）。

図 2-1-12　居住年数別「幸せ感の点数」



②幸せの点数を選んだ理由

要点

幸せ感の点数を選んだ理由は、「健康」に関することが38.4%と最も多く、次いで、「家族」に関すること（28.0%）、「住環境・生活インフラ、行政サービス」に関すること（18.8%）、「家計」に関すること（16.3%）と続いています。

全体

○幸せ感の点数を選んだ理由は、「健康」（38.4%）、「家族」（28.0%）が他の項目に比べて多くなっています。

○一方、「友人関係」（1.2%）や「地域コミュニティや近所との関係」（2.7%）など、家族以外の人間関係を理由にした割合は少なくなっています。

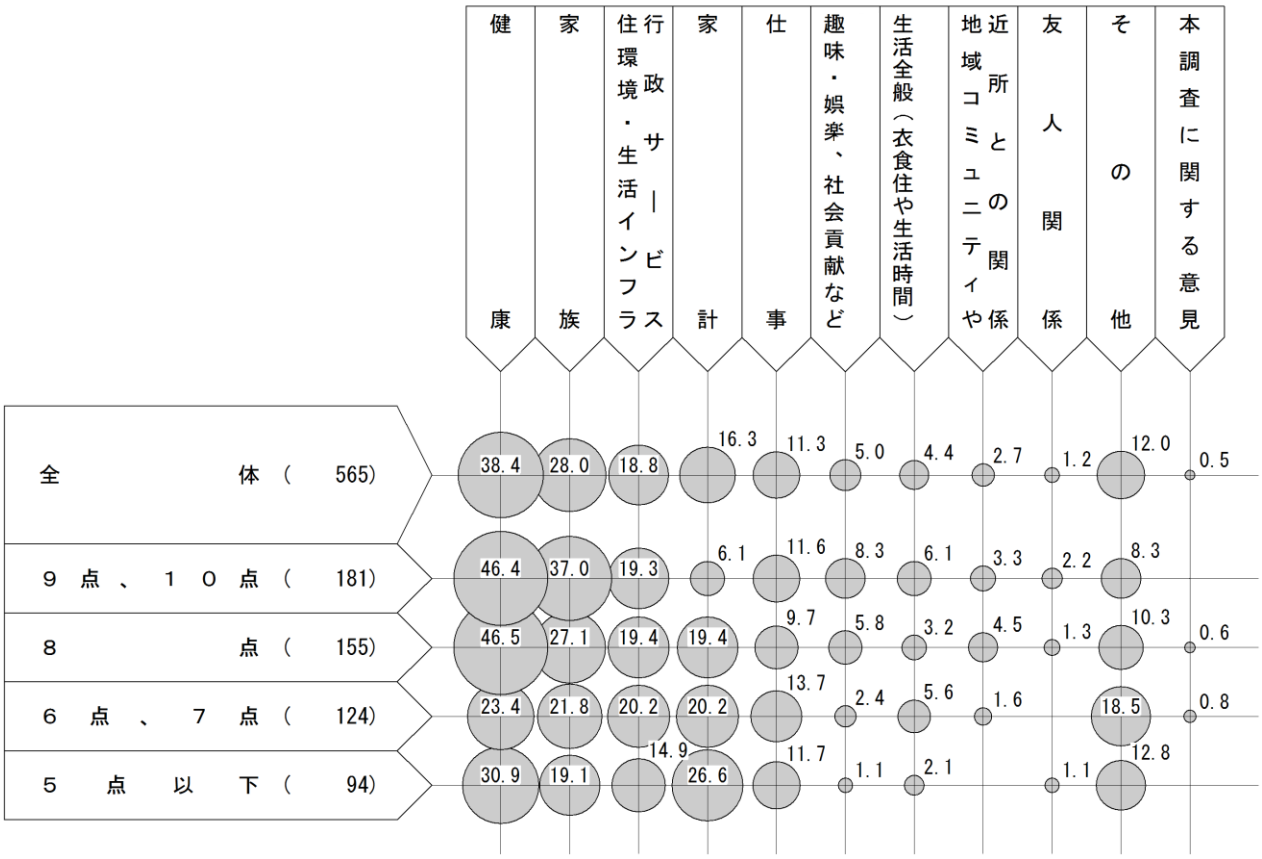
○幸せ感の点数を選んだ理由の大部分は、まちのことや行政サービスなど、市政によってある程度対応できるような領域にはおさまっていないことがうかがえます。

幸せ感の点数別

○幸せ感の点数別でみると、幸せ感の点数が高い回答者ほど「家族」に関することや「健康」に関することを理由としてあげている割合が多くなる傾向がみられます。また、割合は低いものの、「趣味・娯楽・社会貢献など」でも同様の傾向がみられます。

○一方、「家計」に関することは、幸せ感の点数が低い回答者ほど理由としてあげる割合が多くなる傾向がみられます（図2-1-13）。

図2-1-13　幸せ感の点数別「幸せ感の点数を選んだ理由」



③現在の幸せ感の点数と各質問項目との相関

要点

「生活全般」や「家族関係」、「仕事や趣味、社会貢献などの生きがい」、「家計の状況」、「健康状況」、「自由な時間、充実した余暇」といった生活の満足度や「日頃から笑顔で心豊かな生活ができていると思うか」が、幸せ感の点数とやや強い相関がみられます。

全体

○幸せ感の点数と各質問項目との相関係数を算出することによって相関関係をみたところ、「かなり強い相関がある」という質問項目はありませんでしたが、「やや強い相関がある」や「弱い相関がある」という質問項目はかなり多くあります。

○具体的には、「生活の満足度について」では、「生活全般」をはじめ、「家族関係」、「仕事や趣味、社会貢献などの生きがい」、「家計の状況」、「健康状況」、「自由な時間、充実した余暇」の６項目が、幸せ感の点数とやや強い相関関係がみられます。つまり、これらの項目の満足度が高いほど、幸せ感の点数が高くなる傾向があるといえます。

○また、「長久手の住み心地」（「住みよいまちだと思うか」、「愛着を感じているか」、「今後も住み続けたいか」）と幸せ感の点数との間にも弱い相関がみられ、住み心地がよいと感じている回答者ほど幸せ感の点数が高くなる傾向が一定程度みられるといえます。

○「生活実感」のうち、「①健康分野」については、いずれの質問項目においても相関がみられます。中でも「日頃から笑顔で心豊かな生活ができていると思うか」とはやや強い相関がみられます。つまり、笑顔の日常生活ができていると感じている回答者ほど幸せ感が高い傾向があるといえます。

○「④地域のつながり分野」についても、「近所づきあいや地域とのつながり」など、11 項目中６項目が幸せ感の点数と弱いながらも相関がみられます。

○また、「③自然やごみなどの環境分野」では、「自然環境」と「公園や野外の遊び場」の２項目が、「⑤防災・防犯分野」では、「治安がよく、安心して暮らせるか」の１項目、「⑥福祉分野」では、「地域で困った人への助け合い」と「現在（あるいは将来の）、自分または家族の介護に対して不安がないこと」の２項目、「⑦文化・生涯学習分野」では、「お住まいの地域には、自慢したい地域の「宝」があるか」の１項目、「⑧生活インフラ分野」では、「買い物や通院に便利か」と「就業しやすい環境にあると思うか」の１項目が、それぞれ、幸せ感の点数と弱い相関がみられます。

○一方、「②子育て・教育分野」と「まちづくりにおける地域の役割」については、幸せ感の点数とほとんど相関はみられません。

表 2-1-1　あなたの幸せ感の点数と各設問との相関分析（※）

凡　　例	
|r| = 0.7 以上～1 以下　かなり強い相関がある	
|r| = 0.4 以上～0.7 未満　やや強い相関がある	
|r| = 0.2 以上～0.4 未満　　弱い相関がある	
|r| = 0 以上～0.2 未満　　ほとんど相関がない	

生活の満足度について		
問 3	(1) 家計の状況	0.4394
	(2) 就業状況	0.2018
	(3) 健康状況	0.4223
	(4) 自由な時間、充実した余暇	0.4164
	(5) 仕事や趣味、社会貢献などの生きがい	0.4473
	(6) 家族関係	0.5430
	(7) 友人関係	0.3919
	(8) 職場の人間関係	0.1140
	(9) 地域コミュニティや近所との関係	0.3146
	(10) 仕事と生活のバランス	0.1608
	(11) 生活全般	0.6491
長久手の住み心地について		
問 4	住みよいまちだと思うか	0.3995
問 5	愛着を感じているか	0.3152
問 6	今後も住み続けたいか	0.2266
暮らしやお住まいの地域（生活実感）について		
①健康分野		
問 8	(1) 健康的な暮らしができていると思うか	0.2027
	(2) 気軽に運動をする場所や機会、散歩ができるような環境があるか	0.2039
	(3) 健康的な食生活ができていると思うか	0.3197
	(4) ストレスを発散する場や機会、精神的なやすらぎの場はあるか	0.3943
	(5) 日頃から笑顔で心豊かな生活ができていると思うか	0.5917
	(6) 病院やクリニックが充実していると思うか	0.2296
②子育て・教育分野		
問 9	(1) 安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思うか	0.1960
	(2) 地域の子どもたちは、のびのびと育っていると思うか	0.1670
	(3) 子育てや教育に関するサービスや施設が整っていると思うか	0.1835
	(4) 子育てや子どもの教育などについて相談できる人、相談できる場所があるか	0.1828
	(5)-①家庭内での子どもとあなたとのコミュニケーションは十分取れていると思うか	0.1708
	(5)-②お住まいの地域の子どもとあなたとのコミュニケーションは十分取れていると思うか	0.1807
③自然やごみなどの環境分野		
問 10	(1) 豊かな自然環境があると思うか	0.1616
	(2) 公園や屋外の遊び場があるか	0.2635
	(3) まち並みはきれいだと思うか	0.2693
	(4) ごみ・資源の分別がされていると思うか	0.1441
	(5) 日頃から環境に配慮した生活をしているか	0.1331

④地域のつながり分野		
問 11	(1)-①スタッフとして	0.0913
	-②お客・来場者として	0.1179
	(2)-①あいさつ	0.2242
	-②近所づきあい	0.1479
	-③近所づきあいや地域とのつながり	0.2544
	(3)自宅以外の居場所があるか	0.1894
	(4)「たつせ」があるか	0.2030
	(5)-①お住まいの地域	0.2348
	-②市内	0.2081
	-③市外	0.2392
	(6)国籍や文化の異なる人々にとっても住みやすいと思うか	0.1295
⑤防災・防犯分野		
問 12	(1)災害に備えた話し合いや防災訓練に参加しているか	0.0852
	(2)災害に対する自主的な備えをしているか	0.1722
	(3)災害時の避難所と避難方法を知っているか	0.0915
	(4)治安が良く、安心して暮らせるか	0.2117
	(5)安全安心を守る取組が行われているか	0.0969
⑥福祉分野		
問 13	(1)地域で困った人への助け合いはできていると思うか	0.2174
	(2)市の福祉サービスや市内の福祉事業者のサービスを知っているか	0.0067
	(3)高齢者や障がいのある人、ベビーカーを使っている人など、まちで困っている人がいるとき、手助けをすることができると思うか	0.1595
	(4)現在（あるいは将来の）、自分または家族の介護に対して不安を感じるか	0.2516
	(5)-①高齢者にとって暮らしやすい	0.0676
	-②障がいのある人にとって暮らしやすい	0.0400
⑦文化・生涯学習分野		
問 14	(1)長久手の歴史や伝統文化に関心があるか	0.1027
	(2)長久手市は芸術文化に接したり取り組んだりする機会に恵まれていると思うか	0.1733
	(3)長久手市はあなたの知的興味や知識、能力を磨いたり伸ばしたりする機会に恵まれていると思うか	0.1575
	(4)お住まいの地域には、自慢したい地域の「宝」があるか	0.2057
⑧生活インフラ分野		
問 15	(1)買い物や通院に便利か	0.2293
	(2)出かける際の移動が便利か	0.1962
	(3)出かける際の移動の安全が確保されていると思うか	0.1759
	(4)就業しやすい環境にあると思うか	0.2446
	(5)インターネットや電子メールをコミュニケーション手段として利用しているか	0.1511
⑨まちづくりにおける地域の役割		
問 16	何か社会のために役立ちたいと思っているか	0.1360
問 17	課題解決のために地域のコミュニティが中心に進めていく事が重要になると思うか	0.1665
問 18	コミュニティが中心になって進めていく場合、それに参加するか	0.1014

※相関分析については、P.214 を参照して下さい。

（２）大事だと思う分野（問２）

問２　次の８つの分野の中からあなたにとって「特に大事だと思う分野」を３つまで選んでその番号を回答欄に記入してください。なお、「特に大事だと思う分野はない」という場合には、左端の欄に「9」を記入してください。

要点

大事だと思う分野は、「健康」が 74.7%と多くなっていますが、「文化・生涯学習」（7.5%）が少なくなっています。

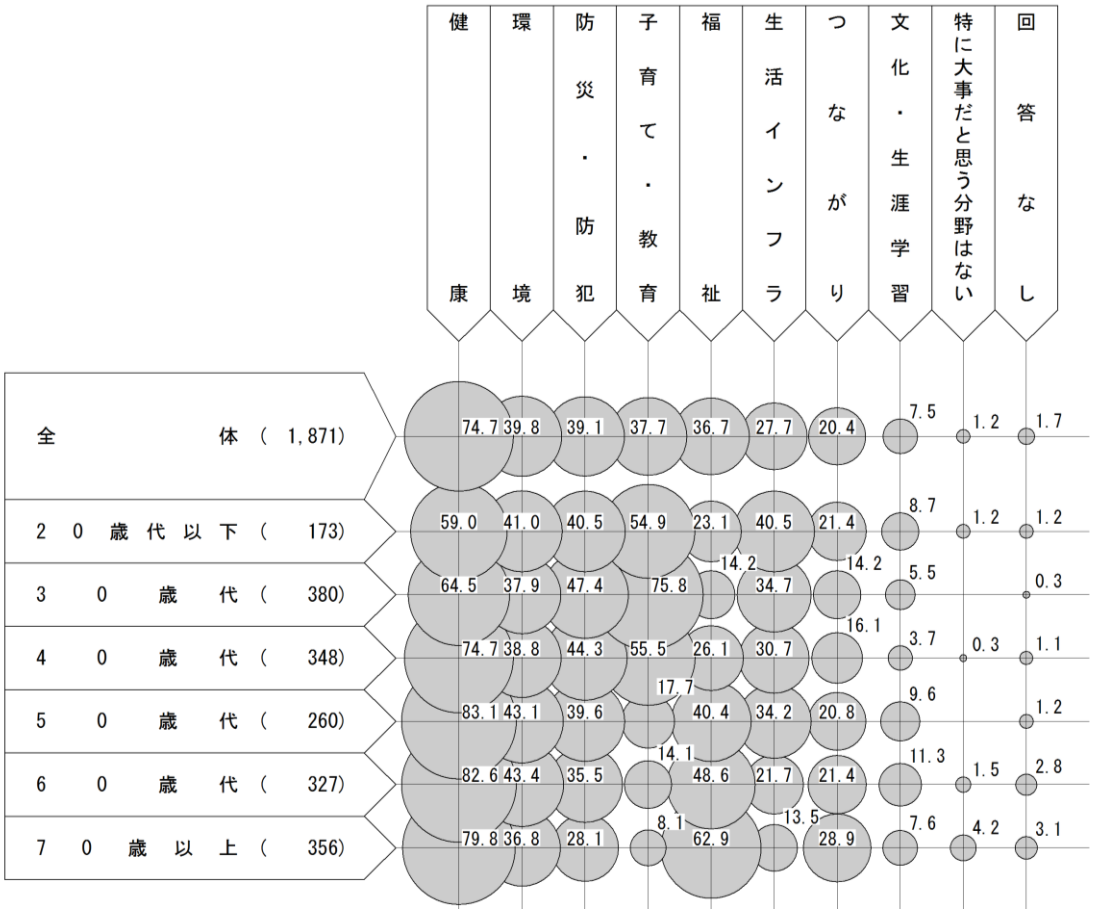
全体

○大事だと思う分野は、「健康」が 74.7%と多くなっています。
○一方、「文化・生涯学習」（7.5%）が少なくなっています（図 2-2-1）。

年齢別

○年齢別にみると、「健康」は 40 歳代以上の年齢層で若干多くなっている一方で、20 歳代以下や 30 歳代といった若年層における割合が少なくなっています。
○「福祉」や「つながり」についてもほぼ同様に、若年層では少なく、年齢が上がるほど割合が多くなる傾向がみられ、特に 70 歳代では 62.9%となっています。
○上記の２項目に対して、「子育て・教育」については、年齢が若い回答者ほど割合が多くなっています。特に 30 歳代（75.8%）をはじめ、40 歳代（55.5%）や 20 歳代以下（54.9%）といったいわゆる子育て世代において割合が多くなっています。
○また、「防災・防犯」と「生活インフラ」についてもどちらかといえば、比較的若い回答者の方が大事だと思う割合が多くなっており、「防災・防犯」については、70 歳代（28.1%）で他の年齢層に比べて少ないのに対して、30 歳代や 40 歳代で若干多くなっています。「生活インフラ」については、20 歳代以下で大事だと思う割合が多くなっています（図 2-2-1）。

図 2-2-1　年齢別「大事だと思う分野」



小学校区別

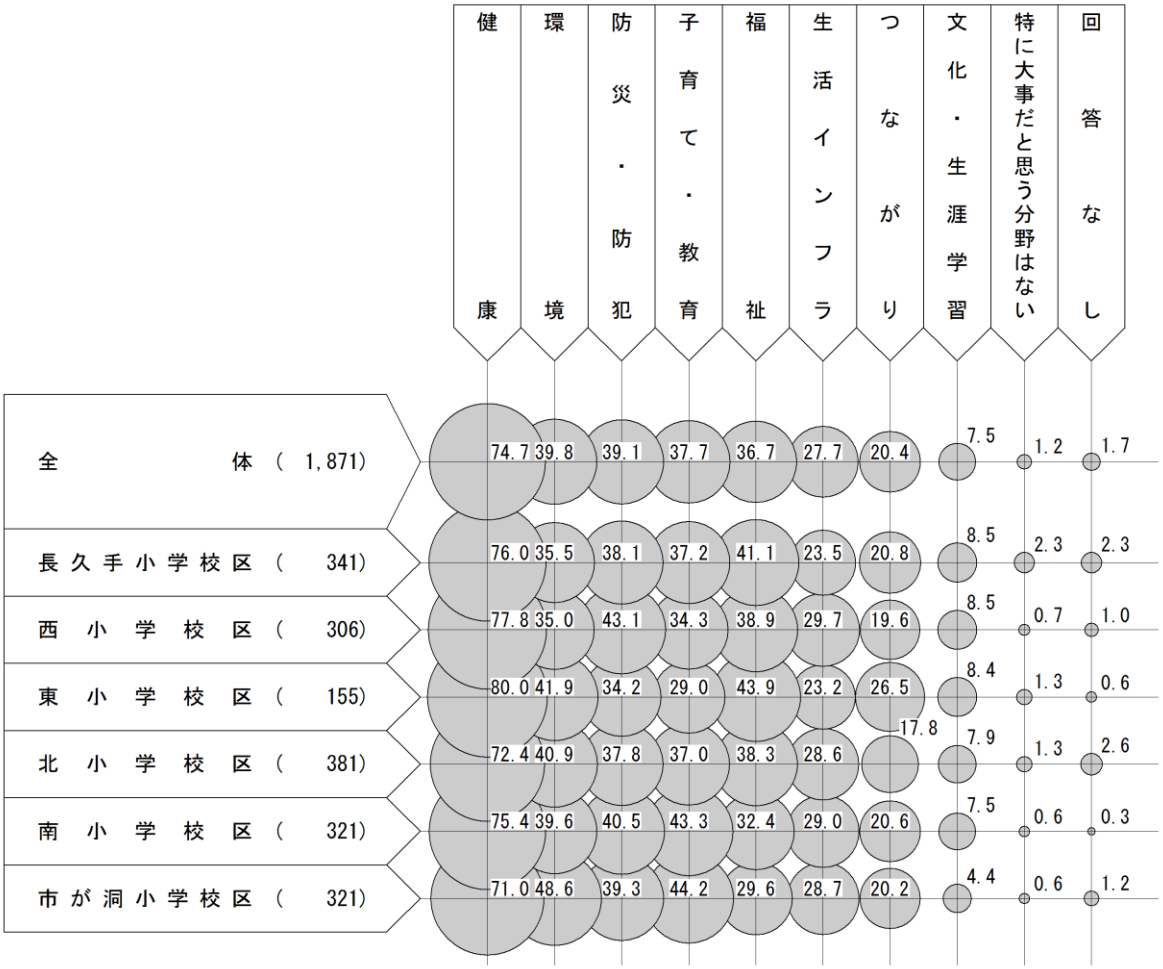
○小学校区別でみると、「環境」については、新興住宅が多い市が洞小学校区（48.6%）で大事だと思う割合が若干多くなっています。

○「子育て・教育」については、市が洞小学校区（44.2%）と南小学校区（43.3%）で若干多い一方で、東小学校区（29.0%）で全体と比べて若干少なくなっています。

○「福祉」については、市内では高齢化率の高い東小学校区（43.9%）で全体と比べて多くなっている一方で、人口構成の若い市が洞小学校区では若干少なくなっています。

○「つながり」については、東小学校区（26.5%）で若干多くなっていますが、他の小学校区は20%前後にとどまっています。（図2-2-2）。

図2-2-2　小学校区別「大事だと思う分野」



調査隊

○「つながり」や「文化・生涯学習」の分野は、心の豊かさを保つ大事な要素だと思うが、実際はそう思う人の割合が少ない状況であるのは意外でした。

（3）生活の満足度（問3）

問3　あなたは、次の（1）から（11）までの項目についてどの程度満足していますか。（1）から（11）までの項目それぞれについて、１～５の中から１つずつ選んでください。

※(2)、(8)、(10)については、あなたの就業状況や就業形態によって回答が難しい場合は、「6. 該当しない」に○をつけてください。

要点

いずれの項目においても評点が3.00以上あり、特に「家族関係」(3.87)や「友人関係」(3.83)、「健康状況」（3.66）の満足度が高い一方で、「地域コミュニティや近所との関係」（3.24）や「家計の状況」(3.34)、「仕事と生活とのバランス」（3.35）などの満足度はこれらの項目に比べて低くなっています。

※（　）内の数字は、前述（P.3）の算出方法による評点（平均点）です。評点が3.00は「どちらともいえない」という状態を示すものです。

全体

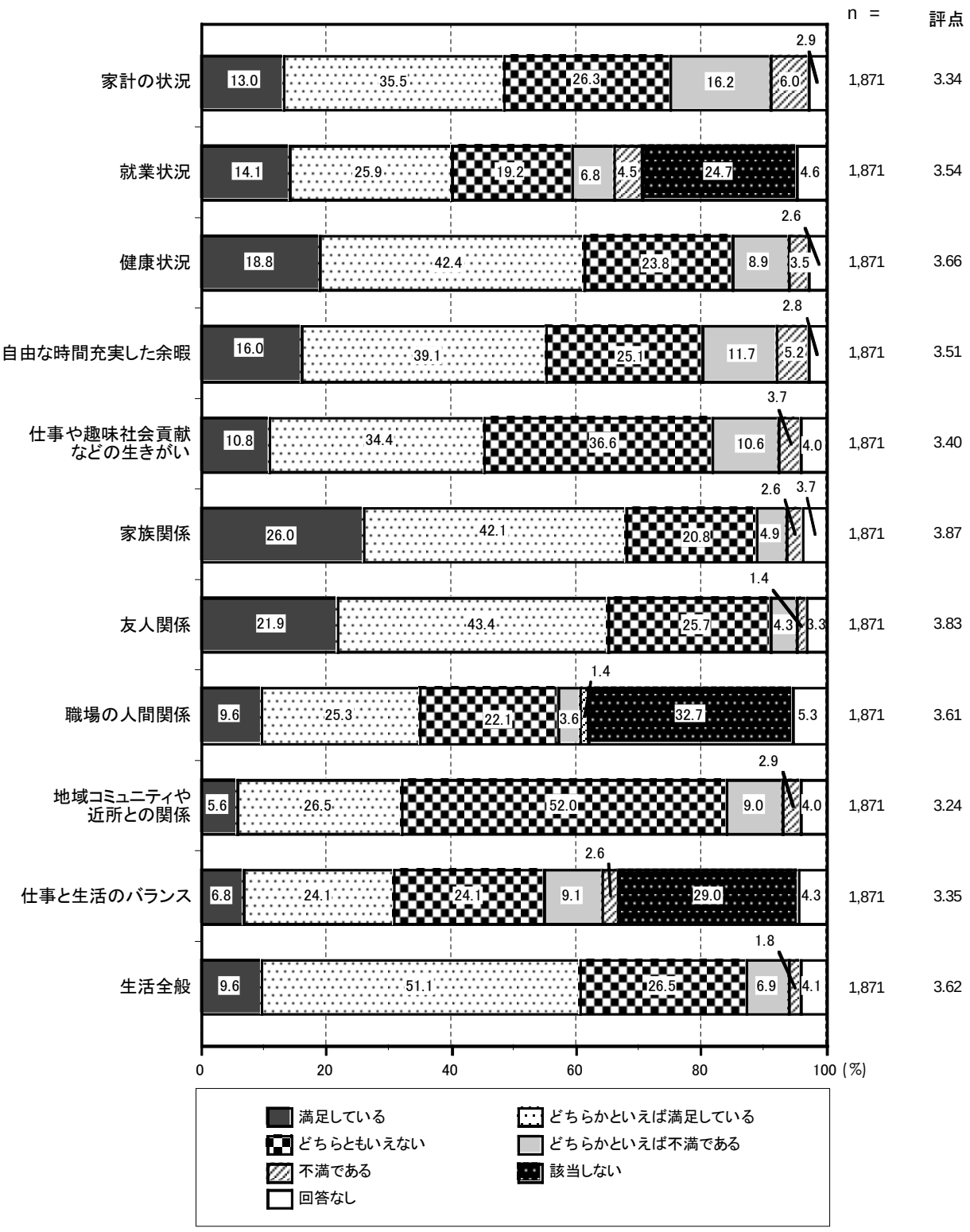
○11項目にわたる生活の満足度についてたずねたところ、最後の項目の「生活全般」については、「満足している」が 9.6%、「どちらかといえば満足している」が 51.1%となっており、これらを合わせた満足と感じている回答者の割合（以下“満足という評価”）は60.7%を占めています。

○一方、「どちらかといえば不満である」が 6.9%、「不満である」が 1.8%となっており、これらを合わせた不満と感じている回答者の割合は8.7%にとどまっており、その結果、“満足という評価”をした回答者と“不満という評価”とした回答者が同数である場合の評点である 3.00 を大きく上回る3.62になっています。

○各項目の満足度をみると、“満足という評価”の割合が最も多いのは「家族関係」(68.1%、3.87)で、次いで、「友人関係」(65.3%、3.83)、「健康状況」(61.2%、3.66）と続いています。

○評点については、いずれの項目についても3.00を超えているものの、「地域コミュニティや近所との関係」(3.24）をはじめ、「家計の状況」(3.34）や「仕事と生活とのバランス」(3.35)、「仕事や趣味、社会貢献などの生きがい」(3.40）の満足度については、「家族関係」や「友人関係」などと比べると低くなっています（図2-3-1)。

図 2-3-1　生活の満足度


n =
評点
家計の状況 13.0 35.5 26.3 16.2 6.0 2.9 1,871 3.34
就業状況 14.1 25.9 19.2 6.8 4.5 24.7 4.6 1,871 3.54
健康状況 18.8 42.4 23.8 8.9 3.5 2.6 1,871 3.66
自由な時間充実した余暇 16.0 39.1 25.1 11.7 5.2 2.8 1,871 3.51
仕事や趣味社会貢献などの生きがい 10.8 34.4 36.6 10.6 3.7 4.0 1,871 3.40
家族関係 26.0 42.1 20.8 4.9 2.6 3.7 1,871 3.87
友人関係 21.9 43.4 25.7 4.3 1.4 3.3 1,871 3.83
職場の人間関係 9.6 25.3 22.1 3.6 1.4 32.7 5.3 1,871 3.61
地域コミュニティや近所との関係 5.6 26.5 52.0 9.0 2.9 4.0 1,871 3.24
仕事と生活のバランス 6.8 24.1 24.1 9.1 2.6 29.0 4.3 1,871 3.35
生活全般 9.6 51.1 26.5 6.9 1.8 4.1 1,871 3.62
0 20 40 60 80 100 (%)
満足している
どちらかといえば満足している
どちらともいえない
どちらかといえば不満である
不満である
該当しない
回答なし

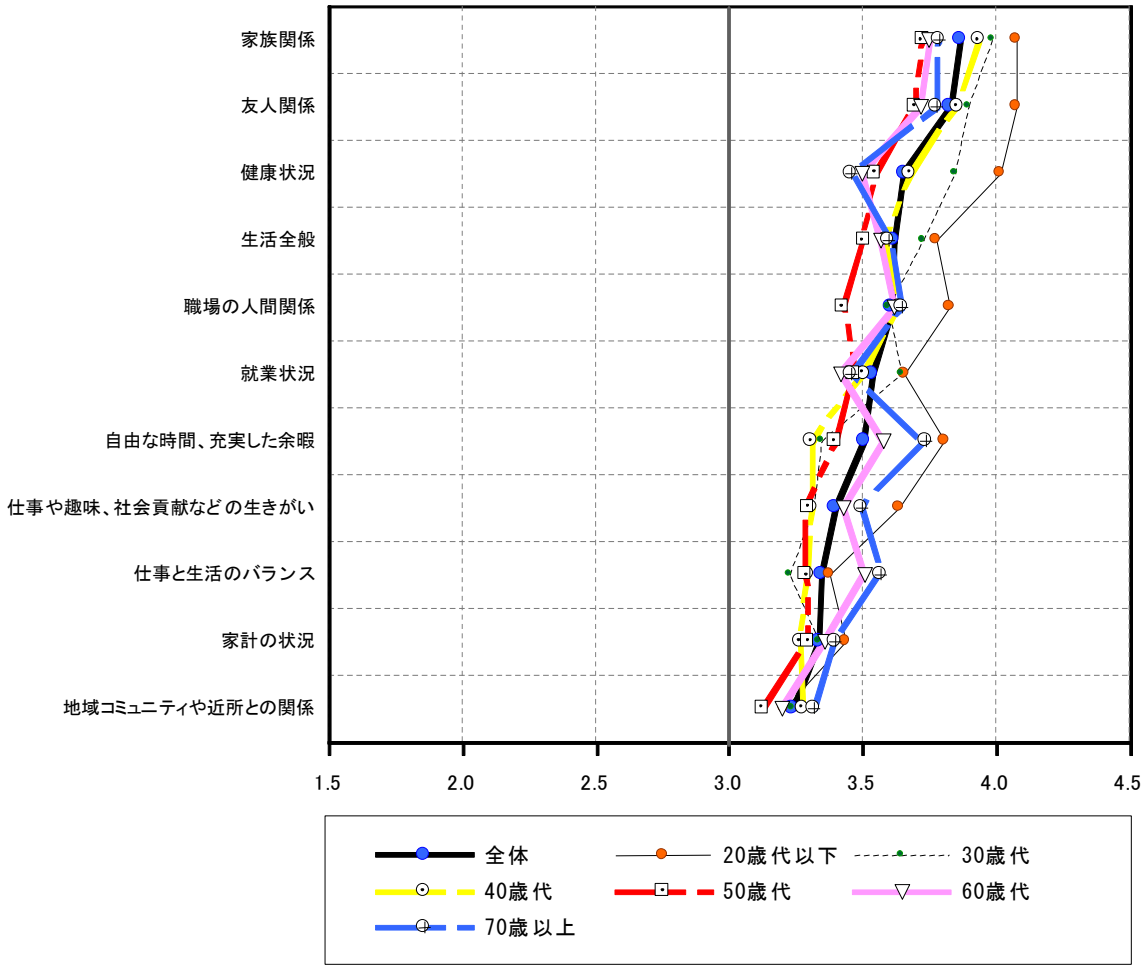
年齢別

○年齢別にみると、「地域コミュニティや近所との関係」と「仕事と生活とのバランス」を除く残りの９項目については、いずれも 20 歳代以下における満足度が最も高くなっていることが特徴としてみられます。

○一方、「職場の人間関係」をはじめ、「生活全般」や「家族関係」などの６項目については、いずれも 50 歳代における満足度が最も低くなっています。

○「健康状況」については、年齢が若い回答者ほど満足度が高くなる傾向がみられます（図 2-3-2）。

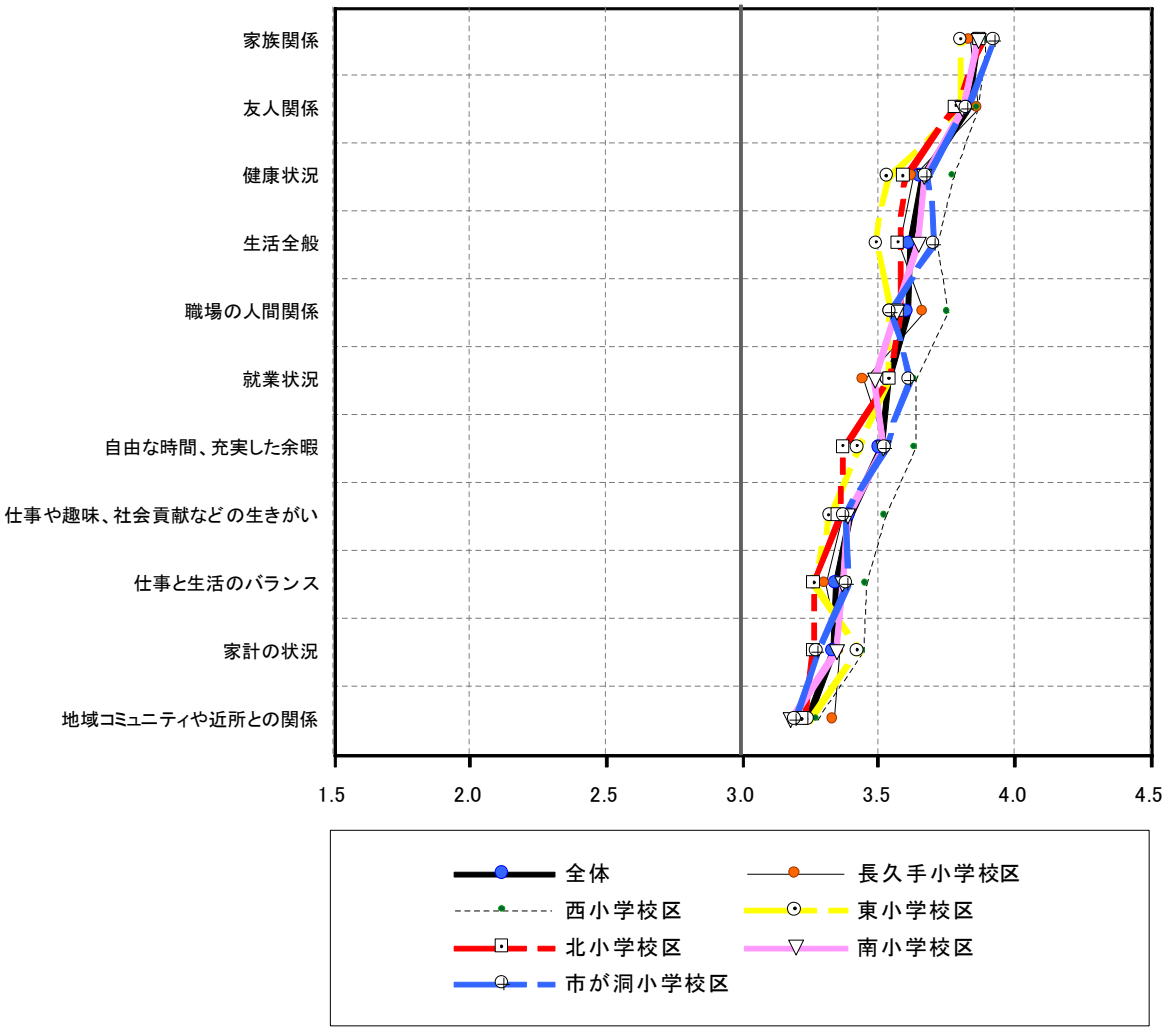
図 2-3-2　年齢別「生活の満足度（評点）」



小学校区別

○小学校区別にみると、11 項目中、「家族関係」と「地域コミュニティや近所との関係」の２項目を除く９項目が、西小学校区における満足度が最も高くなっていますが、全体的に大きな差はみられません（図 2-3-3）。

図 2-3-3　小学校区別「生活の満足度（評点）」



第３章　住み心地について

（１）住みよいまちだと思うか（問４）

問４　長久手を住みよいまちだと思いますか。次の中から選んでください。【○は１つ】

要点

長久手市に対して住みやすさを感じている回答者は９割近くを占めています。

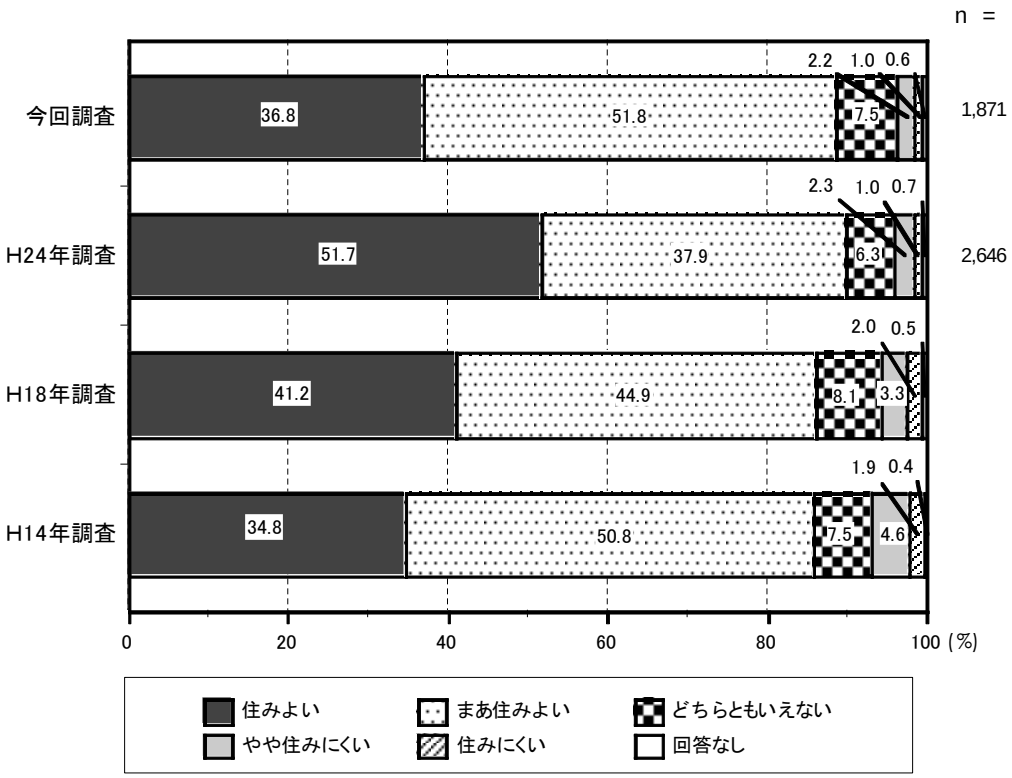
全体

○住みやすさについてたずねたところ、「住みよい」が 36.8%、「まあ住みよい」が 51.8%となっており、これらを合わせると、長久手市に対して住みやすさを感じている回答者は 88.6%となります。

○「やや住みにくい」（2.2%）と「住みにくい」（1.0%）については、合わせても 3.2%となっています。

○過去に実施した市民意識調査結果と比較すると、 H24 年調査より「住みよい」と回答した割合は 14.9 ポイント少なくなっていますが、「住みよい」「まあ住みよい」と合わせた割合は、いずれの調査と比較しても大きな変化はありません。（図 3-1-1）。

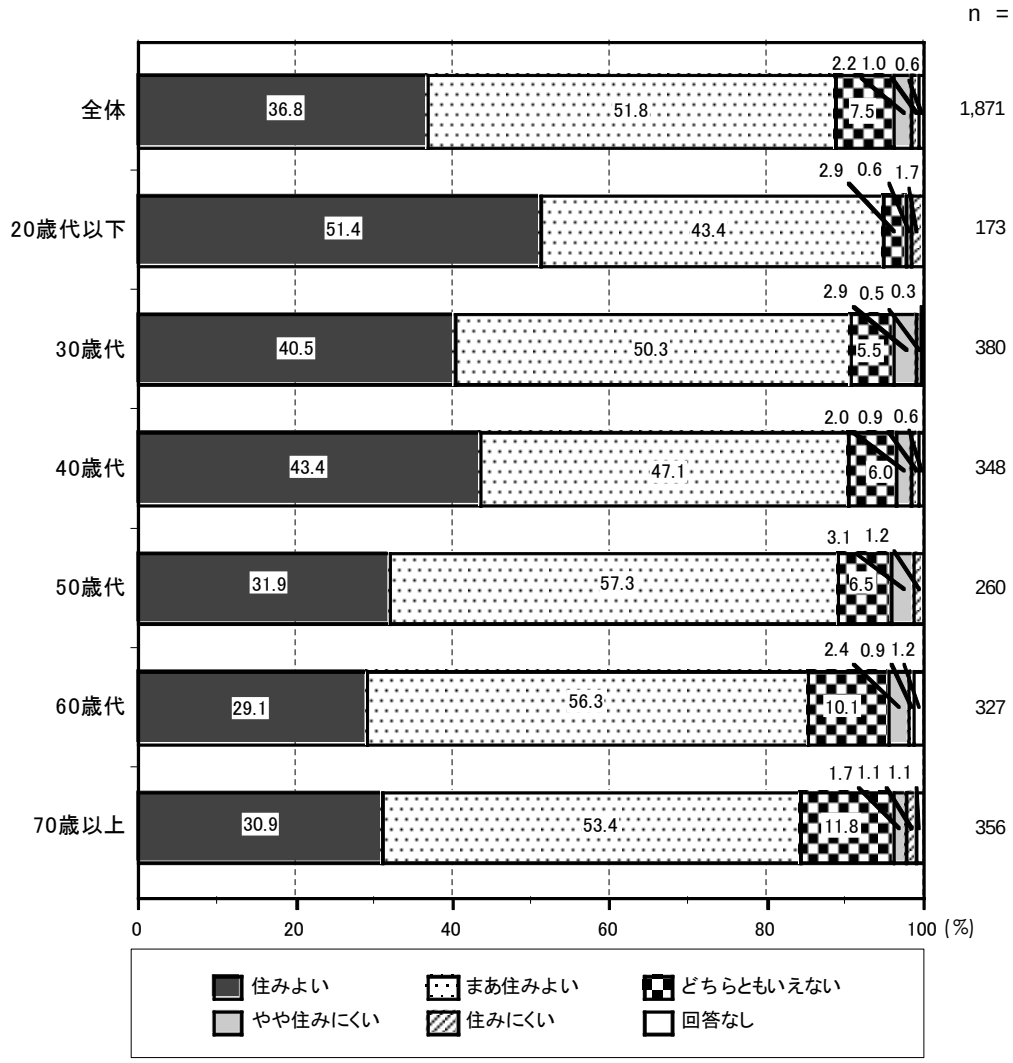
図 3-1-1　住みよいまちだと思うか（前回比較）



年齢別

○年齢別にみると、「住みよい」は、20 歳代以下（51.4%）で多くなっており、40 歳代、30 歳代でも若干多くなっています。一方、60 歳代や 70 歳以上の高齢者層で若干少なくなっています。このように、どちらかといえば、高齢者層に比べて若い世代の方が住みやすさを感じている傾向があります（図 3-1-2）。

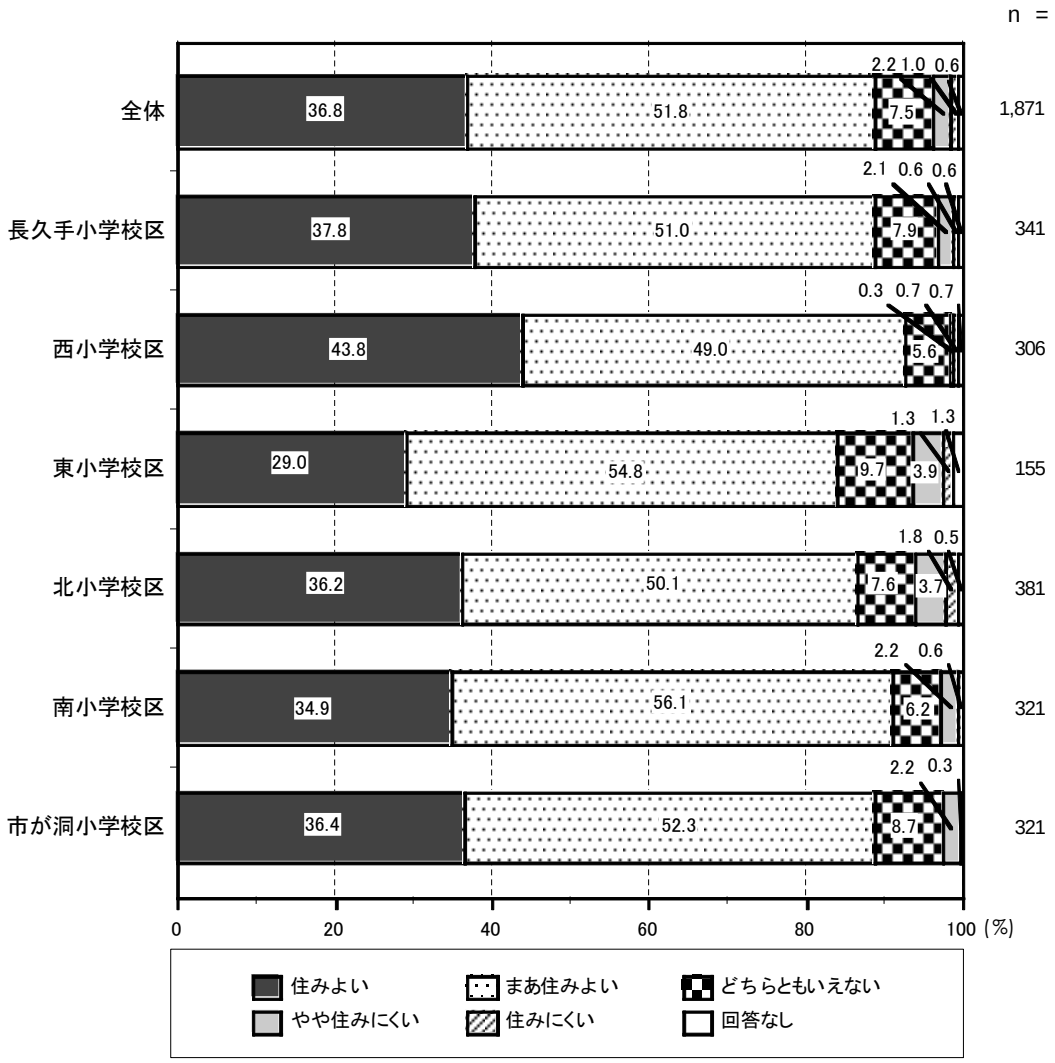
図 3-1-2　年齢別「住みよいまちだと思うか」



小学校区別

○小学校区別にみると、住みやすさを感じている回答者は、すべての小学校区で８割を超えていますが、東小学校区では、「住みよい」の割合が 29.0%と全体に比べて若干少なくなっています。一方、西小学校区（43.8%）では、全体に比べて若干多くなっています（図 3-1-3）。

図 3-1-3　小学校区別「住みよいまちだと思うか」



（2）愛着を感じているか（問５）

問５　長久手に愛着を感じていますか。次の中から選んでください。【○は１つ】

要点

８割近くの回答者が長久手市に愛着を感じています。

全体

○愛着の程度についてたずねたところ、「愛着を感じている」が 33.0%、「まあ愛着を感じている」が 46.8%となっており、これらを合わせると 79.8%になります。

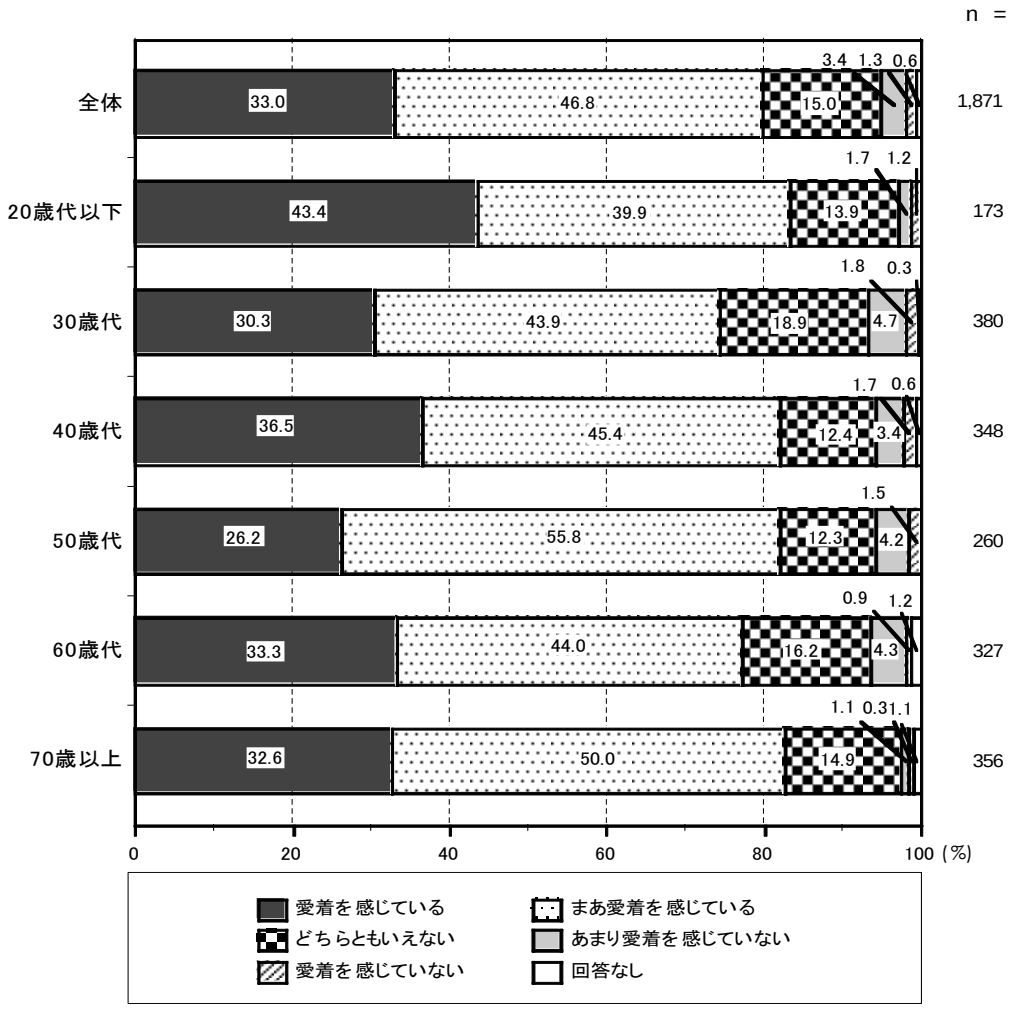
○「あまり愛着を感じていない」（3.4%）と「愛着を感じていない」（1.3%）については、合わせても 4.7%と、「愛着を感じている」、「まあ愛着を感じている」回答者の割合と比べると極めて少ない結果になっています（図 3-2-1）。

年齢別

○年齢別にみると、「愛着を感じている」は、20 歳代以下（43.4%）で全体（33.0%）と比べて 10 ポイント以上多くなっている一方で、50 歳代（26.2%）では全体に比べて若干少なくなっています。

○また、30 歳代では、「愛着を感じている」（30.3%）と「まあ愛着を感じている」（43.9%）を合わせた割合が 74.2%と、全体に比べて若干少なくなっています（図 3-2-1）。

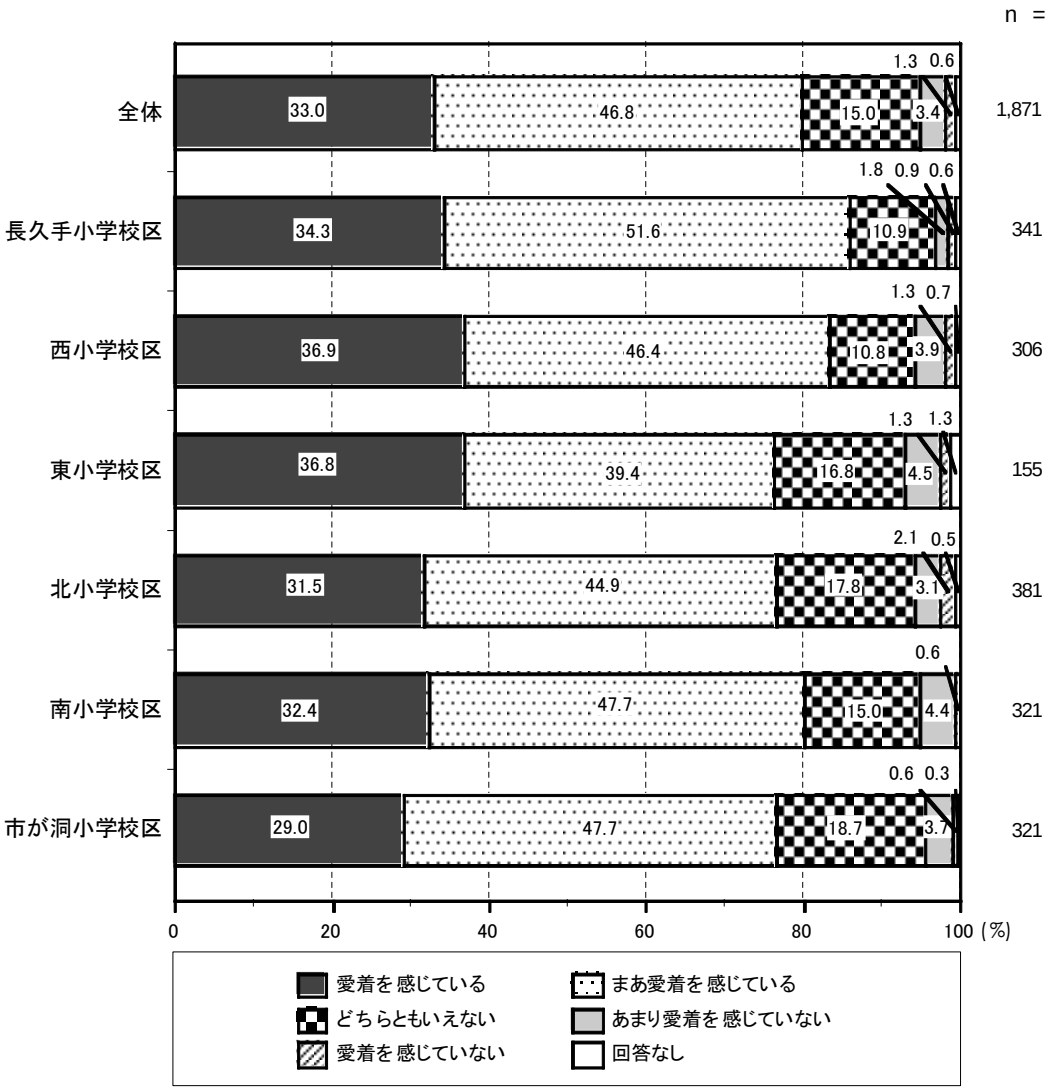
図 3-2-1　年齢別「愛着を感じているか」



小学校区別

○小学校区別にみると、長久手小学校区で、「愛着を感じている」（34.3%）と「まあ愛着を感じている」（51.6%）を合わせた割合が 85.9%と、全体に比べて若干多くなっていますが、全般的にみて小学校区による大きな差はみられません（図 3-2-2）。

図 3-2-2　小学校区別「愛着を感じているか」



（3）今後も住み続けたいか（問６）

問６　今後も長久手に住み続けたいですか。次の中から選んでください。【○は１つ】

要点

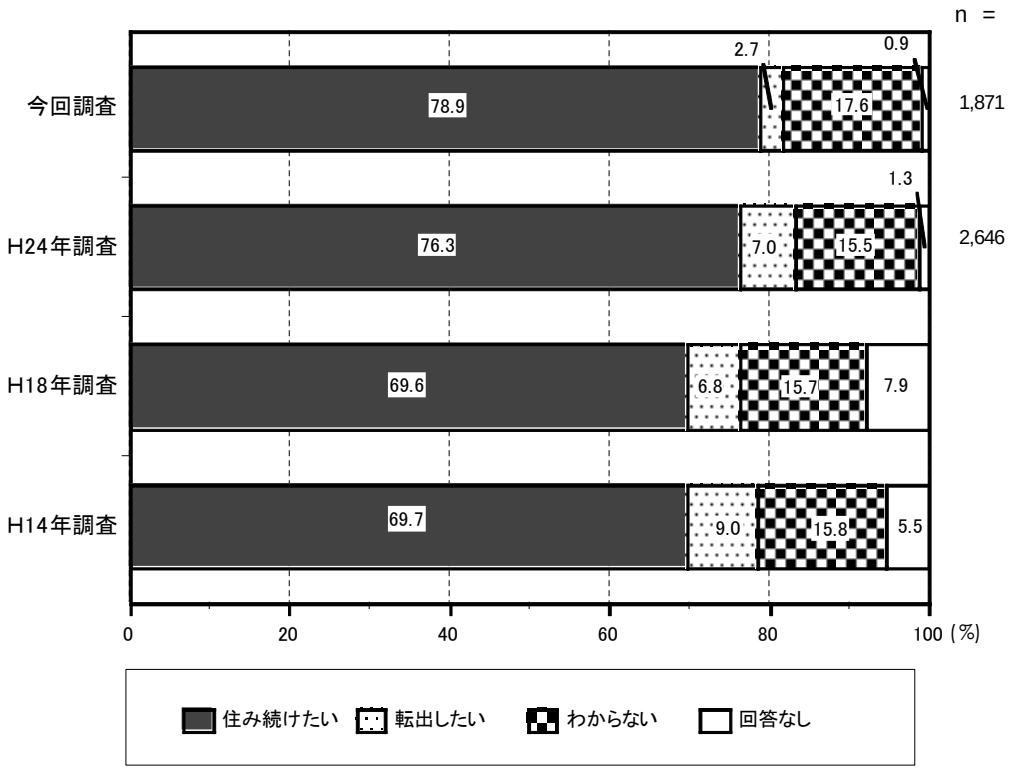
８割近くの回答者が長久手市における定住意向を示しており、これまで実施した調査の中で最も多くなっています。

全体

○今後の定住意向について尋ねたところ、「住み続けたい」が 78.9%を占めるのに比べて、「転出したい」は 2.7%と極めて少ない結果になっています。

○過去に実施した調査結果と比較すると、「住み続けたい」と回答した割合は、これまでの調査の中で最も多く、「転出したい」と回答した割合は、これまでの調査の中で最も少なくなっています（図 3-3-1）。

図 3-3-1　今後も住み続けたいか（前回比較）

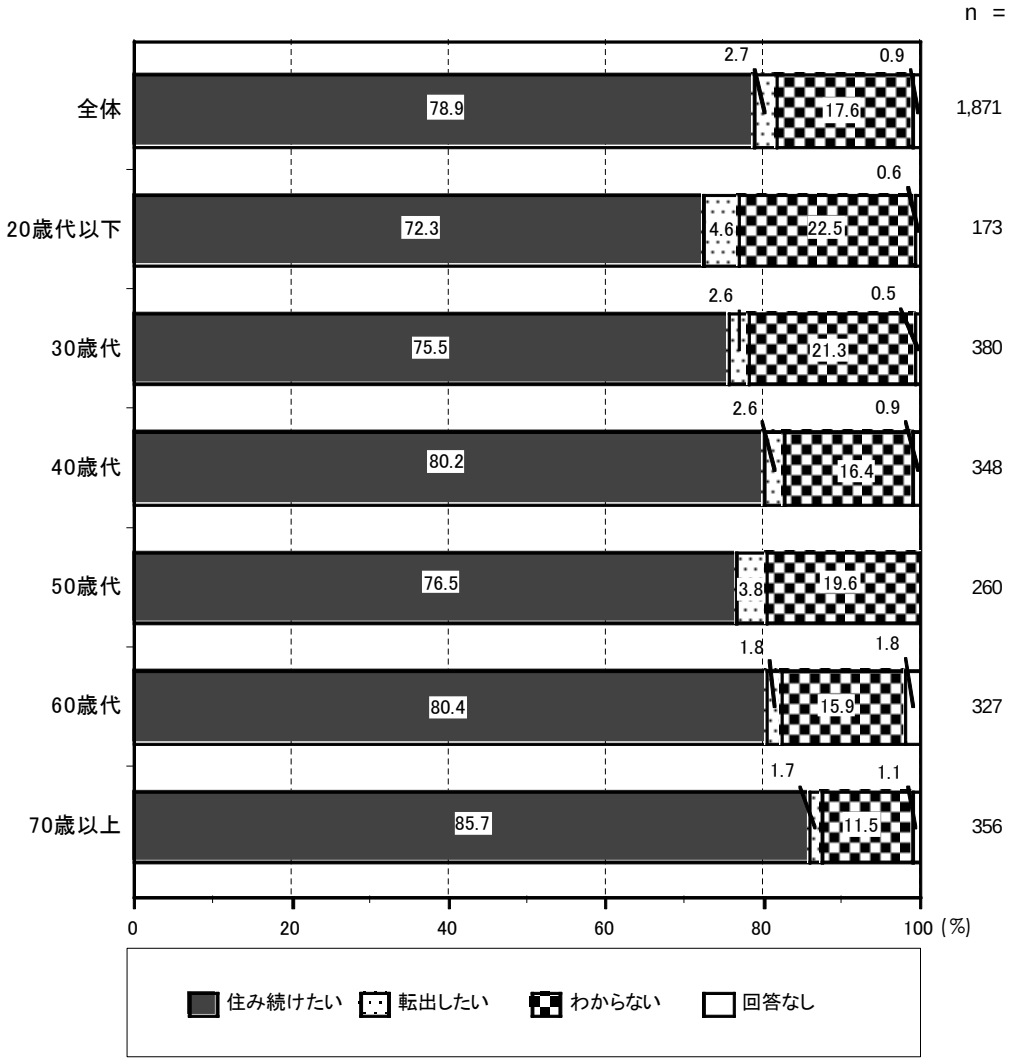


年齢別

○年齢別にみると、「住み続けたい」と回答した割合は、20 歳代以下で 72.3%と全体に比べて若干少ない一方で、70 歳代以上（85.7%）で若干多くなっています。

○また、どちらかといえば年齢が高いほど概ね定住意向が高まっていく傾向がみられます（図 3-3-2）。

図 3-3-2　年齢別「今後も住み続けたいか」



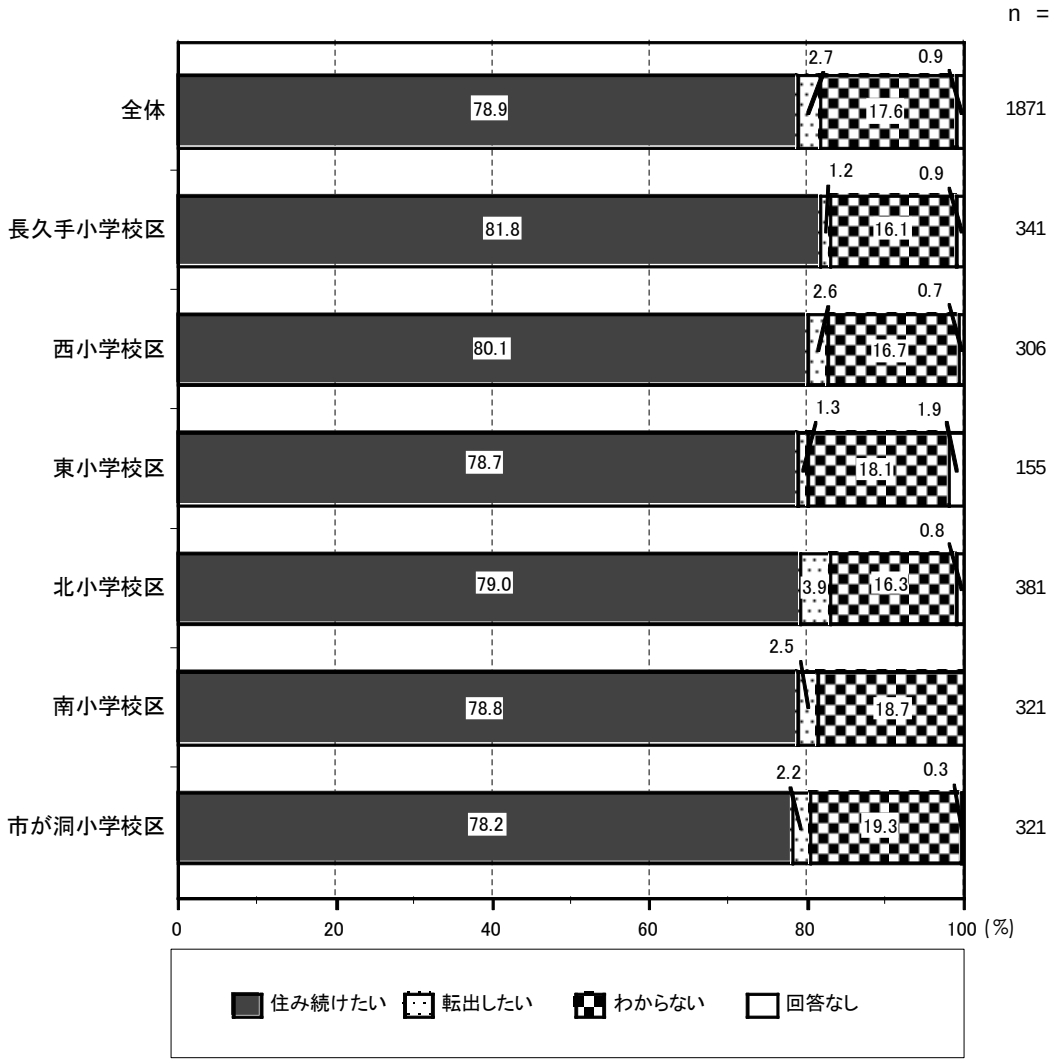
調査隊

○定住意向は、若い世代に比べて高齢者層が高くなっている。一方で、住みよさは、高齢者層に比べて若い世代が高くなっている（図 3-1-2、図 3-3-2）。

小学校区別

○小学校区の違いによる定住意向の差はほとんどみられません（図 3-3-3）。

図 3-3-3　小学校区別「今後も住み続けたいか」



（4）魅力的な点・魅力的でない点（問７）

問7　長久手には「魅力的な点」や「魅力的でない点」がありますか。【○はそれぞれ１つ】
また、それはどんなことですか。「1. ある」を選んだ方は、それぞれ３つまで記入してください。

要点

長久手の魅力的な点や魅力的でない点について、過半数の回答者が魅力的な点とそうでない点の両面を持ち合わせたまちであると回答していますが、魅力的な点が「ある」という回答の方が魅力的でない点が「ある」という回答を上回っています。

全体

○「魅力的な点」と「魅力的でない点」について、それぞれその有無をたずねたところ、魅力的な点が「ある」という回答（75.8%）と魅力的でない点が「ある」という回答（52.3%）は共に過半数を占めており、長久手市は、魅力的な点とそうでない点の両面を持ち合わせたまちであることを示す結果になっています。

○しかしながら、魅力的な点が「ある」という回答は、魅力的でない点が「ある」という回答を23.5ポイント上回っていることから、魅力的な点が多いまちとして捉えられています（図3-4-1）。

○「交通や買物等の利便性の高さ」といった生活インフラ分野や、「自然や緑が豊か」や「公園が多い」、「街並み景観がきれい」といった環境分野、「街と田舎・自然との共存やバランスの良さ」などが、長久手の主要な魅力的な点となっています（表3-4-1）。

○生活インフラ分野は、長久手の主要な魅力的な点となっている一方で、「交通の便が悪い」や「Nーバスやリニモなどの公共交通機関が不便」、「渋滞が多い」など、魅力的でない点としても数多くあげられています。また、「空き巣や車上荒らしの増加など治安がよくない」についても比較的多くの回答者から魅力的でない点として指摘されています（表3-4-2）。

図3-4-1　魅力的な点・魅力的でない点

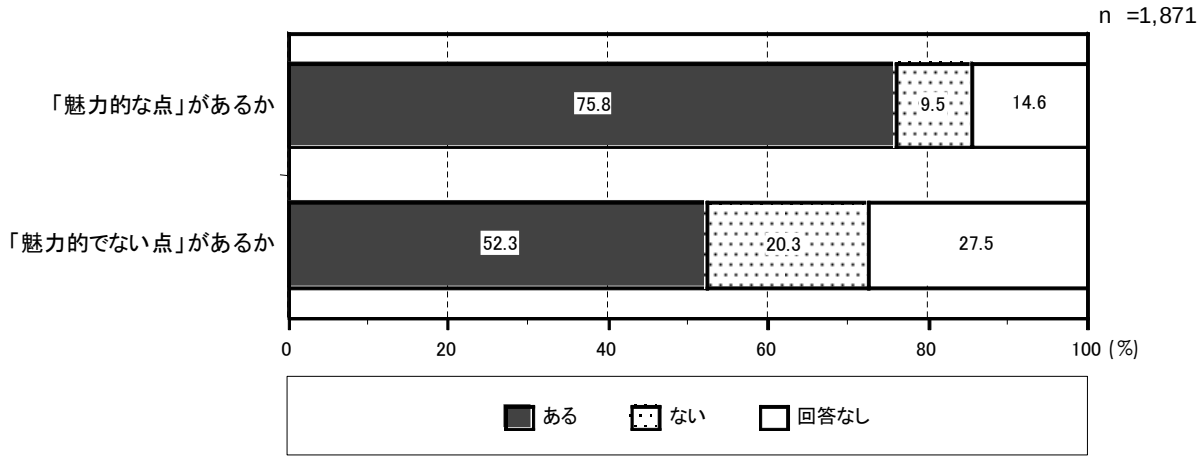


表 3-4-1　長久手の魅力的な点

分野	魅力的な点	意見数
健康（計：85 件）	愛知医大をはじめ医療機関が充実している	77
	健診等の保健が充実している	3
	子ども医療費助成制度が手厚い	5
子育て・教育（計：109 件）	子ども、若い人が多い	18
	子育てしやすい、育児・子育て支援が充実している	59
	子どもの遊び場・居場所が充実している	13
	小中学校など教育内容・環境などがよい	15
	その他、子育て、教育	4
環境（計：891 件）	自然が多い、豊か	261
	緑が多い、豊か	120
	空気がきれい	11
	モリコロパークなど公園が多い	140
	静かである、騒音がない	68
	田畑が残るなど田園環境が豊か	21
	街並み・景観がきれい	153
	環境・生活環境ががよい、公害がない、風紀がよい	98
	ごみ対策が進んでいる	15
	その他、環境に関すること	4
人や地域のつながり（計：41 件）	地域・人のつながりがよい	31
	地域行事や活動が充実	6
	その他、地域のつながり等	4
防災・防犯（計：46 件）	防災・防犯面で安全・安心なまち	46
福祉（計：48 件）	福祉が充実している、福祉に力を入れている	44
	その他、福祉	4
文化・生涯学習（計：149 件）	歴史がある、豊か	68
	文化・芸術活動が盛ん、力をいれている	18
	文化的なまち	16
	大学が多く、文化的	15
	文化施設等が充実している	31
	その他	1
生活インフラ（計：963 件）	地下鉄、リニモ、バスなどの公共交通が充実	98
	至便な道路交通や安全な歩道	81
	交通の便が良い、名古屋等へのアクセスの良さ	240
	生活の利便性の高さ	94
	住環境がよく、住みやすい	108
	公共施設等の施設が充実している	54
	商業・飲食施設が整い買い物が便利	211
	飲食店・おいしい飲食店が多い	22
	おしゃれで、新しいお店が多い	42
	新鮮な農産物が手に入る	9
	その他	4
市政運営等について（計：39 件）	市政や市役所、市長や市職員が良い	39
まちや人のイメージ（計：489 件）	明るいまち、明るい雰囲気	25
	新しく若いまち、活気のあるまち	96
	発展性のあるまち、開発が進むまち	63
	人が良い、やさしい、人情味がある	39
	愛着・なじみがある	8
	田舎、のんびりした・ゆったりとした雰囲気	53
	都市規模が適当	27

分野	魅力的な点	意見数
まちや人のイメージ（計：489 件）	人口バランスがよいまち	6
	街と田舎・自然との共存やバランスの良さ	143
	新しさと古さが程よいまち	8
	オシャレなまちのイメージ	11
	生活水準の高さや雰囲気	5
	その他、まちのイメージ	5
その他（計：12 件）	その他	12
合　計		2,872

表 3-4-2　長久手の魅力的でない点

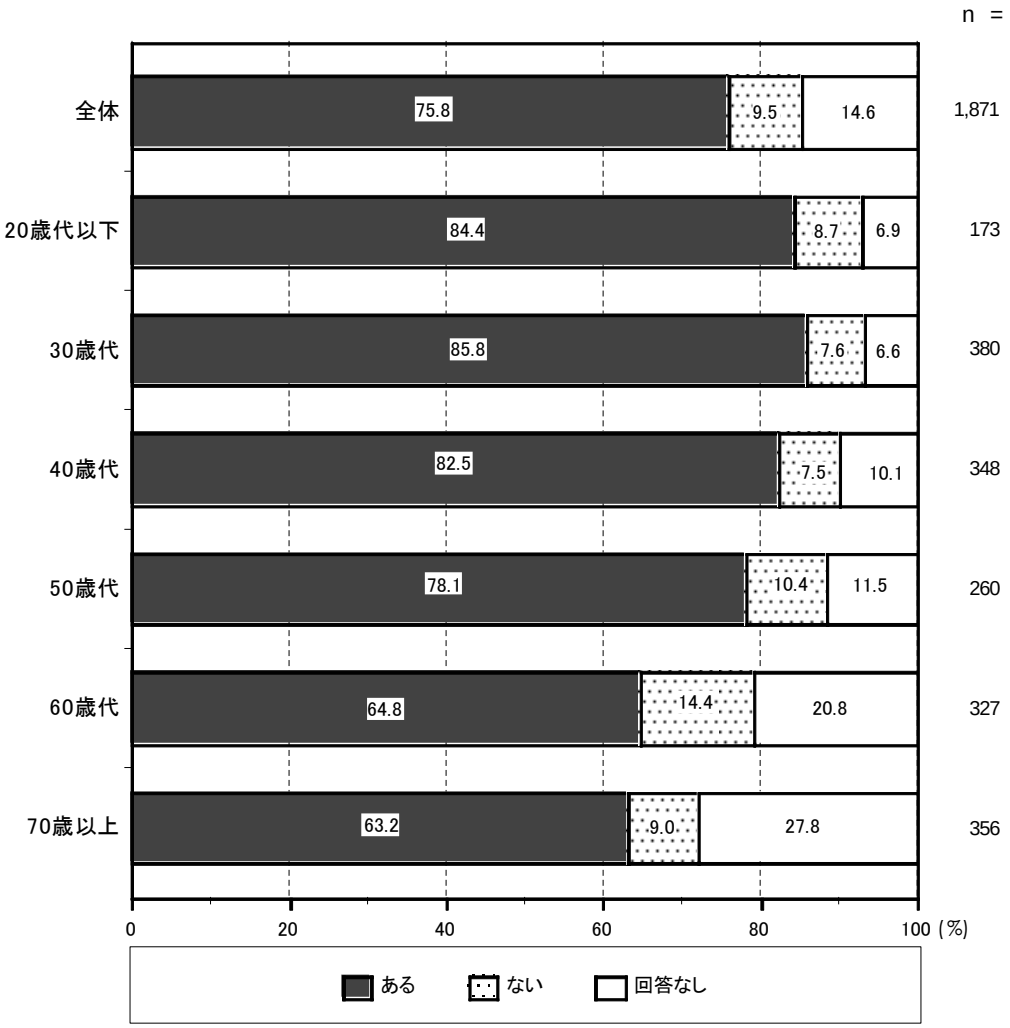
分野	魅力でない点	意見数
健康（計：25 件）	医療機関、診療科目が不足	17
	健診等の保健が充実していない	7
	その他	1
子育て・教育（計：138 件）	子育て支援サービスや施設、情報が十分でない	26
	幼稚園・保育園が少ない、十分でない	47
	子どもの遊び場・居場所が不十分である	8
	学童保育が少なくトワイライトがない	17
	学校教育内容や教育水準がよくない	13
	学校教育施設の数や内容、配置がよくない	27
環境（計：183 件）	自然が減少している	29
	緑や田畑が減少している	25
	公園が少ない、施設や管理等が不十分である	22
	人、車両等の騒音がうるさい	15
	街並み・景観がよくない	15
	環境衛生、環境美化対策が不十分である	17
	ごみ対策が十分でない	47
	大気・水質汚染や悪臭などがある	11
	その他、環境について	2
人や地域のつながり（計：83 件）	近所との付き合いが希薄	23
	旧態依然の体質、閉鎖的なところが残っている	56
	コミュニティ施設が少ない	4
防災・防犯（計：138 件）	防災対策が不十分	3
	防災・防犯意識が低い	3
	防犯対策が不十分	34
	空き巣や車上荒らしの増加など治安がよくない	73
	交通事故が多い	7
	警察署がない、交番が少ない	18
福祉（計：36 件）	老後の不安や高齢者福祉の不十分さ等	10
	公共交通機関の敬老パスがない	6
	障がい者(児) 福祉が不十分	5
	福祉行政が弱い	6
	高齢者福祉に偏っている	5
	福祉に偏りすぎ	3
	その他、福祉	1
文化・生涯学習（計：82 件）	文化・学習活動やイベント等の文化面が弱い、不十分	17
	文化施設や生涯学習施設等が不十分	8
	図書館が充実していない	17
	歴史資源や文化財が生かされていない	8
	スポーツ施設が少ない、不十分、老朽化が進んでいる	32

分野	魅力でない点	意見数
生活インフラ （計：872 件）	名古屋や周辺都市へのアクセスが悪い	14
	交通の便が悪い	140
	N-バスやリニモなどの公共交通機関が不便	112
	リニモなどの公共交通機関の料金が高い	24
	公共交通機関の運営が悪い	10
	車がないと不便	33
	交通量が多い	27
	渋滞が多い	132
	狭い、坂が多いなど道路事情が悪い	90
	駐車場・駐輪場が少ない、路上駐車が多い	18
	商業・飲食施設が少ない、不便、魅力がない	58
	商業施設が増えすぎている	8
	宿泊施設がない	2
	映画館がない、娯楽施設や娯楽関連ショップが少ない	27
	金融機関・郵便局が少ない	21
	都市整備や住宅開発がうまくいっていない	47
	急激な都市化、住宅開発、人口増が進んでいる	32
	都市開発が遅い、土地等の有効活用が不十分	13
	地価・家賃が高い	16
	企業、就業場所が少ない	18
	公共施設が少ない、利用しにくい	18
	都市インフラ整備が不十分	9
	その他の生活インフラ	3
市政運営等について （計：88 件）	税金や公共料金が高い	40
	税金のむだ使いなど税金の使い方が悪い	5
	行政サービスがよくない	11
	市政がわかりにくい、市民の声が反映されない	8
	市職員の応対等が悪い	10
	その他、市政運営等について	14
まちや人のイメージ （計：42 件）	市民のモラルやマナーの悪さや市民気質	28
	活気のなさや田舎臭さなどの都市イメージ	8
	観光資源がないなどまちの魅力がない	6
その他 （計：24 件）	人口、年齢構成のバランス	15
	地名が読みにくい、長い	4
	その他	5
合　計		1,711

年齢別

○「魅力的な点」について年齢別にみると、魅力的な点が「ある」という回答は、30 歳代（85.8%）で最も多く、それ以降年齢が上がるほど少なくなる傾向がみられます。そして、60 歳代になると64.8%と少なくなり、70 歳以上では63.2%になりますが、その分、60 歳代や70 歳代以上の年齢層では、「回答なし」の割合が多くなっています（図 3-4-2）。

図 3-4-2　年齢別「魅力的な点あり」

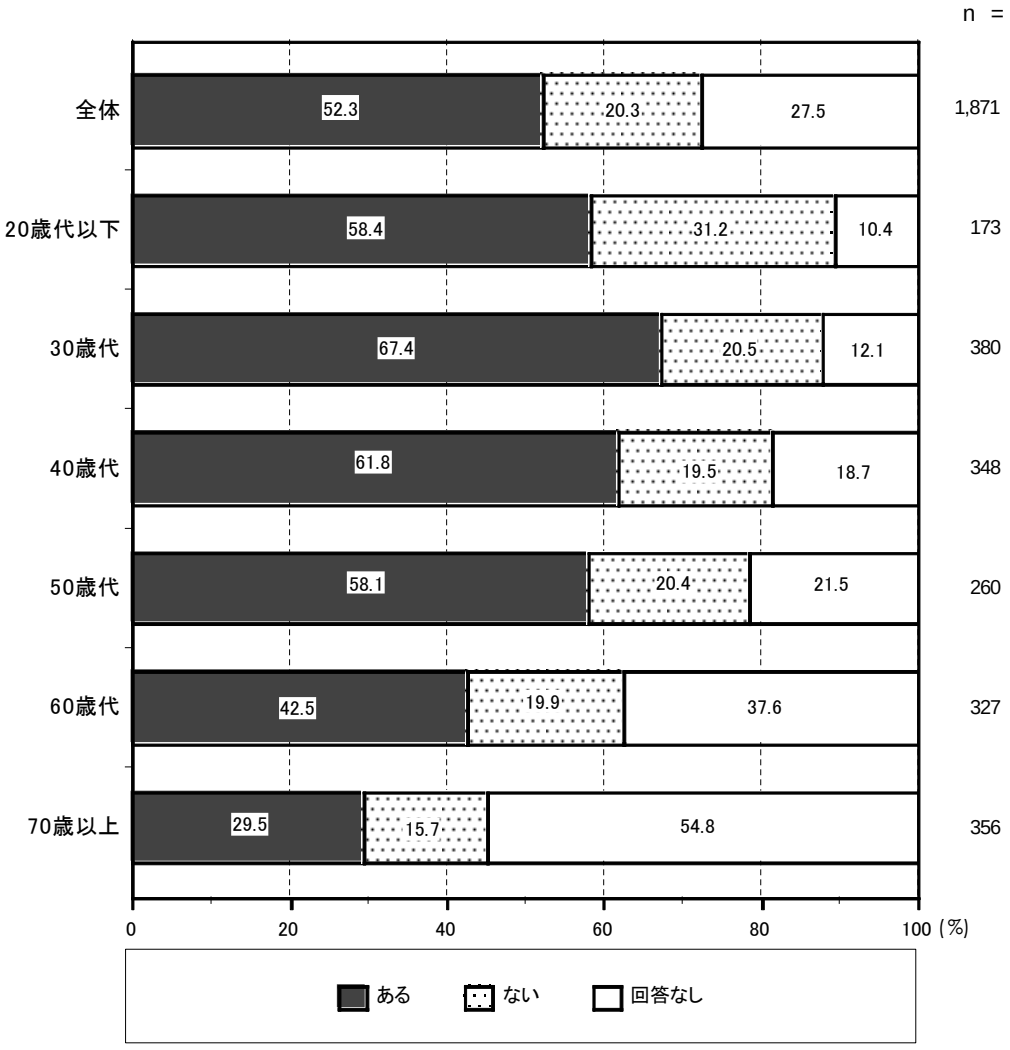


年齢別

○「魅力的でない点」についても同様に、魅力的でない点が「ある」という回答は30歳代（67.4%）で最も多く、それ以降年齢が上がるほど少なくなる傾向がみられます。そして、60 歳代になると42.5%と大幅に少なくなり、70歳以上では29.5%になりますが、その分、60歳代や70歳代以上の年齢層では、「回答なし」の割合が多くなっています。

○また、20 歳代以下において、魅力的でない点が「ない」という回答が 31.2%を占め、全体よりも10ポイント以上上回っていることが特徴としてみられます（図3-4-3）。

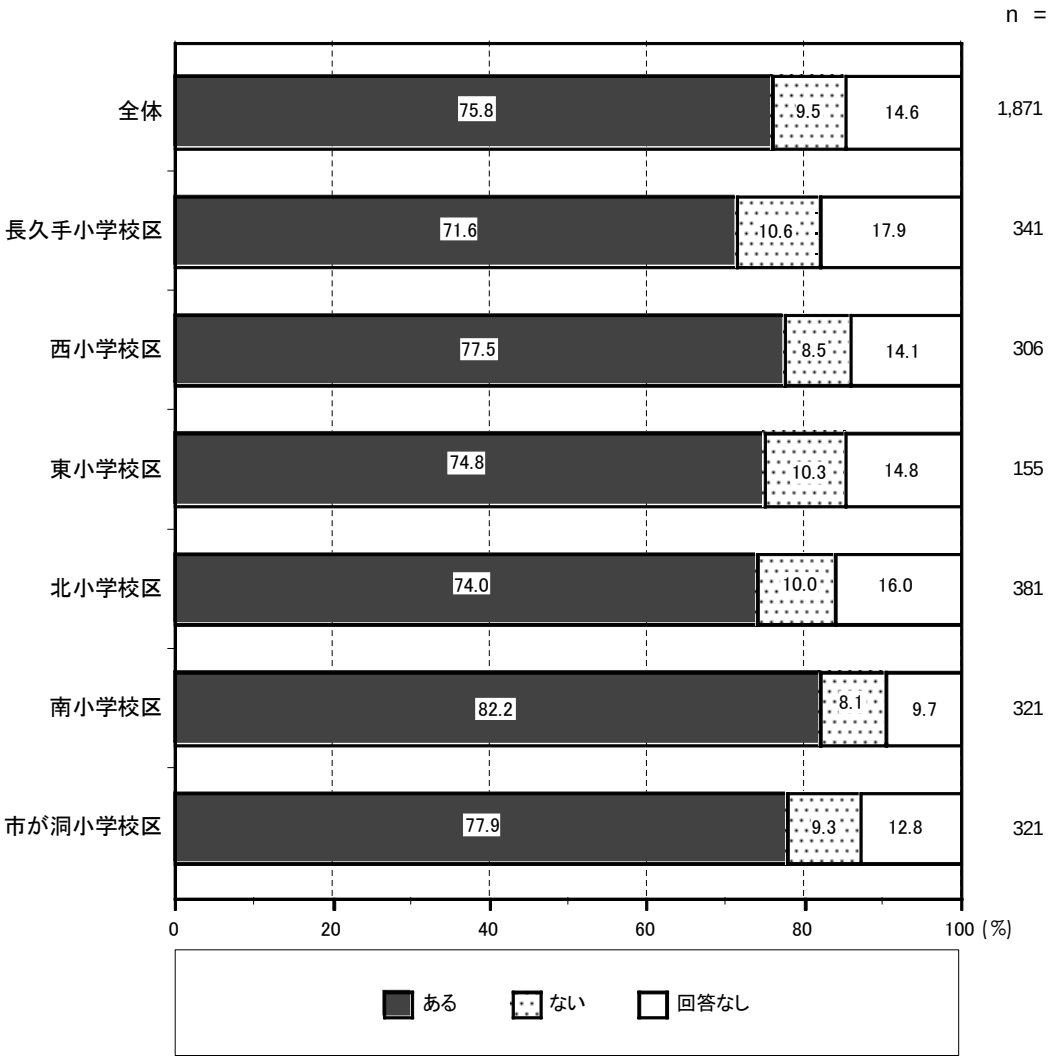
図3-4-3　年齢別「魅力的でない点あり」



小学校区別

○「魅力的な点」について小学校区別にみると、魅力的な点が「ある」という回答は、南小学校区（82.2%）で全体と比べて若干多くなっている以外は、小学校区の違いによる大きな差はみられません（図3-4-4）。

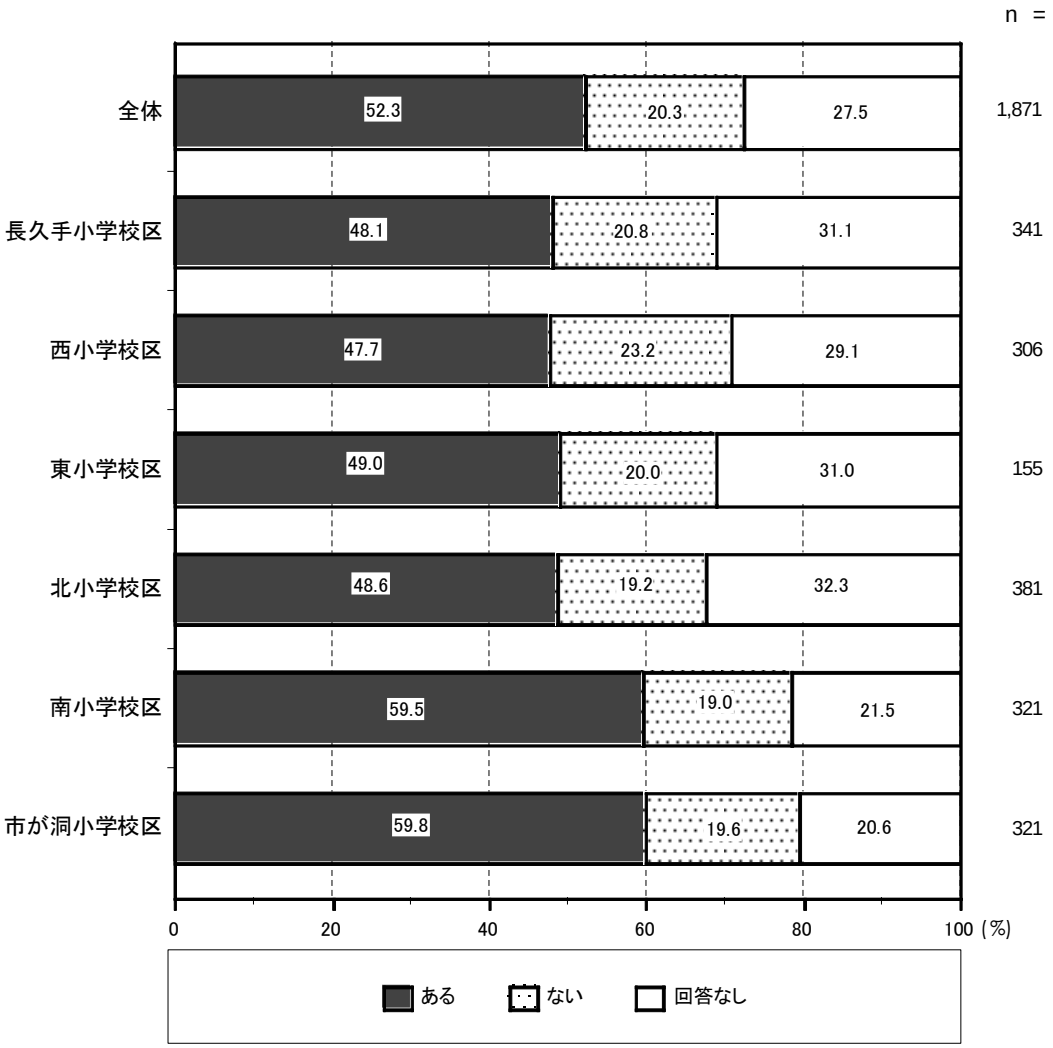
図3-4-4　小学校区別「魅力的な点あり」



小学校区別

○「魅力的でない点」について小学校区別にみると、魅力的でない点が「ある」という回答は南小学校区（59.5%）と市が洞小学校区（59.8%）で全体と比べて若干多くなっています（図3-4-5）。

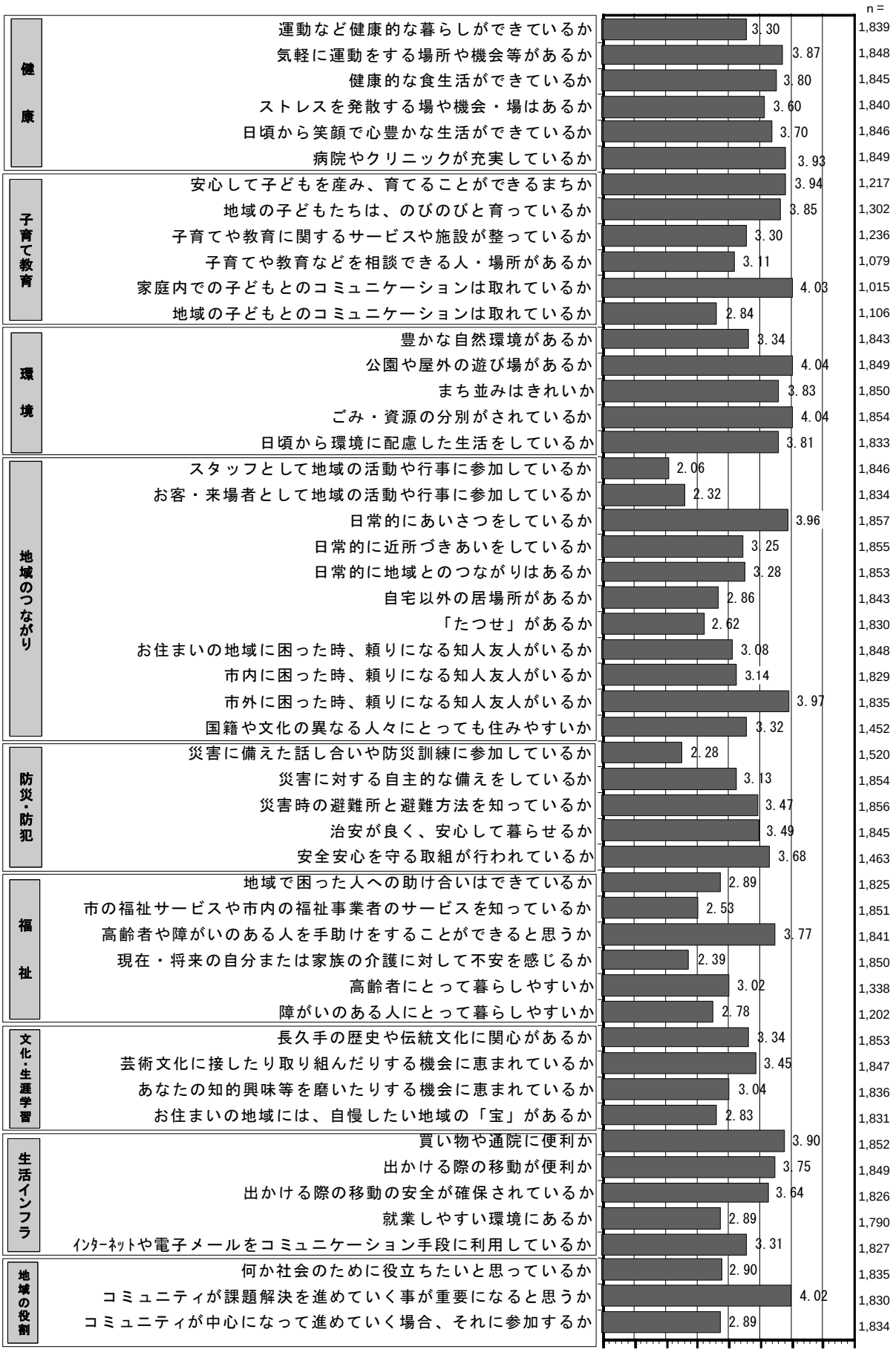
図3-4-5　小学校区別「魅力的でない点あり」



調査隊

○南小学校区では、魅力的な点が「ある」と回答した割合が多くなっていますが、同時に、魅力的でない点が「ある」と回答した割合も多くなっていることが特徴となっています。

第４章　暮らしやお住まいの地域（生活実感）について（評点一覧）



４－１　健康について（問８）

要点

「病院やクリニックが充実していると思うか」の評点が最も高く、他の項目の評点も比較的高い水準にある一方で、「健康的な暮らしができていると思うか」の評点が、他の項目に比べて目立って低くなっています。

「健康的な暮らしができていると思うか」については、若い世代の評点が低くなっている一方で、70 歳代や 60 歳代の評点が高くなっていることが特徴としてみられます。

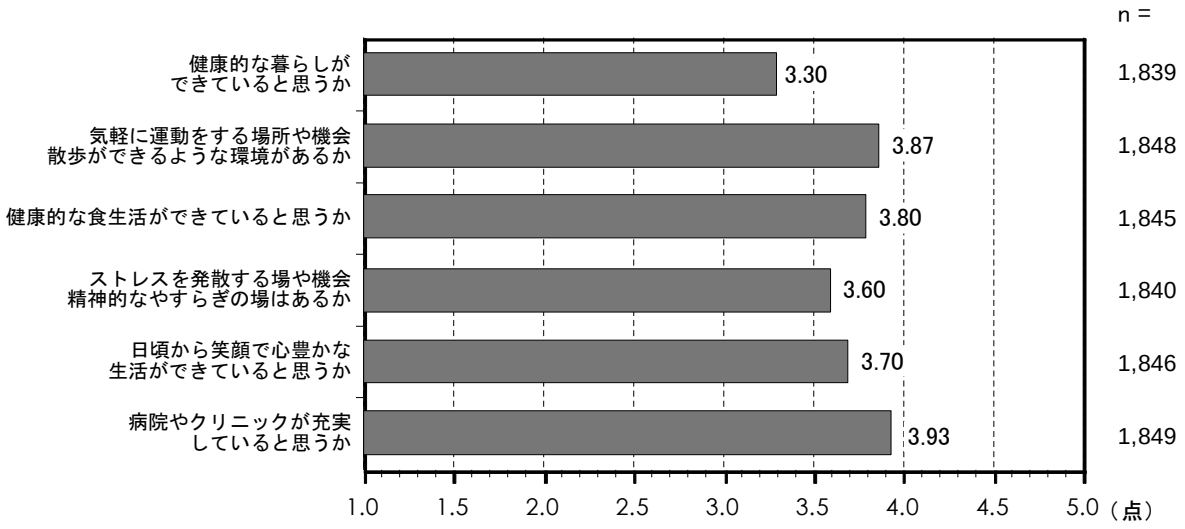
全体

○健康に関する６項目のうち、「病院やクリニックが充実していると思うか」の評点が 3.93 と最も高く、次いで「気軽に運動をする場所や機会、散歩ができるような環境があるか」（3.87）、「健康的な食生活ができていると思うか」（3.80）の順となっています。

○一方、「（体を動かしたり運動したりと）健康的な暮らしができていると思うか」は、3.30 と他の項目に比べて評点が低くなっています。

○このように、運動する場所や機会、環境が恵まれていると実感し、健康的な食生活ができているという回答者の割合に比べて、体を動かしたりするといった健康的な暮らしが実践できているという実感は低い水準にとどまっています（図 4-1-1）。

図 4-1-1　健康について（評点）

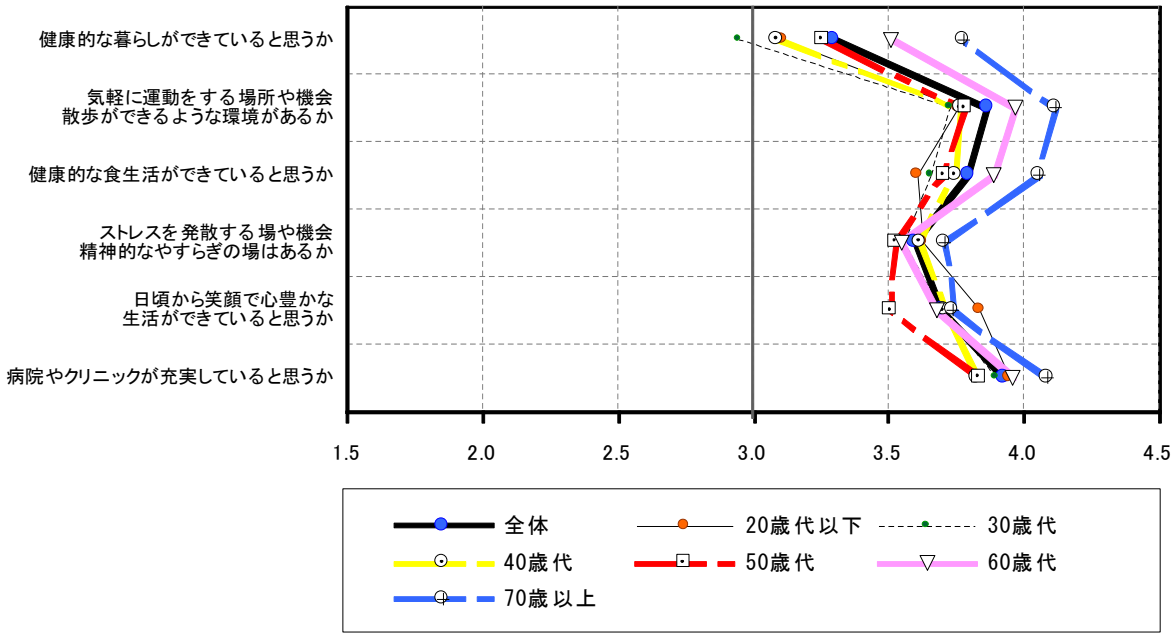


年齢別

○年齢別にみると、「(体を動かしたり運動したりと）健康的な暮らしができていると思うか」において年齢差がみられます。比較的時間に余裕のある年齢層の 70 歳代（3.78）や 60 歳代（3.51）の評点が高くなっており、若い年齢層に比べると運動を実践しているような状況がうかがえます。

○加えて、70 歳代では、「日頃から笑顔で心豊かな生活ができていると思うか」を除く残りの５項目の評点が他の年齢層と比べて最も高くなっており、健康的な暮らしや運動環境、医療施設の充実度などを実感している年齢層であるといえます（図 4-1-2）。

図 4-1-2　年齢別「健康について（評点）」



■調査隊からの提案■

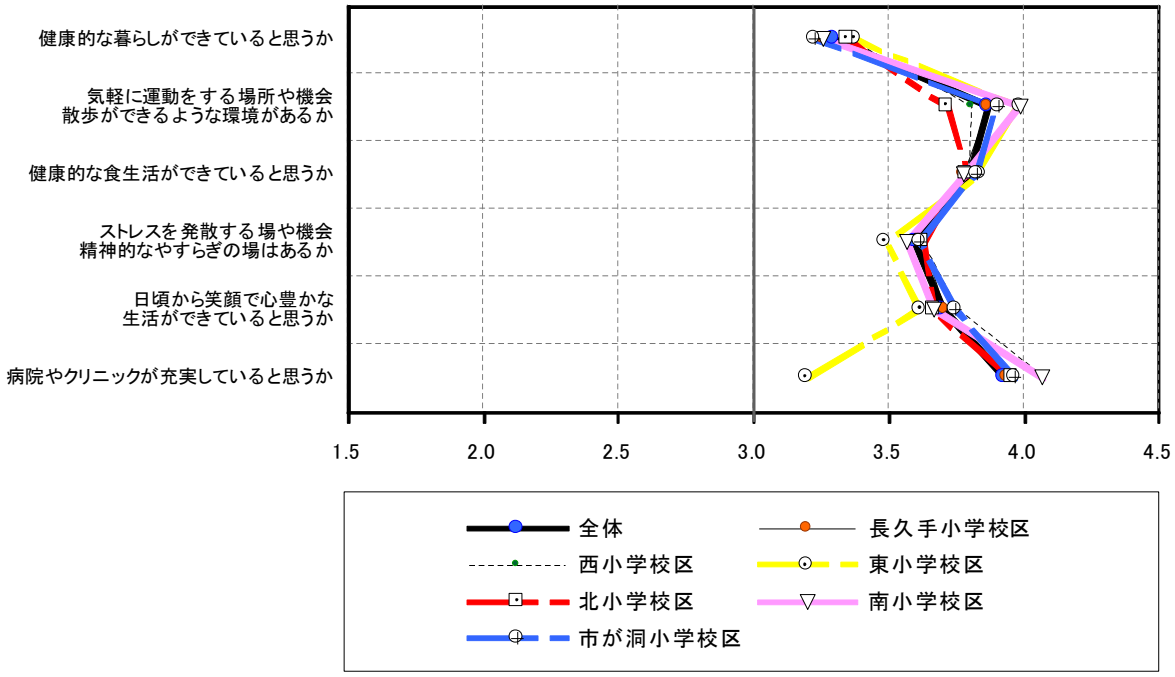
20 歳代から 50 歳代といった働き世代が、健康的な暮らしができていないと思っているので、働き盛り世代を主対象とした健康教室を愛知医大を含めた官民協働のチームで進めていけば良いと思います。

小学校区別

○小学校区別にみると、「病院やクリニックが充実していると思うか」については、東小学校区の評点が低くなっています。

○「病院やクリニックが充実していると思うか」以外の項目については、小学校区の違いによる差はほとんどみられません（図 4-1-3）。

図 4-1-3　小学校区別「健康について（評点）」



調査隊

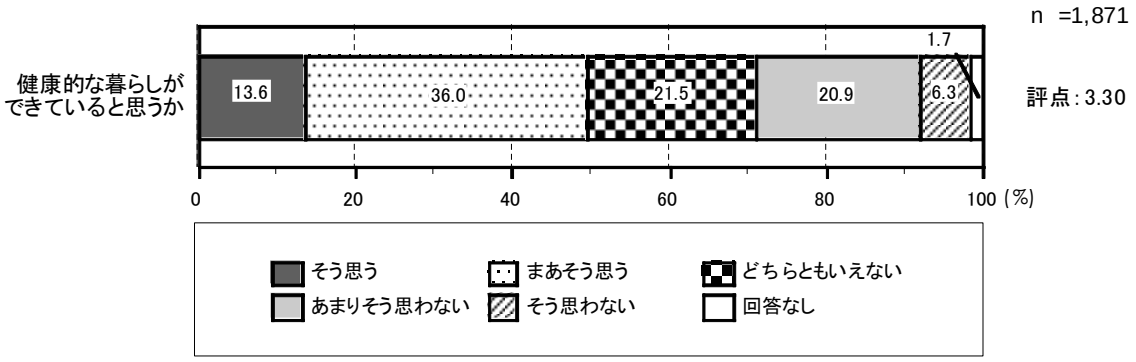
○東小学校区は、市内でも農村的な環境が最も色濃く残っており、人口密度が低いために市街地に比べて医療機関が身近なところに少ないことが結果に影響しているものと考えられます（図 4-1-3）。

（1）健康的な暮らし（問８（1））

問８（１）　体を動かしたり運動したりと健康的な暮らしができていると思いますか。【○は１つ】

○「(体を動かしたり運動したりと）健康的な暮らしができていると思うか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は 49.6%となっており、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計（27.2%）を 22.4 ポイント上回っています（図 4-1-4）。

図 4-1-4　健康的な暮らし

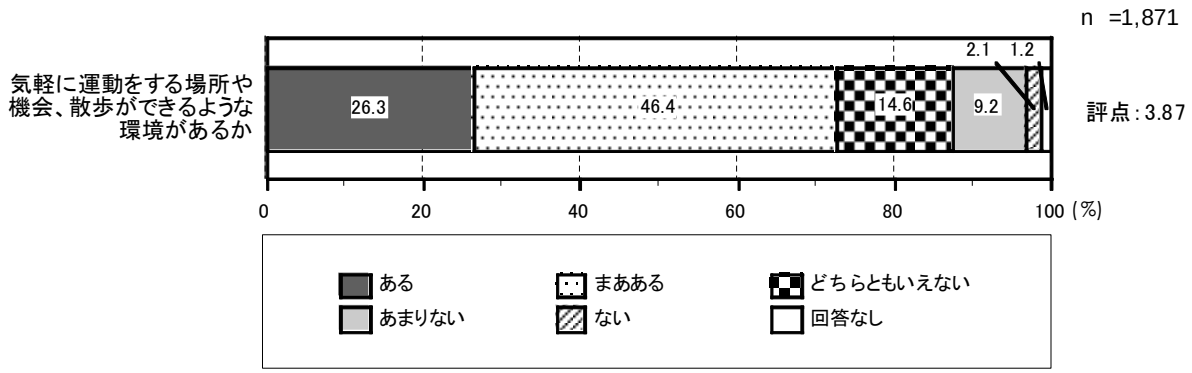


（2）居住地域の運動環境（問８（2））

問８（２）　お住まいの地域では、気軽に運動をする場所や機会、散歩ができるような環境がありますか。【○は１つ】

○「気軽に運動をする場所や機会、散歩ができるような環境があるか」について、「ある」と「まあある」を合わせた割合は 72.7%となっており、「あまりない」と「ない」の合計（11.3%）を 61.4 ポイントも上回っています（図 4-1-5）。

図 4-1-5　居住地域の運動環境

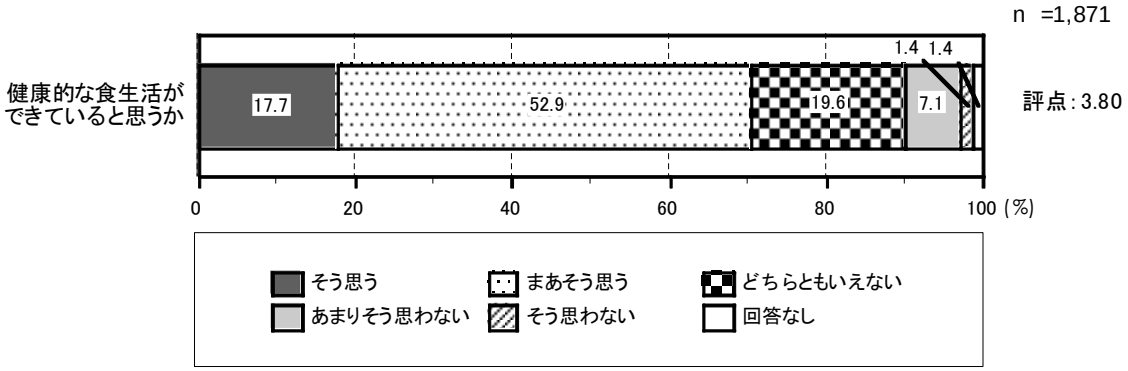


（3）健康的な食生活（問８（3））

問８（３）　健康的な食生活ができていると思いますか。【○は１つ】

○「健康的な食生活ができていると思うか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は70.6%となっており、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計（8.5%）を62.1ポイントも上回っています（図4-1-6）。

図4-1-6　健康的な食生活

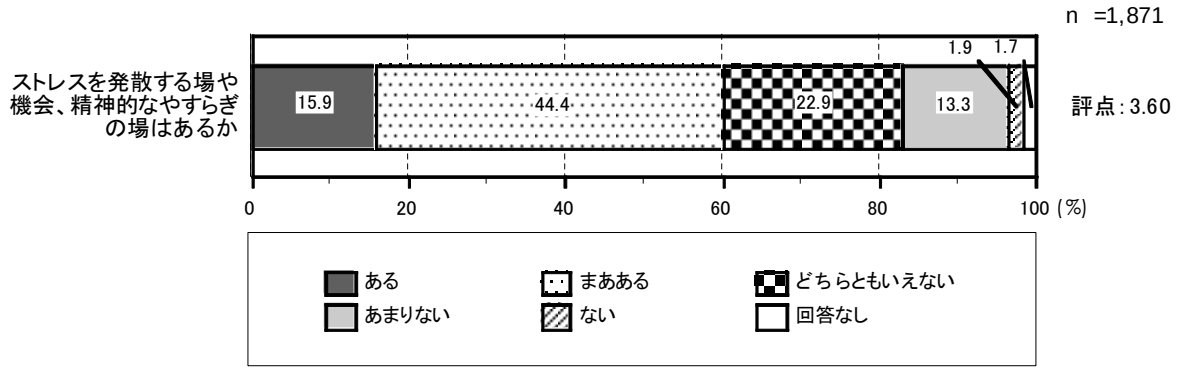


（4）精神的安らぎ（問８（4））

問８（４）　ストレスを発散する場や機会、精神的なやすらぎの場はありますか。【○は１つ】

○「ストレスを発散する場や機会、精神的な安らぎの場があるか」について、「ある」と「まあある」を合わせた割合は60.3%となっており、「あまりない」と「ない」の合計（15.2%）を45.1ポイント上回っています（図4-1-7）。

図4-1-7　精神的安らぎ

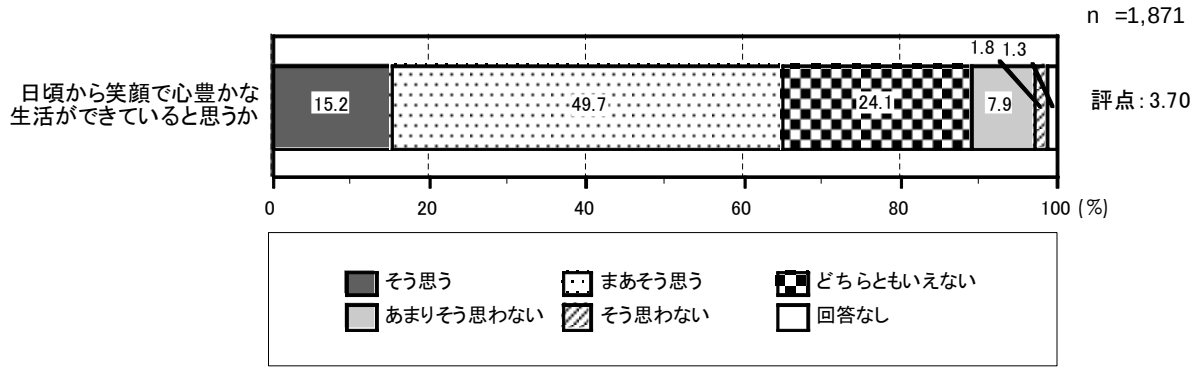


（５）心豊かな生活（問８（5））

問８（５）　日頃から笑顔で心豊かな生活ができていると思いますか。【○は１つ】

○「日頃から笑顔で心豊かな生活ができていると思うか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は64.9%となっており、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計（9.7%）を55.2ポイントも上回っています（図4-1-8）。

図4-1-8　心豊かな生活

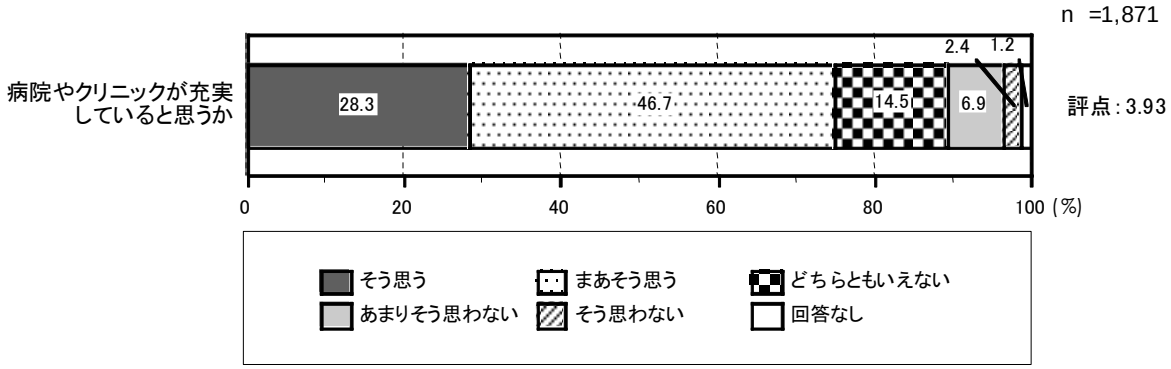


（６）病院等の充実度（問８（6））

問８（６）　お住まいの地域では、病院やクリニックが充実していると思いますか。【○は１つ】

○「(お住まいの地域では) 病院やクリニックが充実していると思うか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は75.0%となっており、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計（9.3%）を65.7ポイントも上回っています（図4-1-9）。

図4-1-9　病院等の充実度



４－２　子育て・教育について（問９）

要点

家庭内での子どもとのコミュニケーションは十分であるが、地域の子どもとのコミュニケーションについては十分でないことが特徴としてみられます。

また、安心して子どもを産み育てられるまちや地域の子どもたちがのびのび育っていることについての評点に比べて、子育て・教育に関するサービスや施設、相談できる人・場所についての評点は低い状況がみられます。

全体

○子育て・教育に関する６項目のうち、「家庭内での子どもとあなたとのコミュニケーションは十分取れていると思うか」の評点が 4.03 と最も高くなっています。

○その一方で、「お住まいの地域の子どもとあなたとのコミュニケーションが取れていると思うか」の評点は 2.84 と最も低くなっています。

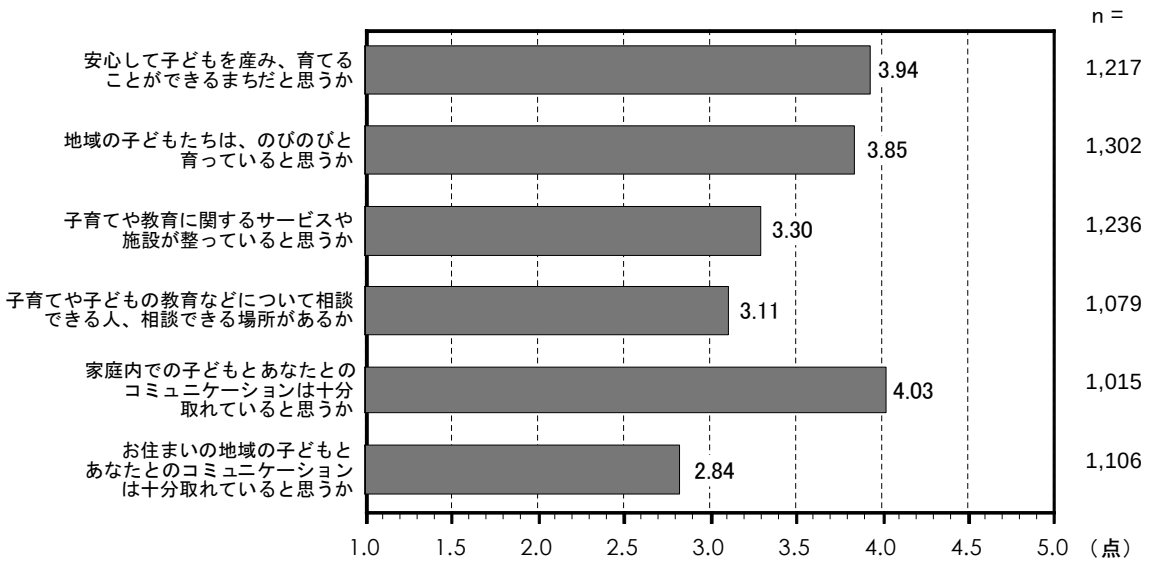
○同じ子どもとのコミュニケーションに関わる項目でありながら、家庭内での子どもとのコミュニケーションは十分であるが、地域の子どもとのコミュニケーションについては十分でないといえます。

○「家庭内での子どもとあなたとのコミュニケーションは十分取れていると思うか」（4.03）に次いで「安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思うか」（3.94）と「地域の子どもたちは、のびのびと育っていると思うか」（3.85）の評点が高くなっています。

○一方、「子育てや子どもの教育などについて相談できる場所があるか」（3.11）と「子育てや教育に関するサービスや施設が整っていると思うか」（3.30）の評点は上記の 3 項目に比べて低くなっています。

○このように、長久手は、安心して子どもを産み育てられるまちや地域の子どもたちがのびのび育っていることについての評点に比べて、子育て・教育に関するサービスや施設、相談できる人・場所の評点は十分な評点が得られていないといえます（図 4-2-1）。

図 4-2-1　子育て・教育について（評点）



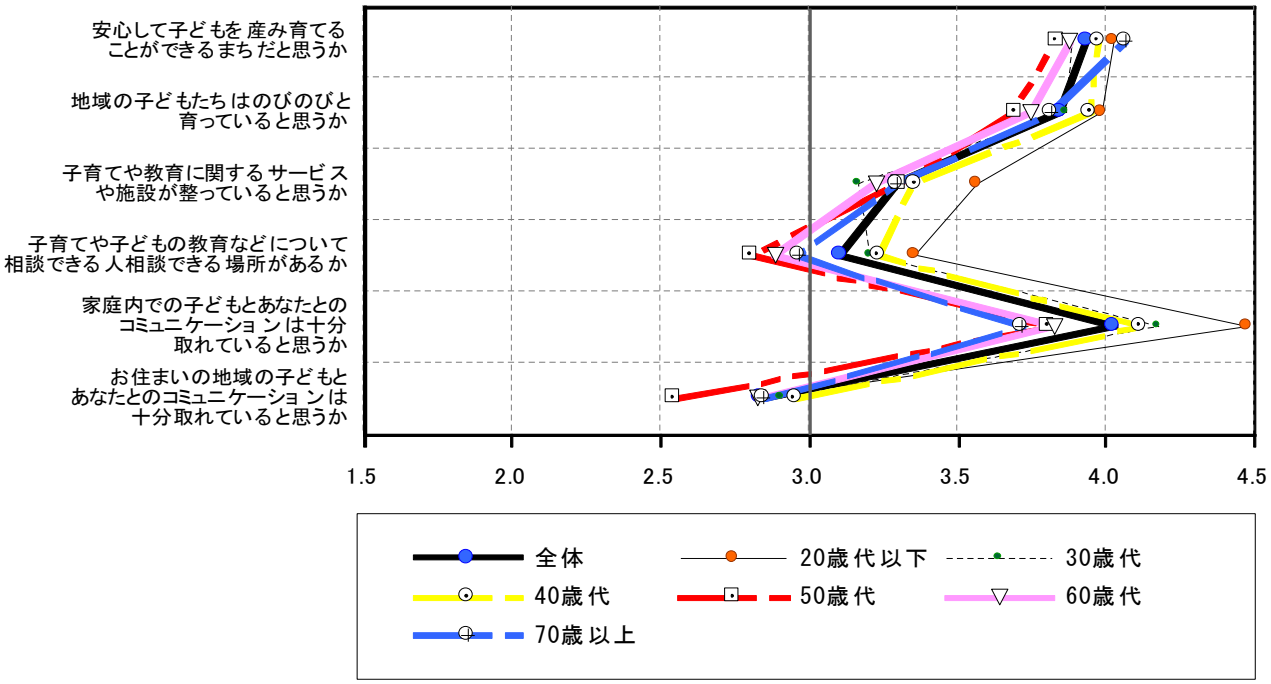
年齢別

○年齢別にみると、「家庭内での子どもとあなたとのコミュニケーションは十分取れていると思うか」については、20 歳代以下（4.48）の評点が高くなっている一方で、70 歳代（3.72）や 50 歳代（3.81）、60 歳代（3.83）といった、子育て世代ではない中高年層における評点が全体よりも低くなっています。

○また、50 歳代では、「お住まいの地域の子どもとあなたとのコミュニケーションが取れていると思うか」の評点についても、他の年齢層に比べて低くなっています。

○20 歳代以下では、「家庭内での子どもとあなたとのコミュニケーションは十分取れていると思うか」（4.48）をはじめ、「子育てや教育に関するサービスや施設が整っていると思うか」（3.57）や「子育てや子どもの教育などについて相談できる場所があるか」（3.36）、「地域の子どもたちはのびのびと育っていると思うか」の４項目において評点が最も高くなっていることが特徴としてみられます（図 4-2-2）。

図 4-2-2　年齢別「子育て・教育について（評点）」



■調査隊からの提案■

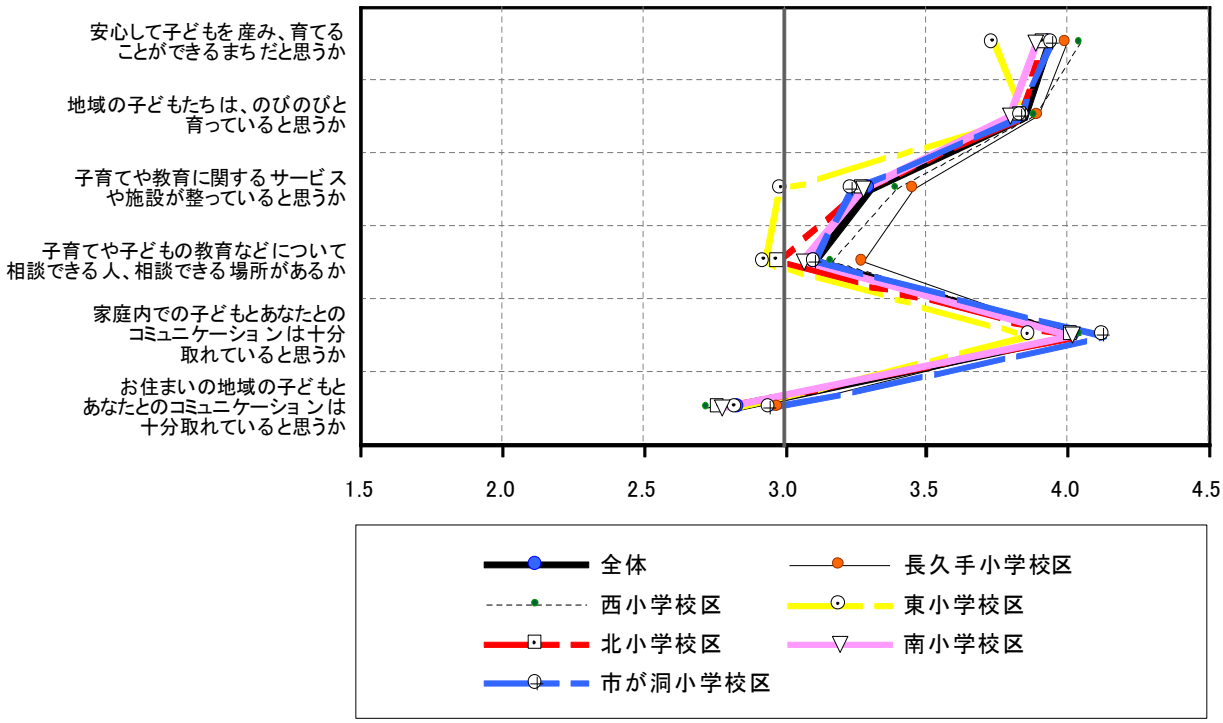
安心して子どもを産み、のびのびと育てることができるまちとしての評価は高い反面、子育てや教育などを相談する相手や場所が充実していないという評価です。気軽に相談できる場所をつくることも大事ですが、隣近所同士で相談できる関係になれば、より子育てしやすいまちになると思います。

小学校区別

○小学校区別にみると、東小学校区では「子育てや教育に関するサービスや施設が整っていると思うか」（3.30）と「安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思うか」（3.94）が他の小学校区に比べて若干低くなっています。

○その他、全般的にみて特徴的な差はみられません（図 4-2-3）。

図 4-2-3　小学校区別「子育て・教育について（評点）」

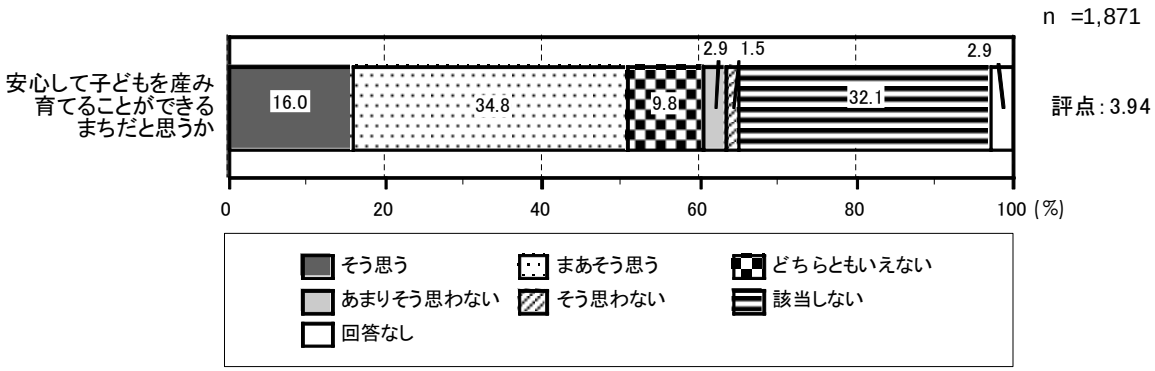


（1）出産・育児（問９（1））

問９（１）　長久手市は、安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思いますか。【○は１つ】

○「安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思うか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は 50.8%となっていますが、「該当しない」（32.1%）を除けば 74.8%に相当し、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計（「該当しない」を除けば6.5%に相当）を 68.3 ポイントも上回っています（図 4-2-4）。

図 4-2-4　出産・育児

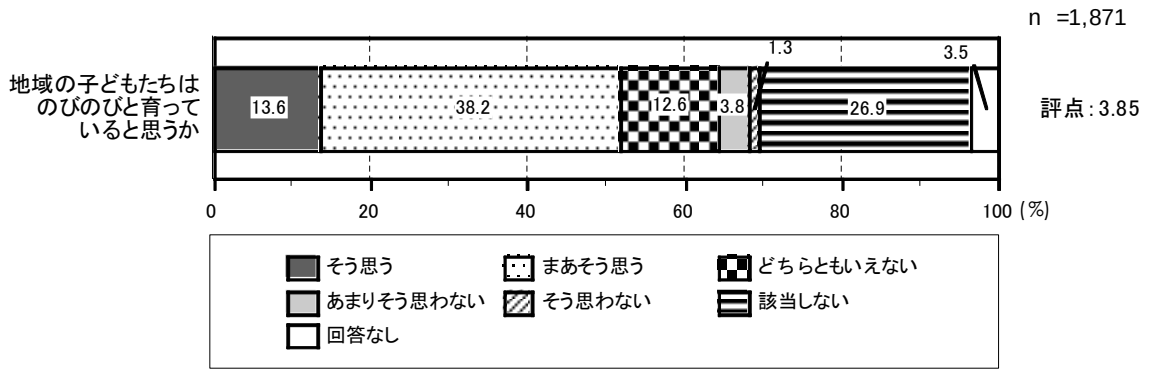


（2）地域における子どもの成長（問９（2））

問９（２）　お住まいの地域の子どもたちは、のびのびと育っていると思いますか。【○は１つ】

○「地域の子どもたちは、のびのびと育っていると思うか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は51.8%となっていますが、「該当しない」（26.9%）を除けば 70.9%に相当し、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計（「該当しない」を除けば 7.0%に相当）を 63.9 ポイントも上回っています（図 4-2-5）。

図 4-2-5　地域における子どもの成長



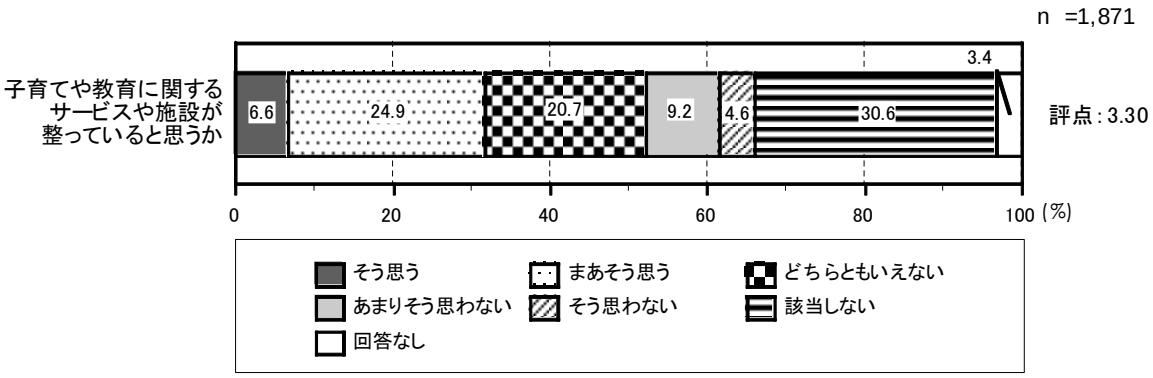
（3）地域における子育て環境（問９（3））

問９（３）　お住まいの地域には、子育てや教育に関するサービスや施設が整っていると思いますか。

【○は１つ】

○「子育てや教育に関するサービスや施設が整っていると思うか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は31.5%となっていますが、「該当しない」（30.6%）を除けば45.4%に相当し、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計（「該当しない」を除けば20.0%に相当）を25.4ポイント上回っています（図4-2-6）。

図4-2-6　地域における子育て環境

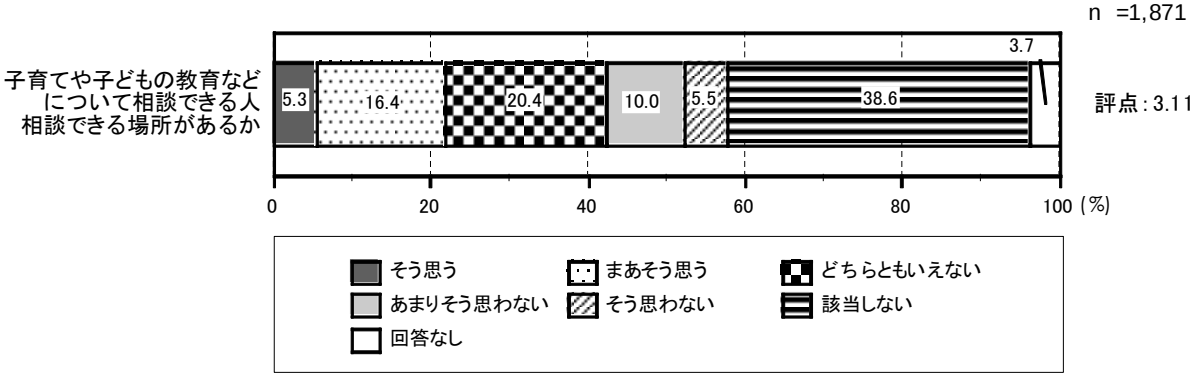


（4）子育て・教育に関する相談（問９（4））

問９（４）お住まいの地域には、子育てや子どもの教育などについて相談できる人がいる、あるいは、相談できる場所がありますか。【○は１つ】

○「子育てや子どもの教育などについて相談できる人、相談できる場所があると思うか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は21.7%となっていますが、「該当しない」(38.6%)を除けば35.3%に相当し、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計（「該当しない」を除けば25.2%に相当）を10.1ポイント上回っています（図4-2-7）。

図4-2-7　子育て・教育に関する相談



（５）家庭内における子どもとのコミュニケーション（問９（５）-1）

問９（５） 子どもとのコミュニケーションは十分取れていると思いますか。【○は１つ】
①家庭内での子どもとあなたとのコミュニケーション

（６）地域における子どもとのコミュニケーション（問９（５）-2）

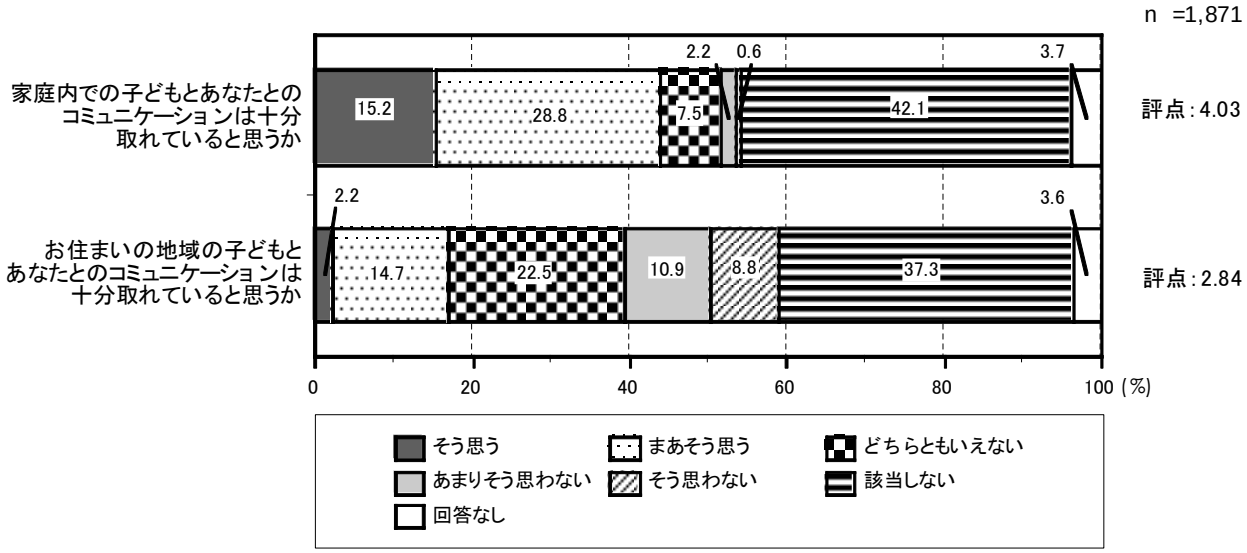
問９（５） 子どもとのコミュニケーションは十分取れていると思いますか。【○は１つ】
②お住まいの地域の子どもとあなたとのコミュニケーション

○「家庭内での子どもとあなたとのコミュニケーションは十分取れていると思うか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は44.0%となっていますが、「該当しない」（42.1%）を除けば76.0%に相当し、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計（「該当しない」を除けば 4.8%に相当）を71.2ポイントも上回っています（図4-2-7）。

○「お住まいの地域の子どもとあなたとのコミュニケーションが取れていると思うか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は16.9%となっていますが、「該当しない」（37.3%）を除けば27.0%に相当し、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計（「該当しない」を除けば31.4%に相当）を4.4ポイント下回っています（図4-2-8）。

○このように、家庭内での子どもとのコミュニケーションに比べて、地域の子どもとのコミュニケーションについては十分でない状況がうかがえます。

図4-2-8　家庭内および地域における子どもとのコミュニケーション



４－３　自然やごみなどの環境について（問 10）

要点

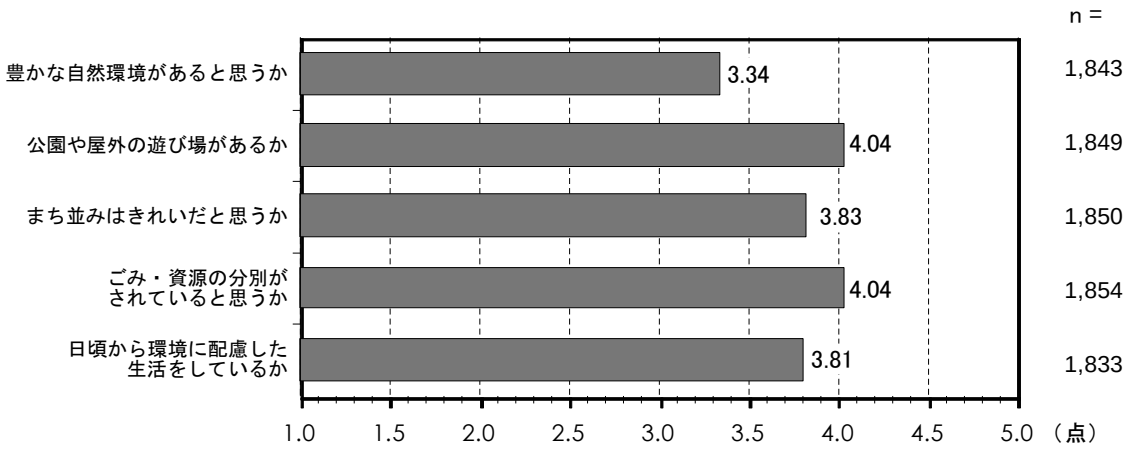
公園や屋外の遊び場、ごみ・資源の分別の実践に対する実感は比較的高くなっています。その一方で、自然の生き物（動植物）に触れ合うことができるなど豊かな自然環境があるという実感は、他の項目に比べて低くなっています。

全体

○自然やごみなどの環境に関する５項目のうち、「公園や屋外の遊び場があると思うか」と「ごみ・資源の分別がされていると思うか」の評点がともに 4.04 と最も高くなっています。

○一方、「（自然の生き物（動植物）に触れ合うことができるなど）豊かな自然環境があると思うか」の評点は 3.34 と、他の項目に比べて低くなっています（図 4-3-1）。

図 4-3-1　自然やごみなどの環境について（評点）



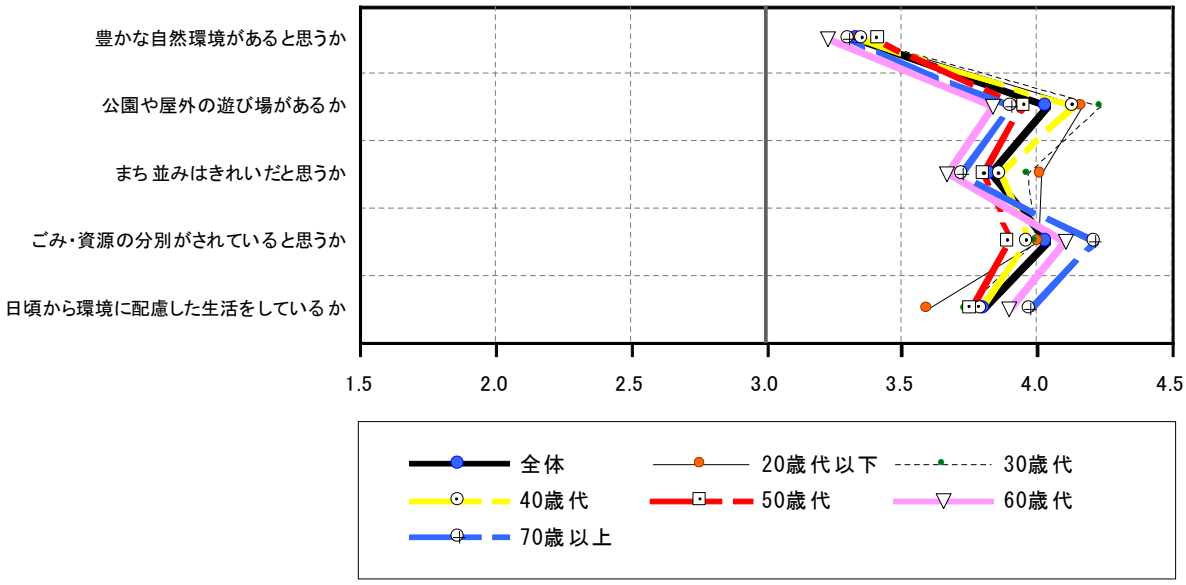
■調査隊からの提案■

長久手の場合、公園や遊び場などの環境条件は整っているので、有効利用を図っていくことを充実していくことが重要であると思います。例えば、身近な公園や遊び場が、まちづくりの拠点（イベントや井戸端会議の場）になったら良いと思います。朝のラジオ体操などを行うなど、もっと有効利用することが重要だと思います。

年齢別

○年齢別にみると、「公園や屋外の遊び場があると思うか」「日頃から環境に配慮した生活をしているか」については、年齢によって若干の差がみられるものの、全般的に年齢による評点の差はあまりみられません（図 4-3-2）。

図 4-3-2　年齢別「自然やごみなどの環境について（評点）」

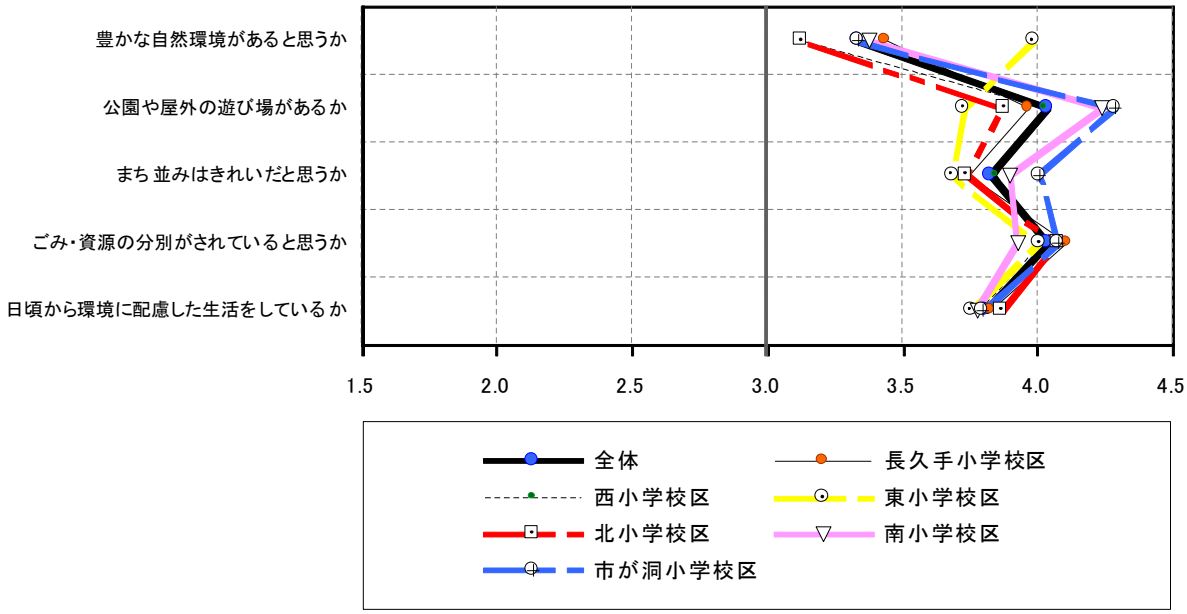


小学校区別

○小学校区別にみると、「(自然の生き物（動植物）に触れ合うことができるなど）豊かな自然環境があると思うか」の評点は、東小学校区（3.99）が他の小学校区に比べて高くなっていることが特徴としてみられます。

○「公園や屋外の遊び場があると思うか」の評点は、市が洞小学校区（4.29）や南小学校区（4.24）で高く、東小学校区（3.73）で若干低くなっています（図 4-2-3）。

図 4-3-3　小学校区別「自然やごみなどの環境について（評点）」

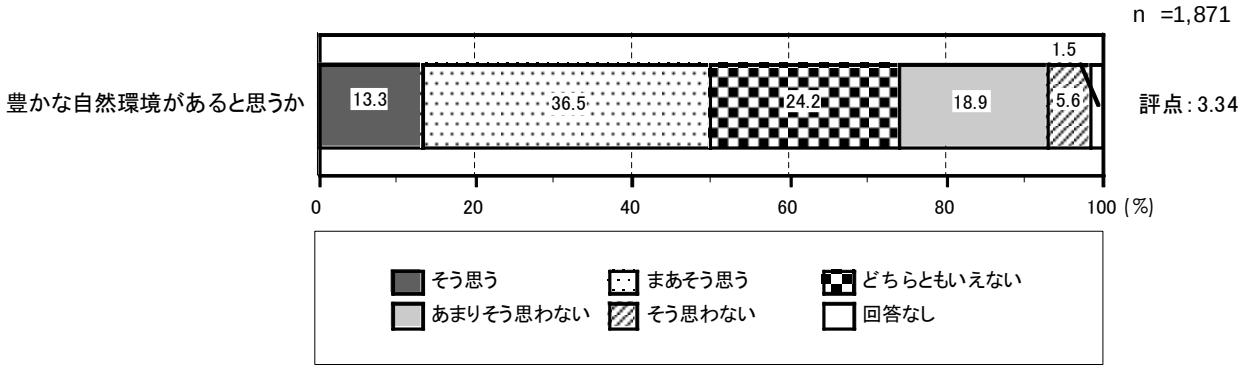


（1）豊かな自然環境（問 10（1））

問 10（1） お住まいの地域では、自然の生き物（動植物）に触れ合うことができるなど、豊かな自然環境があると思いますか。【○は１つ】

○「(自然の生き物（動植物）に触れ合うことができるなど）豊かな自然環境があると思うか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は 49.8%となっており、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計（24.5%）を 25.3 ポイント上回っています（図 4-3-4)。

図 4-3-4　豊かな自然環境

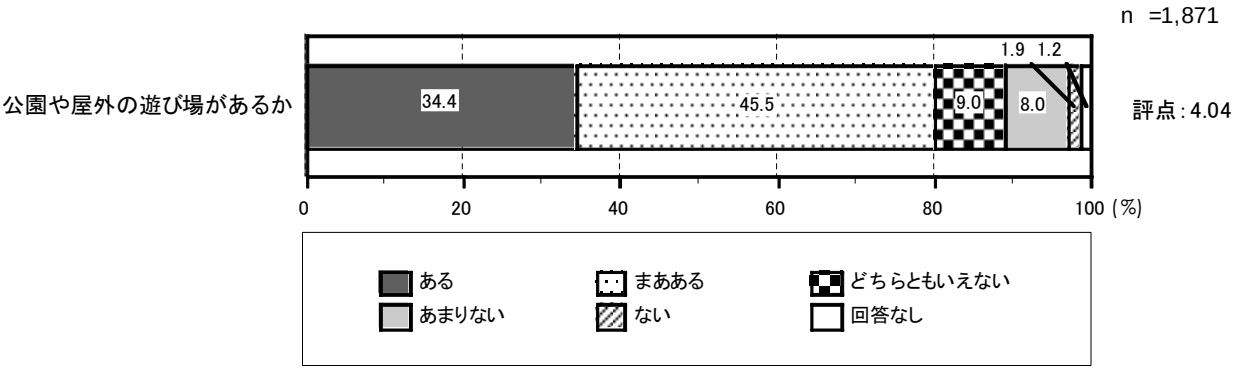


（2）公園や遊び場（問 10（2））

問 10（2） お住まいの地域には、公園や屋外の遊び場がありますか。【○は１つ】

○「公園や屋外の遊び場があると思うか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は 79.9%となっており、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計（9.9%）を 70.0 ポイントも上回っています（図 4-3-5)。

図 4-3-5　公園や遊び場

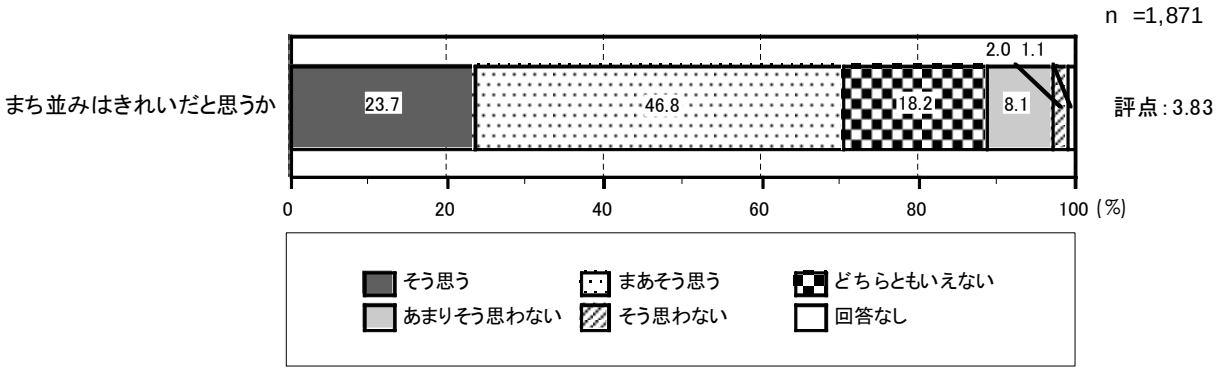


（3）まち並み（景観・風景）（問 10（3））

問 10（3）　お住まいの地域のまち並み（景観・風景）はきれいだと思いますか。【○は１つ】

○「まち並み（景観・風景）はきれいだと思うか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は 70.5%となっており、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計（10.1%）を 60.4 ポイントも上回っています（図 4-3-6）。

図 4-3-6　街並み（景観・風景）

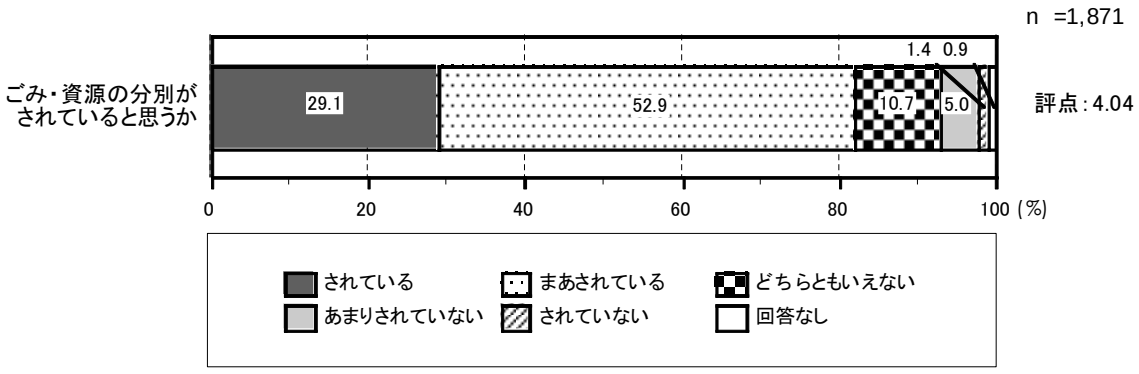


（4）ごみの分別（問 10（4））

問 10（4）　お住まいの地域では、ルールにしたがって、ごみ・資源の分別がされていると思いますか。【○は１つ】

○「ルールにしたがってごみ・資源の分別がされていると思うか」について、「されている」と「まあされている」を合わせた割合は 82.0%となっており、「あまりされていない」と「されていない」の合計（6.4%）を 75.6 ポイントも上回っています（図 4-3-7）。

図 4-3-7　ごみの分別

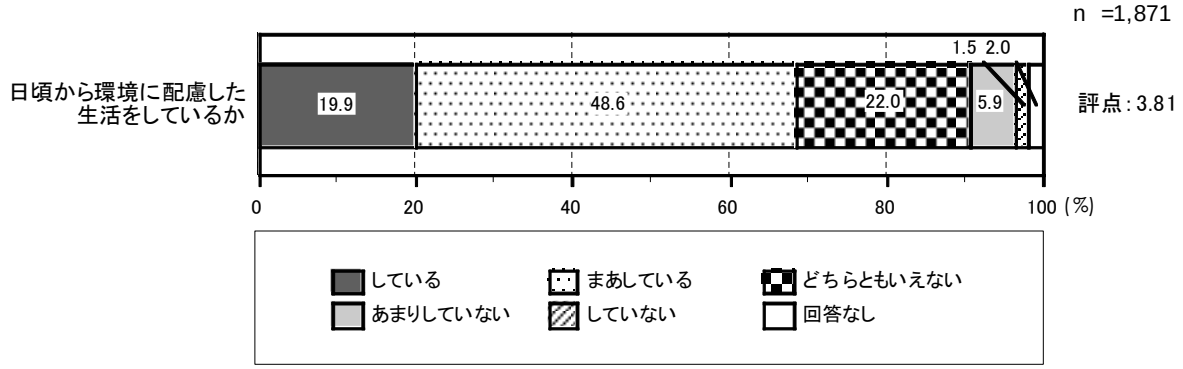


（５）環境に配慮した生活（問 10（5））

問 10（５） 節電や節水、環境に配慮した製品の購入など、日頃から環境に配慮した生活をしていますか。【○は１つ】

○「節電や節水、環境に配慮した製品の購入など日頃から環境に配慮した生活をしていると思うか」について、「している」と「まあしている」を合わせた割合は68.5%となっており、「あまりしていない」と「していない」の合計（7.4%）を61.1ポイントも上回っています（図4-3-8）。

図 4-3-8　環境に配慮した生活



４－４　人や地域のつながりについて（問 11）

要点

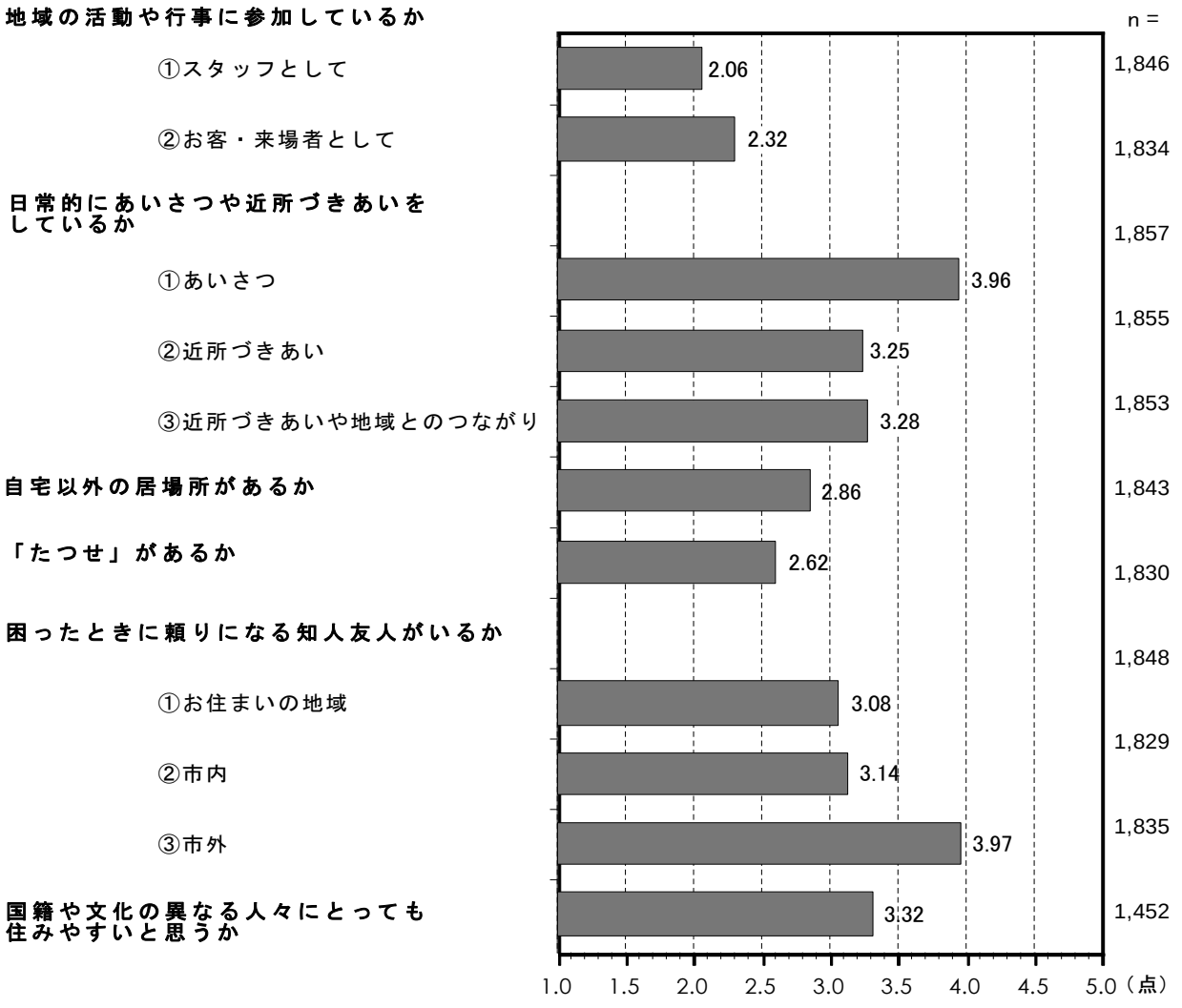
日常的に「あいさつ」をしている回答者の評点は高いものの、地域を盛り上げていくための「地域の活動や行事に参加しているか」や、「「たつせ」があるか」の評点は低く、「人や地域のつながりについて」の分野は、他の分野に比較して全般的に評点が低くなっています。特に、地域活動や行事への参加、近所づきあいについては、20 歳代以下や 30 歳代などの若年層の評点が低くなっています。また、「困ったときに頼りになる友人や知人がいるか」では、「市外」の評点が高くなっています。

全体

○他の分野に比べると全般的に評点が低く、特に、「地域の活動や行事に参加しているか」における「スタッフとして」(2.06) や「お客・来場者として」(2.32)、「「たつせ」があるか」(2.62)、「自宅以外の居場所がある」(2.86) の評点などが低くなっています。

○「困ったときに頼りになる友人や知人がいるか」については、「お住まいの地域」や「市内」に比べて「市外」の評点の方が高くなっています（図 4-4-1）。

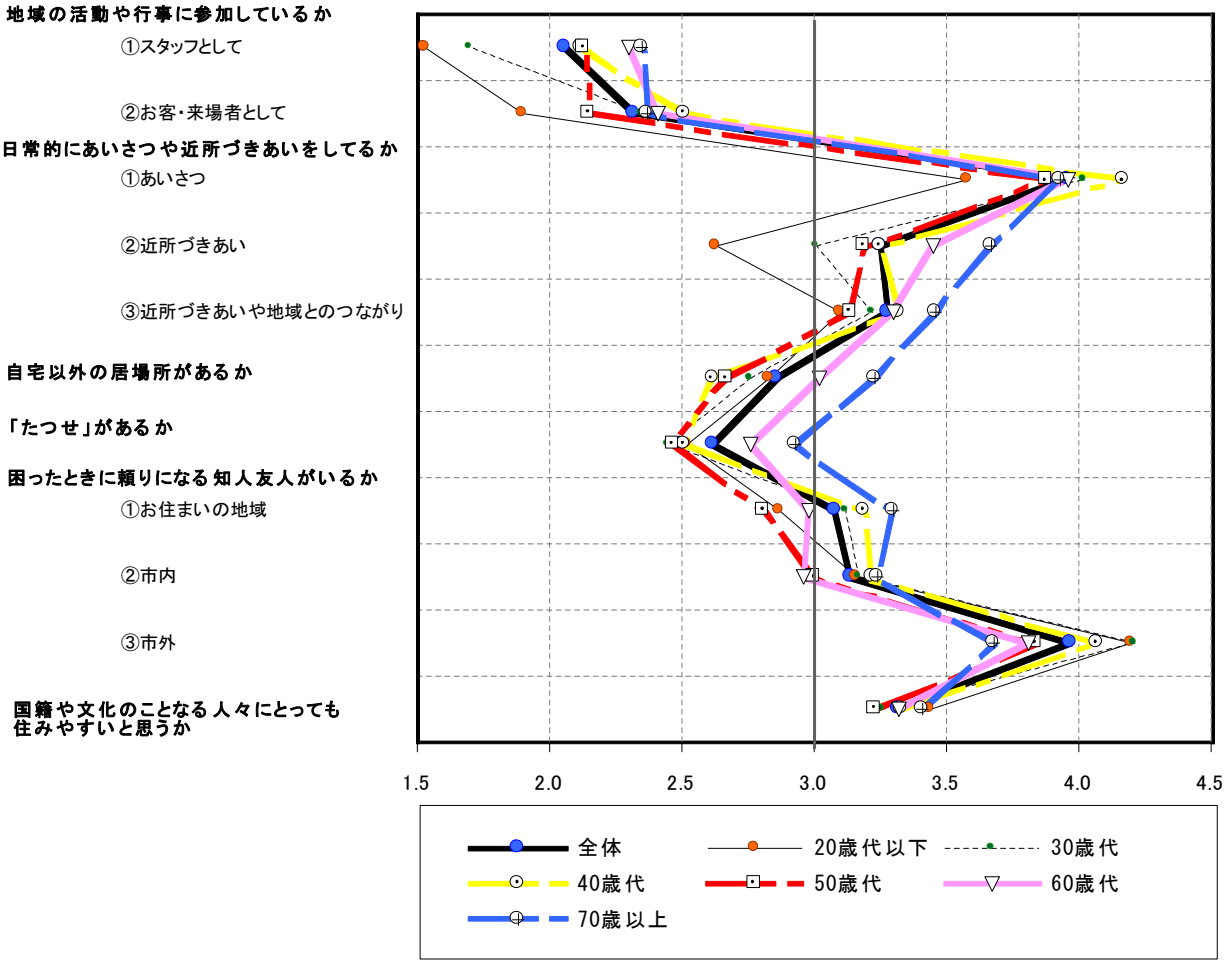
図 4-4-1　人や地域のつながりについて（評点）



年齢別

○「地域の活動や行事に参加しているか」や「近所づきあい」については、20 歳代以下や 30 歳代など若年層よりも 60 歳代や 70 歳以上の高齢者層の評点の方が高くなっています（図 4-4-2）。

図 4-4-2　年齢別「人や地域のつながりについて（評点）」



■調査隊からの提案■

地域イベントにスタッフとして、来客として参加している人は共に低くなっています。参加している人が参加していない人に直接声をかけるのが一番ですが、フェイスブック等 SNS を活用するのも有効だと思います。また、誘われた人に「○○さんに誘われて参加しました」カードを配布するなど、声掛けしやすい雰囲気をつくっていってはどうかと思い

■調査隊からの提案■

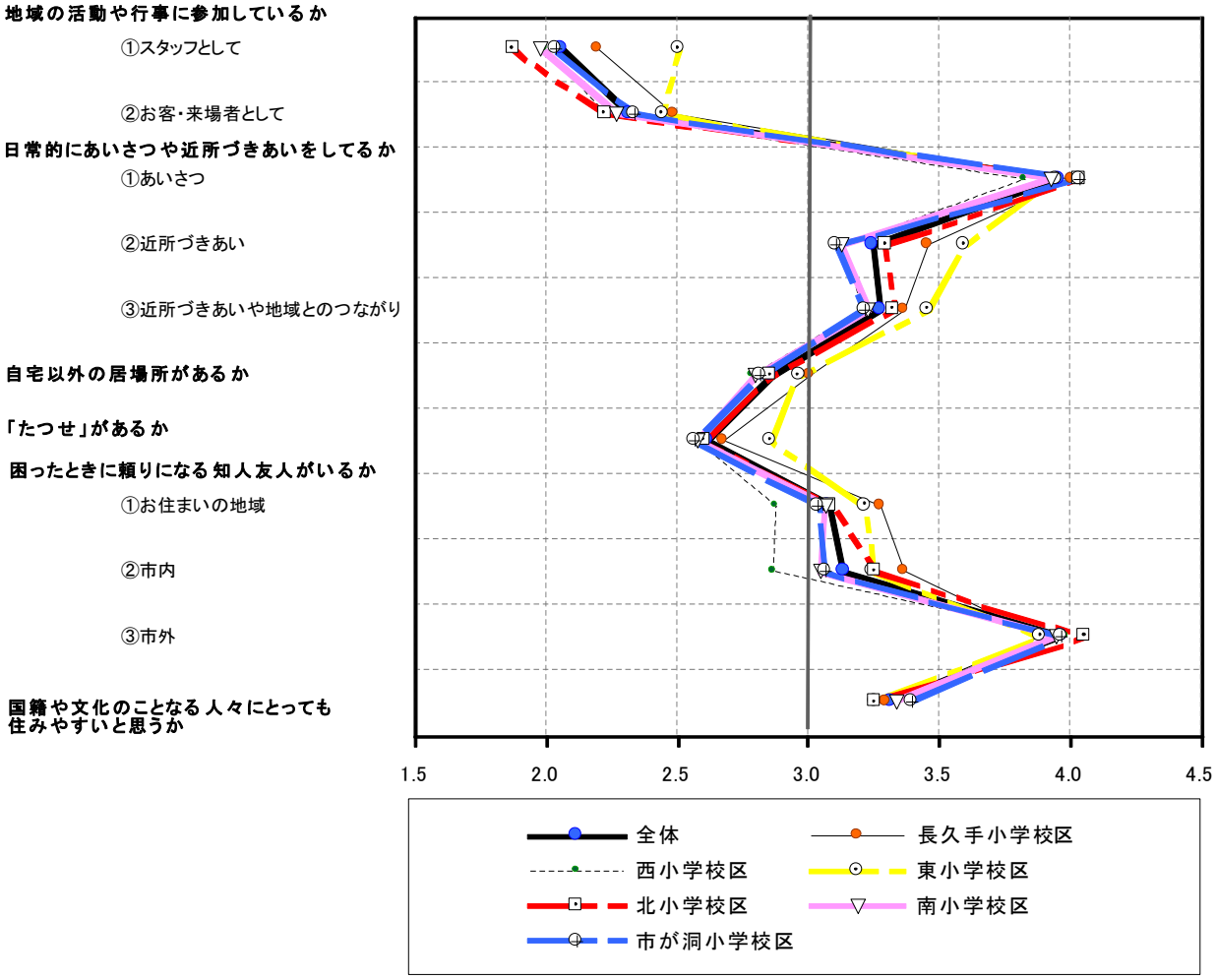
困った時に気軽に相談できる人が身近にいない市民が少なくありません。若い人たちが知り合うためのサロンを！

小学校区別

○西小学校区では、「困ったときに頼りになる友人や知人がいるか」について「お住まいの地域」(2.88)や「市内」(2.87)の評点が、他の小学校区に比べて若干低くなっています。

○東小学校区では、「地域の活動や行事に参加しているか」について「スタッフとして」の評点が2.51となっており、他の校区と比較すると高くなっています（図4-4-3)。

図4-4-3　小学校区別「人や地域のつながりについて（評点）」



調査隊

○【問2】大事だと思う分野では「4.つながり」の割合が低く（P.22)、さらに【問13】福祉分野「(1) 地域の助け合い」(P.80) 及び【問18】地域の役割「地域コミュニティへの参加意思」(P.98) においても評点が低くなっています。これらの結果は、この分野の評点が比較的低くなっていることとも関連した結果となっています。(図4-4-1)。

■調査隊からの提案■

日常的にあいさつしている人は比較的多くなっています。全市的に「あいさつ運動」のキャンペーンを行って、定着させていくとよいと思います。

（1）地域を盛り上げていく活動や行事への参加－１（問 11（1）-1）

問 11（1）-1 過去３年以内に、お住まいの地域を良くしたり、地域を盛り上げたりしていくための活動や行事に参加していますか。【○は１つ】

①スタッフとして

（2）地域を盛り上げていく活動や行事への参加－２（問 11（1）-2）

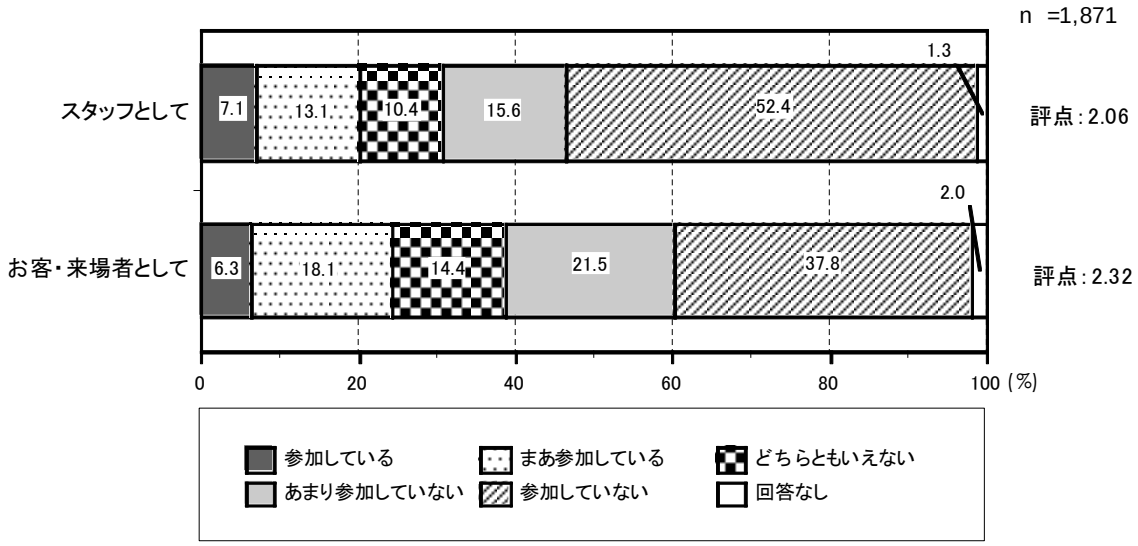
問 11（1）-2 過去３年以内に、お住まいの地域を良くしたり、地域を盛り上げたりしていくための活動や行事に参加していますか。【○は１つ】

②お客・来場者として

○「地域の活動や行事に参加しているか」について、スタッフとして「参加したことがある」は 20.2%、「参加していない」は 52.4%で、参加している回答者の割合は低くなっています。

○お客・来場者として「参加したことがある」は 24.4%にとどまり、「スタッフとして」よりも 4.2%は多いものの、それほど大きな違いは見られません（図 4-4-4）。

図 4-4-4　地域を盛り上げていく活動や行事への参加



（3）あいさつや近所づきあい―1（問11（2）-1）

問11（2）-1 日常的にあいさつや近所づきあいをしていますか。また、近所づきあいや地域とのつながりに満足していますか。【○は1つ】

① あいさつ

（4）あいさつや近所づきあい―2（問11（2）-2）

問11（2）-2 日常的にあいさつや近所づきあいをしていますか。また、近所づきあいや地域とのつながりに満足していますか。【○は1つ】

②近所づきあい

（5）あいさつや近所づきあい―3（問11（2）-3）

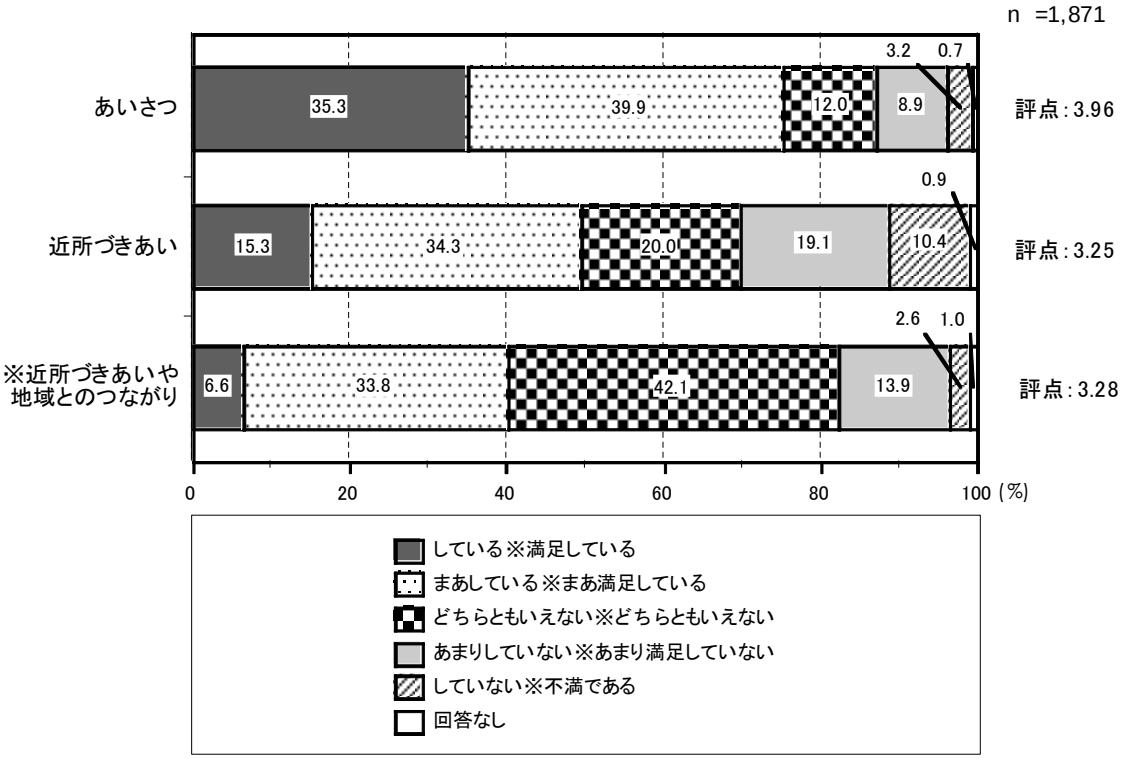
問11（2）-3 日常的にあいさつや近所づきあいをしていますか。また、近所づきあいや地域とのつながりに満足していますか。【○は1つ】

③近所づきあいや地域とのつながり

○日常的な「あいさつ」については、「している」と「まあしている」を合わせると 75.2%と高くなっています。一方で「近所づきあい」については、「している」と「まあしている」を合わせた割合が 49.6%と、ほぼ半数にとどまっています。

○また、「近所づきあいや地域とのつながり」の満足度については、「満足している」は 6.6%と低く、「まあ満足している」（33.8%）を合わせても 40.4%となっています（図 4-4-5）。

図 4-4-5　あいさつや近所づきあい

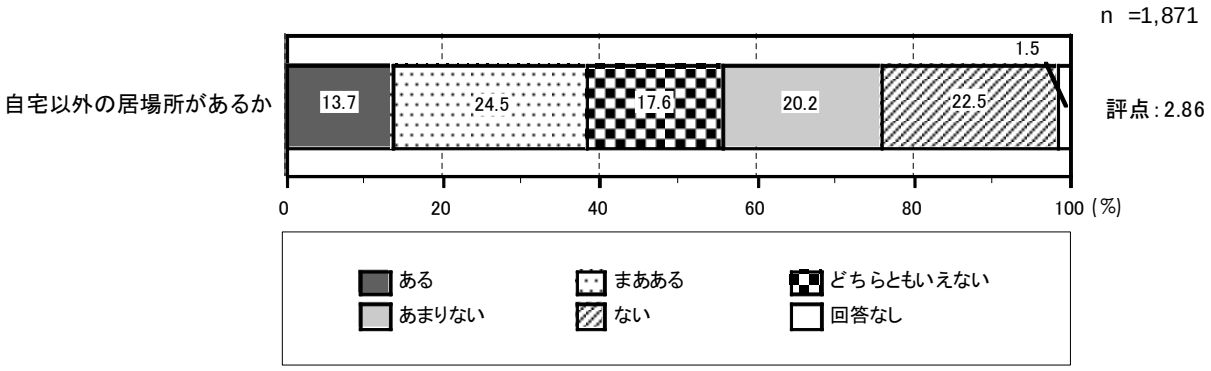


（6）自宅以外の居場所（問 11（3））

問 11（3）　お住まいの地域には、自宅以外の居場所がありますか（集える場所、行きつけのお店など）。【○は１つ】

○「まあある」が 24.5%と最も高く、「ある」（13.7%）と合わせると 38.2%の回答者が自宅以外の地域の居場所があると回答しています。一方で、「あまりない」（20.2%）と「ない」（22.5%）と合わせると 42.7%となり、自宅以外の居場所がないと答えた回答者の割合の方が高くなっています（図 4-4-6）。

図 4-4-6　自宅以外の居場所



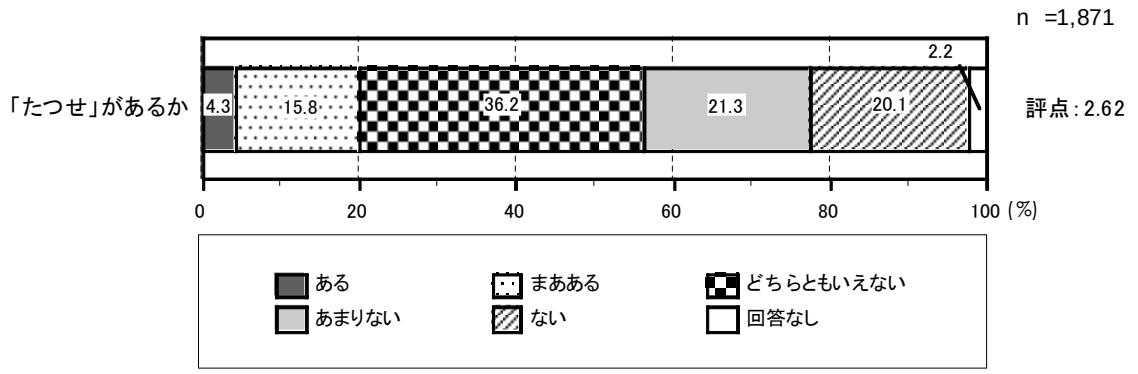
（7）「たつせ」があるか（問 11（4））

問 11（4）　お住まいの地域であなたは「たつせ」がありますか。【○は１つ】

○「どちらともいえない」が 36.2%で最も高く、次いで「あまりない」（21.3%）や「ない」（20.1%）が高くなっています。

○「ある」は 4.3%と低く、「まあある」（15.8%）と合わせても 20.1%となっています（図 4-4-7）。

図 4-4-7　「たつせ」があるか



調査隊	○「たつせ」がないという状況には、寂しさを感じる。

（8）困ったときに頼りになる相談相手―1（問 11（5）-1）

問 11（5）-1 困ったときに頼りになる（悩みを相談したり助けてと言ったりできる）知人・友人はいますか。お住まいの地域、市内、市外それぞれについてお答えください。【○はそれぞれ１つ】

① 住まいの地域

（9）困ったときに頼りになる相談相手―2（問 11（5）-2）

問 11（5）-2 困ったときに頼りになる（悩みを相談したり助けてと言ったりできる）知人・友人はいますか。お住まいの地域、市内、市外それぞれについてお答えください。【○はそれぞれ１つ】

②市内

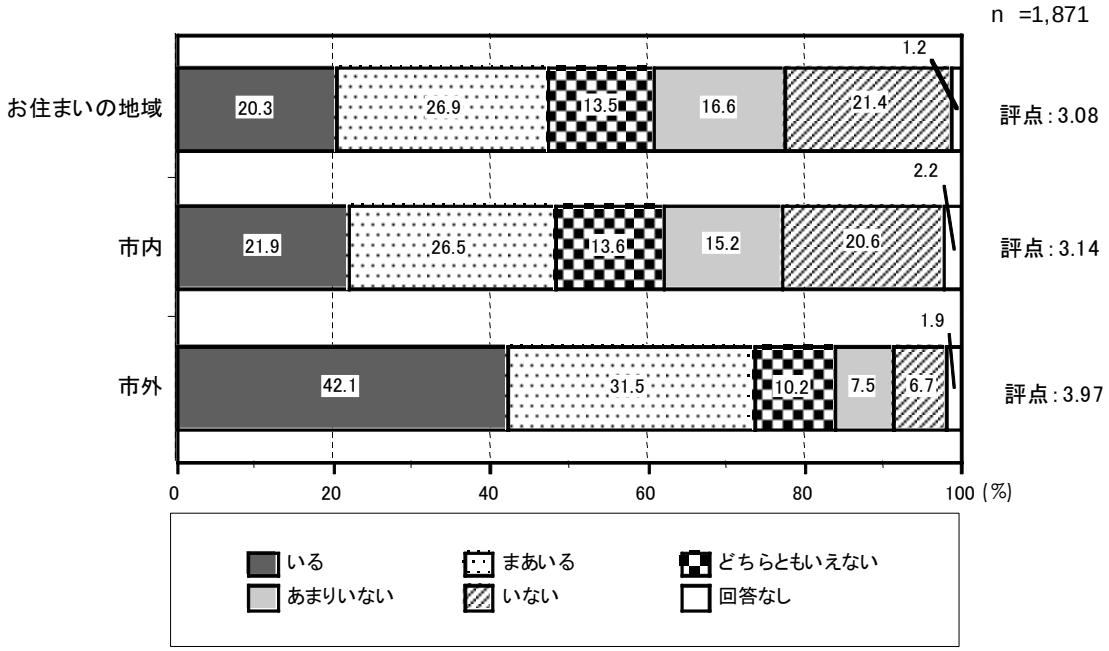
（10）困ったときに頼りになる相談相手―3（問 11（5）-3）

問 11（5）-3 困ったときに頼りになる（悩みを相談したり助けてと言ったりできる）知人・友人はいますか。お住まいの地域、市内、市外それぞれについてお答えください。【○はそれぞれ１つ】

③市外

○「困ったときに頼りになる友人や知人がいるか」については、「お住まいの地域」では「いる」（20.3%）と「まあいる」（26.9%）の合計が 47.2%、「市内」では合計 48.4%、「市外」では合計 73.6%となっており、「市外」の割合が最も高くなっています（図 4-4-8）。

図 4-4-8　困ったときに頼りになる相談相手



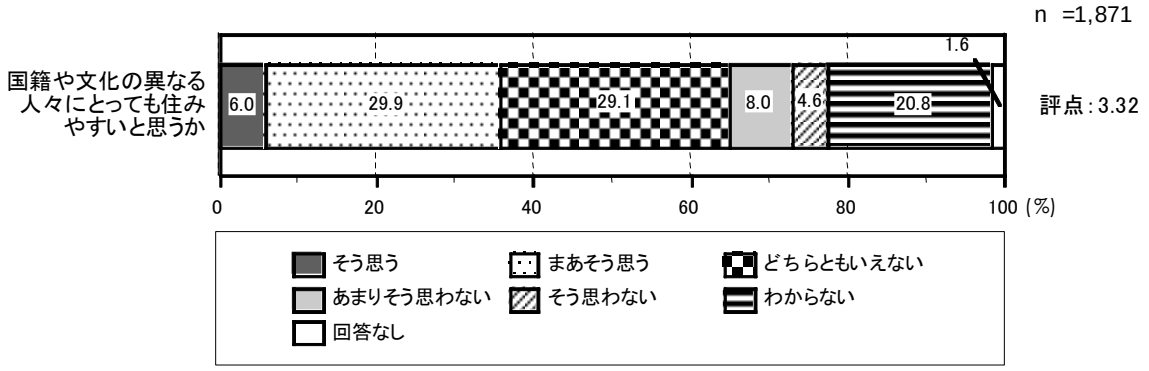
（11）国籍・文化の異なる人にとっての住みやすさ（問 11（6））

問 11（6） 長久手市は、国籍や文化の異なる人々にとっても住みやすいと思いますか。【○は１つ】

○「国籍・文化の異なる人にとっての住みやすさ」については、「まあそう思う」が 29.9%と最も高く、「そう思う」（6.0%）と合わせて 35.9%の回答者が住みやすいと考えています。

○一方で、「どちらともいえない」（29.1%）や「わからない」（20.8%）も多く、こうした問題に関する回答者の関心や認知度が低いことが考えられます（図 4-4-9）。

図 4-4-9　国籍・文化の異なる人にとっての住みやすさ



４－５　防災・防犯について（問 12）

要点

防災・防犯について「安全安心を守る取組が行われているか」の評点が最も高い一方で、「災害に備えた話し合いや防災訓練に参加しているか」の評点が、他の項目に比べて低くなっています。

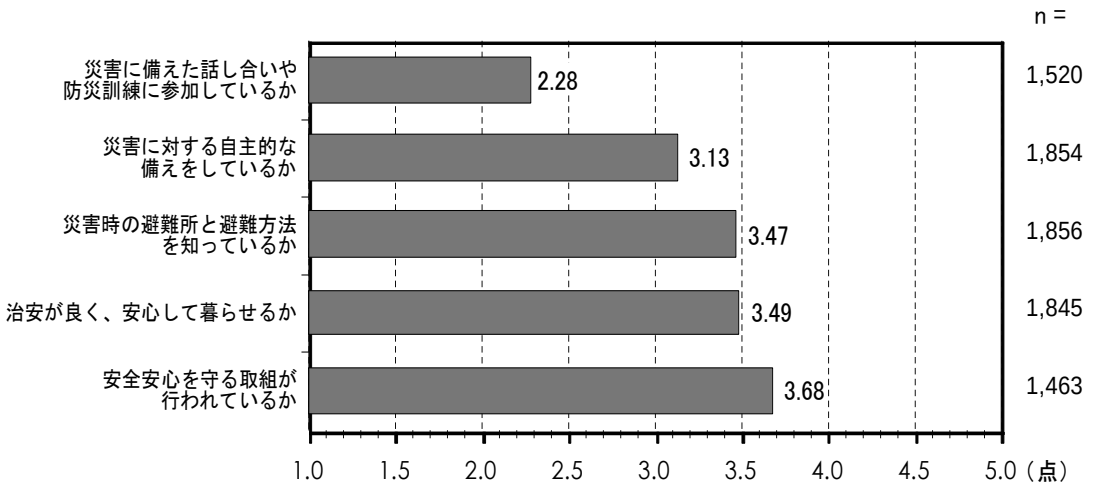
また、「災害時に対する自主的な備えをしているか」や「災害時の避難場所と避難方法を知っているか」では、20 歳代以下の評点が低くなっています。

全体

○「安全安心な取組が行われているか」の評点が 3.68 と最も高く、次いで「治安がよく、安心して暮らせるか」(3.49) や「災害時の避難所と避難方法を知っているか」(3.47) の順で高くなっています。

○一方で、「災害に備えた話し合いや防災訓練に参加しているか」の評点が 2.28 と最も低くなっています（図 4-5-1）。

図 4-5-1　防災・防犯について（評点）

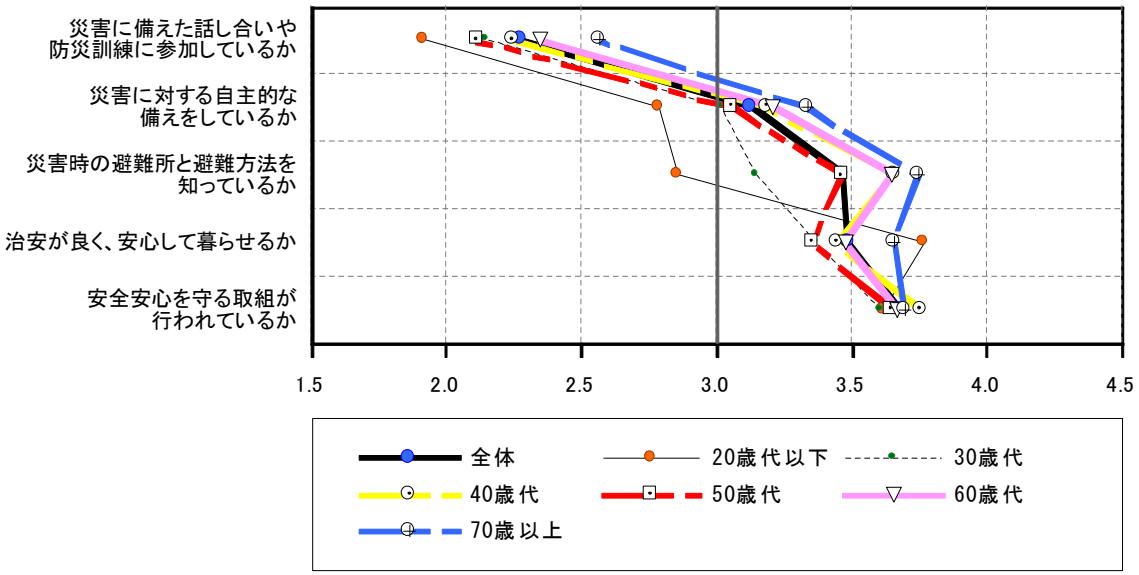


年齢別

○「災害時の避難所と避難方法を知っているか」において年齢差がみられます。具体的には、20 歳代以下（2.86）や 30 歳代（3.15）といった若い世代の評点が低い一方で、70 歳代（3.75）や 60 歳代（3.65）の評点が高くなっています。

○「安全安心を守る取組が行われているか」の項目では、年齢差はほとんどみられません（図 4-5-2）。

図 4-5-2　年齢別「防災・防犯について（評点）」

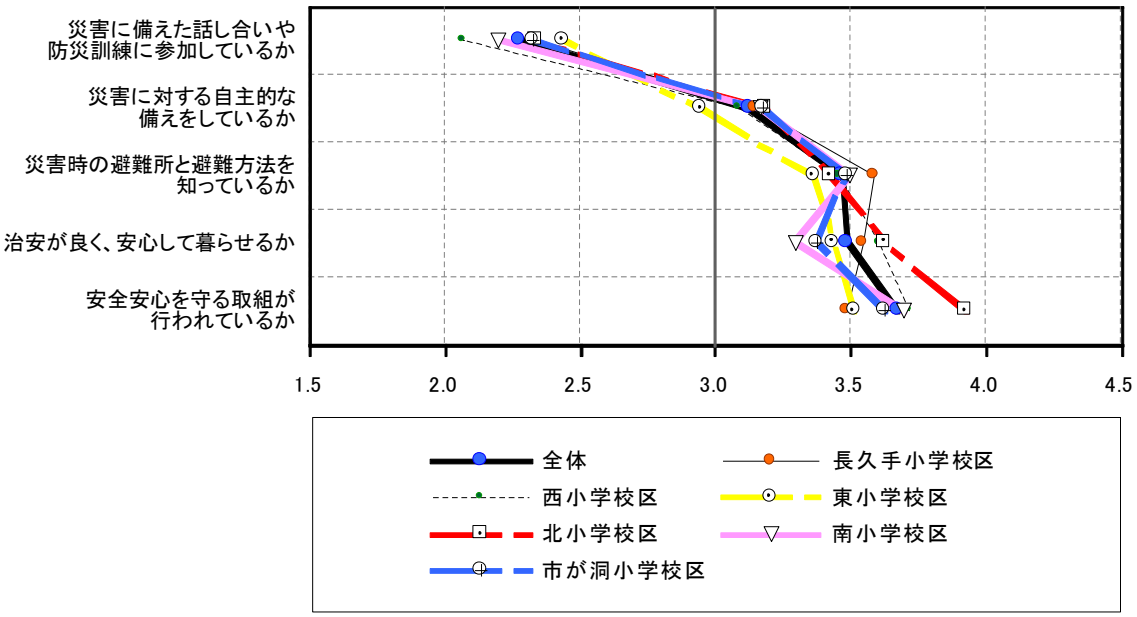


小学校区別

○全般的に、小学校区別に大きな違いはみられません。

○ただし、北小学校区では「安全安心を守る取組が行われているか」の評点が 3.93 で、他の小学校区よりも若干高くなっています（図 4-5-3）。

図 4-5-3　小学校区別「防災・防犯について（評点）」



調査隊

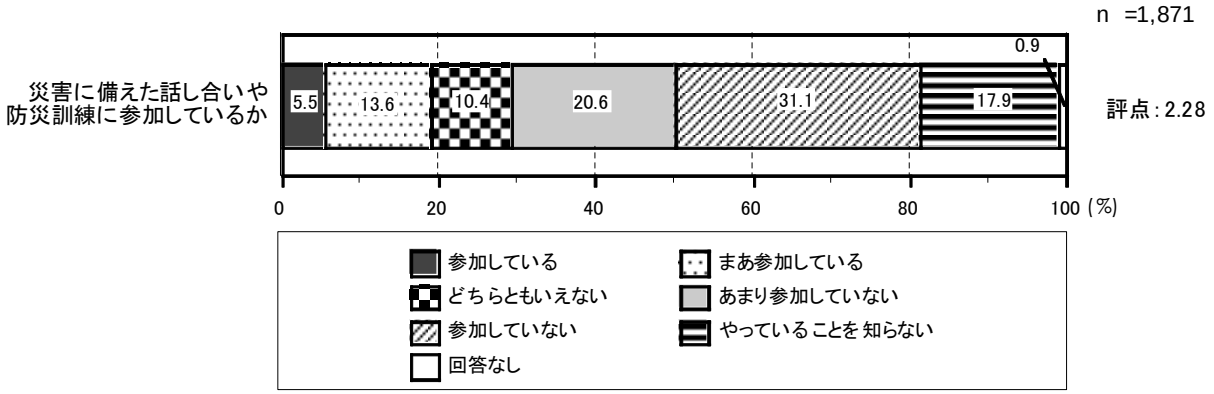
○「災害に備えた話し合いや防災訓練に参加しているか」は、「地域活動への参加」（P. 66）や「地域の助け合い」（P. 80）、「地域コミュニティへの参加」（P. 98）などのように、参加の有無を尋ねる他の設問と同様に評点が低くなっており、地域における各種活動への参加はあまり積極的でない状況が見受けられます（図 4-5-1）。

（1）災害に備えた話し合いや防災訓練への参加（問 12（1））

問 12（1）　お住まいの地域で災害に備えた話し合いや防災訓練に参加していますか。【○は１つ】

○「参加していない」が 31.1%で最も多く、次いで「あまり参加していない」(20.6%) や「やっていることを知らない」(17.9%) が多くなっており、参加しているのは 19.1%にとどまっています（図 4-5-4)。

図 4-5-4　災害に備えた話し合いや防災訓練への参加



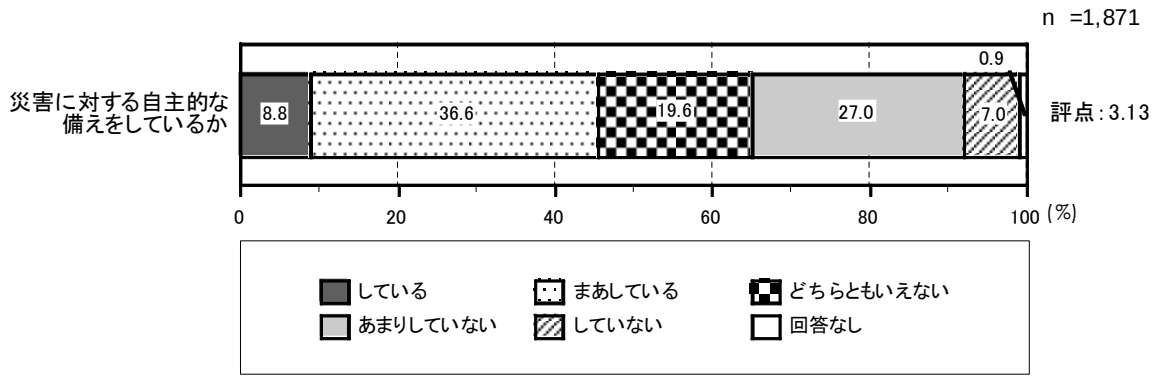
（2）家庭内での災害に対する自主的備え（問 12（2））

問 12（2）　あなたの家庭では、災害に対する自主的な備えをしていますか。【○は１つ】

○「まあしている」が 36.6%と最も多く、「している」(8.8%) と合わせて 45.4%が家庭での自主的な災害対策をしていることがわかります。

○一方で、「あまりしていない」(27.0%) と「していない」(7.0%) を合わせると 34.0%あり、「どちらともいえない」も 19.6%あります。今後も、家庭における災害対策の必要性を普及啓発していくことが必要であるといえます（図 4-5-5)。

図 4-5-5　家庭内での災害に対する自主的備え



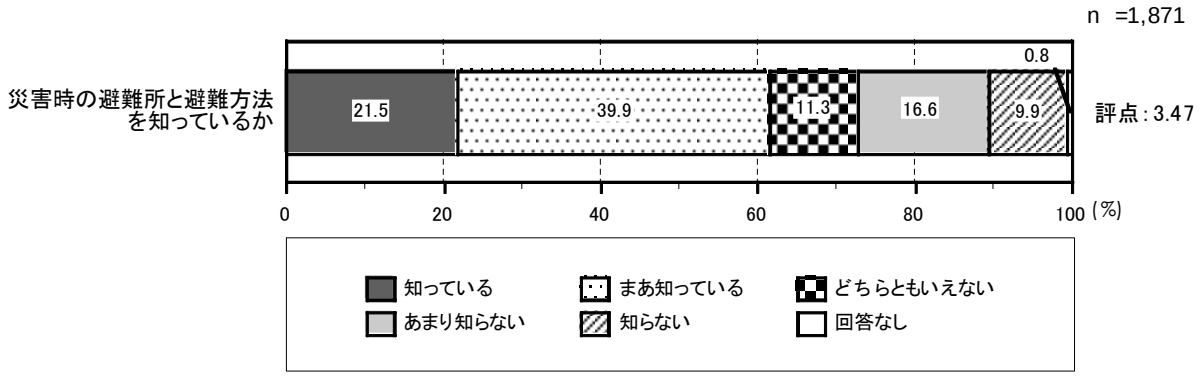
（３）災害時における避難場所、避難方法の周知（問 12（3））

問 12（3）　災害時の避難所と避難方法を知っていますか。【○は１つ】

○「まあ知っている」が 39.9%と最も多く、次いで「知っている」が 21.5%となっており、全体の約６割が災害時の避難場所や避難方法を知っていると回答しています。

○一方で、「あまり知らない」（16.6%）や「知らない」（9.9%）を合わせると 26.5%となり、全体の約４分の１を占めています（図 4-5-6）。

図 4-5-6　災害時における避難場所、避難方法の周知

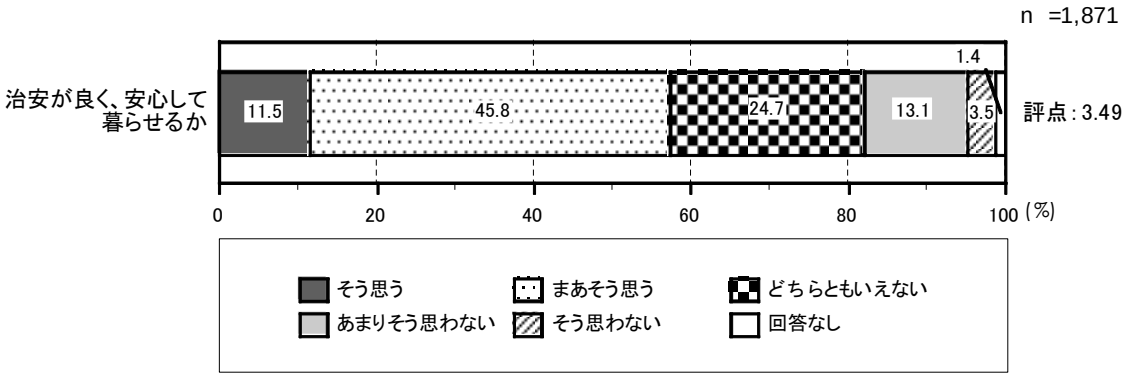


（４）地域における治安（問 12（4））

問 12（4） お住まいの地域は、治安が良く、安心して暮らせますか。【○は１つ】

○「まあそう思う」が 45.8%と最も高く、「そう思う」（11.5%）と合わせると 57.3%の回答者が治安がよいと感じています（図 4-5-7）。

図 4-5-7　地域における治安



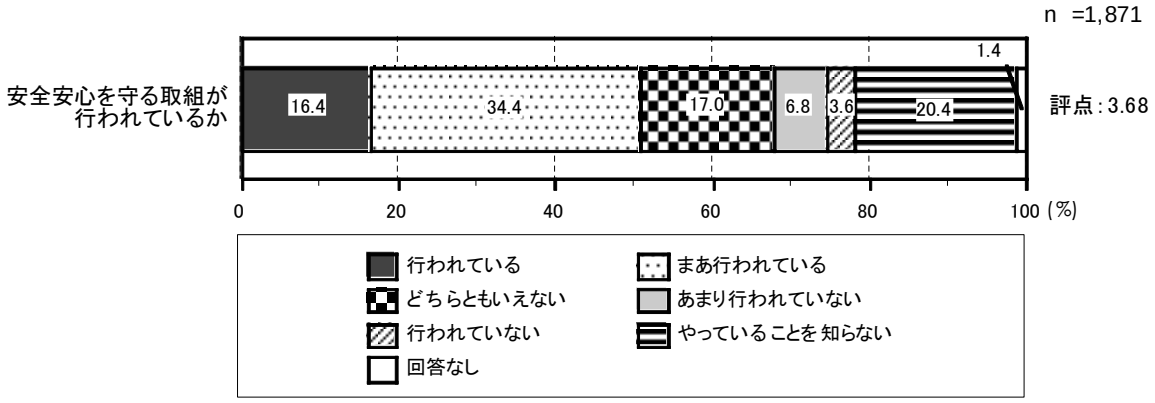
（５）地域における安全安心の取り組み（問 12 (5)）

問 12 (5) お住まいの地域では、住民による登下校の見守り、夜間パトロールや防犯灯設置など、安全安心を守る取組が行われていますか。【○は１つ】

○地域における安全安心の取組が「まあ行われている」と考える回答者の割合が 34.4%で最も多く、「行われている」(16.4%) と合わせると約半数の 50.8%が“行われている”と認識しています。

○一方で「やっていることを知らない」が 20.4%みられます (図 4-5-8)。

図 4-5-8　地域における安全安心の取り組み



４－６　福祉について（問 13）

要点

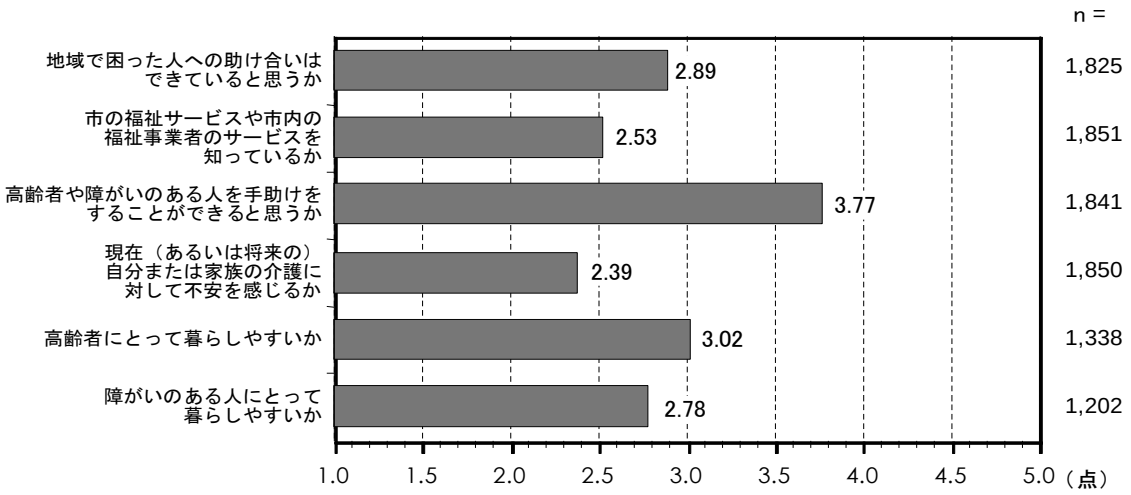
「高齢者や障がいのある人を手助けすることができると思うか」の評点が最も高い一方で、「現在（あるいは将来）自分または家族の介護に対して不安を感じるか」や「市の福祉サービスや市内の福祉事業者のサービスを知っているか」は他の項目に比べて低くなっています。福祉サービスに関する認識不足の状況と合わせて、介護への不安を感じている回答者が多いことがわかります。

全体

○「高齢者や障がいのある人を手助けすることができると思うか」の評点が 3.77 と最も高い一方で、「地域で困った人への助け合いはできていると思うか」の評点は 2.89 にとどまっています。

○また、「現在（あるいは将来）自分または家族の介護に対して不安を感じるか」（2.39）や「市の福祉サービスや市内の福祉事業者のサービスを知っているか」（2.53）と他の項目に比べて低くなっています（図 4-6-1）。

図 4-6-1　福祉について（評点）



調査隊

○福祉分野は他の分野に比べて評点が低いのが気になります（図 4-6-1）。

■調査隊からの提案■

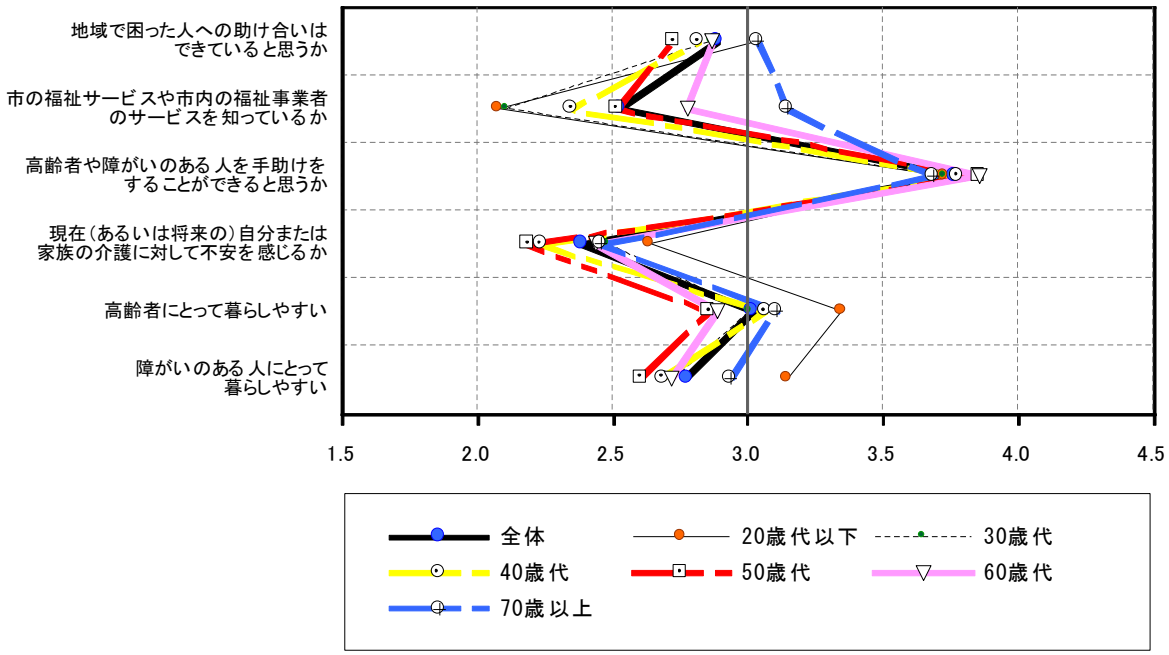
市内の福祉サービスを知っている人が少ないという結果になっています。また、介護不安を抱く市民が少なくありません。福祉関連の事業所等をみんなで見学し、様々な介護福祉サービスや介護福祉施設を知る機会をつくってはどうでしょうか。参加者同士で不安に思っていることを共有する機会にもなると思います。

年齢別

○「市の福祉サービスや市内の福祉事業者のサービスを知っているか」において年齢差がみられます。具体的には、20 歳代以下（2.08）や 30 歳代（2.11）といった若い世代の評点が低くなっているのに比べると、70 歳代（3.15）の評点が高くなっています。

○また、「高齢者にとって暮らしやすい」「障がいのある人にとって暮らしやすい」では、いずれも 20 歳代以下の評点が他の年齢層よりも高くなっています（図 4-6-2）。

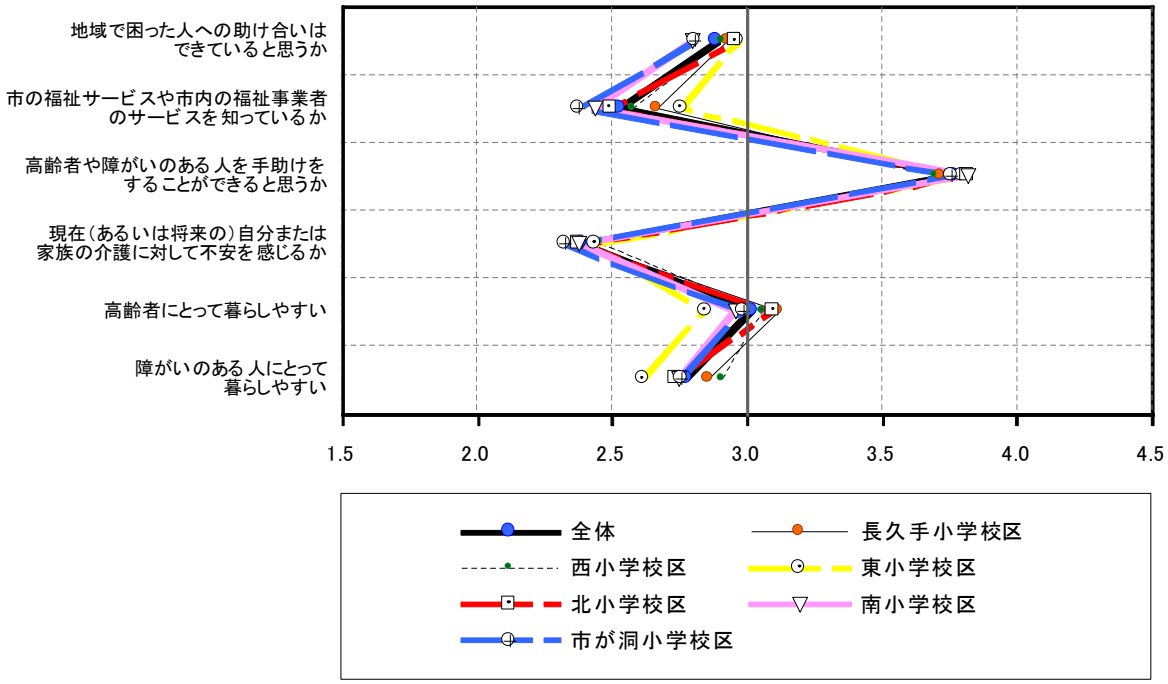
図 4-6-2　年齢別「福祉について（評点）」



小学校区別

○福祉分野に関する評点では、小学校区別による大きな違いはみられません（図 4-6-3）。

図 4-6-3　小学校区別「福祉について（評点）」



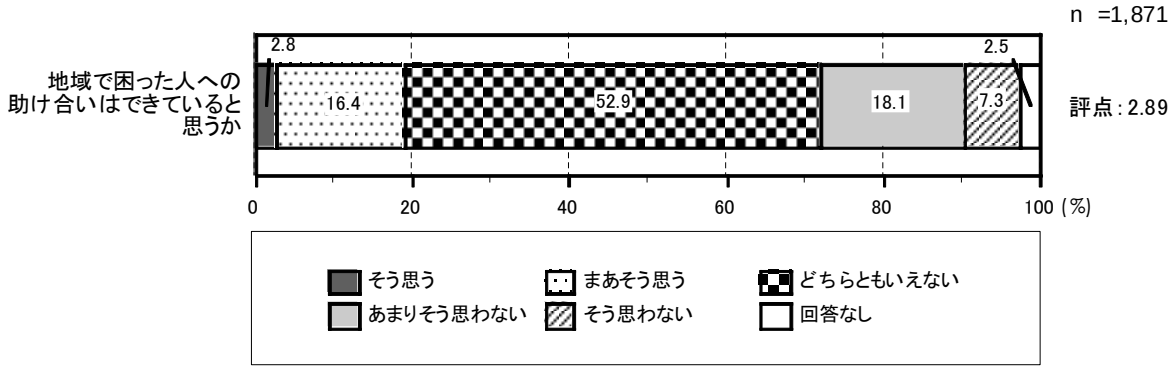
（1）地域の助け合い（問 13（1））

問 13（1）　お住まいの地域では、地域で困った人への助け合いはできていると思いますか。

【○は１つ】

○地域で困った人への助け合いができていると思うかについて、「そう思う」（2.8%）、「まあそう思う」（16.4%）の合計は 19.2%と少なく、「どちらともいえない」が 52.9%、「あまりそう思わない」（18.1%）、「そう思わない」（7.3%）の合計が 25.4%と、地域での助け合いの意識は積極的であるとはいえない状況にあります（図 4-6-4）。

図 4-6-4　地域の助け合い

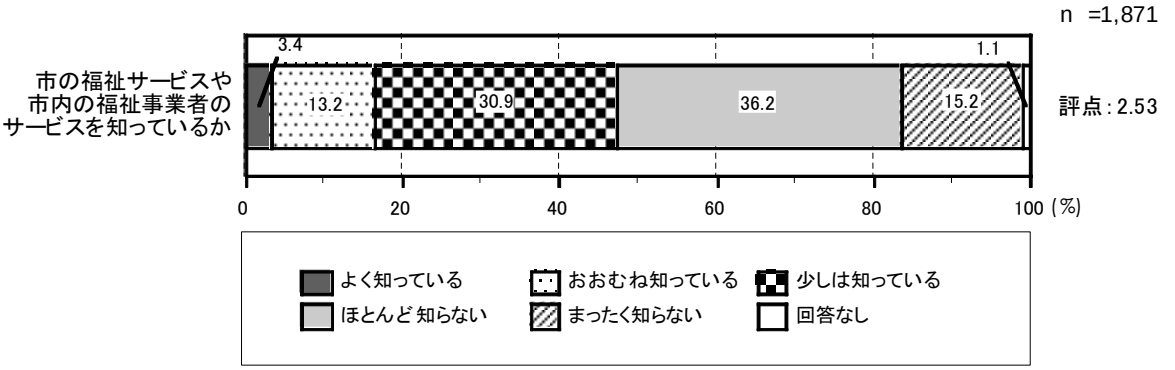


（2）市・業者による福祉サービスの周知（問 13（2））

問 13（2）　市の福祉サービスや市内の福祉事業者のサービスを知っていますか。【○は一つ】

○福祉サービスについて、「よく知っている」（3.4%）、「おおむね知っている」（13.2%）の合計は 16.6%にとどまり、「少しは知っている」（30.9%）を合わせても半数弱となります。一方、「まったく知らない」（15.2%）、「ほとんど知らない」（36.2%）の合計は 51.4%を占めており、今後も福祉に関する関心を高め、施策やサービスの内容を周知する必要があります（図 4-6-5）。

図 4-6-5　市・事業者による福祉サービスの周知

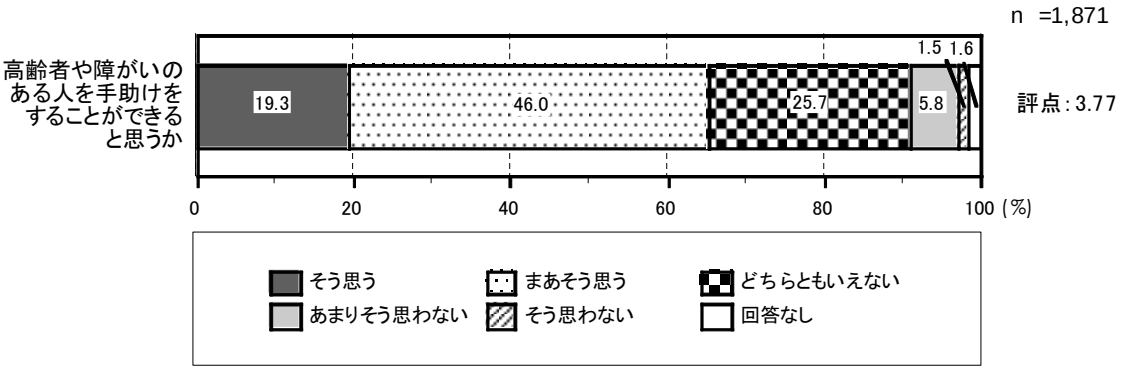


（３）高齢者や障がい者を手助けできるか（問 13（3））

問 13（3）　高齢者や障がいのある人、ベビーカーを使っている人など、まちで困っている人がいるとき、手助けをすることができると思いますか。【○は１つ】

○高齢者や障がい者などまちで困った人を見かけたとき手助けするかについて、「まあそう思う」が 46.0%で最も高く、「そう思う」（19.3%）と合わせると 65.3%を占めています。「そう思わない」（1.5%）、「あまりそう思わない」（5.8%）を合わせた 7.3%を大きく上回っています。（図 4-6-6）。

図 4-6-6　高齢者や障がい者を手助けできるか

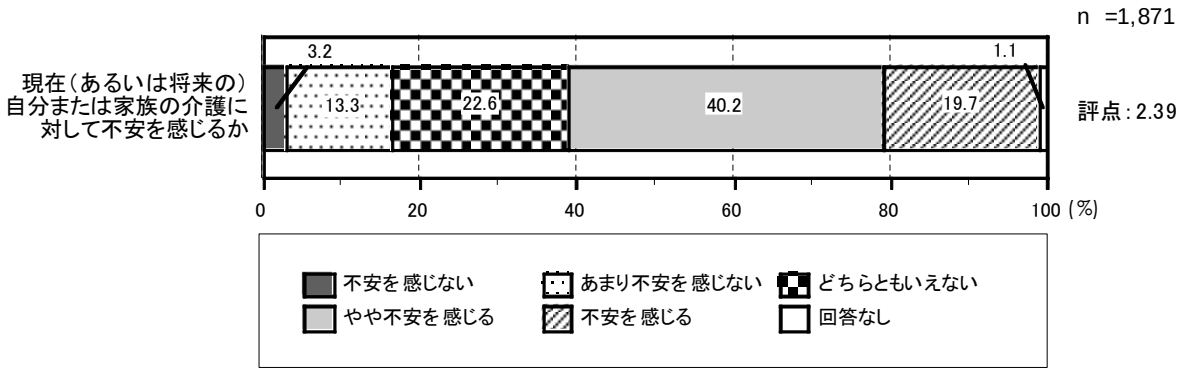


（４）自分または家族の介護についての不安（問 13（4））

問 13（4）　現在（あるいは将来の）、自分または家族の介護に対して不安を感じますか。【○は１つ】

○現在（あるいは将来の）介護に対する不安の有無について、「やや不安を感じる」が 40.2%と最も高く、「不安を感じる」（19.7%）と合わせると 59.9%と高くなっています。「不安を感じない」（3.2%）、「あまり不安を感じない」（13.3%）の割合は合計で 16.5%にとどまっています。

図 4-6-7　自分または家族の介護についての不安



（５）地域が高齢者・障がい者にとって暮らしやすいかー１（問 13（5）-1）

問 13（5）-1 お住まいの地域は、高齢者にとって暮らしやすい地域であると思いますか。障がいのある人にとって暮らしやすい地域であると思いますか。【○は１つ】

①高齢者にとって暮らしやすい

（６）地域が高齢者・障がい者にとって暮らしやすいかー２（問 13（5）-2）

問 13（5）-2 お住まいの地域は、高齢者にとって暮らしやすい地域であると思いますか。障がいのある人にとって暮らしやすい地域であると思いますか。【○は１つ】

②障がいのある人にとって暮らしやすい

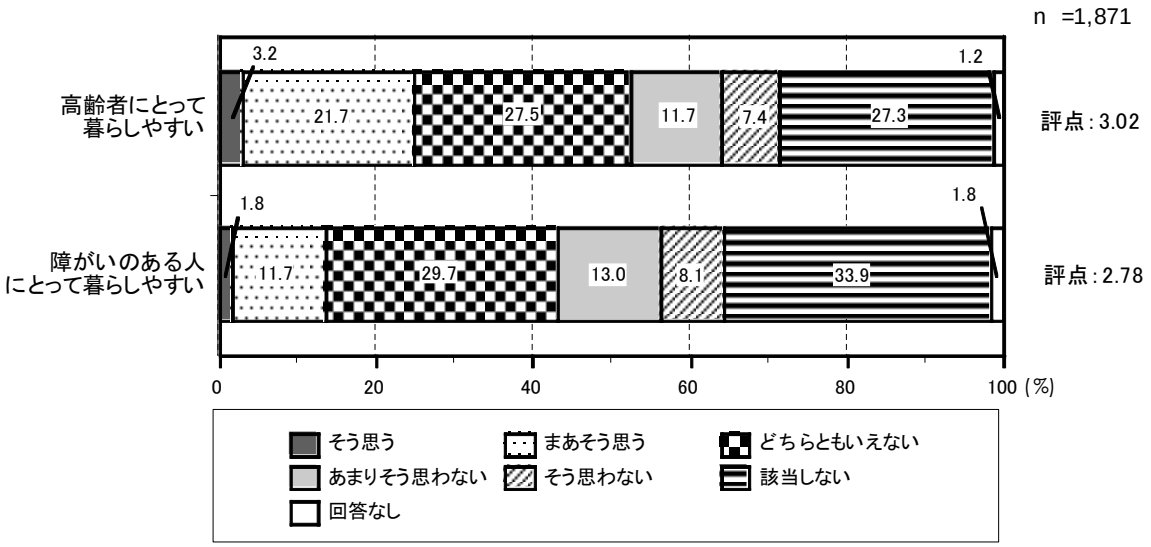
○「高齢者や障がいのある人にとって暮らしやすい地域であるか」について、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は、高齢者 24.9%と低く、障がい者では 13.5%とさらに低い割合にとどまっています。

○ただし、「該当しない」（高齢者：27.3%、障がい者：33.9%）を除けば、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は、高齢者では 34.3%に相当し、障がい者でも 20.4%に相当します。

○同様に「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計は、「該当しない」を除けば、高齢者では 26.3%、障がい者で 31.9%に相当します。

○したがって、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は、「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた割合よりも、高齢者では 8.0 ポイント上回っていることに相当する一方で、障がい者では 11.5 ポイント下回っていることに相当することなります（図 4-6-8）。

図 4-6-8　地域が高齢者・障がい者にとって暮らしやすいか



4－7　文化・生涯学習について（問 14）

要点

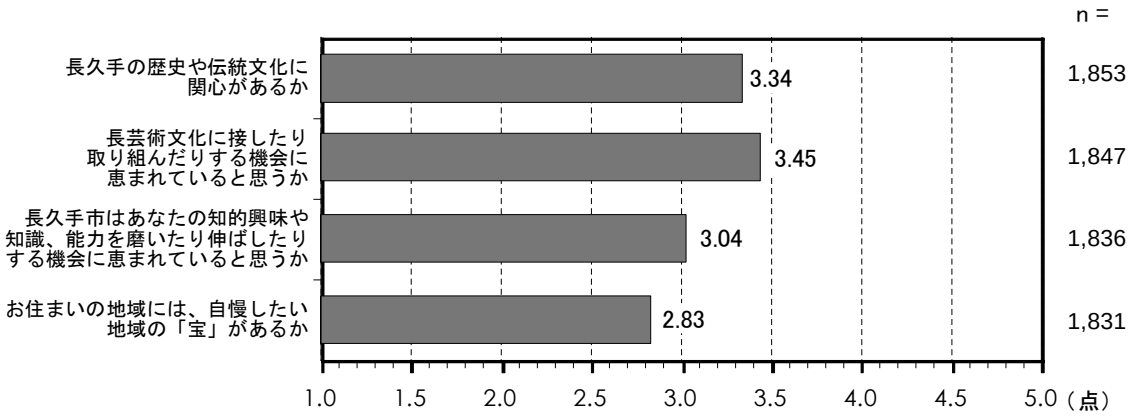
「長久手市は芸術文化に接したり取り組んだりする機会に恵まれていると思うか」の評点が最も高い一方で、「お住まいの地域には、自慢したい「宝」があるか」の評点が他の項目に比べて低くなっています。また、「長久手市はあなたの知的興味や知識、能力を磨いたり伸ばしたりする機会に恵まれていると思うか」の評点は、歴史や伝統文化への関心、芸術文化に親しむ機会と比べて低くなっています。

全体

○「長久手市は芸術文化に接したり取り組んだりする機会に恵まれていると思うか」の評点が 3.45 と最も高い一方で、「お住まいの地域には、自慢したい「宝」があるか」の評点が 2.83 と低くなっています。

○「長久手市はあなたの知的興味や知識、能力を磨いたり伸ばしたりする機会に恵まれていると思うか」の評点も 3.04 と他の項目と比べると若干低くなっています（図 4-7-1）。

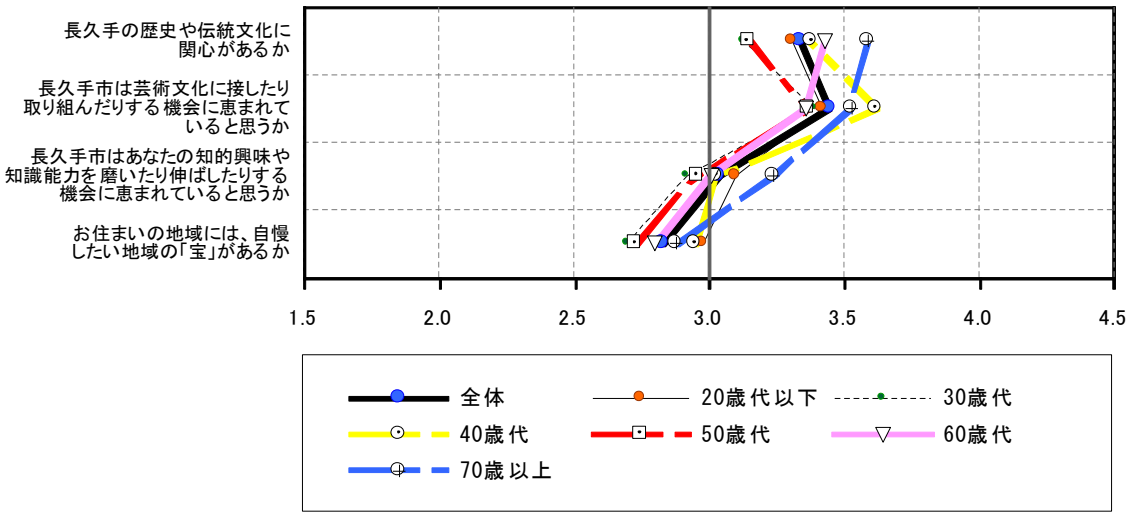
図 4-7-1　文化・生涯学習について（評点）



年齢別

○30 歳代と 50 歳代の評点が全体的に比べて若干低くなっていますが、年齢別による大きな違いはみられません（図 4-7-2）。

図 4-7-2　年齢別「文化・生涯学習について（評点）」

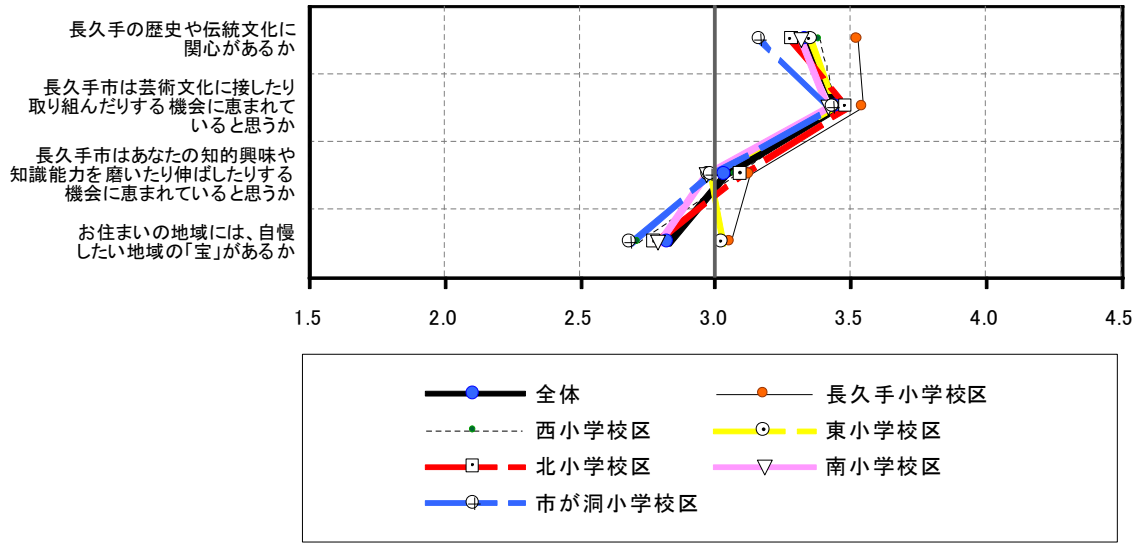


小学校区別

○小学校区別に見ても、全体と比べて大きな違いは見られません。

○ただし、長久手小学校区がすべての項目で全体よりも評点が高く、自慢したい地域の「宝」は東小学校区でも高くなっています。市が洞小学校区は、歴史・伝統文化への関心が最も低いといった傾向もみられます（図 4-7-3）。

図 4-7-3　小学校区別「文化・生涯学習について（評点）」

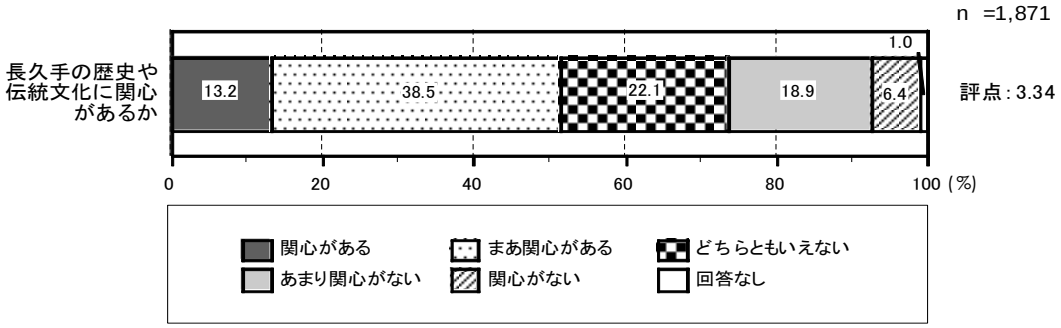


（1）伝統・文化への関心（問 14（1））

問 14（1）　長久手の歴史や伝統文化（「小牧・長久手の戦い」の地になったことや地域の昔話、棒の手等のお祭りなど）に関心がありますか。【○は１つ】

○伝統・文化への関心は、「まあ関心がある」が 38.5%と最も高く、「関心がある」（13.2%）と合わせた割合は51.7%で、「あまり関心がない」（18.9%）及び「関心がない」（6.4%）を合わせた25.3%より高くなっています（図4-7-4）。

図 4-7-4　伝統・文化への関心

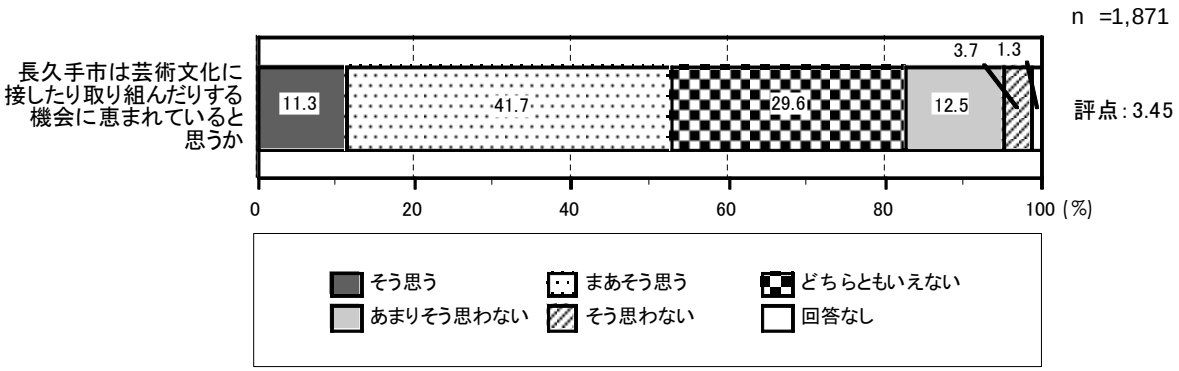


（2）芸術文化に接する機会（問 14（2））

問 14（2）　長久手市は、芸術文化（演劇やコンサート、美術展など）に接したり取り組んだりする機会に恵まれていると思いますか。【○は１つ】

○「芸術文化に接する機会に恵まれているか」について、「まあそう思う」が 41.7%で最も高く、「そう思う」（11.3%）と合わせた割合は53.0%で、「あまりそう思わない」（12.5%）及び「そう思わない」（3.7%）を合わせた16.2%より高くなっています（図4-7-5）。

図 4-7-5　芸術文化に接する機会



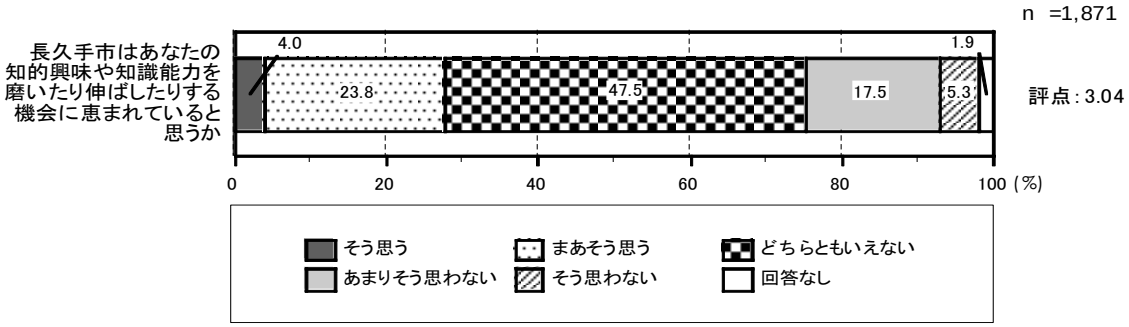
（3）知識・能力を伸ばす機会（問 14（3））

問 14（3） 長久手市は、あなたの知的興味や知識、能力を磨いたり伸ばしたりする機会（生涯学習活動を行う機会）に恵まれていると思いますか。【○は１つ】

○「自己の興味や知識・能力を伸ばす機会に恵まれているか」について、「どちらともいえない」の 47.5%が最も高くなっています。

○「そう思う」(4.0%)、「まあそう思う」(23.8%) の合計は 27.8%で、「あまりそう思わない」(17.5%) 及び「そう思わない」(5.3%) の合計 22.8%より若干多くなっています（図 4-7-6)。

図 4-7-6　知識・能力を伸ばす機会



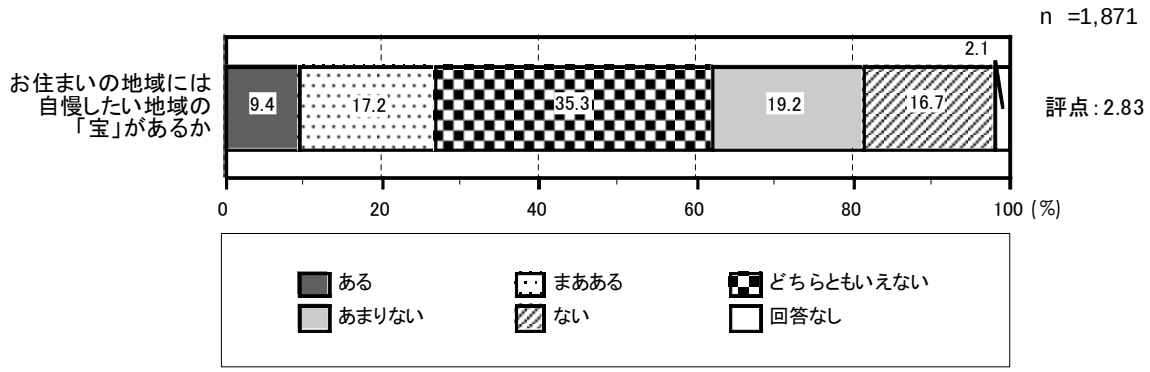
（4）地域における自慢すべき「宝」の有無（問 14（4））

問 14（4） お住まいの地域には、自慢したい地域の「宝」（風景や産物、文化、行事など）がありますか。【○は１つ】

○地域における自慢すべき「宝」の有無について、「どちらともいえない」の 35.3%が最も高くなっています。

○「ある」(9.4%)、「まあある」(17.2%) の合計は 26.6%であり、「あまりない」(19.2%) 及び「ない」(16.7%) を合わせた 35.9%を大きく下回っています。

図 4-7-7　地域における自慢すべき「宝」の有無



（4）で「1．ある」「2．まあある」に「○」を付けた方は、あなたがお住まいの地域の「宝」であると思うものを、具体的にあげてください。

○モリコロパークやリニモ、各種公園などを含む「各種施設・公園」の件数が最も多くなっています。
○また、「棒の手」や「長湫の警固祭り」「岩作のオマント」、さらには各地の祭りなどの「伝統文化」、「古戦場」や史跡、寺社なども数多くあげられています。
○さらに、自然・緑地や景観、各種行事、地産地消の特産品、子どもが多いことなど、生活者の視点からバラエティに富んだ地域の「宝」があげられています（表 4-7-1）。

表 4-7-1　地域における自慢すべき「宝」（その１）

■１．伝統文化（127 件）
- 棒の手（47）
- 長湫の警固祭り、岩作のオマント（34）
- 各種祭り（20）
  秋祭り、九万九千日祭り
  秋葉山行者祭り
  古戦場まつり、納涼祭り、天王祭り
  神社の祭り、さくら祭り、盆踊り　等
- 火縄銃（4）
- 歴史（4）
- 神楽（3）
- 長久手の合戦（2）
- その他（13）
  お月見どろぼう、県の無形文化財
  子供獅子、左義長、太鼓、大黒
  山車、長久手城址、神輿、昔話　等

■２．史跡、寺社・仏閣（58 件）
- 古戦場（25）
- 史跡（9）
- 景行天皇社（7）
- 塚（6）
- 寺社（8）
  富士社、安昌寺、永見寺、三光院　等
- 弘法（2）
- その他（1）
  行燈

■３．各種施設・公園（194 件）
- モリコロパーク（42）
- リニモ（23）
- 文化の家（21）
- 古戦場公園（17）
- 各種公園（17）
  鴨田公園、交通公園、児童遊園
  青少年公園、桧ヶ根公園、原邸公園　等
- 杁ヶ池公園（12）
- あぐりん村（9）
- 長久手温泉ござらっせ（9）
- 色金山歴史公園（6）
- 各種公共施設（6）
  歴史資料館、福祉施設 等
- 図書館（5）
- 色金山歴史公園（4）・せせらぎの径（4）
- トヨタ博物館（3）
- 名都美術館（3）
- 各種大学（2）
- 福祉の家（2）
- 愛知医大（2）
- その他（7）
  たいようの杜、地下鉄の車庫
  未来的な建物、リニモ駅周辺
  モリコロパークの観覧車 等

■４．自然・景観（71 件）
- 自然・緑地（16）
- 様々な小動物・昆虫（9）
  カワセミやキジ、ホタルなどの生き物
- 自然景観（7）
  田園風景、季節の風景
  田舎の風景
- 街並み（6）
- 田園・田畑（東小周辺など）（6）
- 緑地（5）
- 香流川などの河川（4）
- 桜（4）
  杁ヶ池公園の桜、古戦場の桜
  血の池公園の桜　等
- 杁ヶ池（2）
- 山並み（2）
  御嶽山、伊吹山　等
- 紅葉（2）
  文化の家周辺　等
- 街路樹（2）
- その他（6）
  たいようの杜から名東区に抜ける森
  ピエールプレシューズから見る風景
  自宅の寒椿、青い空、林、土筆　等

表 4-7-1　地域における自慢すべき「宝」（その２）

■５．行事、イベント（22 件）

・花火大会（9）
・地区の祭り（5）
　校区夏祭り
　北部自治会連合会主催夏祭り
　夏祭り　等
・運動会（2）
　校区運動会 等
・文化の家のコンサート（2）
・その他のイベント（4）
　トヨタクラシックカーフェスティバル
　リニモクリスマストレイン
　はなみずき駅周辺のｸﾘｽﾏｽｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝ
　、東谷山祭り　等

■６．その他（19 件）

・住みやすさ（3）
　住みよい環境
　新興住宅地のオシャレな感じ
　きれいな新築の家
・地産地消の特産品（3）
　米粉パン、農産物、
　地産地消の取組
・子ども関連の取組（3）
　子供会、小学校ＰＴＡ、
　平成こども塾、アピタの子ども商店
・子どもが多いこと（3）
・安全安心な取組（3）
　自主防災組織、婦人消防団
　安心メール
・住民（2）
　ひと、地域のお年寄り
・その他（2）
　地域の名称、長久手ソング 等

4－8　生活インフラについて（問 15）

要点

「買い物や通院に便利か」の評点が最も高く、次いで「出かける際の移動が便利かや「出かける際の移動の安全が確保されていると思うか」など交通基盤や公共交通に関する評点はいずれも高くなっています。一方で、「就業しやすい環境にあると思うか」の評点が低くなっています。

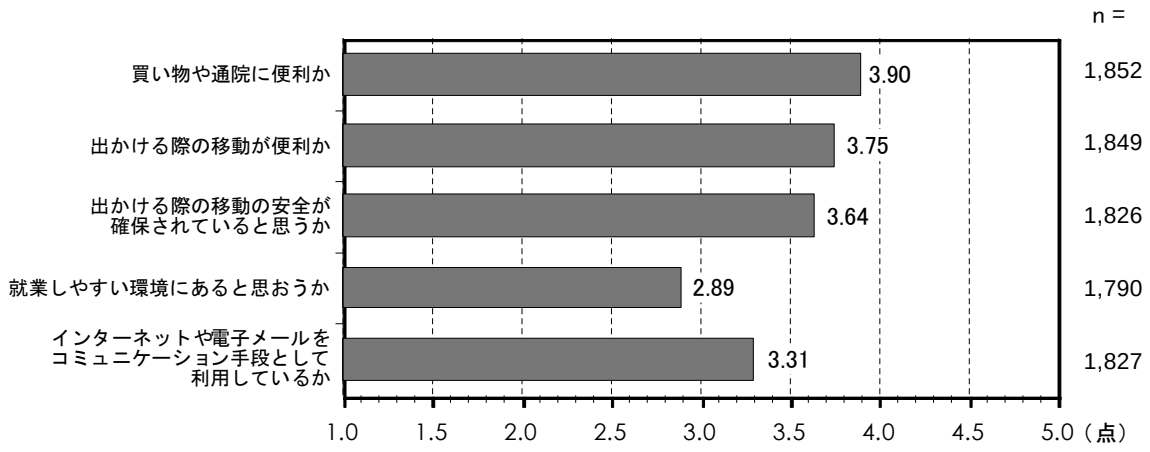
年齢別にみると、「インターネットや電子メールをコミュニケーション手段として利用しているか」で 20 歳代以下をはじめとする若い世代の評点が高くなっています。

また、小学校区別にみると、移動手段や移動の安全、インターネット利用などで東小学校区の評点が低くなっています。

全体

○「買い物や通院に便利か」の評点が 3.90 と最も高くなっています。、また、「出かける際の移動が便利か」（3.75）や「出かける際の移動の安全が確保されていると思うか」（3.64）などの評点も高くなっています。一方で、「就業しやすい環境にあると思うか」の評点が 2.89 と低くなっています（図 4-8-1）。

図 4-8-1　生活インフラについて（評点）



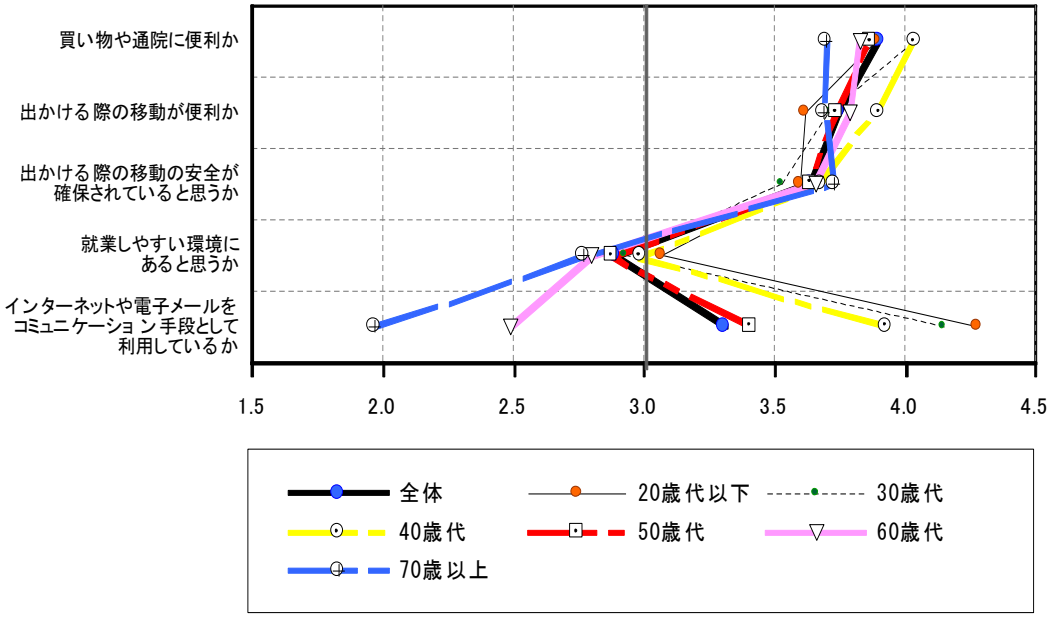
調査隊

○「買い物」や「移動」は便利と感じている人の割合が高いが、それに比べ就業しやすい環境にはないと感じている人の割合が高いことがわかります。（図 4-8-1）。

年齢別

○「インターネットや電子メールをコミュニケーション手段として利用しているか」において大きな年齢差がみられます。具体的には、20 歳代以下（4.28）をはじめ、30 歳代（4.15）、40 歳代（3.93）といった若い世代の評点が高くなる一方で、70 歳以上（1.97）や60 歳代（2.49）の評点が全体を大きく下回っています（図 4-8-2）。

図 4-8-2　年齢別「生活インフラについて（評点）」

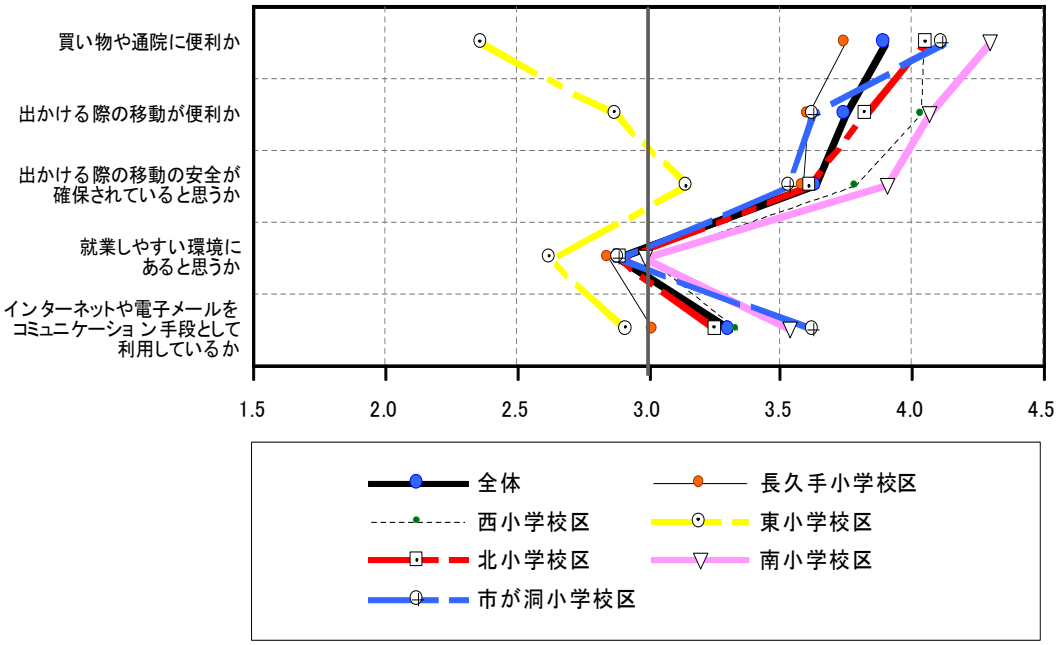


小学校区別

○「買い物や通院に便利か」については、南小学校区（4.30）や西小学校区（4.05）が他の小学校区よりも評点が高い一方で、東小学校区（2.37）では、評点が低くなっています。

○東小学校区では、全ての項目で他の小学校区よりも評点が低くなっています（図 4-8-3）。

図 4-8-3　小学校区別「生活インフラについて（評点）」

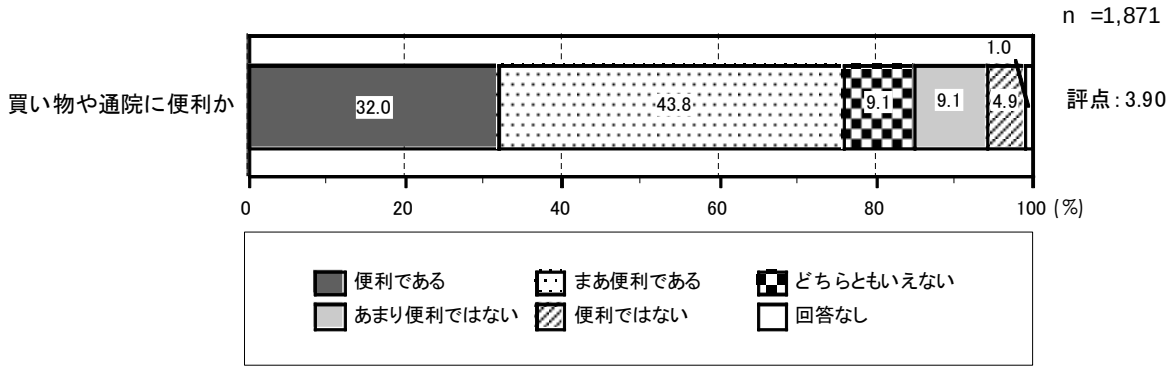


（1）買い物、通院の便（問 15（1））

問 15（1）　お住まいの地域は、買い物や通院に便利ですか。【○は１つ】

○買い物や通院の利便性について、「まあ便利である」が 43.8%で最も高く、「便利である」（32.0%）と合わせた割合は 75.8%で、「便利でない」（4.9%）及び「あまり便利でない」（9.1%）の合計 14.0%を大きく上回っています（図 4-8-4）。

図 4-8-4　買い物、通院の便

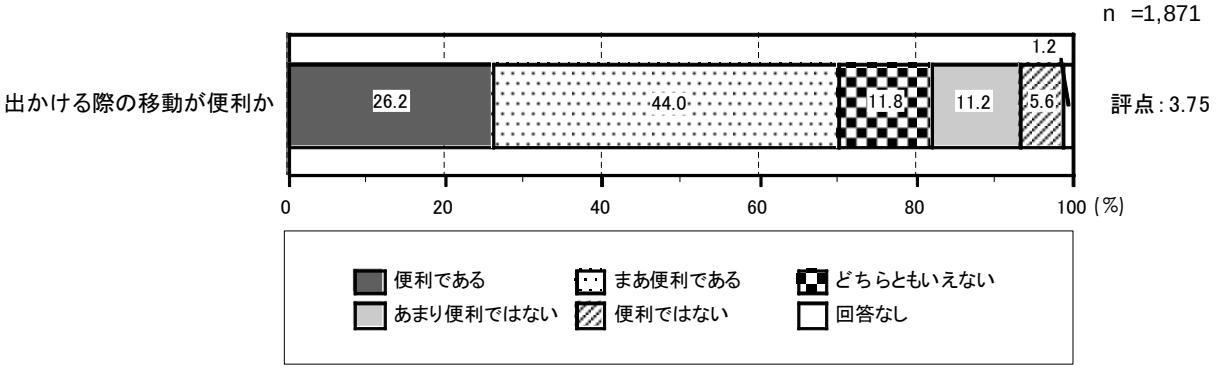


（2）出かける際の移動の便（問 15（2））

問 15（2）　お住まいの地域は、出かける際の移動が便利ですか。【○は１つ】

○出かける際の移動が便利かについて、「まあ便利である」が 44.0%で最も高く、「便利である」（26.2%）と合わせた割合は 70.2%で、「便利でない」（5.6%）及び「あまり便利でない」（11.2%）の合計 16.8%を大きく上回っています（図 4-8-5）。

図 4-8-5　出かける際の移動の便

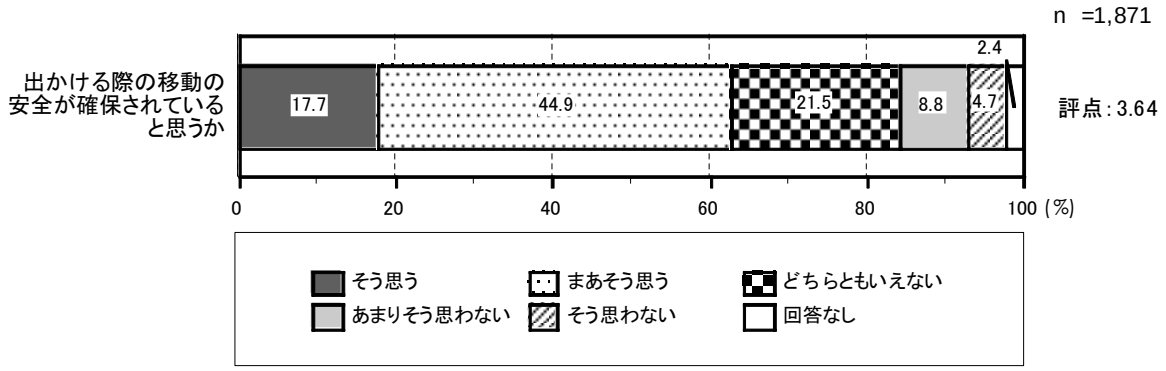


（3）出かける際の移動の安全（問 15（3））

問 15（3） お住まいの地域は、出かける際の移動の安全が確保されていると思いますか。【○は１つ】

○出かける際の移動の安全について、「まあそう思う」が 44.9%で最も高く、「そう思う」（17.7%）と合わせた割合は 62.6%で、「そう思わない」（4.7%）及び「あまりそう思わない」（8.8%）の合計 13.5%を大きく上回っています（図 4-8-6）。

図 4-8-6　出かける際の移動の安全



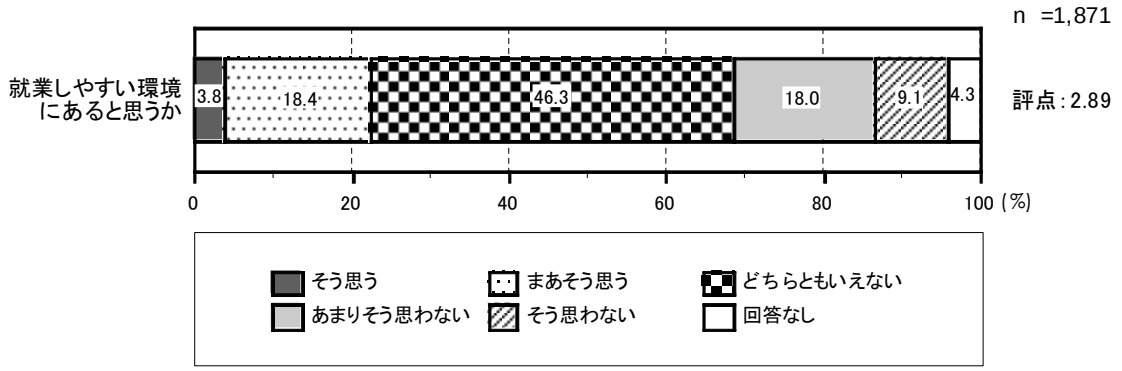
（4）就業環境（問 15（4））

問 15（4） お住まいの地域（長久手市及びその周辺地域）では、仕事が見つかりやすく就業しやすい環境（パート労働も含む）にあると思いますか。【○は１つ】

○住まいの地域が就業しやすい環境にあると思うかについて、「どちらともいえない」が 46.3%と最も多くなっています。

○「そう思う」（3.8%）及び「まあそう思う」（18.4%）を合わせた割合は 22.2%で、「そう思わない」（9.1%）及び「あまりそう思わない」（18.0%）の合計 27.1%より若干少なくなっています（図 4-8-7）。

図 4-8-7　就業環境

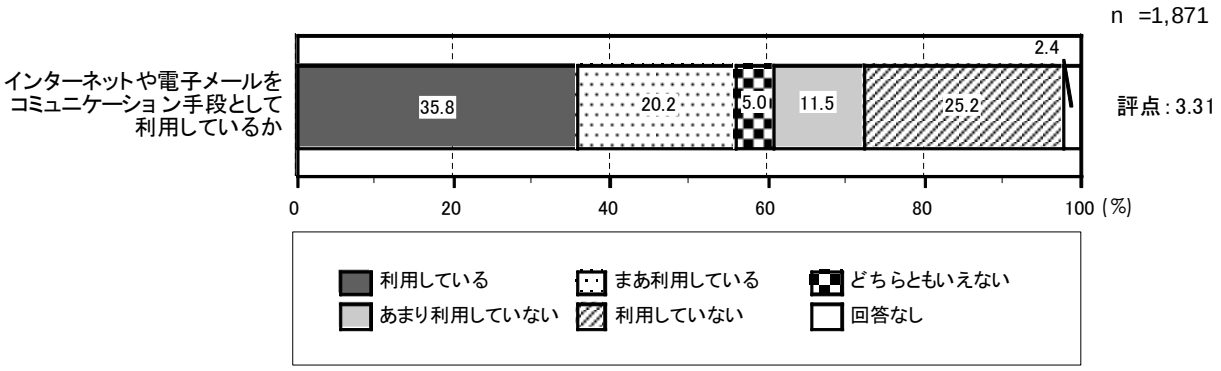


（５）インターネットや電子メールの利用（問 15 (5)）

問 15 (5)　インターネット（ツイッターやフェイスブック、ライン等も含む）や電子メールをコミュニケーション手段として利用していますか。【○は１つ】

○インターネットや電子メールをコミュニケーション手段として利用しているかについて、「利用している」が 35.8%で最も高く、「まあ利用している」(20.2%) と合わせた割合は 56.0%あり、半数以上がインターネット等を利用しています (図 4-8-8)。

図 4-8-8　インターネットや電子メールの利用



４－９　まちづくりにおける地域の役割について（問 16）～（問 18）

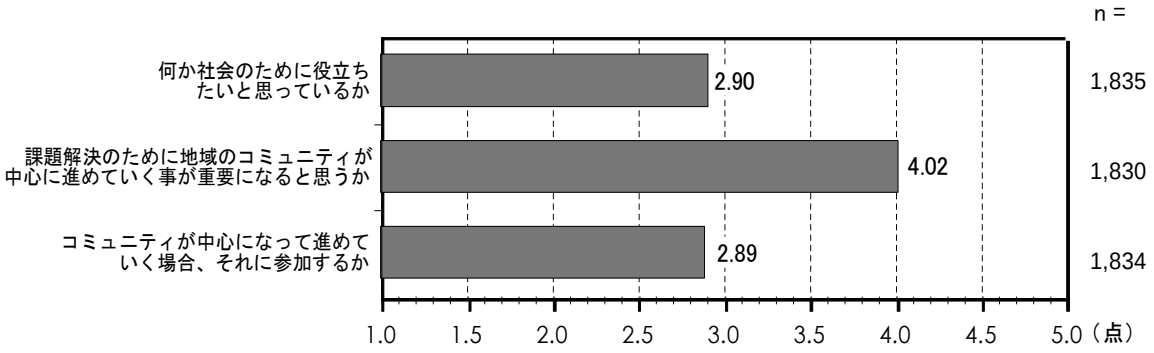
要点

「課題解決のために地域のコミュニティが中心に進めていく事が重要になると思うか」の評点が最も高い一方で、「何か社会のために役立ちたいと思っているか」や「コミュニティが中心になって進めていく場合、それに参加するか」の評点が低い水準にとどまっています。地域が主体となったコミュニティ活動の重要性への理解に比べて、自らが地域づくりの担い手として役割を持ち活動に参加するという意識は低い状況にあるいことがうかがえます。

全体

○「課題解決のために地域のコミュニティが中心に進めていく事が重要になると思うか」の評点が 4.02 に比べて、「コミュニティが中心になって進めていく場合、それに参加するか」の評点が 2.89 と低く、また「何か社会のために役立ちたいと思っているか」の評点も 2.90 と低くなっています（図 4-9-1）。

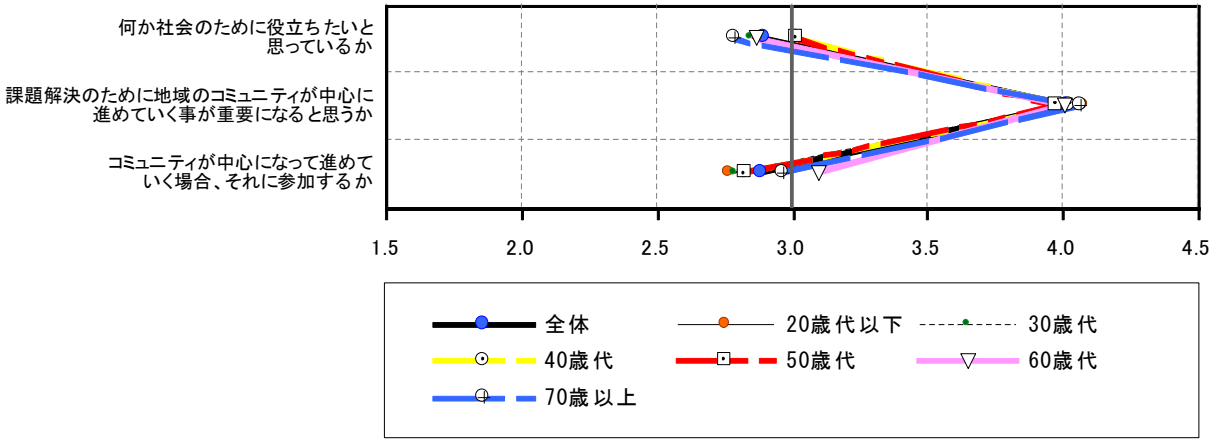
図 4-9-1　まちづくりにおける地域の役割について（評点）



年齢別

○「コミュニティが中心になって進めていく場合、それに参加するか」について、60 歳代（3.10）や 70 歳代（2.97）の評点が若干高くなっていますが、年齢別による大きな違いはみられません（図 4-9-2）。

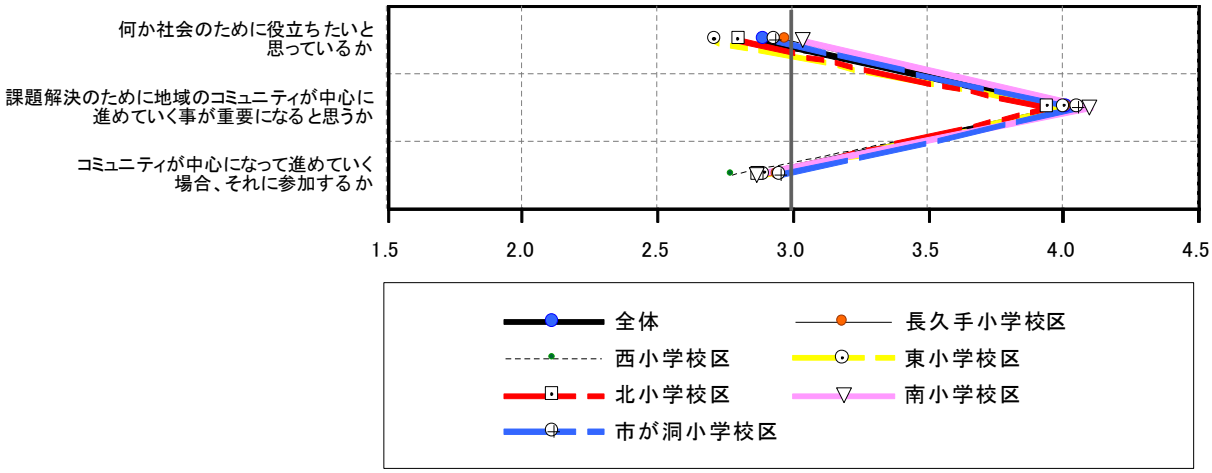
図 4-9-2　年齢別「まちづくりにおける地域の役割について（評点）」



小学校区別

○小学校区別に見ても、全体平均と比べて大きな違いは見られません（図 4-9-3）。

図 4-9-3　小学校区別「まちづくりにおける地域の役割について（評点）」

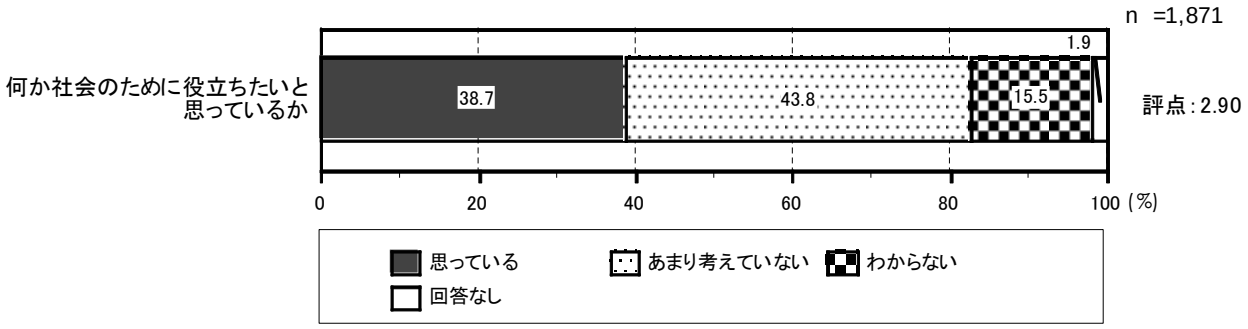


（1）地域における社会貢献の意思（問 16）

問 16 あなたは、日ごろ地域社会の一員として、何か社会のために役立ちたいと思っていますか。それとも、あまりそのようなことは考えていませんか。【○は１つ】

○社会のために役立ちたいと思っているかについて、「あまり考えていない」が 43.8％と最も高く、「思っている」（38.7％）を 5.1 ポイント上回っています（図 4-9-4）。

図 4-9-4　地域における社会貢献の意思

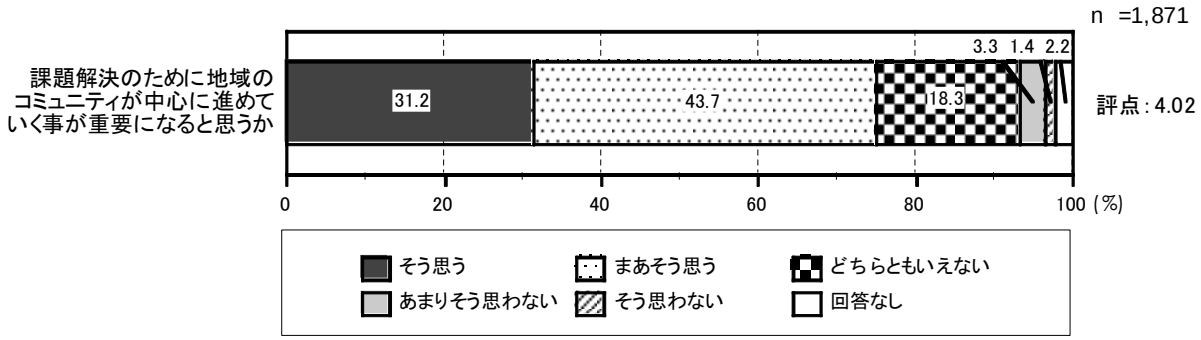


（2）課題解決におけるコミュニティの重要性（問 17）

問 17 地域にはさまざまな課題があると思われますが、このような課題を解決していくためには、地域のコミュニティが中心になって進めていくことが今後ますます重要になると思いますか。【○は１つ】

○地域の課題解決のためにコミュニティの役割が重要かについて、「まあそう思う」が 43.7％で最も高く、「そう思う」（31.2％）との合計は 74.9％で、多くの回答者が地域コミュニティの重要性を認識しています（図 4-9-5）。

図 4-9-5　課題解決におけるコミュニティの重要性



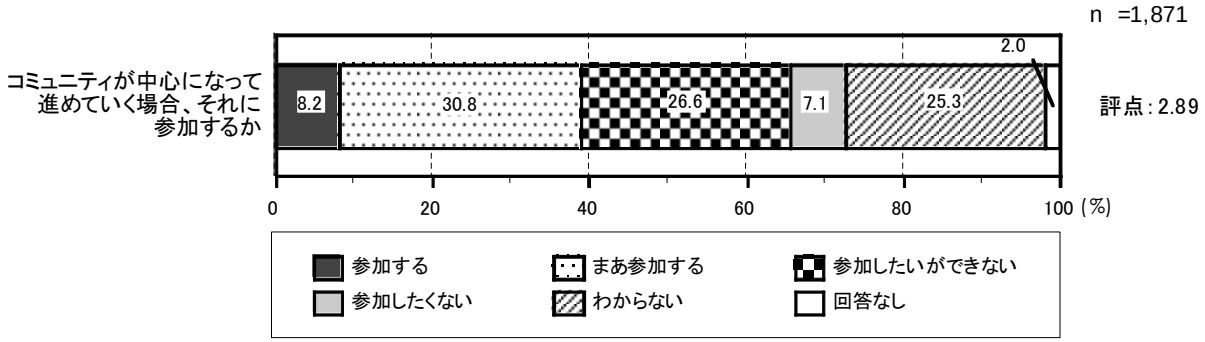
（3）地域コミュニティへの参加の意思（問18）

問18　問17のような取組などを地域コミュニティが中心になって進めていく場合、それに参加しますか。
【○は１つ】

○地域コミュニティへの参加の意思について、「まあ参加する」が30.8%で最も高く、「参加する」（8.2%）と合わせた割合は39.0%となっています。さらに、「参加したいができない」の26.6%を加えると、全体の約７割が参加の意向を示しています。

○「参加したくない」は7.1%にとどまっています。（図4-9-6）。

図4-9-6　地域コミュニティへの参加の意思



■調査隊からの提案■

コミュニティによる地域活動に「参加できない」「したくない」という人が少なくありません。「地域デビューの日」として地域活動をしていくノウハウを学ぶ講演会＆ワークショップや、月一回一時間程度の自由解散のお茶会（飲み会）を開催してはどうでしょうか。何か生まれればラッキーというくらいのスタンスで。

問 18 で「3. 参加したいができない」「4. 参加したくない」に「○」を付けた方は、その理由をご記入ください。

○「仕事で忙しい」ことを理由にあげた意見が最も多く 180 件あります。

○次いで「子育てで忙しい」(77 件)、「とにかく時間がない」(49 件)、「家族の介護で忙しい」などの忙しさに関する意見、「健康上の理由」(51 件) や「高齢のため」(48 件) など加齢による健康や体力の衰えなどの意見も多くみられます。

○一方で、必要性を感じつつも「ご近所づきあいが煩わしく面倒」という意見や、「参加のきっかけや機会、必要な情報が不足」しているために参加できないという意見、必要性を感じつつも「苦手、自信がない」といった意見など、コミュニティ活動への参加を促進するための問題点や課題も指摘されています (図 4-9-7)。

図 4-9-7　地域コミュニティの活動に「参加したいができない」「参加したくない」理由

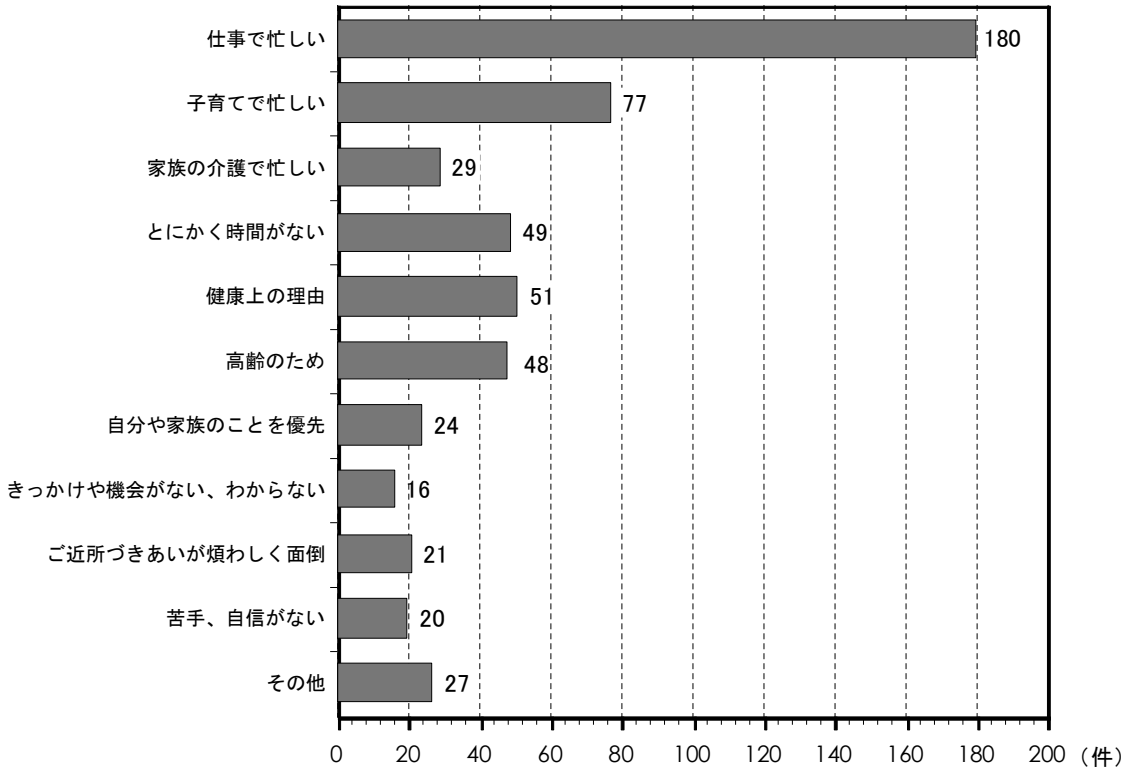


表 4-9-1　地域コミュニティの活動に「参加したいができない」「参加したくない」主な理由（抜粋）

分類	主なご意見（抜粋）
１：仕事で忙しい	・勤務先が市外で平日は時間的に不可能。休日も時間が少ない。 ・自営業なので時間、休日が少ない。 ・仕事があり、コミュニティの集まりは夜や土日が多いため。 ・仕事に拘束される時間が長く、余力がない。 ・パート勤務で時間の余裕がない。 ・夫婦共働きで毎日が精一杯。
２：子育てで忙しい	・育児に追われ、自由になる時間がない。 ・子育てしていると暇がない。 ・子供を預けてまで参加することはしにくい。 ・子供が小さいので、あと数年は難しい。 ・子供の用事で自由になる時間がない。 ・孫達のめんどうに明け暮れているため。
３：家族の介護で忙しい	・介護生活のため、自分の思うような行動がとれない。 ・親の介護が優先。 ・家族に体調が悪い者がおり、時間的余裕がない。 ・県外に高齢者の母がいるため、まずは自分の母から。 ・自宅に 93 歳の義母と同居しているので自由時間がない。
４：とにかく時間がない	・家にいない時間が多い。 ・学業が忙しいため。 ・時間的余裕がない。 ・平日は時間的に難しい。 ・時間調整ができない。 ・他のボランティアをやっている。
５：健康上の理由	・移動するのに車椅子を使用しているため。 ・足、腰が痛いので。 ・自分自身の健康に不安がある。 ・体力がない。 ・身体障がい者のため。
６：高齢のため	・高齢のためにできることは少ないと思う。 ・年齢的に参加すると、かえって足手まといになる気がする。 ・年齢的に心配だから。 ・もうすぐ高齢になり貢献できない。
７：自分や家族のことを優先	・家の用事で忙しいが、落ち着いたら参加したい。 ・家族に問題を抱えているため。 ・自分たちのことで精一杯である。 ・自分の時間を大切にしたい。
８：参加のきっかけや機会、必要な情報が不足	・きっかけがない。 ・コミュニティの参加の仕方が分からない。 ・どんなコミュニティがあるか知らない。 ・参加の手段がわからない。 ・どのような取り組みがあるかわからない。 ・参加するにはかなり勇気がいると思う。
９：ご近所づきあいが煩わしく面倒	・昔からの住民中心の中へは入りづらいから。 ・旧来の絆が強く一般者が参加しがたい。 ・他の地域から来た人に対しオープンでない。 ・隣、近所とは距離を置いて付き合いたい。 ・人間関係がめんどう。
10：苦手、自信がない	・地域とつながるのは苦手。 ・自分にできる自信がない。 ・必要性は感じるが、今の自分にできることがあるか不安。 ・人前で話したりするのが苦手。 ・人付き合いが好きではないため。
11：その他	・県外から転入してきたため、地元とは思えない。 ・参加したいと思う行事に出会ったことがないため。 ・参加しても若い人の発言は受け入れてもらえない気がする。 ・定年でようやくのんびりしているところ。 ・何かトラブルが発生しそう。

第５章　総括

（1）今後に向けて

ながくて幸せ実感アンケート（以下「幸せ実感アンケート」という。）は、「ながくて幸せのモノサシづくり」を進めるにあたって、その基礎的な知見を得るため、アンケートの実施を通じて、長久手の姿や市民の皆様の暮らしの状況等を確認することを目的として実施しました。

本市がこれまで行ったアンケート調査については、その成果を検証し、様々な形で市政運営などに反映してきました。今回実施した幸せ実感アンケートについても、その成果を活用・発展させていくために、３つの取組を実施していきます。

１．定期的な幸せ実感アンケートの実施による、幸福度の傾向の把握

一定期間ごとに、この幸せ実感アンケートを実施し、結果を公表することで、定点観測的に本市や各地区の状態、変化を把握し、今後のまちづくりを市民の皆様と考えていくための道具として活用します。

２．幸せ実感アンケートの集計・分析結果をまちづくりに活用

現在本市が、新しいまちの仕組みづくりとして進めている小学校区単位のまちづくりにおいて、その地区の状態を把握するための道具として、この幸せ実感アンケート結果を活用していきます。

３．「気づき」のきっかけとして、幸せ実感アンケートの集計結果を公開

公共データの積極的な公開と活用を促進する目的から、ながくて幸せ実感アンケートの調査結果の基礎データを公開します。利用者が効果的にデータを活用し、様々な「気づき」を発見していただくことにより、地域が活性化することを期待します。

これらは、「ながくて幸せのモノサシづくり」を構成する取組として、今後順次事業を実施していく予定です。

（２）総括（ながくて幸せのモノサシづくりアドバイザー）

住みやすく幸せ度の高いまち長久手づくりの序章
～幸せのモノサシづくりの意義と幸せ実感アンケート結果の活用～

ながくて幸せのモノサシづくりアドバイザー
関西大学教授　草郷孝好

ながくて幸せのモノサシづくりの取り組みが始まって１年半が経過、ここに幸せ実感アンケート結果及び幸せ実感調査隊活動報告書（詳細は資料編参照）をまとめることができました。まず、この報告書の厚さに驚き、次に、報告書のページを繰ってみて、その中身の濃さに深い感動を覚えているのは私だけではないでしょう。今回の幸せ実感調査隊の活動に関しては、「一体何を目指している活動なのか」、「なぜ市民主導なのか」、「長久手のまちづくりに活用できるものなのか」など、実に多くの質問や懸念を耳にしていただけに、この報告書を読み通して、改めて、市民と市職員の持つ知恵、活力と協力があれば、長久手市を日本で一番住みやすい、そして、幸せ度の高いまちづくりを目指していけることを確認することができました。本稿は、報告書の「おわりに」にあたるのですが、長久手の住みやすさと幸せ度の高いまちづくり活動の本格的な「はじまり」にもあたるでしょう。そこで、幸せのモノサシづくりや幸せ実感調査に関する活動について、これまでに投げかけられた５つの問いに答える形で、今回の取り組みが市内のそこかしこでさまざまな形で始まろうとしている市民主体のまちづくり活動とどのようにつながるのか、その活動の意義と今後の長久手のまちづくりへの活用の可能性を展望してみたいと思います。

問１　まちづくりになぜ市民の幸せが大切なのですか？

日本一住みやすい幸せ度の高いまちを目指す長久手市ですが、これは長久手だけではなく、日本政府の掲げる１つの大切な目標でもあります。では、なぜ、今の時代に、市民の幸福に関心を持つのかという点についてですが、これは、市民がどのような豊かさを志向しているかということと密接に関連しています。市民の考える豊かさの中身は、この 40 年間でずいぶんと変化してきました。内閣府が毎年実施している「国民生活に関する世論調査」を見てみると、そのことがよくわかります。この調査の中に、物の豊かさと心の豊かさのどちらが重要かを尋ねる質問があります。平成 26 年６月実施の調査結果を見てみると、「物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をすることに重きをおきたい」を選択した人が 63 パーセント、「まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい」を選択した人は 31 パーセントでした。1970 年代までは、物の豊かさを志向する人の割合の方が高かったのですが、80 年代には完全に逆転し、以後、心の豊かさを重視する割合が確実に増加し、今年は、物の豊かさを選択した人の２倍強になっています。

物の豊かさを実現するには、収入や雇用が重視されるわけで、経済対策を重視していくことが重要視されます。では、果たして、経済基盤が強化されれば、自然と心の豊かさも高まっていくもの

でしょうか。残念ながら、先進国の経験を見てみると、どうやらそう単純な話ではないようです。すべての人が物の豊かさが大切である、とは考えていないように、反対に、すべての人が心の豊かさの方が大切だと考えているわけでもありません。要するに、人々の価値基準は多様であり、経済的な豊かさを実現すればそれでよいという時代ではなくなっているわけです。そこで、政府も、人々の幸福度や生活への満足度などの国民の生活実感を調べ、それを幸せな国づくりを検討するうえでの指針にしようという動きが生まれてきたわけです。一体、国民は、どの程度幸福なのだろうか、国民の間で幸福度にどの程度のばらつきや格差があるのだろうか、また、各々の幸福な生活をどのように捉えているのだろうか、幸せを左右する要因はどのようなものだろうか、などを確かめていくことが必要と考えるようになってきたのです。

近年、幸福を左右する要因に注目した研究が世界各地で急速に進み、今では、経済基盤に加えて、健康、家族や隣人・知人とのつながりは国や地域関係なく大切な要素と考えられるようになってきました。また、これら３つ以外の要素でも、教育、生活環境、文化、自然などが大切であることがわかってきました。豊かな心を持つ住民によるまちづくりを実現するためには、経済基盤以外にも、力を入れていく必要がある要素があるという理解が生まれ、実際のまちづくりに活かすようになってきたのです。

このように、市民の幸せを測り、市民の幸せに影響を与える要因を探っていくことが住みやすい長久手市を実現するために欠かせないので、市民の幸せを重視し、調べていく必要があるとなってきたわけです。長久手市でも、住みやすいまちとは、市民が幸せをしっかりと感じ取れる生活ができていることと考え、住みやすさのバロメーターにもなるであろう幸せのモノサシづくりを掲げ、その最初の試みとして、幸せ実感調査を開始することにしました。

問２　では、幸せ実感調査隊のような取り組みはどれくらい広がってきているのですか？

幸せ実感調査隊の活動は、日本では、長久手市が最初に導入したといってよいと思います。調査隊メンバーを公募で市民から、そして、市役所から若手有志に参加を呼びかけて発足、１０回に及ぶワークショップを平日の夜に開催しました。そして、調査隊のみなさんを中心にして、長久手市のまちの住みやすさと幸せ診断のための調査を行いました。この取り組みは、市民主導で、生活の質を高めるための取り組みとして斬新であるとの評価が徐々になされてきています。実際、長久手市も主要なメンバーである「住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合」（通称「幸せリーグ」）を通じて、他の行政体からの関心を集めていますので、今後、似たような取り組みが全国へと広がっていく可能性もあります。

また、幸せリーグとは別ルートで、長久手市の取り組みがホームページに掲載されているのを参考にして、住民主体のまちづくりの取り組みに活かしていただいた事例も出てきています。それは、2004 年に発生した中越地震によって大きな被害を受けた新潟県長岡市川口地域の取り組みで、地震から 10 年を経過し、今後 10 年のまちの姿を構想していくための住民によるまちづくりの活動の一環として、「長久手方式」を取り入れ、住民メンバー主導で生活実感調査を設計し、調査実施と分析、そして、住民対象のワークショップやセミナーを行っています。このように、市民が自ら動いて、自分のまちづくりに関わっていく新しい公共の時代が着実に始まっています。長久手はその先鞭をつけているまちであるといえます。

問３　ながくて幸せのモノサシづくりの過程で幸せ実感調査を最初に行ったのはなぜですか？

長久手市は住みやすく、幸せ度の高いまちをつくることを目標にしているわけですが、実際に、どこまで住みやすさや幸せ度が改善していくのかを確かめていく必要があり、それにはそれを測る尺度としてのモノサシが有効です。ながくての幸せのモノサシづくりのモノサシとは、住みやすいまちをイメージし、幸せ度の高いまちを実現するためのモノサシになるわけです。

モノサシを持つことで、住みやすいかどうか、幸せ度が上がるかどうかを確かめていくことができるのと、長久手市の生活の中で、住みやすい点やそうでない点、幸せを左右する大事な要素（経済基盤、健康、人とのつながりなど）の中で、よい状況にあるものとそうでないものとを確かめていくことができます。このようなモノサシを持つためには、まず、現在の長久手市の生活に関する調査を実施し、それを出発点として、長久手の生活の変化を確かめていくことを目指しています。そのために、現在の長久手市の住みやすさや幸せ度合いを市民目線で確かめておくために、「今のながくての幸せを測る！」をテーマに、モノサシづくりの最初に市民の幸せ実感調査に取り組むことにしました。

問４　市民調査隊のメンバーは調査の素人だと思いますが、それを頼りにできるのでしょうか？

一般に「調査」と聞けば、行政の専門官、学者や研究者、各分野の専門コンサルタントが行うものと考えられています。確かに、専門性の高い課題、たとえば、生活環境調査であれば、水質検査、窒素濃度や二酸化炭素量の計測など、素人では手に負えないものばかりですから、専門家に委ねるしか方法はありません。しかし、長久手の生活に関する調査を行う場合には、長久手市民が生活当事者です。つまり、長久手市民こそ、長年の生活経験をもとに、当事者の視点に立って、長久手がどのようなまちであってほしいかを構想したり、また、長久手の生活のどのような点を伸ばすべきか、あるいは、改善すべきかを見つけ出していくことができる「市民生活の専門家」といえるのです。この報告書の中で詳細に報告していますが、今回の幸せ実感調査では、長久手市の生活を多面的に評価・診断するために必要な設問を調査隊メンバーが工夫を重ねて、設計しました。その結果、長久手の独自性を映した設問が取り入れられており、長久手らしい質問票に仕上がっています。ただ、市民メンバー主導の調査によって、長久手の住みやすさや幸せを確かめるために活用できるデータといえるかどうかという心配はあります。この点に関しては、今回のアンケート調査によって収集されたデータをもとにして、調査データの活用に問題がないかどうかを確認しました。確認の結果（資料編 P. 208 参照）、市民調査隊の設計した質問票による調査データは、長久手市の住みやすさ、幸せ度などの生活実感、また、幸せ度を左右する主要な要素を適切にカバーしていることがわかりました。長久手市の住みやすさや幸せ度を確かめていくための調査として、活用できると考えています。

問５　幸せ実感調査の使い道はどのようなものになるのでしょうか？

まず、幸せ実感調査は誰のものか、誰のために行うのか、そして、誰が使うのか、を確認しておくことが重要です。従来、行政が実施する調査の多くは、市民の関心から出発したものというよりも、行政職員によって、生活に支障をきたしている課題を想定した上での調査であると思います。その結果は、行政サービスの改善や政策づくりなどの参考として利用されてきました。しかし、長久手の幸せ実感調査は、長久手市の生活当事者である市民、そして、その生活を支援するパートナ

ーである市役所の職員によって企画されました。その利用は、長久手市の生活の当事者である住民自身になります。幸せ実感調査は、長久手市民のものであり、市民のために行い、そして、市民自身が積極的に使うものなのです。

幸せ実感調査は、市民の目線で長久手市の総合的な住みやすさや市民の幸せ実感を確かめるものであって、住みやすいまち、幸せ度の高いまち長久手を実現するために活用していくものです。もちろん、従来の調査同様に、市役所、学校、病院などの個別の行政サービスの改善にも活用できるでしょうし、それにとどまらず、地域全体の生活改善につながるような市民活動に活用できる調査でもあるのです。

では、幸せ実感調査の使い道ですが、まず、健康診断のような使い道があります。たとえば、体重が急増した場合には、警告サインとなりますし、逆に、堅調な数値であれば、安心感を持って生活できるでしょう。これと同じで、幸せ実感調査を実施したことで、長久手市の生活現状を評価することができます。幸福度が高いのかどうかを確かめたり、幸福度のばらつきを確かめたりすることで、長久手市の現状に安心したり、問題意識を持つことになります。住みやすさや幸せ度を多面的に調査することで、今の長久手市の長所や短所をより丁寧に確かめることができます。そして、長所や短所が把握できれば、今後、長久手のまちづくりに何をすべきかを長久手市の市民と職員が協働して考えて、行動に移していけると思います。そのためには、幸せ実感調査を多くの市民に知ってもらうことで、長久手のまちづくりのためのアイデアを出したり、住みやすい長久手づくりに汗をかいてもらうことを目指していくことが大切になります。

また、別の使い道も考えられます。住みやすさや幸せ度というと、住みやすさが○○点、幸福度がＸＸ点というように、数字で表すわけですが、このように数字だけになってしまうと、どことなく殺伐とした印象を持ちます。そこで、市民が住みやすいと感じる長久手の生活は、具体的にどのようなものだろうか、また、幸せ度を感じる長久手の暮らしは、具体的にどのようなものだろうか、を市民同士で語り合っていくきっかけとして、幸せ実感調査の結果を活用する方法です。たとえば、幸せ度が 10 点満点で 8 点同士の地元の人に集まってもらい、8 点をつけた幸せを感じる生活をとことん語り合ってもらい、その語りの中から、長久手市の良さや課題に肉付けをしていくことになるかもしれません。また、その語り合いから、市民活動を見つけ出すきっかけになるかもしれません。幸せ実感調査は、このような市民同士のつながりを促すような活用の仕方もあると思いますし、そのような工夫が重要になってくると思います。

ながくて幸せ実感調査隊による幸せ実感調査のおかげで長久手市の生活現状を知る貴重な手がかりを得ることができました。長久手を愛する幸せ実感調査隊メンバーのみなさんに心からの賛辞をおくります。調査隊の志を継いで、長久手では、市民と行政が幸せ実感調査データを日常的に活用していくことでしょう。ながくて幸せのモノサシづくりの活動を幹の太い息の長い活動に育てていくことで、市民主体のまちづくりがますます本格化していくことを期待しています。そして、近い将来、長久手市が幸せ度の高い、日本一住みやすいまちになることを信じていますし、その実現をぜひ目指していきたいものです。

資料編

１．ながくて幸せ実感調査隊の活動の歩み

ながくて幸せ実感調査隊ミーティングの開催概要

次ページ以降に、ミーティングの開催プログラム、会議の様子、配布資料、結果まとめを各回ごとに整理します。

回	年月日	内　容	ページ
第1回	H25.10.28	「将来の望ましい長久手の姿を考えよう！」	109
市民まつり	H25.11.10	市民インタビュー「ながくて市民の幸せ集め」	117
第2回	H25.11.25	「幸せ実感アンケートづくりに入ろう！」	120
第3回	H25.12.9	「今日もアンケートをつくろう！」	137
第4回	H25.12.20	「質問項目を選ぼう！」	148
第5回	H26.1.29	「みんなでアンケート票を直そう！」	160
第6回	H26.2.6	「今日もみんなでアンケート票を直そう！」	165
第7回	H26.2.12	「完成したアンケート票を発表して市長に渡そう！」	171
第8回	H26.5.9	「集計結果から見えてくること、分析したいことを考えよう！」	175
第9回	H26.7.4	「幸せ実感調査隊の活動を振り返ろう！」	179
第10回	H26.8.22	「アンケートの活用方法、まちづくりへのアイデアを考えよう！」	183

（1）第１回　ながくて幸せ実感調査隊ミーティング

①プログラム

日時：平成２５年１０月２８日（月）午後６時から８時３０分まで

場所：市役所西庁舎３階学習室

内容・開会

・副市長あいさつ

・事業のねらい

・講師あいさつ（ながくて幸せのモノサシづくりアドバイザー　関西大学　草郷孝好教授）

・ワークショップ１「将来の望ましい長久手の姿」

・グループ発表

・講評

・ワークショップ２「今後の活動内容」

・まとめ

②会議の様子

資料1

ながくて幸せのモノサシづくり

～みんなでつくる、みんなの幸せを測る～

1　長久手市が目指すまちづくりの方向性

一人ひとりの幸福度が高い「日本一の福祉のまち」

★だれにでも役割や居場所があるまち
★お互いに助け合うことができるまち
★だれもが生きがいを持って充実した日々を過ごすことができるまち

3つのフラッグ（基本理念）

つながり「一人ひとりに居場所と役割があるまち」

あんしん「助けがなかったら生きていけない人は全力で守る」

みどり「ふるさと（生命ある空間）の風景を子どもたちに」

2013/10/28

2「ながくて幸せのモノサシづくり」の位置付け

目指す方向 ： 一人ひとりの幸福度が高い「日本一の福祉のまち」

【まちづくりのキーワード】
居場所　役割　助け合い
生きがい　充実　安心　安全　自然
地域のつながり　家族の絆
など

【市民生活のキーワード】
健康　余暇　食事　睡眠
家計　仕事　利便性　子育て
通所付き合い　防犯　防災
など

①まちづくりは目指す方向に向かって進んでいるか？
②市民生活の状況を把握していけるか？
→これらを確かめる「道具＝モノサシ」づくりが必要では？
→現状把握、課題発見、過去の振り返り、打開策検討に活用

「ながくて幸せのモノサシづくり」･･･市民生活目線で！
～みんなでつくる、みんなの幸せを測る道具～

2013/10/28

3「ながくて幸せのモノサシづくり」の進め方

「有志の市民と職員」で進めます！

第1ステップ
H25年度
「今のながくての生活と幸せを測ろう！」

幸せ実感調査

★幸せ実感調査
●ながくて市民の生活の現状と課題を調べる
●調査票の作成
→6,000人対象アンケート
●市民の声集め
→市民インタビュー
（市民まつり）
（地域の声集め）

第2ステップ
H26～27年度
「幸せのモノサシをつくりあげよう！」

幸せのモノサシ検討隊（仮称）

★幸せのモノサシづくり
●調査結果から見える今のながくての姿
●ながくて未来社会の語り合い
●幸せのモノサシづくり
→地区別の懇談会
→市民へのヒアリング
→フォーラム

「人づくり事業」として進めます！

【進め方の原則】
-すべてを有志の市民と職員の手で！
「自治力」＝「市民力」＋「職員力」

①活動のメンバー集め
（広報・HP等での呼び掛けは事務局で）
②市民の声集め
③活動の周知

→だから市民は有償で！
→職員は自己研鑽の場

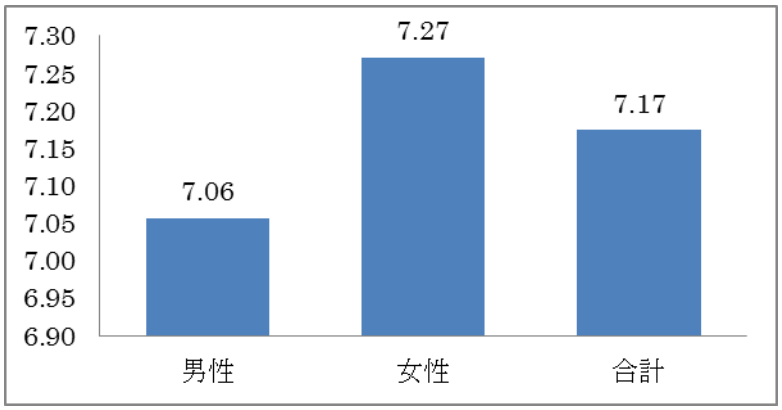
2013/10/28

長久手市民の幸福感について（属性との関係から見えてくるもの）
～平成 24 年度長久手市市民意識調査結果より～

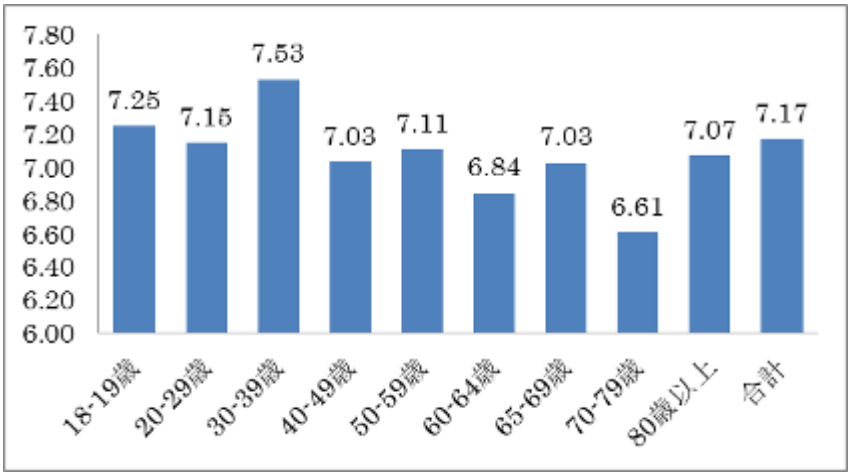
草郷孝好

幸福感の平均得点のみを用いて、属性ごとに整理してみると、次のようなことが浮かび上がってきた。

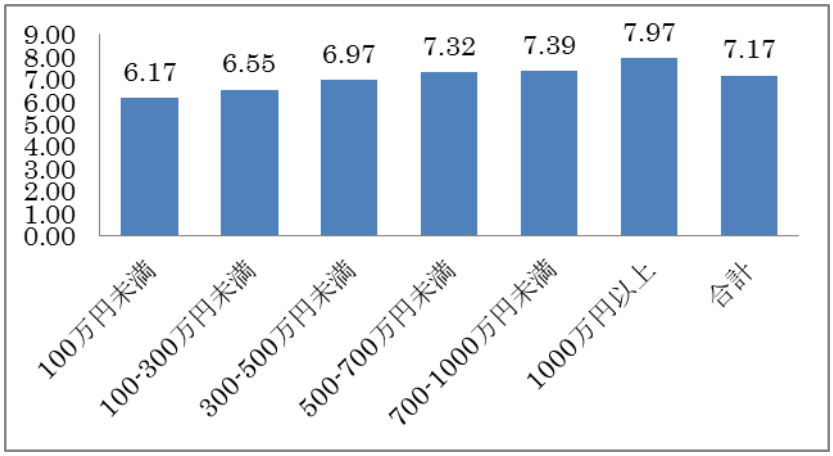
1）　性別：女性＞男性



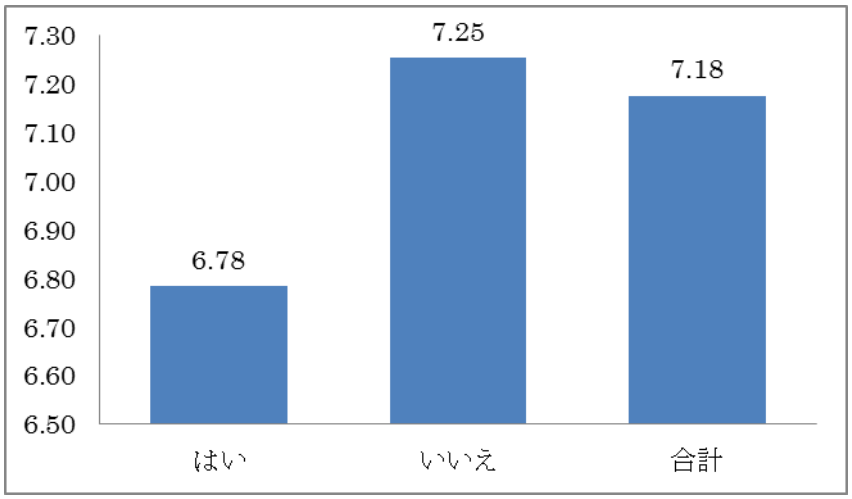
2）　年齢別：30 代高い、70 代低い



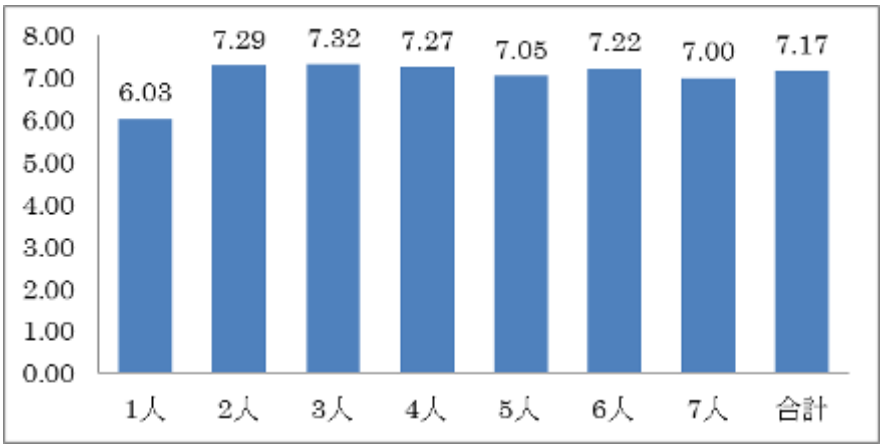
3）　年収別：収入の高低は幸福の高低に関係



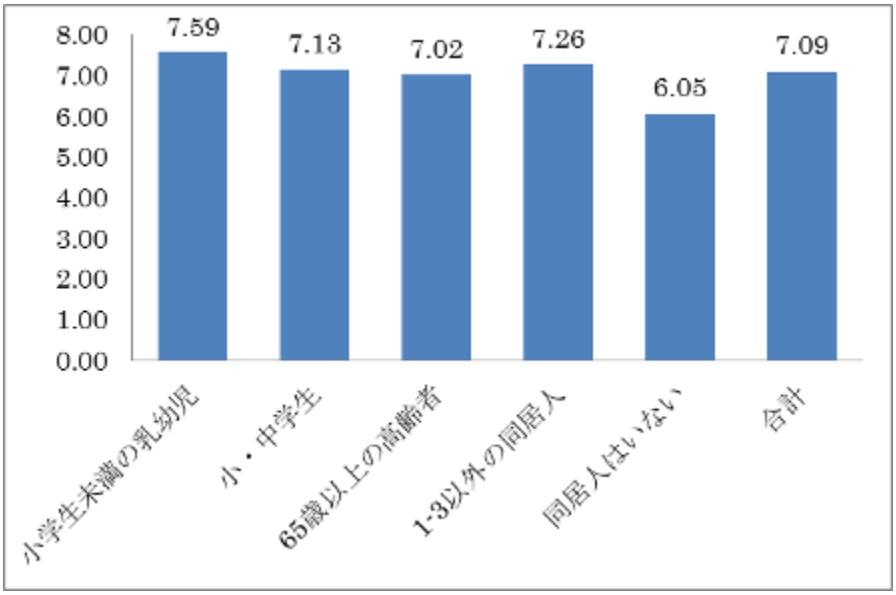
4）　年金受給別：年金生活者は幸福感低い（上記の高齢者の幸福感で示されていることに関係）



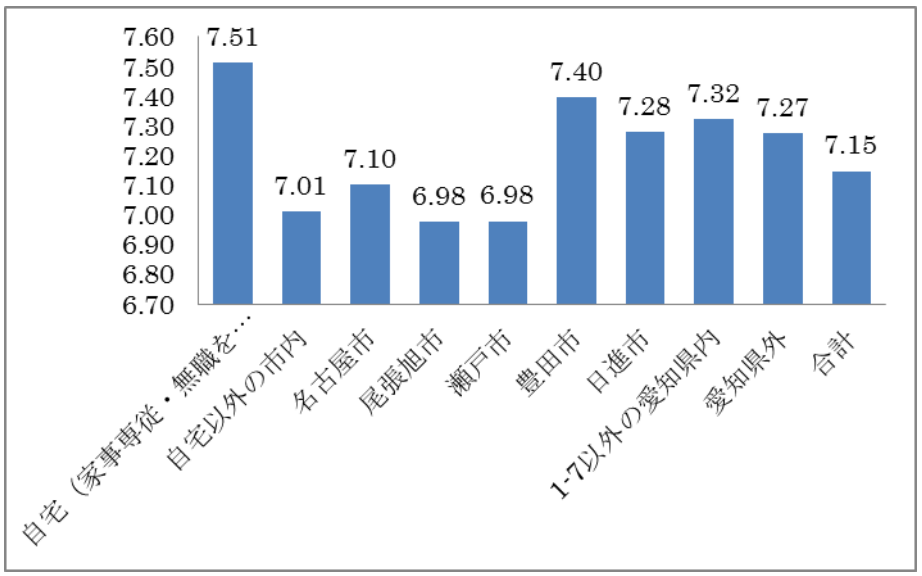
5）　同居人数別：2-4 人の核家族は幸福度高い



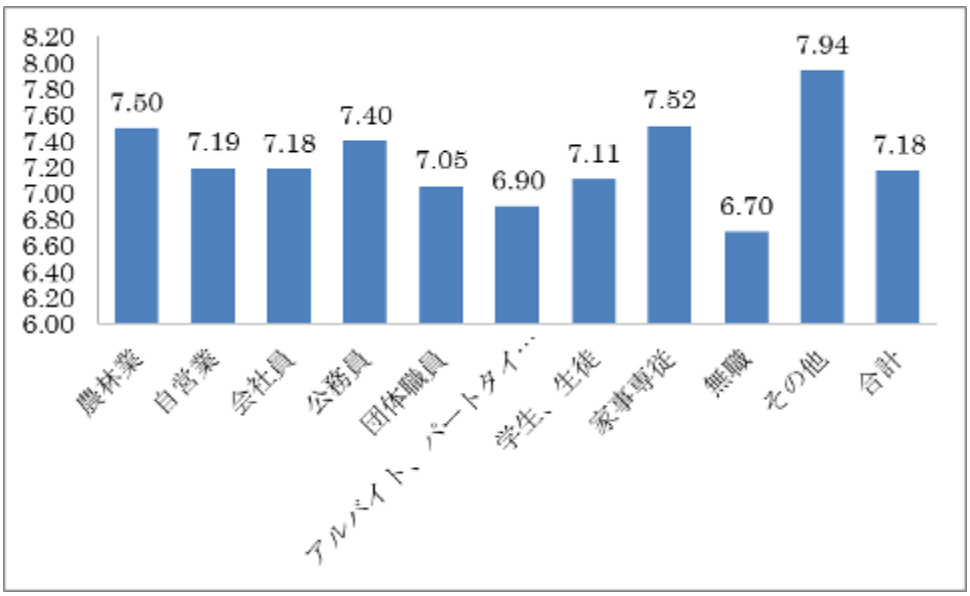
6）　同居人種類別：乳幼児を持つ人は幸福度高い



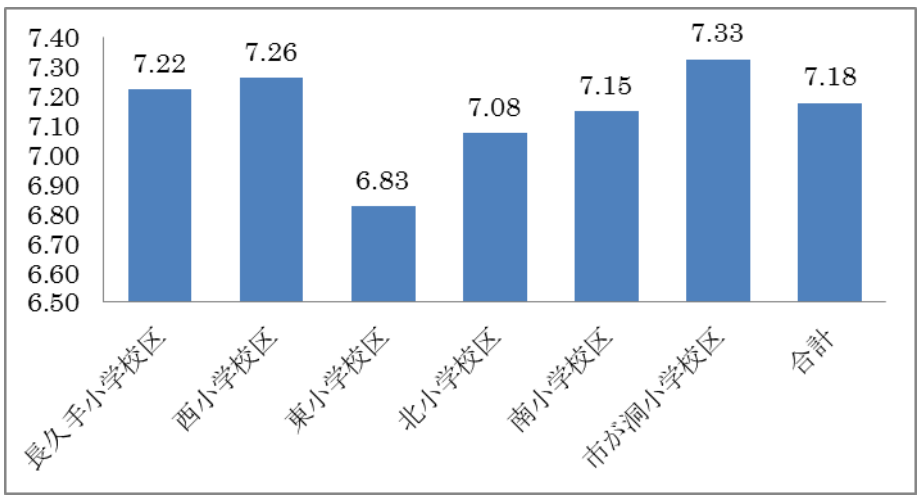
7）　通勤・通学地別：自宅、豊田市は高い。



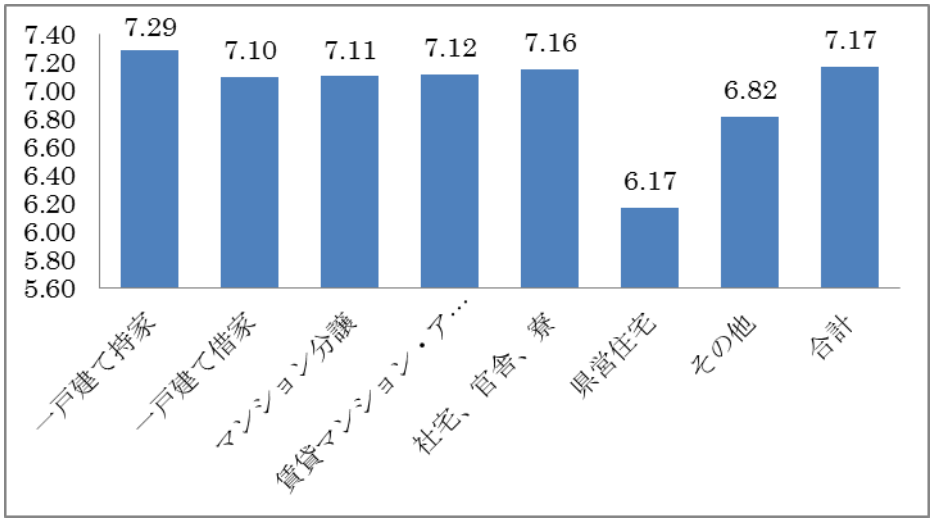
8）　職業別：農林業(4名のみ)、公務員、家事が高い。



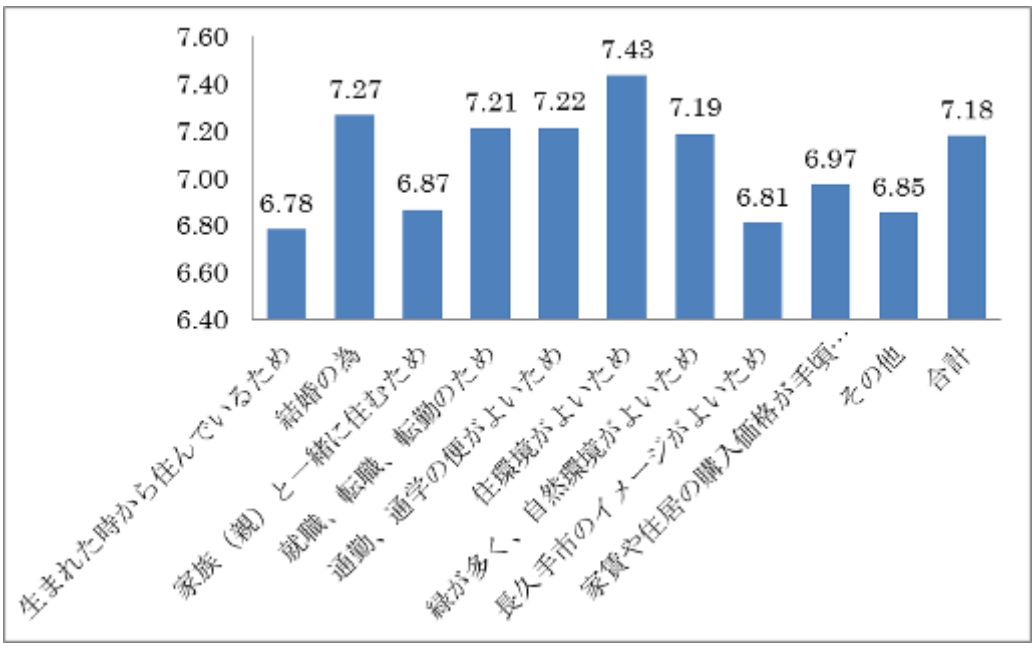
9）　小学校区別：東小の地区は低い。学校区間で差異が大きい。地区特性の反映？



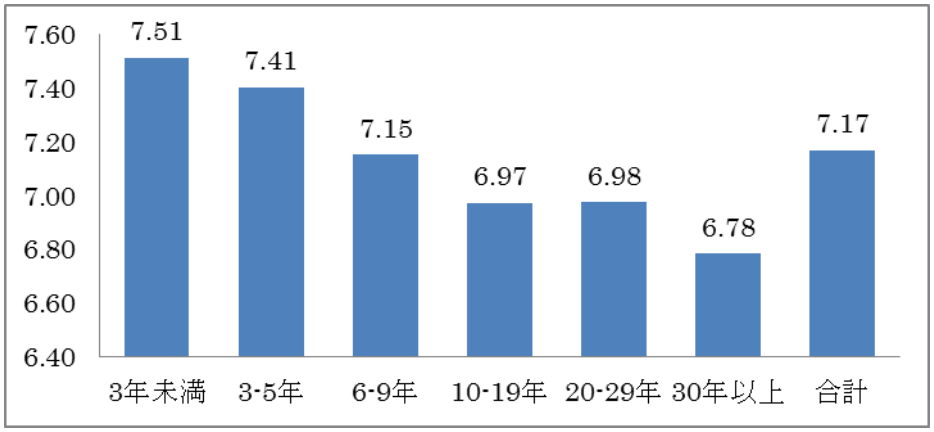
１０）　住居タイプ別：戸建て所有とそれ以外で差異がある。県営住宅居住者の幸福感は低い



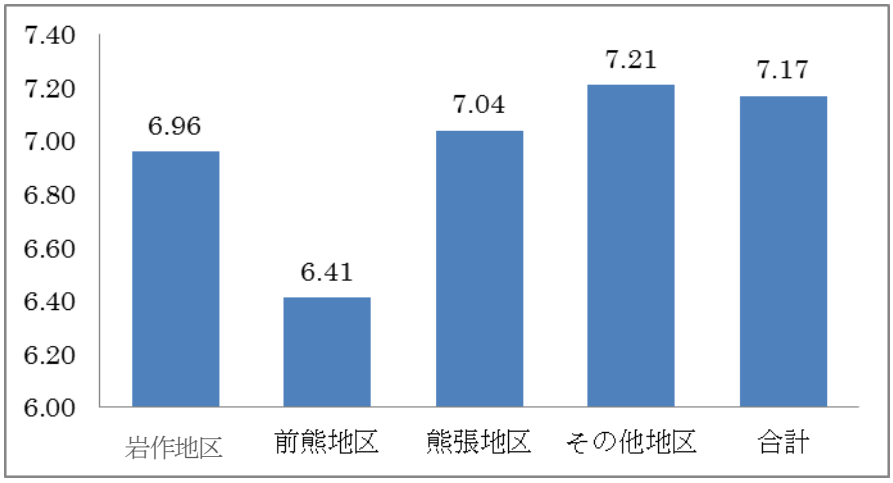
１１）　住んでいる理由別：住環境、利便性と幸福感は関係。長久手に生まれたなどは、長久手への愛着をよく感じ得ていないのかもしれない。幸福感も高くない。



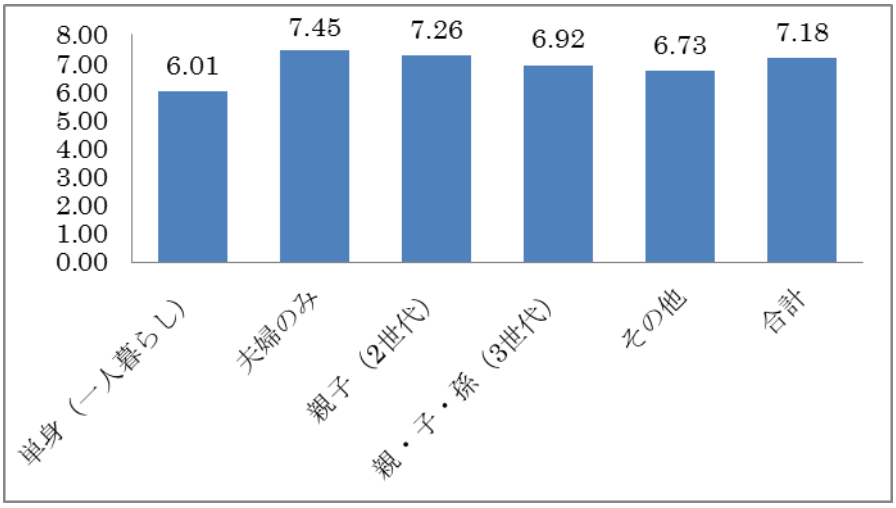
１２）　居住年別：意外な結果。新参者＞古参者。なぜ？



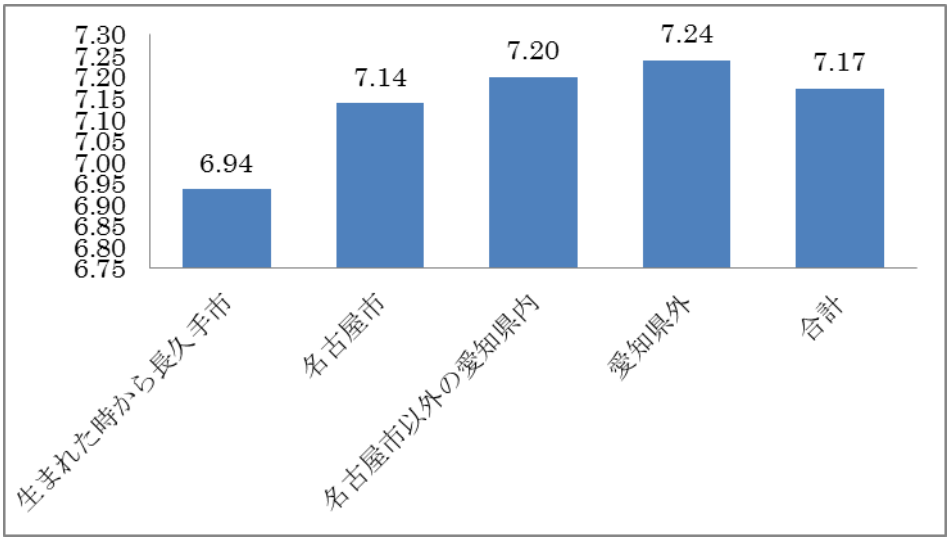
１３）　地区別：前熊地区は低い。ただ、その他地区の回答者数が圧倒的に多いので、あまり活用できないかもしれない。



１４）　家族形態別：一人暮らしは幸福度が低い。核家族の方が幸福度は高い



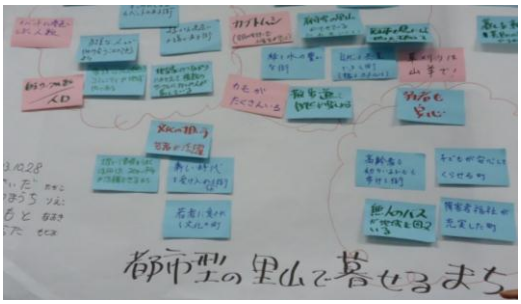
１５）　以前住んでいた町別：長久手以外からの移住者は幸福度が高い



市民の視点から“幸福度の高いまち”について考える「幸せ実感調査隊」が発足！

～「第１回幸せ実感調査隊ミーティング」を開催～

本市が目指す市民一人ひとりの幸福度が高いまちに向けて、『ながくて幸せ実感調査隊』の第１回ミーティングを開催しました。まずは市民の日常生活の状況と幸せとの関係について市民意識調査などを通じて把握し、今のながくての幸せを測ることなどを目的とした大学生から80 歳代まで老若男女計１３名の長久手市民が参加しました。



冒頭で、事務局から事業の位置づけや目的などについて説明の後、本市の「ながくて幸せのモノサシづくりアドバイザー」である草郷孝好氏（関西大学社会学部教授）から、幸せのモノサシづくりの考え方とともに調査隊に期待される役割などについて助言を頂きました。

その後は、参加者が３つのテーブルに分かれてグループ討議。「10 年後の長久手市の姿」と「その状況を測るためのモノサシ」をテーマにワークショップ形式で活発な意見交換を行い、参加者からは、様々な長久手の将来像が提案されました。

今後は、新たに職員の有志も加わって、市民と職員の協働により「ながくて幸せ実感調査」の内容の検討や市民の生の声を集める活動などを進めていく予定です。

【主なご意見（抜粋）】

■将来の望ましい長久手の姿
- 『成幸者』が集うまち ながくて！
- 自分の能力が認められ発揮できるまち
- 子ども達が活き活きとしているまち
- 都市型の里山で暮らせるまち
- 暮らしを軸にした共助の経済、市民と行政の協働の確立
- 若者が活躍できるまち、若者に愛されるまち
- 子どもが明るい希望をもてるまち
- お互いに助け合えるまち、救いのあるまち

■具体的な施策アイデア
- 交通網や自転車道の整備
- 里山を増やし、香流川や池を緑で結ぶ
- 家族以外のコミュニティを地域に構築
- カモやヤギ、ホタルと共生できる
- 自給自足の経済が循環するまち

■まちづくりの状況を測るモノサシの例
- 市民一人当たりの知り合いの数
- オオタカやカワセミ等の生物の数
- 出会い・つながり
- あいさつする頻度
- 子育てしながら働く親の数
- ご近所さんにおすそ分けした頻度
- 男女共同参画率

（2）2013 ながくて市民まつり

①目的

長久手市民の幸福度について、個人の総合的な幸福度と長久手市における暮らしの幸福度をまつりの来場者に直接アンケート&インタビュー形式で聞き取り、今後の調査票を設計する際の参考となる情報を収集することを目的として実施した。

②開催概要

名称：2013 ながくて市民まつり～手をつなぐ心もつなぐ長久手市～

日時：平成 25 年 11 月 10 日（日）午前９時 30 分から午後３時まで

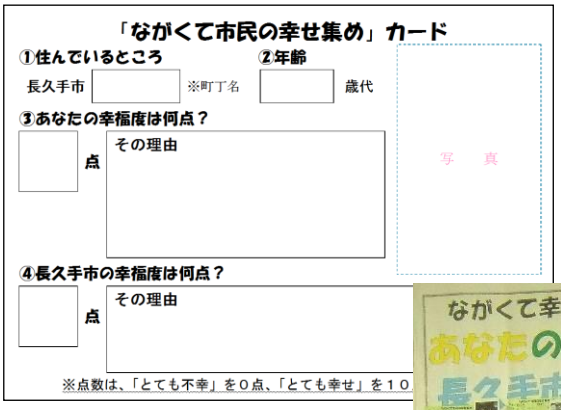
会場：市役所・あいち尾東農協長久手支店

主催：ながくて市民まつり実行委員会（事務局：市役所産業緑地課内）

内容：市民まつりにブース出展し、来場者の幸福度をインタビュー調査で把握した。

③調査の様子

（意見把握用のカード）


「ながくて市民の幸せ集め」カード

①住んでいるところ　②年齢

長久手市 ※町丁名 歳代

③あなたの幸福度は何点？

点 その理由

写　真

④長久手市の幸福度は何点？

点 その理由

※点数は、「とても不幸」を０点、「とても幸せ」を１０

（来場者から集めたコメント）

幸せ実感調査隊 かわら版【vol. 3】

＜発行日＞
平成 25 年 12 月 9 日
＜発行者＞
長久手市行政経営部
経営管理課

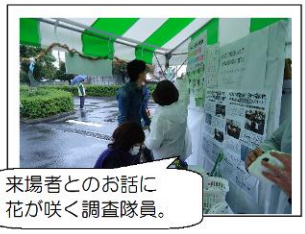
～11/10 市民まつりで「ながくて市民の幸せ集め」の市民インタビューを実施しました！～

幸せ実感調査隊』のブース。雨の中、大勢の方が立ち寄って下さいました

市民一人ひとりの幸福度が高いまちに向けて、市民の幸福度を調べるために 10 月末に発足した『ながくて幸せ実感調査隊』。その調査隊が主体となって市民の生の声を集めるための調査を、11 月 10 日の市民まつりで実施しました。今回は、「ながくて市民の幸せ集め」と題して、市民まつりに来られた皆さんに幸福度に関する2つのことをお聞きしました。1つは「あなたの幸福度は何点？その理由は？」、もう1つは「長久手市の幸福度は何点？その理由は？」という内容です。

当日、参加した調査隊のメンバーは4名。朝からあいにくの雨にも関わらず、予想以上に大勢の来場者が『幸せ実感調査隊』のブースにも足を運んで下さいました。日々の暮らしの幸福度について、点数やその理由を記入してもらう際に、ポラロイドカメラで顔写真の撮影も行い、カードと顔写真をセットにして、ブース内の掲示板に皆さんの声を拾い集めていきました。

長久手市民の「幸福度」に関する生の声がたくさん集まりました。


来場者とのお話に花が咲く調査隊員。

午後には雨もあがり、順調に来場者数も伸びて、最終的には子ども達からお年寄りまで約 100 名の皆さんから、コメントを寄せて下さいました。ちなみに、皆さんの幸福度の平均点は、いずれも 8.5 点と高めの点数となりました。家族や友人等との結びつきの強さや健康であることなど、バラエティに富んだ様々な理由が挙げられました。

【来場者からのコメント（抜粋）】※点数は、「とても不幸」を０点、「とても幸せ」を１０点とした場合

【あなたの幸福度の点数とその理由】

- 家族がやさしくしてくれます（９点）
- 子供が自立できたので（８点）
- 孫７人おり幸せ（10 点）
- 毎日友だちと遊べてたのしいから（10 点）
- 家の近くに公園がいっぱいあるから（10 点）
- 大きな健康の問題もありません（10 点）
- 病気が発症した（３点）
- マイペースで生きているので（10 点）
- 幸せに暮らせているから（10 点）
- まだまだ、こらからです（７点）
- 幸せです（10 点）
- 不平不満なし（９点）
- 自分の好きな事をやらさせてもらっている（８点）
- 子どもが育てやすい（９点）

【長久手市の幸福度の点数とその理由】

- 自然災害が少ない（10 点）
- 生活環境や教育環境が恵まれている（９点）
- 子供に優しい市に（予防接種の助成）（７点）
- 田んぼとか緑が多くて心が休まる（10 点）
- 緑が減っている（８点）
- 環境がよい（10 点）
- 便利な田舎という感じ（８点）
- 交通が便利で移動しやすく住みやすい（10 点）
- バスなどの交通が少し不便（８点）
- いつも渋滞していて混んでいる（８点）
- 活気がある（８点）
- 地元の若い人があいさつをしない（５点）
- 文化的な売りがなくセンスがイマイチ（６点）
- 歴史的なまち、近代的なまちである（10 点）

■調査で寄せられたご意見

大項目	小項目	幸福の理由・指標（〇：個人、□長久手市）
生活全般	・生活の満足度	〇マイペースな暮らし
	・利便性	〇便利で住みやすい □新たな店舗等の増加
	・街並み	□緑豊かな風景
健康	・健康状態	〇健康に暮らせること（健康であること） 〇家族の健康
	・運動	□散歩・ウォーキングに適した環境
子育て・教育	・教育環境	〇楽しい学校生活 □恵まれた教育環境
	・子育て環境	〇子どもを育てやすい □子どもにやさしいまち
環境	・自然環境	□景色がよい □開発により減少しつつある緑の保全 □田んぼやみどりの多さ
	・公園	□公園が多い
	・交通	□交通が至便 □整備された道路網
地域コミュニティ	・近所付き合い	〇やさしい人柄 □近所づきあいの良さ □新しい住民の増加による活気
つながり	・家族	〇家族のコミュニケーション 〇家族の成長、自立 〇3世代の交流（孫と祖父母のふれあい）
	・友人	〇仲良く付き合える友達の存在
防災・防犯	・防災	□津波などの自然災害の心配が少ない
文化	・伝統文化	□歴史・文化を感じる
	・生涯学習	〇自己実現（好きな事ができている、願いがかなっている）
地域全般	・活気	〇活気があり楽しい 〇新しい住民も増えて活気が増している □ござらっせなどの魅力施設 □新たな店舗等の増加 □祭りやイベントの多さ
その他		□自分の意見が市政に反映されているとの実感

（３）第２回　ながくて幸せ実感調査隊ミーティング

①プログラム

日時：平成２５年１１月２５日（月）午後６時から８時３０分まで

場所：市役所西庁舎３階研修室

内容・開会

・新メンバー紹介

・ながくて幸せのモノサシづくりとは

・幸せ実感調査隊の進め方

・市民インタビュー結果報告

・幸せ実感調査アンケートづくりに入ろう！

・まとめ

②会議の様子

「ながくて幸せのモノサシづくり」と「ながくて幸せ実感調査」について

① 「ながくて幸せのモノサシづくり」とは…

（ア）長久手のまちづくりとは…

長久手のまちづくり活動が目指しているのは、**長久手市民が健康、活き活き、幸せな生活や人生を歩んでいけるまちを実現すること**です。

（イ） 幸せのモノサシとは…

幸せのモノサシは、**長久手のまちが、着実に、みんなが健康、活き活き、幸せに生活するまちに向かっているかどうかを確かめていくための「道具」**です。

（ウ） モノサシには、具体的な目標が必要！

「何を測るのか」がわかっていないと、どんなモノサシが必要なのかはわかりません。長久手のまちづくりの目的は、健康、活き活き、幸せな長久手のまちになることです。それには、**長久手市民が考える理想の長久手のまちを具体化することが大切**です。

➔理想の長久手のまちの具体化は、来年度、幸せのモノサシづくりの活動の中で行います。

（エ） 幸せのモノサシの活かし方

したがって、ながくて幸せのモノサシは、**長久手が理想とするまちづくりがうまくいっているかどうかを確かめるための重要な道具**なのです。

➔長久手の理想のまちとそのモノサシはセットなのです！

② 「ながくて幸せ実感調査」とは…

（ア） ながくて幸せ実感調査

長久手は、「長久手で生活する市民」と「長久手の中の地域」により構成されています。長久手が健康なのかどうかをチェックできるしくみがあれば、**長久手が良い状態であるかどうかをチェック**することができます。**ながくて幸せ実感調査は、そんなチェックを可能にする基礎調査**なのです。具体的には、長久手**市民の生活状態**と長久手という**地域の状態**について調査をします。調査の方法は、多くの市民を対象にしたアンケート調査を行い、また、既存の統計データを参考にします。

（イ） 幸せ実感調査の活かし方

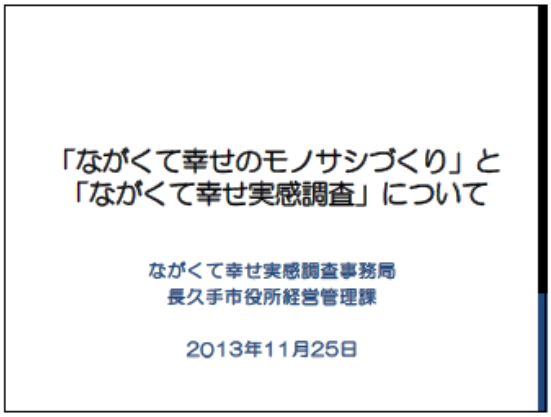
長久手の目指す理想のまちに向かって、市民も行政も、新たな取り組みを進めていくでしょうし、「幸せのモノサシ」を使えば、その取り組みがうまくいっているかどうかを確かめられるでしょう。取り組みは１つではなく、いろいろな分野の取り組みがあるはずです。では、これらの取り組みを積み重ねていくと、長久手のまちはどのように変わっていくのでしょうか。その様子を、①市民生活、②地域社会に大別して確認するための調査が「幸せ実感調査」なのです。この**実感調査を定期的（2―3 年に一度程度）に繰り返し実施していけば、長久手のまちの変化をし**

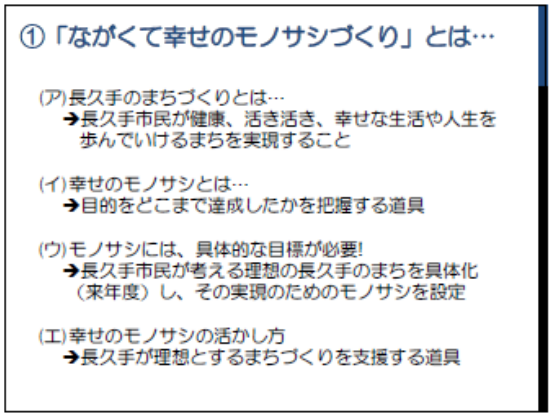
っかりと追いかけていくことができるでしょう。

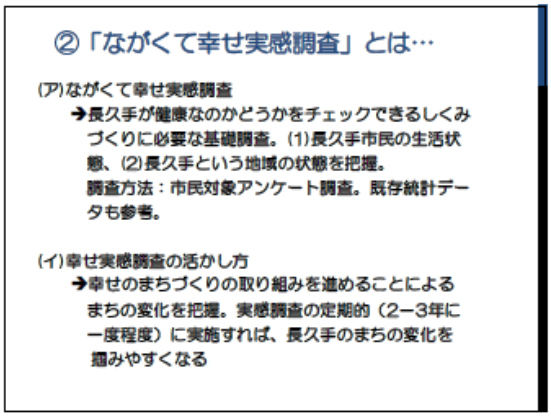
③ ながくて幸せ実感調査を市民と職員の合同チームで進めるわけ？

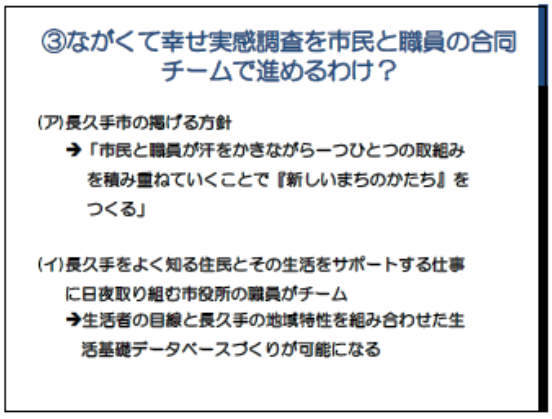
長久手市の掲げる方針の中に、「市民と職員が汗をかきながら一つひとつの取組みを積み重ねていくことで『新しいまちのかたち』をつくる」があります。**長久手をよく知る住民とその生活をサポートする仕事に日夜取り組む市役所の職員。その両者がチームを組めば、生活者の目線と長久手の地域特性を組み合わせた生活基礎データベースづくりが可能になる**と考えるからです。

（説明用ＰＰＴ）









「ながくて幸せ実感調査」の進め方

1　どのようにして実感調査を行うの？

(1) 幸せを構成する「分野」の選定！

（ア）幸せを左右するのは何でしょうか？そこで、まず、「幸せを左右する分野」を選びましょう！

幸せでより良い生活を実現するためには、幸せで良い生活を具体的にイメージしておく必要がありますね。そこで、**良い生活に欠かせない分野（―たとえば、健康、子育て、環境、つながり、など）をリストアップ**してみることが大切です。（これを「分野選定」作業と名づけておきます）

（イ）「分野選定作業って何だろう」と思われるかもしれません。そこで、まず、みなさん一人ひとりのことを例にとり、「幸せで心地よい生活って何だろう」ということを考えてみたいと思います。

みなさんにとって、最も身近な社会は、自分の家族でしょう。そこで、自分の幸せを家族とのかかわりから考えてみることにします。

幸せで心地よい生活を送り、それを維持するためには、自分自身が心がけておくべきことがあるでしょう。たとえば、

自分が心がけておくべきことの例：

・自分の健康を保つこと
・技能、技術、知識を身につけていること
・仕事を持っていること
・自分の時間や余暇を楽しめること
・人とのつながりを増やし、大切にしていくこと
・よい生活環境を持てること、などです。

自分だけが心がけておくだけで、幸せで心地よい生活を送れるかというと実はそうではありません。**自分の家族が、家族として心がけておくべきこともある**はずです。たとえば、

自分の家族が心がけておくべきことの例：

・けがや病気の際に医療を受けられる体制ができていること
・教育や研修など学びの機会をサポートしていること
・家族の間であいさつができて、助け合える関係があること
・安全な環境で生活できていること
・家族が気持ちよく生活できる環境(家・インフラ)が整備されている
こと、などです。

これらは、ほんの一部の例を示しているに過ぎませんが、一人一人の生活が幸せで心地よく、よりよいものになっているかどうかは、自分自身と家族の両方がいい状態にあるのかどうかによって決まってくるわけです。そこで、自分と家族の状態の良し悪しを確認する方法があれば、さらなる改善のヒントも見つけやすくなるはずです。

（ウ）次に「長久手地域の幸せ」について考えてみたいと思います。

今、「自分」と「家族」のことを考えてみました。ここで、「自分」を「長久手市の住民一人ひとり」に、また、「家族」を「長久手(地域)」と置き換えて考えてみましょう。

まず、**長久手市の生活が幸せで心地よく、よりよい生活を送るために、長久手市民一人ひとりが心がけておくべき分野**がないかどうかを考えてみます。自分の健康、教育、経済状況、自由や余暇、などが含まれるでしょう。

他方、**長久手が地域として、心がけておかないといけない分野**を書き出してみます。地域の医療体制、教育体制、生活環境、人と人とのつながり、などが含まれるでしょう。そして、ここには、文化(言葉・食習慣など)・歴史遺産などの長久手独自の大切な分野も含まれるはずです。

➔住民と地域の両方の視点から、幸せなまちであるために欠かせない分野を選び出していくことが大切なのです。

（エ）　分野選定の作業方法

幸せで心地よくよりよい生活のために、心がけておくべき分野の選定については、多くの研究が進んでいることから、それらをもとにして行われた既存の類似調査や長久手市で実施したワークショップの結果を参考にして、事務局とアドバイザーで選定してみました。(以下、資料3「ながくて幸せ実感調査アンケート票作成フォーマット」を参照)

2　第2回、第3回ミーティングの作業

⑴ 大項目　幸せを構成する「分野」

ここで言う**「分野」とは、幸せに欠かせない色々な生活上の領域を指します。**「家」に例えると「間取り」にあたります。玄関、リビング、キッチン、トイレ、風呂など、家の機能として欠かせないものとイメージしてください。

分野選定については、内閣府、荒川区、兵庫県など、既存の類似調査や長久手市で実施したワークショップの結果を参考にして事務局とアドバイザーで行いました。

1 幸福感（総合評価）、2 幸福感の決め手、3 生活全般、4 地域全般、5 健康、6 子育て・教育、7 環境、8 つながり（個人と地域）9 防災・防犯、10 福祉、11 文化、12 生活インフラ

⑵ 小項目　幸せの分野を構成する「要素」

ここで言う**「要素」とは、それぞれの分野を良い状態にするために欠かせないことや大切なことを指します。**キッチンに例えると、「清潔（な状態)」「(良い）道具・製品」「(使い勝手の良い）配置」「(たくさん）収納」「気持ちよく料理に取り組める」など、色々な要素があります。

今回の幸せの分野を例に考えます。

例：4 健康－要素 11「健康状態」、12「食事」、13「休息」、14「医師」など

⑶ 質問文の候補

次に、各項目の状態を確認するのにふさわしい質問文を作成します。

例：4 健康－11「健康状態」の質問「あなたは自分の健康状態に満足していますか？」選択式で質問。

⑷ 実際の作業

【作業１】グループ分け

作業したい分野の選択（4 グループ。2 グループが同じ分野を検討）

グループ	11/25 分野	12/9 分野
A，B	文化、子育て・教育	環境、生活インフラ
C，D	健康、福祉	防災・防犯、つながり

【作業２】長久手独自の要素・質問文の検討

１．資料３、４を参考に、まず個々に「幸せ確認カード」に次のことを書き込みます

①その分野で質問したいこと、確認したいことは何か＝分野や項目

②具体的にはどんなことを聞きたいか＝質問文

（作業２は 12/9 も同様に継続。1 グループ 4 分野担当）

２．次に、以下のルールでグループ員の話し合いによって合意形成します。

①合意形成では、グループ全員の共感や賛同を得てください。

②１人のアイデアに対し、グループ員のアイデアの積み重ねは大歓迎です。

この作業を各グループ 4 分野行います。

ながくて幸せ実感調査アンケート票作成フォーマット

幸せを構成する「分野」		生活の良し悪しを左右する分野ごとの大切な「要素」	要素ごとの質問文の候補
1	幸福感（総合評価）	・幸福度	・ あなたは幸せですか？
2	幸福感の決め手（要素）	・重視した基準	・ 幸福度を判断する際に重視した基準は何か？（家族関係、健康の状況、家計の状況　など）
		・有効な手立て	・ あなたの幸福感を高めるために有効な手立ては何か？（自身の努力、家族との助け合い、友人の助け合いなど）
		・社会の目標	・ あなたは社会全体の目標とすべき点はどのようなことだと思うか？（安心安全に暮らせる社会、他人への思いやりがある人が多い社会、心のゆとりがある人が多い社会　など）
3	生活全般	・生活の満足度	・ 各生活項目の満足度（家計、就業、健康、自由な時間、生きがい、家族、友人、職場、コミュニティ）
		〃	・ 生活全般の満足度
		〃	・ 将来の生活への不安を感じるか？==>「はい」の場合、選択肢（経済的、介護など）
4	地域全般	・活気	・ お住まいの地域に活気が感じられるか？
		・愛着	・ お住まいの地域に誇りや愛着を感じるか？
		・住み心地	・ 長久手は住みよいまちか？
		・定住	・ 今後も長久手に住み続けたいか？
		〃	・ その理由
5	健康（こころとからだ）	・健康状態	・ 自分の健康状態に満足しているか？
			・
			・
			・
6	子育て・教育	・学校教育	・ お住まいの地域の学校教育に満足しているか？
			・
			・
			・
7	環境（自然と生活）	・自然環境	・ お住まいの地域の自然環境は守られているか？
			・
			・
			・
8	つながり（個人と地域）	・関わり	・ 地域との関わりに満足しているか？
			・
			・
			・
9	防災・防犯	・地域の安全度	・ ・あなたの地元では夜9時に安心して外を歩けるか？
			・
			・
			・
10	福祉	・高齢者	・ お住まいの地域は高齢者に暮らしやすいと思うか？
			・
			・
			・
11	文化	・伝統文化	・ お住まいの地域には、芸術文化に接する機会があるか？
			・
			・
			・
12	生活インフラ（利便性、情報、雇用など）	・利便性	・ あなたの地域は買い物や通院に便利か？
		・雇用	・
		・ICT	・
			・
			・

市民まつり（11 月 10 日） 市民インタビュー「ながくて市民の幸せ集め」結果概要

大項目	小項目	幸福の理由・指標（〇：個人、□長久手市）
生活全般	・生活の満足度	〇マイペースな暮らし
	・街並み	□緑豊かな風景
地域全般	・活気	〇活気があり楽しい 〇新しい住民も増えて活気が増している □ござらっせなどの魅力施設 □新たな店舗等の増加 □祭りやイベントの多さ
	・住み心地	〇便利で住みやすい
健康	・健康状態	〇健康に暮らせること（健康であること） 〇家族の健康
	・運動	□散歩・ウォーキングに適した環境
子育て・教育	・教育環境	〇楽しい学校生活 □恵まれた教育環境
	・子育て環境	〇子どもを育てやすい □子どもにやさしいまち
環境	・自然環境	□景色がよい □開発により減少しつつある緑の保全 □田んぼやみどりの多さ
	・公園	□公園が多い
	・交通	□交通が至便 □整備された道路網
つながり	・近所付き合い	〇やさしい人柄 □近所づきあいの良さ □新しい住民の増加による活気
	・家族	〇家族のコミュニケーション 〇家族の成長、自立 〇3世代の交流（孫と祖父母のふれあい）
	・友人	〇仲良く付き合える友達の存在
防災・防犯	・防災	□津波などの自然災害の心配が少ない
文化	・伝統文化	□歴史・文化を感じる
	・生涯学習	〇自己実現（好きな事ができている、願いがかなっている）
ガバナンス	・行政への参画	□自分の意見が市政に反映されているとの実感

幸せ実感調査隊かわら版

～「第2回幸せ実感調査隊ミーティング」を開催～

本市が目指す市民一人ひとりの幸福度が高いまちに向けて、『ながくて幸せ実感調査隊』の第2回ミーティングを開催しました（平成25年11月25日）。

今回は、現在の長久手がどのような状態にあるかを把握する「ながくて幸せ実感調査」の実施に向けて、市民生活の実感や地域の状況を把握するために、どのような調査項目にしていくかについて、有志の「市民と職員」が話し合いました。

冒頭で、事務局から「幸せのモノサシづくり」と「幸せ実感調査」の関係などについて説明の後、本市の「ながくて幸せのモノサシづくりアドバイザーである草郷孝好氏（関西大学社会学部教授）から、調査の進め方について助言を頂きました。

その後は、参加者が4つのテーブルに分かれてグループ討議。「ながくて幸せ実感調査」において質問したいこと、確認したいことについて、ワークショップ形式で活発な意見交換を行い、参加者からは、たくさんの「こんなこと質問したい！」が提案されました。

今後も同様の意見交換を行い、「ながくて幸せ実感調査」の内容を固めていく予定です。

【主なこんなこと質問したい！（抜粋）】

■文化
- 愛・地球博の長久手開催を誇りに思うか？
- 長久手の昔話や方言を知っているか？
- 長久手の伝統文化と言えば？
- 学んだことを発表する機会はあるか？
- 芸術文化に触れる機会はあるか？（文化の家などの活用）

■健康
- 笑顔で生活できているか？
- 体は健康か？（病気を抱えているか）
- 体を動かす機会や場所はあるか？
- おいしく食事を食べているか？
- 定期的な検診やチェックをしているか？
- 精神的な安らぎはあるか？

■子育て・教育
- 自分以外の子も叱ることができるか？
- 子育てや教育の相談相手や場はあるか？
- （自分の）子どもの良さを認めているか？
- 子どもの居場所（施設や公園）は充実しているか？
- 子どもの見守りが地域で充実しているか？

■福祉
- 福祉サービスの認知度や充実度
- 独居老人の見守りが充実しているか？
- 近所の話し相手や助け合いはあるか？
- 高齢者や身体障がい者が外出しやすいまちか？（健常者は席を譲るか？）
- 介護の悩みはあるか？（複数での介護）

幸せを構成する「分野」	文化	グループ	A	<メンバー> 村田さん、ゆうじさん、とみー、わかちゃん

長久手の生活の良し悪しを左右する大切な「要素」	「こんなこと質問したいカード」を貼る欄			
歴　史 （昔から今まで）	① 地元の歴史 （長久手の戦い） ② 長久手の戦いを語ることができますか？ ③ 地域を知る＝愛着、誇りをもてる。	◎歴史の認知度 ② 小牧・長久手の戦いの何をしっていますか。 ③ 名所はあるが、観光地にならないため	① 最近のできごと（新しい歴史） ② 愛知万博が長久手であったことを誇りに思いますか ③	
伝　承	① ◎祭り（けいこまつりに限定、すべて） ② 近所で開催されるお祭りに足を運びますか？ ③ 地域の人と知り合うきっかけ	① 大切な活動、伝承 ② ◎子孫に残したい　伝えたいコトありますか ③	① 誇れる文化はありますか ② 自分が思いつかないので教えてほしい ③	① 昔話 ② 長久手の昔話を知ってますか？ ③
温故知新	① 温故知新 ② 伝統歴史を大切にするだけでなく、新しい文化の芽をつむことなく育てる国土があるか ③ 過去を守るだけでは文化は育たず			
生涯学習	① ◎スポットライトあびてます ② 得意なことを発表する機会はありますか？ ③ 学ぶ機会があるかどうか人の目を意識する＝キレイにする	① 音楽とのふれあい ② 気楽に楽器を演奏できる環境ですか？（ライブ、スタジオなど） ③	① 本とのふれあい ② 身近に本を手にとる（入手できる）環ですか（本屋、図書館、まんが喫茶） ③	
方　言	① 言葉 ② 長久手　固有の言葉（方言）はありますか？これをのこさないですか ③			
多文化共生	① 多文化 ② 外国人と交流する機会はありますか？ ③ 外国の人を助ける　異文化に触れ心が豊かになる	◎異質な文化の受容 ② 自分とは違う文化習慣を持った人たちを受入れる文化と風土はあるか？ ③ 個人の生きやすさを支える文化は必要　同質性を迫る圧力が強いと生きづらい		
食文化	① おいしいたべもの ② おいしいレストランは近くにあるか？ おいしい食材は手に入るか？ ③			
生活習慣	① 生活習慣 ② 長久手固有の生活習慣といえるものを知っていますか ③			
サブカルチャー	① サブカルチャー ② ポプカルの聖地にしたいですか？（モリコロパーク） ③	① ファッション ② 長久手　独特のファッションを見たことがありますか ③		

幸せを構成する「分野」	子育て・教育	グループ	A	<メンバー> 村田さん、ゆうじさん、とみーわかちゃん

長久手の生活の良し悪しを左右する大切な「要素」	「こんなこと質問したいカード」を貼る欄			
家　族	① 家族 ② 家族との会話は週にどのくらいありますか ③ 家族のつながり	① 未来◎ ② 子どもと将来のことについて話していますか ③ 将来希望がもてるか	① マネー ② 子どもにマネー教育をさせていますか ③ 将来のため	① 家族 ② 週末に家族ででかけますか その子どもの良さを認めてますか ③ つながり 勉強以外での評価基準
おせっかい	① ② 自分の子ども以外もちゃんと叱れますか？ ③ 地域で子育てができているか？	① ミュニティで教育◎ ② 近所におせっかいなおじさん、おばさんはいますか？（たまに叱る人） ③ 地域コミュニティの教育力	① 顔がみえる近所付き合い◎ ② 道ですれちがった子ども同士があいさつをしていますか？ ③	
悩み相談	① 助け合い◎ ② 「たすけてー」とＨＥＬＰを出せる人が近くにいますか ③ 「たすけてー」と当事者が言わないと関われない	① 悩み相談の機会 ② 子育てについて相談できる人や場所が地域内にありますか？ ③ 世代の子育ての悩みを解決できる場所があるのか	① 相談相手 ② 地域で話し相手はいますか？ ③ 孤立せず、悩み相談	① ママ友 ② ママ友が集まれる場所はありますか？ 機会は多いですか？ ③
遊び場	① 地域の遊び場 ② どこで遊ぶのが一番楽しいですか？ ③ 家の中か、公園か、アピタか子どもに選ばられる遊び場はどこ？	① コミュニケーション ② 友だちとどこで何をして遊んでいますか？◎ ③ ゲームがコミュニケーションツールになっており、公園でもどこでも運動せずゲームをしている	① つながり ② ゲーム、ＴＶは１日何時間しますか ③ 家族のつながり	
伝　承 （世代間交流）	① 遊び伝承 ② 長久手固有の遊びがありますか ③	① 伝承 ② お年寄りから昔話を聞く機会はありますか？（戦争とか遊びとか） ③ 世代間交流、伝承◎		
安　全	① 安全 ② 子どもに携帯を持たせていますか ③ 治安に関わると思うから	① 地域の安全性◎ ② 子どもをひとりでお使いに行かせることができますか？ ③		
教育環境	① 先生 ② 担任の先生には子どものことを何でも相談できますか？ ③	① いじめ ② 学校（幼稚園）でいじめはありませんか？ ③	① 待機児童 ② 子どもを預けられる保育園はありますか？（数は足りていますか？） ③	
少子化対策	① 少子化 ② 子どもは何人いますか ま◎ 増やす予定はありますか（その理由） ③ 子育てしやすい環境か			
学び場	① 地域の学び場 ② 何を学びたいですか◎ （行きたい学校、学び場は地域内にありますか） ③ 学ぶ意欲とその場があること＝幸せ			

幸せを構成する「分野」	福祉	グループ	B	<メンバー> リョウさん、れーな、ユッキー、てらし

長久手の生活の良し悪しを左右する大切な「要素」	「こんなこと質問したいカード」を貼る欄			
地域福祉	① 働きながら子育て ② 働きたくても働けないのはなぜですか？ ③ 女性の自立支援、子育て支援	① 急病（カゼ程度）の子ども一時預かり所 ② 子どもが急病で近所で預かってもらう施設や人はいますか？ ③ 地域で子育て支援	① ② ③	
居場所	① 近所に何でも相談所 ② 困った時に相談できる人はいますか？ ③ 助けて欲しい人に手を差し伸べる	① 居場所 ② 地域が何か楽しいと思うことを一緒にする仲間がいますか ③ 地域で自分なりの役割が必要		
交　流	① ② おじいちゃん、おばあちゃん―孫に会いに行きましたか？ ③ 世代間交流	① 高齢者 ② 交流できてる？ ③ 場があるか？	① お年寄り ② 家族以外のお年寄りと会話しますか ③	
介　護	① ② 介護について悩んでいませんか？ ③	① 介護 ② 複数で介護できますか ③	① 介護 ② 将来の介護問題に不安がある ③	① 介護 ② 親などを介護できますか？ ③
医　療	① 医療 ② 年間医療費一円以下ですか？ ③			
障がい者	① 障がい者 ② 障がい者の知り合い友達いますか ③	① 障がい者 ② 就労する場があるか？ ③	① 障がい者 ② 長久手市は障がい者にとって生活しやすい？ ③	
福祉施設	① バリアフリー ② 車いすの方が（利用）生活しやすい？ ③	① 福祉施設の活用 ② 温泉は利用してますか？ ③		
関心思いやり	① 関心 ② 福祉に関心がある？ ③	① ② バス、地下鉄で席を譲ったことありますか？（譲ってもらったこと） ③		

当たり前に！

誰でもすぐできること！

幸せを構成する「分野」	健康	グループ	B	<メンバー> リョウさん、れーな、ユッキー、てらし

長久手の生活の良し悪しを左右する大切な「要素」	「こんなこと質問したいカード」を貼る欄			
心の健康	① こころの状態 ② 笑顔で生活できますか？ ③	① 心の健康 ② ③ 体の健康は心の健康が支えている	① 心の健康 ② 悩みを相談できる人、場所はありますか ③	① 精神面 ② 不安なこと、つらいことはありますか？ ③
心の健康	① こころの状態 ② さみしくないですか？ ③ 一人で生活するおと年寄りが増えている	① 夢や目標 ② ③ 生きる原動力	① 生きがい ② ③ 生きる励み	
心と体のバランス	① 心と体のバランス ② ③ 両方の健康があって成り立つ			
運　動	① 身体活動 ② 出歩くのは好きですか？ ③ 運動能力の有無	① 運動スポーツ ② 体を動かす機会がありますか ③	① 適度の運動 ② ③ 肉体の健康は運動することが基本　人間はそのようにして生命維持	
家族の健康	① 健康状態 ② 家族は健康？ ③ 自分も家族も大切	① 夢を共有する仲間 ② ③ 人に生まれていることの認識	健康に対する意識がある？	
健康管理	① 健康把握 ② 健康状態（体）について把握してる？ ③ 病院に行けてるかどうか	① 体の健康 ② 何年（風邪を引いていないか　病院のお世話になっていないか） ③	① 生活習慣 ② ④	
食　事	① 食生活 ② 美味しい食事できてますか？ ③ 食べれる＝健康	① 必要な栄養摂れる食事 ② ③		
市民の健康	① 医療機関の充実 ② 怪我、病気に満足いく対処ができる、受けられるか？ ③	① ② スポーツ大会 ③		

幸せを構成する「分野」	健康	グループ	C	<メンバー> ナベさん、まっちゃん、まりちゃん、さがっしい、なおき

長久手の生活の良し悪しを左右する大切な「要素」	「こんなこと質問したいカード」を貼る欄			
健康維持	① 健康（からだ） ② 定期的に健診や体のチェックを行っていますか？ ③ 健康を事前チェックの必要あり	① 長寿のまちか ② 健康のまちは長寿につながるはず ③	① 健康維持ガイダンス（運動か食事） ② 達成感を味わえる行事などの機会を考えたか ③	
適度な運動	① からだの健康 ② 運動はすきですか？　体を動かしていますか？ ③	① 日常的な運動の機会（散歩など） ② 散歩のコースはいくつありますか？（軽い、中くらい、重い等） ③	① 健康（からだ） ② 体に合った運動はしていますか？ ③	
食	① 食 ② 安心して食べられる食材をいつでも手に入れることはできますか？ ③			
趣味・仲間	① 健康（こころ） ② 夢中になれる趣味はありますか？ ③	① 健康（こころ） ② 親しく語りあえる友はいますか？ ③	① 健康（こころ） ② 欲求不満、不満をいやす（ｏｒ発散）できる場所はありますか？ ③	① こころの健康 ② チャレンジしたいことはありますか？ ③ 向上心、前向きな気持ち
わくわく	① こころの健康 ② わくわくすること　うきうきすることはありますか？ ③ 目的・目標をもっているからわくわくうきうき	① こころの健康 ② 最近満面の笑みになったことはありますか？（こころが動いたことはありますか？） ③		
安　定	① 心の安定（ストレスが少ない） ② 精神的よりどころの場がありますか？ ③	① こころの健康 ② 今日１日あったことを伝えたい人は誰ですか？（ｏｒ伝えたい人はいますか？） ③		
安　心	① 病院 ② 病気になったときに頼れる病院が近くにありますか？ ③			
家　族	① 健康（家族） ② 病気（長期）を抱えている家族はいますか？ ③ 家族全体で考えなければ	① 健康（かぞく） ② 家族の介護、看護の負担はどうですか？ ③ 自分が健康でも家族が健康でなければ	① 見守り ② 自分をいつも見守ってくれる人は近くにいますか？ ③	
いろいろその他	① からだの健康 ② 病気を患っていますか？ ③	① 障がい者の心の幸は何によってもたらされるか ② ③	① 幸福感は心の問題であるはず ② フェアな競争社会か　伸農かな生活であるか ③ 幸福感は達成により成り立つと思うから	

幸せを構成する「分野」	福祉	グループ	C	<メンバー> ナベさん、まっちゃん、まりちゃん、さがっしい、なおき

長久手の生活の良し悪しを左右する大切な「要素」	「こんなこと質問したいカード」を貼る欄				
サポート体制（情報提供 etc）	① 安心 ② 障がいを持った時のサポート体制が整っていますか ③	① 福祉サービスの ② 市が提供するスを知っている ③	① 障がい者福祉 ② 手話、点訳サっていますか ③	① 障がい ② どのような障がいかりますか？ マークｅｔｃ ③	① 福祉 ② 介護施設は足りていますか？ ③
子育て	① 子育て母さんにやさしいまちが ② 集まる場所、ささえる人を増やす取組みはあるか ③	① 福祉 ② 公的保育施設は足りていますか？ ③			
高齢者ｏｒ身障者向けまちづくり	① 地域に老人の健康指導者がいるか ② 体操、食事、健康習慣を指導する人が必要と思うが ③ いないと思う	① 高齢者 ② 安心して散歩・暮らしができますか？ ③	① 福祉 ② 身障者が活動しやすいまちづくりになっていますか？ ③	① 高齢者の外出について ② 一人で出かける交通手段はありますか？ ③	
見守り	① 見守り ② 自分をいつも見守ってくれる人が近所にいますか？ ③	① 福祉 ② 一人暮らしの老人とのつながりがありますか？ ③	① 制度からはずれる人は ② ひきこもりはおそれされているのではないかと思う ③	① 福祉 ② 生活保護世帯への気づかいが出来ていますか？ ③	
助け合い	① 助け合い ② 近所同士助け合える環境が整っていますか？ ③	① 助け合い ② 助けてと言える人が家族以外にいますか？ ③	① 近くに頼れる人がいるか ② 近所に話し相手がいますか？ ③	① 助け合い ② 頼れる人はいますか？（助けてくれる人） ③	
助け合い	① 福祉 ② 助け合う心、つながりは増加していますか？ ③	① 福祉 ② 助け合う仕組みづくりがありますか？⇒参画協働社会づくり ③	① 助け合い ② 助け合いを進んでできますか？（周囲の人の目が気になりますか？） ③		
交　流	① 世代を超えて話せる場所はあるか ② なさそう ③ 必要	① 福祉 ② 被介護者が参画できるあるいは鑑賞できるイベント、訪問が活発か？ ③			
提　言	① 医療と介護のすき間はないか ② あると思う ③ だめです	① 福祉 ② 行政サービス以外はNPO 活動等で補完できていますか？ ③	① 福祉 ② 高齢者福祉に偏りすぎてはいませんか？ ③		
提　言	① ホスピスは充分足りているか ② どの程度あるか ③ ないと思う	① 孤独死は年間何人か ② 安心して死ねるまちは幸のまち ③ 達成の意欲があるか			

幸せを構成する「分野」	子育て教育	グループ	D	<メンバー> トシチャン、ツッキー、サッチー、マユミン、ウイチャン

長久手の生活の良し悪しを左右する大切な「要素」	「こんなこと質問したいカード」を貼る欄			
満足度	① あなたは長久手に住んで何年になりますか ② 子育て…保育園、幼稚園の施設に満足していますか　してない…理由 ③ 新しい家族にとって（育児、親が安心して働けるためには）	① 保育施設、保育環境 ② 子どもを預ける環境に満足していますか ③ 預けたいと思った時に預けられていますか	① 満足度 ② 通っている学校、保育園に満足していますか？行きたい学校、保育園に行けていますか？ ③ 満足しているという事は幸せにつながる	① 子どもの教育施設に満足していますか ② いる、いない　改善してほしいこと ③ 子どもは市の将来を担う宝である
女性の社会参加	① 子育てと働き場の両立 ② 子どもを育てながら働く必要はありますか？ ③ 子育てママの働き場の悩み	① 子育てと女性の雇用問題 ② 現在の社会問題となっている家庭環境の経済、子育ての両輪がうまく回るようになるよう、実対策が必要となる ③ 少子高齢化問題改善のため	① 学校など教育施設に満足していますか ② いる…理由、いない…理由（数、内容、教育、プログラム） ③ 子どもの育成に大切	① 長久手保育園は？ ② 保育園の数は充実していますか？内容は？（施設の） ③ 子育てにおける保育の満足度
少子化	① 少子化 ② こんな制度（政策？）があればもう一人子供を産みたいと思ったか？ ③ 少子化による子供の減少で、まちに活気がなくなるなど	① 子供 ② 何人子供がほしいですか？ ③ 希望と現実に差がなければ幸せになるから	① 指導者 ② 先生、保育士はいい人ですか？ ③ 教育に関して先生は重要だから	① 長久手の「教育」についての満足度 ② 長久手の教育についてどんな要望がありますか？ ③ 教育全般についての満足度
子育て支援	① 子供（児童、幼児）たちの遊び場 ② 子供たちは学校以外、どこで遊んでますか（公園、川、山、空地） ③ 子供たちの遊びの自由度	① 子育て支援 ② 子育てについて相談できる場所がありますか　知っていますか　利用していますか ③ 子育てに不安を抱えていると幸せを感じられないから	① 環境 ② 子どもと遊べる場所を利用していますか ③	① 交流 ② 同世代の親子と交流する機会はありますか　利用しますか　どんなものだったら参加したいと思いますか ③
安　全	① 子育ての安心、安全についてどう思いますか ② 満足、まあまあ、不満足…理由 ③ 安心して住めるまち（市）づくりのため	① 子供たちの安全について ② 子供たちの登下校の際の安全教育についてどう思いますか？ ③ 安全教育		
教育方針	① 学びとはなんぞや ② 人間の育成－年齢に関係なく　生涯学習等に興味がありますか ③ 高齢になって学んだことは人生の貴重な宝です	① 情操教育について ② 長久手は自然が多く、伸び伸びと子供は育っていますか？ ③ いわゆる脱詰め込み教育について教え方	① 学校における問題点 ② いじめ、不登校、非行について長久手市はどうですか？ ③ 生徒・児童についての重要課題への関心度	
教育方針	① 市ヶ洞学区の教育実態 ② 1 部活、2 宿題、3 夏休み・冬休みについて ③ 各内容が知りたい	① 部活動 ② 部活動は何をしていますか？ ③ 自分が学生時代、部活動が楽しかったから	① 教育の改善 ② 1 朝の部活の廃止 2 土曜日の休日はだめ ③ 教育の中身の前進	
教育方針	① 学力向上について ② ペーパーテストだけでなく、人間としての育成にも重視してほしい ③ 今の若者は思考力の幅が狭い	① 教育委員会への疑問、要望 ② ③	① 大学生の校外での自習の場 ② 大学が多いが、みんなどこで自主勉強していますか？ ③ 自主勉強難民が多く、場が必要か？	
生きがいづくり	① 生涯学習に対する希望 ② 学習に参加していますか　いる、いない…理由 ③ 心身の健康を保持、増進し活力ある市民生活に結び付ける	① 市の生涯学習に参加していますか ② 参加している内容…（　）　いない…理由 学習内容についての希望 ③ 心身の健康を保ち（保持、増進）活力ある明るい生活を	① 高齢者への「学び」 ② ③	

幸せを構成する「分野」	文化	グループ	D	<メンバー> トシチャン、ツッキー、サッチー、マユミン、ウイチャン

長久手の生活の良し悪しを左右する大切な「要素」	「こんなこと質問したいカード」を貼る欄			
自己実現	① 市民のエンパワーメントの向上 ② 行政の最大の目的、市民の自己実現の機会を公平に提供する ③ 市民の自己実現の活力を福祉の分野で伸ばす	① 生涯学習 ② 自分のやりたいと思うこと（趣味等）をやれていますか ③	① 発表の機会　自己表現 ② 発表する機会はありますか（自分のできなこと） ③	
文化施設	① 文化の家について ② 文化の家を知っていますか？行ったことがありますか？（週、月、年） ③ 文化の家は長久手の文化の発信地　文化に対する関心度を知る	① 文化の家で何が行われているか知っていますか ② 参加したことがある…興味を持ったことは何ですか ない…理由 ③ 市民の文化生活を支援している文化の家の理解度と関心度今後の活動の参考	① 地域（長久手）の文化施設について ② あなたはどの施設に行きますか？利用していますか？（文化の家、名都美術館、古墳場公園、森大市民講座） ③ 市民の文化の状況を把握する	① 長久手の文化施設で多く利用している場所はどこですか ② 理由　自分の趣味や教養、生活の豊かさを得るため ③ 今後の事業への展開参考
文化施設	① 芸術 ② 芸術に触れる機会はありますか ③			
	興味がある人には参加したことがあるか			
歴　史	① 長久手の歴史に興味がありますか ② ある…どのような史跡を知っていますか　どにょうな時に行きますか ない…興味がない、わからない、知らない ③ 長久手の歴史などの認識（興味）を知る　結果→解決策を考える	① 歴史 ② 長久手の歴史を知っていますか ③	① 伝統文化への誇り ② 長久手の伝統文化に誇りを持っていますか？ ③ 誇りを持たないと楽しくない→不幸せ	
認　知	① 文化についての認知 ② あなたは文化というと何を思いつきますか？（音楽、絵画、芸能、文学） ③ その人が文化についてどの程度考えているか知る	① 認知度 ② 長久手の伝統文化といえば何？ ③ まずは知ることが大切だから		
新しい文化	① 新しい文化 ② これから長久手の文化にしたいものは？ ③ 新しい文化がみんなに浸透していくとよいので			

（４）第３回　ながくて幸せ実感調査隊ミーティング

①プログラム

日時：平成２５年１２月９日（月）午後７時から９時まで

場所：市役所西庁舎３階研修室

内容・開会

・今日も幸せ実感調査アンケートづくりをしよう！

Ａグループ、Ｄグループ「環境、生活インフラ」

Ｂグループ、Ｃグループ「防災・防犯、つながり」

・まとめ

・次回の予定

②会議の様子

幸せ実感調査隊かわら版 【vol. 4】

～「第3回幸せ実感調査隊ミーティング」を開催～

本市が目指す市民一人ひとりの幸福度が高いまちに向けて、『ながくて幸せ実感調査隊』の第3回ミーティングを開催しました（平成25年12月9日）。

現在の長久手がどのような状態にあるかを把握する「ながくて幸せ実感調査」の実施に向けて、市民生活の実感や地域の状況を把握するために、どのような調査項目にしていくかについて、第２回ミーティングに引き続き、有志の「市民と職員」が話し合いました。

前回の振り返りもそこそこに、勝手知ったるメンバーは、早速４つのテーブルに分かれてグループ作業を開始。

「ながくて幸せ実感調査」で質問したいこと、確認したいことについて、ワークショップ形式で活発な意見交換を行い、メンバーからは、たくさんの「こんなこと質問したい！」が提案されました。

【主な「こんなこと質問したい！」（抜粋）】

■環境
- 自宅の周りはきれいか？
- 空気や水は清浄か？
- ごみ分別のルールを守っているか？
- まわりの自然は守られているか？
- 長久手産の野菜や米を身近に感じるか？
- まちの景観は良いか？

■生活インフラ
- 行きたいところにスムーズに行けるか？（公共交通の利用・充実）
- スーパー、病院、学校は近くにあるか？
- 必要な情報が入手できるか？
- ライフラインは整備されているか？（電気、ガス、水道、下水道、道路）

■防災・防犯
- 災害時の情報（避難場所など）を知っているか？
- 家族や地域で災害時の備えをしているか？
- 井戸や発電機のある場所を知っているか？
- 留守の際に見守りを頼める人はいるか？
- 門灯をつけているか？道路は暗くないか？

■つながり
- あいさつしているか？
- 地域のイベントに参加しているか？
- 地域に行きつけのお店はあるか？
- 近所の家族構成を知っているか？
- 近所の助け合いはあるか？
- つながりが強すぎて困ることはあるか？

次回は、「ながくて幸せ実感調査」での調査項目を固めていく予定です。

幸せを構成する「分野」	防犯・防災	グループ	A	<メンバー> むらたさん、ぬま、とみー、わかちゃん

長久手の生活の良し悪しを左右する大切な「要素」	「こんなこと質問したいカード」を貼る欄			
地域での見守り	① 防犯に意識はあるか ② 門灯、つけてますか？ ③ まずできることだから	① 自ら ② 防犯灯が消れてたら気になりますか？ ③	① 地域を守る意識があるか ② 見知らぬ人を見かけたら声をかけてますか？ ③	① ② すれちがう人とあいさつしますか？ ③ 不審者の早期発見につながる
地域での見守り	① ② 人の家の新聞受け、気になりますか ③ たまってるーおかしい	① 地域の安全 ② 安心して長期の旅行にいけますか ③	① 近所（◎）のつながり ② 出掛けるとき、隣の人に「よろしく」と言えますか ③	
治　安	① 治安 ② アパートを借りるとき、ちゅうちょなく１階を選べますか ③	① ② ちょっと出掛けるときに鍵はかけますか ③	①（◎） ②（女性）下着を外に干せますか？ ③	① ② ちかんに遭ったことはありますか？ ③
治　安	① ② 車に防犯装置は付けてますか ③	① ② 子どもに防犯ブザーは持たせてますか ③		
避難場所	① 避難場所（家族 ② 災害時の非難場で決めています ③	① ② 災害時に家族で集合場所を決めています ③	① 非難場所の指定 ② 地区で指定されて難場所を知ってい ③ 行政からの告知が伝わっているか確	① ② 災害時の非難場所てますか ③	① 常日頃からの備え ② 災害時、家族で避難所話してますか？ ③
個人の備え	① ② ケータイの番号を手帳等にメモしてますか ③	① ② 非常食レシピ知ってますか？ ③ 賞味期限確認のため	① 救援物資 ② 救援物資は（家庭内、地区内）を含めて何日待つと考えていますか ③	① 災害の確立 ② 長久手で起きやすいとされる災害は何か答えられますか？ ③
防災団体	① 消防（◎） ② 災害時の消防団の役割を知っていますか ③	① 防災ＮＰＯ ② 市内に防災ＮＰＯの存在を知っていますか ③	① 災害時の情報発信者 ② 地区内に災害情報を発信する団体はあるか（ＦＭとかインターネット） ③	
防災訓練ＢＣＰ	① 地区内のＢＣＰ企業 ② 地区内のＢＣＰをている企業の存在ていますか？ ③	① ② 防災訓練に参加しがありますか？（参加したいと思いか？） ③	① ＢＣＰ（◎） ② 市にＢＣＰはあり ③	① 災害時の復旧 ② 井戸の場所を知っか？ ③	① 災害時の情報発信（◎）のか ② 地区内の災害情報を知る手段を知っていますか ③
災害弱者	① 災害弱者 ② 近所に住んでいる災害弱者（高齢者、障害者、外国人）存在を知っていますか？ ③			

幸せを構成する「分野」	つながり	グループ	A	<メンバー> むらたさん、ぬま、とみー、わかちゃん

長久手の生活の良し悪しを左右する大切な「要素」	「こんなこと質問したいカード」を貼る欄			
地域愛	① そもそも ② 地域のつながり、必要だとおもいますか？ ③ 思う人が増えればあいさつをする人も増える	① みんなで１つのことをやる ② 長久手音頭踊れますか？ ③	① 文化 ② 隣の手は知ってますか ③	① 地域 ② 地域の盆おどりにいきますか？ ③
地域近所	① 地域 ② 近所の人同士で「バーベキューパーティー」をしたことがありますか？ ③	① 地域 ② もちつき大会、できますか？ ③ 年よりの知恵、若者の体力、キビッ子の応援が必要	① 地域 ② 近所の人達と集まって話したりしますか ③	① ② 年齢が離れた友人はいますか？ ③ 狭い世界でなく
地域近所	① 地域 ② 近所の方の顔、名前わかりますか ③	① あいさつ（近所付き合い） ② 近所にいつもあいさつする人は何人いますか ③	① 手伝い（近所からの） ② ちょっとした手伝い（タンスを移動など）をたのめる近所さんはいますか？ ③	① 知り合う ② ご近所の家族構成いえますか？ ③ お互いを知る
地域近所	① 近所づきあい ② （アパート）両隣（同じ階）の人の顔や生活パターンを知っていますか？ ③	① ② 裏の家の人の名字を知ってますか？ ③	① 地域 ② 長久手出身で今も長久手にいる友達はいますか ③	① 近所つきあい ② 醤油をお隣さんに借りれますか ②
学　校	① 学校 ② 同窓会はありますか？ ③	① ② 市内の大学の学祭に行ったことがありますか？ ③	① 学校 ② （小、中学生）校区を越えた友達はいますか？ ③	
家　族	① ② 正月には親戚で集まりますか？ ③	① 家族関係 ② 親「彼氏（彼女）ができた」と言えますか？ ③	① 血縁者 ② 地域内に血縁者は何人いますか ③	
サークル・地縁	① 余暇の充実 ② どこに行けば趣味サークルの情報が得られるか知ってますか？ ③	① サークル活動（アソシエーション） ② いくつのサークル活動（関心テーマ毎のグループ）に関わっていますか ③	① 地縁？？ ② いくつの地縁？？に関わっていますか ③	
行　政	① 行政とのつながり ② 市役所を身近に感じますか？（顔や名前を知っている職員はいますか？） ③	① 市長とのつながり ② 市長ときがるにあいさつできますか ③	① 行政職員とのつながり ② 行政職員のイメージは？ ③	① 議員とのつながり ② 議員とのコミュニケーション頻度はどれくらい ③
地域の企業・お店	① 地域 ② 行きつけの店はありますか ③	① ② 近所の会社が何をやっている会社か知っていますか？ ③		

幸せを構成する「分野」	つながり	グループ	A	<メンバー> むらたさん、ぬま、とみー、わかちゃん

長久手の生活の良し悪しを左右する大切な「要素」	「こんなこと質問したいカード」を貼る欄		
過去と未来のつながり	① 過去と未来のつながり ② 長久手の歴史を知っていますか ③	① 未来とのつながり ② 長久手をどんなまちにしていきたい ③	
つながりのマイナス面	① しがらみ ◎ ② つながりが強すぎて困ると思うことはありますか ③	① おきて ② 見えないおきてを感じることはありますか（地域内、家族内） ③	① DV ② 家族内暴力、地域内暴力を感じますか ③
異文化	① 異文化 ② 外国人の友達はいますか ③		
深いつながり	① 相談相手 ◎ ② 究極に困ったとき、相談できる人が近くにいますか ③		

幸せを構成する「分野」	生活インフラ	グループ	B	<メンバー> れいなちゃん、ツッキー、てらし

長久手の生活の良し悪しを左右する大切な「要素」	「こんなこと質問したいカード」を貼る欄			
交　通（利便性）	① 交通 ② 行きたいところにスムーズに行けますか？ ③	① 利便性 ② 公共交通は十分？ ③	① 交通の便で困ったことは？ ② ③	① 公共交通機関 ② リニモやNバス等は使ってますか？便利だと思いますか？ ③
交　通（安全）	① 道路 ② 安全？（とても狭い、複雑、混む） ③	① 交通 ② 適正な交通量か？ ③	① 子育て ② 通学路は安全か？ ③	
住	① 住宅 ② 耐震化されてますか　住んでいる家、学校など老朽化で不便してませんか ③			
子育て・教育	① 子育てで困ったことは？ ② ③	① 教育 ② 近くに十分な教育機関があるか？大学、保育園、小中 ③	① 子育て ② 子どもの遊び場があるか？ ③	① 子どもの遊ぶ場所はありますか？ ② ③
ライフライン	① 電気、ガス、水道 ② 料金納得できてますか？ ③	① ライフラインは満足していますか？ ② ③	若い母親世代の安心の確保	
情報・通信	① 通信 ② インターネットや電話はつながりやすいですか？ ③	① 情報 ② 必要な情報が入手しやすいか？ ③	① 情報 ② ケータイつながる？ ③	
食	① 食べ物 ② 安くておいしいものが買えますか？ ③	① 食の利便性 ② スーパーが近くにある？ ③	三ヶ峯の買物難民対策必要	
雇用・労働	① 労働 ② 働く場所があるか？ ③	① 雇用 ② 仕事ある？ ③	① グルメの楽しみ ② 美味しいお店はありますか？ ③	
医　療	① 医療　病院たくさん還 ② 病院は近くにあるか？ ③	① 安心安全についてどう思いますか？ ② ③		

幸せを構成する「分野」	環境	グループ	B	<メンバー> れいなちゃん、ツッキー、てらし

長久手の生活の良し悪しを左右する大切な「要素」	「こんなこと質問したいカード」を貼る欄			
場　所	① あなたのお気に入りの場所は？ ② ③	① 好きな公園はありますか？ ② ③		
生活環境	① 買物は便利ですか？ ② ③ 交通も一緒に考えよう	① ゴミ ② 道にゴミが落ちてる？ ③ 景観保全	① （水）生活環境 ② 水道水が飲めますか？ ③	① 空気はきれいですか？ ② ③
生活環境	① 交通事情は良いです ② ③	① 病気になった時に不安 ありませんか？ ② 医療設備施設の充実度 ③	① 生活環境（道路） ② 通学・通勤安全 る？ ③	① リサイクル ② 資源回収や資源リ ル活動に積極的で ③	① （公園）生活環境 ② 公園が近くにありますか ③
自然環境	① 自然が多いと思いますか？ ② ③ 長久手が他の市町にくらべ良いまちだと思う根拠のひとつ	① 癒し　自然環境 ② 長久手の自然に癒されるときがありますか？ ③ 長久手の自然の在り方を考える	① 生物との共存　自然 ② 虫や鳥にふれあってる？ ③	① みどり　自然 ② みどりが周りにある？ ③ 自然が守られている
景　観	① 景観 ② まちの景観はいいか？ ③	① 市の景観は気にいってますか？ ② ③		
人間環境	① 人間関係で良かった事、困った事は？ ② ③	① 地球環境 ② ご近所トラブルありませんか？お隣さんの名前わかりますか？ ③		
経済環境	① 税金は適度ですか？ ② ③	自給自足　地産地消が盛んになれば、色々活性化？		
農環境	① 地産地消 ② 長久手産の野菜やお米などを身近に感じますか？ ③	① 農環境 ② 地場産の野菜を食べられますか？ ③		
労働環境	① 働きやすいまちですか？ ② ③	① ② 長久手に住んで長久手で働いていますか？ ③		

幸せを構成する「分野」	防災・防犯	グループ	C	<メンバー> なおき、サイちゃん、さがっしー、まっちゃん

長久手の生活の良し悪しを左右する大切な「要素」	「こんなこと質問したいカード」を貼る欄			
近隣の信頼、絆	① 留守の時には（長期間）どうなさる？ ② 隣人か、信頼できる人に依頼（郵便物、新聞等） ③	① 向こう三軒両隣の名前 ② 隣人の家族人数もはっきりしない家もある ③ 防災の時の対応に	① 信頼 ② 不審者におそわれた　近くの民家に逃げ込めますか？　または助けをよべますか？ ③	
近隣の信頼、絆	① 絆 ② 地域で協力し合える環境ですか？　災害時、共助の体制はとれますか？ ③	① 見守り ② 留守（長期）にする際、見守りを頼める人はいますか？（気にかけてくれる人） ③	① 隣近所の家族構成を知っていますか？ ② ③ 近所付き合い　親しさ	
近隣の信頼、絆	① 隣近所で緊急時の話し合いをしたことがありますか ② ③ 助け合い	① 隣近所とのコミュニケーションはとれていますか？ ② ③	① あいさつ ② 隣近所同志あいさつを交わしていますか？　防犯はまずあいさつ ③	
要援護者	① 要援護者 ② 災害時、助けが必要な人が近所にいますか？　要援護者を助け合う体制はとれていますか？ ③	① 隣近所で支援が必要な老人および母子家庭の存在があるか知っていますか ② ③ 助け合いの必要	① 外出にはどうしてますか（高齢者） ② 買物の手伝い ③	① 声かけは必要ですか ② 独居の方への気遣い ③
避難所	① 災害 ② 避難場所を知っていますか？ ③	① 避難所 ② 災害時に避難所となる場所を知っていますか？ ③	① 避難場所を知っていますか？ ② ③ 基本的な周知	
備　え	① 小火器はありますか ② 常備の徹底と使い方 ③	① 発電機の設置 ② 集会所などに発電機を ③	① 井戸のある家の確認 ② 井戸地図？ ③ 水の確保	① 非常時の食料等の準備は ② ③ 準備、心構え
情報の周知	① 行政（消防、警察含む）自治会 ② 町内会の非常時の対応マニュアルはどうなっているか知っていますか？ ③ 救援、連絡体制のスピード	① 災害時に救援活動を要請するときにどうすればよいか知っていますか？ ② ③ 周知徹底、スピード	① 町内会、自治会の活動は知っていますか？ ② ③ 周知、コミュニケーション	
安　心	① 安心、安全 ② 夜間を安心して歩くことはできますか？地震、津波，自然災害におびえて生活していますか？ ③	① 安全に帰宅できますか ② バスもない、タクシーは困惑顔、歩いて帰るの不安 ③		

幸せを構成する「分野」	つながり	グループ	C	<メンバー> なおき、サイちゃん、さがっしー、まっちゃん

長久手の生活の良し悪しを左右する大切な「要素」	「こんなこと質問したいカード」を貼る欄			
声かけあいさつ	① 声かけ ② 隣近所に声かけする機会を積極的につくりますか ③	① 声かけ ② 熱中症で倒れても、気分の悪い人も気にかけてあげる地域に ③	① あいさつ ② あいさつを交わしていますか？ ③	① 目堰のつきあい、気軽なつきあい ② おすそわけしていますか ③
声かけあいさつ	① こどもたちの見守り ② 秋の下校時は注意深く見守りを ③			
仲間意識	① 信頼 ② 家族以外にできる人はいますか ③	① 相談 ② 困った時、家族以外に相談する人はいますか ③	① 助け合い ② 助けが必要なとき、家族以外で頼れる人はいますか？ ③	① 友人 ② 信頼できる友人はいますか？ ③	① 仲間、知り合い ② あなたは、長久手市内に様々な目的で仲間や知り合いが何人いますか ③ 孤独度（地域的）判定
趣　味	① 趣味、サークル ② 市内でサークル活動など、集う機会はありますか？ ③	① 趣味 ② 自分の趣味を活かすことができるサークルはありますか？ ③	① どんな集まりがあるの？ ② あなたの興味や資格や能力を活かす場所がありますか？ ③ つながりの契機づくり	① 集い ② ママとも、ＰＴＡつながり（社会的立場）ではなく、趣味で集まっている仲間はいますか？ ③
集　い	① 集い ② 地域で集まりはありますか？（バーベキュー、区旅行等） ③	① 各種行事イベント ② 様々なイベントありますか ③ イベント周知、呼びかけ	① 共通点 ② 子どもや世代や各種イベントなどで活動することがありますか ③ きっかけづくり	① 子どもからお年寄りまで ② 地域での知り合いは何人から何歳までですか？きあう年齢層を固定していませんか？ ③	① 新住民と旧住民 ② 長久手にはこんな表現がある　世代と仲間意識を越えて ③
知っていますか？	① 家族構成 ② 隣近所の家族構成を知っていますか？ ③	① 民生委員や町内会役員等 ② あなたは、民生委員や町内会役員のお名前を知っていますか？ ③ 個人情報を突破			
汗かき	① 協力し合う ② 隣近所で協力して、掃除や反対運動や何かで一緒する機会はありますか ③ キッカケづくり	① 汗かき ② まちのため、子どものため、要介護者のため何かボランティアをする気がありますか ③ 潜在的ボランティアの掘り起し			
連　携	① 大学連携 ② 大学に遊びにいったことはありますか？大学生と交流したことがありますか？（大学祭、サークル） ③	① ライオンズクラブは美しく ② 芸大があるのでデザイナーにまかせては？ ③			
その他プラス・マイナス	① 花壇はなぜ？ ② 長久手の平和橋の花壇はやめてしまった　花壇を荒らさないで！ ③	① 楽しみ ② あなたは、長久手市民として何か誇り、楽しみに思うことはありますか ③			

幸せを構成する「分野」	生活インフラ	グループ	D	<メンバー> トシチャン、サッチー、ウイチャン、マユミン

長久手の生活の良し悪しを左右する大切な「要素」	「こんなこと質問したいカード」を貼る欄			
電気、ガス 上下水道	① 電気、ガス、上下水道整備 ② 生活に支障なく、整備されていますか ③ 日常生活に欠かせない整備と思う	① 電気、ガス、水道 ② 電気、ガス、水道（下水道含む）は整っていますか ③	① 電気、ガス、水道 ② 電気、ガス、水道は整備されていますか？（適正だと思う料金はいくらですか？） ③ 最低限必要なもの	
道路整備	① 道路整備 ② 交通量が大変増えている（渋滞）生活の不便を感じることがあるか　望むこと、改善されないこと ③ 市民以外の方の利用が増えている	① 道路 ② 危ない道路はありますか？通学路は確保されていますか？行きたいと思ったところに行けますか？ ③	① 道路 ② 渋滞していませんか？行きたいところに時間どおり着けますか？ ③ 渋滞するとイライラしてしまうから	① 道路等の安全性 ② 車、自転車、ベビーカー、歩行者の安全が確保されている ③ 事故防止対策のため
公共交通	① 交通、リニモ ② 公共交通を利用していますか？リニモ、Nバスの利用頻度、満足度 ③	① 公共交通機関 ② 電車やバスは便利ですか？ ③ 移動手段がしっかりしないと、思うように動けない		
緊急対応	① 緊急時の対応について（インフラ） ② 故障したり、不備が起こった時、スムーズに対応してくれますか ③ 生活に欠かせない安心度を得ること	① 消防、消防団 ② いざという時に頼れるところがありますか？（火災、救急等）119 番できますか？頼っていますか？ ③	① 自然災害に対する具体策 ② 避難指定場所が不明確 ③ 希望の持てるまちづくり	
医　療	① 医[療]関係 ② 幸いに長久手市は病院が多く、特に高齢者は助かっている ③ 内容充実・進展、健康なまちづくり			
生活施設	① 生活環境 ② 生活に欠かせない住環境（スーパー、医療、介護等）は整っていますか ③	① 施設 ② 近くに学校、病院、スーパーなどありますか？ ③ 利便性が高いと満足できるから		
公共施設	① 保育園 ② 待機児童をなくすこと ③ 障害の雇用の改善	① 古墳場の充実 ② 歴史ある長久手市の歴史認識の向上をはかる ③ 地方から、見学に呼びこむ	① 生涯学習 ② 人間のエンパワーメントの向上をはかる ③ 自己実現のチャンス	
お　金	① [収] ② 給料はどのくらい欲しいですか？今の給料に満足していますか？ ③ 何をするのにもお金が必要だから			
食生活	① 食事 ② お腹いっぱいごはんを食べれていますか？ ③ しっかり食べないと不健康になるから			

幸せを構成する「分野」	環境	グループ D	<メンバー> トシチャン、サッチー、ウイチャン、マユミン

長久手の生活の良し悪しを左右する大切な「要素」	「こんなこと質問したいカード」を貼る欄			
ゴ　ミ	① ゴミの減量 ② 分別はしていますか？ゴミの減量で何か取り組んでいますか？ ③ ゴミが少ないと汚くならない	① まちの美化 ② 自宅周りはきれいですか？ ③ ゴミなど落ちていると不愉快になるので	① 環境 ② 住まいの周りは清潔にですか？ゴミが散乱していないですか？ゴミ出しのルールが守られていますか？ ③	① ゴミの処理 ② 市のゴミ処理のルール破り多く、カラスが集まる ③ 環境面で大変よくない
公　害	① 洗濯物、窓の汚れについて ② 空気は清浄ですか ③ 健康への影響	① 犬のフン（道路上）で困っている ② 協同住宅でのルールの認識がまるでだめ ③ 住環境の向上をはかるため		
景　観	① 長久手市の景観をどう思いますか ② 新しい家がどんんどん増えているが、街並みをどう思いますか ③ 計画的な整備が出来ているかどうか	① まちの景観 ② 長久手市の景観で好きなところはどこですか？ ③ 景観がいいと気分も良くなる		
自　然	① 長久手の四季 ② 公園や緑地が整備されているか四季の変化を楽しんでいますか ③ 生活を豊かにする環境の良否	① 生物多様性 ② 周りに生き物はたくさんいますか？ ③ 生き物がいる環境＝自然があふれている	① 自然環境 ② まわりは自然が守られていますか　まわりは何%ぐらい自然がありますか ③	
住環境	① 生活環境 ② 過ごしやすいですか？（自由記入で）Ｙｅｓだったらどう過ごしやすいですか？ ③	① 安らぎ場 ② 近くに安らげる場所はありますか？　どこですか？ ③ 安らげるところがあると和やかになれる	① 住環境 ② 協同住宅の人間関係の改善 ③ 明るい、楽しい共同体をめざすため	① 不法駐車 ② 住宅内道路に長時間、不法駐車のため ③ 交通安全のため
取　組	① 環境問題への取組 ② エコに協力していますか？（マイバック運動）どれくらい（期間）取組んでいますか　エコハウスを知っていますか？利用頻度は？			

（５）第４回　ながくて幸せ実感調査隊ミーティング

①プログラム

日時：平成２５年１２月２０日（金）午後６時３０分から７時４５分まで

場所：福祉の家２階会議室

内容・開会

・幸せ実感調査の質問項目を選ぼう！

・まとめ

・次回の予定

②会議の様子

幸せ実感調査隊かわら版 【vol. 5】

～「第4回幸せ実感調査隊ミーティング」を開催

本市が目指す市民一人ひとりの幸福度が高いまちに向けて、『ながくて幸せ実感調査隊』の第4回ミーティングを開催しました（平成25年12月20日）。

現在の長久手がどのような状態にあるかを把握する「ながくて幸せ実感調査」の実施に向けて、市民生活の実感や地域の状況を把握するために、どのような調査項目にしていくかについて、有志の「市民と職員」で話し合いました。

第２回、３回のミーティングにおいて、「健康」「環境」など幸せを左右する分野ごとに、各グループで「こんな質問をしたい！」を出し合いました。

今回は、これらの中から、分野ごとに５つの質問を選定するため、まずメンバーが各自で選定し、投票を行いました。

【投票結果】

■健康
- １位　ストレスを発散する機会はあるか？
- ２位　笑顔で生活できているか？
- ３位　気軽に運動する場や機会はあるか？

■子育て・教育
- １位　安心して出産・子育てできるか？
- ２位　子育て・教育に関する事業、サービス施設が整っているか？
- ３位　子育て相談できる人や場所があるか？

■環境
- １位　近くに公園や遊び場があるか？
- ２位　自然環境は守られているか？
- ３位　街並み（景観）はきれいか？

■つながり
- １位　近くに自宅以外の居場所があるか？
- ２位　市内や近所に頼りになる人がいるか？
- ３位　悩みを相談できる人や場所があるか？

■防災・防犯
- １位　災害の自主的な備えをしているか？
- ２位　避難の場所や方法を知っているか？
- ３位　地域で要援護者は把握しているか？

■福祉
- １位　市の福祉サービスを知っているか？
- ２位　高齢者が暮らしやすい地域か？
- ３位　自分や家族の介護に不安があるか？

■文化
- １位　自己啓発に努める環境が整っているか？
- ２位　地域に自慢したいものはあるか？
- ３位　文化施設を利用しているか？

■生活インフラ
- １位　通学や通勤は安全か？
- １位　市内に働く場所はあるか？
- ３位　道路は渋滞が多発しているか？

次回は、投票結果を参考に「ながくて幸せ実感調査」の調査票を固めていく予定です。

ながくて幸せ実感調査アンケート質問項目選定評価表

	幸せを構成する「分野」	生活の良し悪しを左右する分野ごとの大切な「要素」		要素ごとの質問文の候補	優先度	個人・地域		回答者限定
						個人	地域	
1	幸福感	・幸福度	1	・あなたは幸せですか？	◎	○		
		・重視した基準	2	・幸福度を判断する際に重視した基準は何ですか？		○		
		・有効な手立て	3	・あなたの幸福感を高めるために有効な手立ては何ですか？		○		
		・社会の目標	4	・あなたは社会全体の目標とすべき点はどのようなことだと思いますか？			○	
2	生活全般	・生活の満足度	5	・各生活項目の満足度(家計、就業、健康、自由な時間、生きがい、家族、友人、職場、コミュニティ==>「分野」を使う？)	◎	○		
		〃	6	・生活全般の満足度	◎	○		
		〃	7	・夢や目標を持って生活を送っていますか？				
		〃	8	・将来の生活への不安を感じますか？==>「はい」の場合、選択肢(経済的、介護、などなど)				
3	地域全般	・活気	9	・お住まいの地域に活気が感じられますか？				
		・愛着	10	・長久手市民であることに誇りや愛着を感じますか？				
		・住み心地	11	・長久手は住みよいまちですか？(総合的な住みやすさ)			○	
		・定住	12	・今後も長久手に住み続けたいですか？			○	
		〃	13	・12の理由			○	
4	健康	・健康状態	14	・自分の健康状態に満足していますか？ ※5と重複しているので◎でなくてもよい。あるいは要調整。		○		
	(こころとからだ)	・笑顔	15	・笑顔で生活できていますか？		○		
		・食事	16	・規則正しい食事をとっていますか？ おいしい食事をとっていますか？		○		
		・意識	17	・健康に注意して生活していますか？（規則正しい食事、定期健診、体のチェック、心身のリフレッシュ）	◎	○		
		・休息	18	・心身を休めていることができていますか？		○		
		・医師	19	・かかりつけの医師がいますか？		○		
		・医療施設	20	・お住まいの地域は病院やクリニックが充実していると思いますか？	◎		○	
		・運動	21	・適度に運動をしていますか？		○		
		・運動の場、機会	22	・お住まいの地域には気軽に運動する場所や機会がありますか？ 散歩のコースは多くありますか？			○	
		・心の健康	23	・ストレスをどれくらいの頻度で感じていますか？		○		
		〃	24	・ストレスを発散する場や機会はありますか？ 精神的な安らぎの場はありますか？		○		
		〃	25	・家族全員が健康に暮らせていますか		○		
5	子育て・教育	・心の豊かな教育	26	・お住まいの地域では心の豊かさを育む教育が行われていますか？			○	
		〃	27	・子どもと接する時間は十分にとっていますか？		○		△
		・子育てのしやすさ	28	・あなたの地域は子育てしやすい地域ですか？	◎		○	
		〃	29	・子どもを増やしたいですか？		○		△
		〃	30	・子育てについて相談できる人や場所が地域内にありますか？			○	
		〃	31	・お住まいの地域は子育て・教育に関する事業、サービス、施設が整っていますか？			○	
		〃	32	・お住まい地域の子どもはのびのび育っていますか？	◎		○	
		〃	33	・長久手は、安心して子どもを産み、育てることが出来るまちだと思いますか？			○	
		〃	34	・あなたの子どもは友人とよく遊んでいますか？		○		△
		・学校教育	35	・お住まいの地域の学校教育に満足していますか？			○	△
		〃	36	・お住まいの地域の学校には子どものことを何でも相談できますか？			○	
		〃	37	・お住まいの地域の学校ではいじめやハラスメントが起きていませんか？			○	△
		〃	38	・長久手市内の大学を身近に感じますか？			○	
		〃	39	・子どもに十分な学校教育を提供できる地域ですか？ ※個人質問で尋ねるもの良い(あなたの子どもに教育を提供できているか。してきたか。あなた自身が受けてきたか。)			○	
6	環境	・自然環境	40	・お住まいの地域の自然環境は守られていますか？			○	
	(自然と生活)	〃	41	・あなたは自然環境を守るための取組みに参加していますか？		○		
		・生態系	42	・お住まいの地域では自然の生き物(動植物)に触れあうことができますか？	◎		○	
		・街並み	43	・お住まいの地域の街並み(景観)はきれいですか？			○	
		・緑	44	・お住まいの地域には身近な緑地がありますか？（身近な緑は豊かか）			○	
		・水辺	45	・お住まいの地域には身近な水辺がありますか？			○	
		・空間	46	・お住まいの地域は空が広いですか？			○	
		・ごみ、リサイクル	47	・ごみの分別ルールを認知していますか？／分別していますか？	◎	○		
		〃	48	・資源回収やリサイクルに取り組んでいますか？		○		
		〃	49	・日頃から環境に配慮した生活を送っていますか？(節水、節電、環境配慮製品購入、再生可能エネルギー等々)		○		
		〃	50	・環境に配慮した製品の購入を優先していますか？		○		
		・再生エネルギー	51	・太陽光など「再生可能エネルギー」を活用していますか？		○		
		・生活環境	52	・住宅、衛生、インフラに満足していますか？			○	
		・農環境	53	・長久手産の野菜や米は身近に感じますか？（地元の新鮮な農産物が手に入りやすいですか。）			○	
		・公園	54	・お住まいの地域には近くに公園や子どもの遊び場がありますか？			○	
		・交通	55	・お住まいの地域の公共交通網を知っていますか？			○	
		〃	56	・環境への負担が少ない公共交通機関を利用していますか？		○		

質問文の候補の中から、質問すべきと考える候補を、各分野3つ選んで、「優先度」欄に「◎」をつけてください(すでに事務局が選定した「◎」以外で選択する。)。

	つながり	・地域のつながり	57	・お住まいの地域のことに関心がありますか？		○		
	（個人と地域）	〃	58	・地域との関わりに満足していますか？／地域のつながりは必要と思いますか？			○	
		〃	59	・地縁は生活に欠かせないと思いますか？／地縁が強すぎて困ることがありますか？			○	
		・地域活動・行事	60	・お住まいの地域を良くしたり、盛り上げる活動や行事に参加していますか？（イベントを含む）	◎	○		
		・ボランティア	61	・長久手は、ボランティア活動がしやすい環境ですか？			○	
		・近所付き合い	62	・近所付き合いをしていますか？	◎	○		
		〃	63	・近所の人と目を見て声を出して挨拶していますか？		○		
		〃	64	・近所同士の助け合いをしていますか？（おすそ分け、ごみ出し等々）／頼りになる知り合いが近所に居ますか？		○		
		・居場所	65	・お住まいの地域に（自宅以外に）居場所がありますか？（集いの場、行きつけの店等々）		○		
		・多世代交流	66	・お住まいの地域で異なる世代の人と付き合いがありますか？		○		
		・多文化共生	67	・外国人の友人はいますか？		○		
		〃	68	・お住まいの地域では異文化を受け入れる文化と風土がありますか？（あるいは、受け入れることができますか？）			○	
		〃	69	・長久手は、年齢、国籍、障がいの有無、性別に関係なく誰もが住みやすいまちだと思いますか？			○	
		・家族	70	・家族とコミュニケーションをとる時間（同居・別居を問わず）		○		
		〃	71	・近くに家族（血縁者）はいますか？		○		
		・友人	72	・あなたの友人数（地域内、地域外）		○		
		〃	73	・何かあった時に助けてくれる人の数／「助けて」と言える人が近くに居るか？／悩みを相談できる人や場所		○		
		・孤立感、つながりの必要性	74	・家庭、近所、職場、学校の日常生活の場面で孤立感やつながりの必要性をどのように感じるていますか？		○		△
		〃	75	・あなたの地域では、困ったときに、頼りになる知人が近所や市内にいますか？		○		
	防災・防犯	・防災	76	・お住まいの地域の災害に対する備えは以前より確実ですか？（BCP、井戸、発電機等々）			○	
		〃	77	・お住まいの地域で災害に対する話し合いや訓練に参加していますか？	◎		○	
		〃	78	・お住まいの地域では、要援護者（災害弱者）は把握されていますか？			○	
		〃	79	・災害時の避難場所や避難方法を知っていますか？		○		
		〃	80	・家庭で災害に対する自主的な備えをしていますか？		○		
		・防犯	81	・お住まいの地域は治安が良く安心して暮らせていますか？	◎		○	
		〃	82	・お住まいの地域で交通事故の不安を感じますか？			○	
		〃	83	・あなたの地区では、安心して留守にできますか？			○	
		〃	84	・夜安心して歩けますか？／門灯や街路灯は点灯していますか？／痴漢に遭う不安		○		
		〃	85	・いざという時に頼れるところがありますか？（火災、救急等）119番できますか？緊急時に長久手市を頼りにできますか？			○	
		・予防	86	・お住まいの地域では安心安全を守る取組みが行われていますか？（登下校時の見守り、夜間パトロール、街灯整備など）			○	
	福祉	・高齢者	87	・お住まいの地域は高齢者が暮らしやすい地域と思いますか？			○	？
		・障がい者	88	・お住まいの地域は障がい者が暮らしやすい地域と思いますか？			○	？
		・差別	89	・お住まいの地域は不当な差別がない地域と思いますか？			○	？
		・介護	90	・複数で介護できていますか？（対象者限定） 親を介護できていますか？			○	△
		〃	91	・あなたは、自分または家族の介護に対して不安を持っていますか？		○		
		・地域包括ケアシステム	92	・医療と介護の隙間はないですか？			○	？
		・福祉サービス	93	・市が提供する福祉サービスを知っていますか？			○	
		・地域福祉	94	・地域で困った人への助け合いができていますか？（生活困窮者、一人暮らし高齢者など）	◎	○		
		〃	95	・市内の公共交通で席を譲ったことがありますか？（あるいは譲ってもらったこと）			○	
		〃	96	・まちで見かけた障がいのある人や高齢者に手助けしたことがありますか？	◎	○		
	文化	・伝統文化	97	・お住まいの地域には、自慢したいもの（風景、産物、文化、行事）などがありますか？			○	
		〃	98	・長久手の伝統文化をよく知っていますか？（長久手の戦い、昔話、方言等々） ※もう少し具体的な尋ね方が必要（代表的な資源に特化して）	◎	○		
		〃	99	・お年寄りから昔話を聞く機会はありますか？		○		
		〃	100	・これから長久手の文化にしていきたいものは存在しますか？		○		
		・芸術文化	101	・お住まいの地域には、芸術文化（劇、コンサート、美術展など）に接する機会がありますか？	◎		○	
		〃	102	・文化交流施設を利用していますか？（文化の家、中央図書館、トヨタ博物館、杁ケ池体育館、名都美術館等々）		○		
		・生涯学習	103	・自己啓発に努めるための環境が整っていますか？ 市の生涯学習講座に参加していますか？ あなたの興味や知識や能力を磨いたり、伸ばしたりする機会や場所がありますか？		○		
		〃	104	・お住まいの地域の文化活動は充実していますか？			○	
		〃	105	・得意なことを発表する機会はありますか？（スポットライトを浴びているか？）		○		
		・知識、能力	106	・自分の知識や能力に満足していますか？		○		
		・自己啓発	107	・目的を持って学んでいますか？		○		
	生活インフラ	・利便性	108	・お住まいのの地域は買い物や通院に便利ですか？	◎		○	
		〃	109	・お住まいの公共交通は便利ですか？ 出かける交通手段はありますか？ 行きたい所にスムーズに行けますか？	◎		○	
		・住宅	110	・住宅を耐震化していますか？		○		△
		・ライフライン	111	・電気、ガス、上下水道は、生活に支障なく、整備されていますか？		○		
		・道路	112	・お住まいの地域の道路は渋滞が多発していますか？			○	
		〃	113	・お住まいの地域では、通学や通勤が安全にできていますか？			○	
		〃	114	・お住まいの地域には歩道が整備されていますか？			○	
		・雇用	115	・あなたの地域では、仕事が見つかりやすいと思いますか？／市内に働く場所はありますか？			○	△
		・ICT（通信）	116	・インターネットや携帯電話はつながりやすいですか？		○		△
		〃	117	・あなたはインターネットをどれくらい使っていますか？		○		
	属性	性別	118	・あなたの性別は？				
		年代	119	・あなたの年齢は？				
		職業	120	・あなたの職業は？				
		年収（世帯）	121	・あなたの家庭全体の年収は？				
		通勤・通学先など	122	・あなたの通勤・通学・通院・買い物先は？				
		住宅種別	123	・あなたのお住まいの種別は？				
		同居人数	124	・あなたは何人で同居していますか？				
		世帯構成	125	・あなたのお宅にはどのような同居人がいますか？				
		居住地（小学校区）	126	・あなたのお住まいはどの小学校区ですか？				
		居住年数	127	・あなたが長久手に居住して何年になりますか？				
	調査協力	モニター、活動参加	128	・今後、この調査に協力することは可能ですか？				

「回答者限定」
子どものいる家庭や高齢者、パソコンを持っている人など、回答者が限定されてしまう質問候補（△）

幸せを構成する「分野」４：健康（こころとからだ）

生活の良し悪しを左右する分野ごとの大切な「要素」		要素ごとの質問文の候補	優先度提示案	投票欄																							
				Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん	Gさん	Hさん	Iさん	Jさん	Kさん	Lさん	Mさん	Nさん	Oさん	Pさん	Qさん	Rさん	Sさん	Tさん	Uさん	Vさん	集計
・健康状態	14	・自分の健康状態に満足していますか？　※５と重複しているので◎でなくてもよい。あるいは要調整。												●												1
・笑顔	15	・笑顔で生活できていますか？	2	●	●		●		●	●	●	●	●			●			●	●			●	●	●	14
・食事	16	・規則正しい食事をとっていますか？　おいしい食事をとっていますか？									●			●	●									●		4
・意識	17	・健康に注意して生活していますか？　（規則正しい食事、定期健診、体のチェック、心身のリフレッシュ）	◎																							
・休息	18	・心身を休めていることができていますか？						●										●			●		●			4
・医師	19	・かかりつけの医師がいますか？										●										●				2
・医療機関	20	・お住まいの地域は病院やクリニックが充実していると思いますか？	◎																							
・運動	21	・適度に運動をしていますか？		●					●		●		●					●								5
・運動の場、機会	22	・お住まいの地域には気軽に運動する場所や機会がありますか？　散歩のコースは多くありますか？	3		●			●		●		●				●	●		●	●	●	●			●	11
・心の健康	23	・ストレスをどれくらいの頻度で感じていますか？							●									●								2
〃	24	・ストレスを発散する場や機会はありますか？　精神的な安らぎの場はありますか？	1	●	●		●			●			●		●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	15
〃	25	・家族全員が健康に暮らせていますか					●	●						●	●		●									5

幸せを構成する「分野」５：子育て・教育

生活の良し悪しを左右する分野ごとの大切な「要素」		要素ごとの質問文の候補	優先度提示案	投票欄 A さん	B さん	C さん	D さん	E さん	F さん	G さん	H さん	I さん	J さん	K さん	L さん	M さん	N さん	O さん	P さん	Q さん	R さん	S さん	T さん	U さん	V さん	集計
・心の豊かな教育	26	・お住まいの地域では心の豊かさを育む教育が行われていますか？					●				●		●			●					●		●			6
〃	27	・子どもと接する時間は十分にとっていますか？	4	●	●				●		●									●		●			●	7
・子育てのしやすさ	28	・あなたの地域は子育てしやすい地域ですか？	◎																							
〃	29	・子どもを増やしたいですか？					●								●											2
〃	30	・子育てについて相談できる人や場所が地域内にありますか？	3							●		●		●			●	●	●	●		●				8
〃	31	・お住まいの地域は子育て・教育に関する事業、サービス、施設が整っていますか？	2					●			●	●		●		●	●		●				●	●	●	10
〃	32	・お住まい地域の子どもはのびのび育っていますか？	◎																							
〃	33	・長久手は、安心して子どもを産み、育てることが出来るまちだと思いますか？	1	●				●	●	●		●			●			●	●		●	●		●		11
〃	34	・あなたの子どもは友人とよく遊んでいますか？					●		●																	2
・学校教育	35	・お住まいの地域の学校教育に満足していますか？	4	●	●								●	●							●			●	●	7
要調整	36	・お住まいの地域の学校には子どものことを何でも相談できますか？						●	●							●	●	●		●						6
〃	37	・お住まいの地域の学校ではいじめやハラスメントが起きていませんか？													●								●			2
〃	38	・長久手市内の大学を身近に感じますか？			●								●													2
〃	39	・子どもに十分な学校教育を提供できる地域ですか？※個人質問で尋ねるもの良い（あなたの子どもに教育を提供できているか。してきたか。あなた自身が受けてきたか。）																								

幸せを構成する「分野」6：環境（自然と生活）

生活の良し悪しを左右する分野ごとの大切な「要素」		要素ごとの質問文の候補	優先度提示案	投票欄																							集計
				Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん	Gさん	Hさん	Iさん	Jさん	Kさん	Lさん	Mさん	Nさん	Oさん	Pさん	Qさん	Rさん	Sさん	Tさん	Uさん	Vさん	
・自然環境	40	・お住まいの地域の自然環境は守られていますか？	2	●					●		●			●		●	●				●		●		●	9
〃	41	・あなたは自然環境を守るための取組みに参加していますか？						●		●									●							4
・生態系	42	・お住まいの地域では自然の生き物（動植物）に触れあうことができますか？	◎																							
・街並み	43	・お住まいの地域の街並み（景観）はきれいですか？	3				●		●	●	●		●	●	●									●		8
・緑	44	・お住まいの地域には身近な緑地がありますか？　（身近な緑は豊かか）		●	●											●					●		●	●		6
・水辺	45	・お住まいの地域には身近な水辺がありますか？			●																					1
・空間	46	・お住まいの地域は空が広いですか？																								
・ごみ、リサイクル	47	・ごみの分別ルールを認知していますか？／分別していますか？	◎																							
〃	48	・資源回収やリサイクルに取り組んでいますか？			●								●													2
〃	49	・日頃から環境に配慮した生活を送っていますか？（節水、節電、環境配慮製品購入、再生可能エネルギー等々）	4	●								●			●		●	●				●			●	7
〃	50	・環境に配慮した製品の購入を優先していますか？																								
・再生エネルギー	51	・太陽光など「再生可能エネルギー」を活用していますか？																								
・生活環境	52	・住宅、衛生、インフラに満足していますか？						●	●			●			●						●					5
・農環境	53	・長久手産の野菜や米は身近に感じますか？　（地元の新鮮な農産物が手に入りやすいですか。）					●				●								●	●		●				5
・公園	54	・お住まいの地域には近くに公園や子どもの遊び場がありますか？	1							●				●		●	●	●	●	●		●	●	●		10
・交通	55	・お住まいの地域の公共交通網を知っていますか？						●				●						●		●						4
〃	56	・環境への負担が少ない公共交通機関を利用していますか？					●						●													2

要合体検討

幸せを構成する「分野」７：つながり（個人と地域）

生活の良し悪しを左右する分野ごとの大切な「要素」		要素ごとの質問文の候補	優先度提示案	投票欄 A さん	B さん	C さん	D さん	E さん	F さん	G さん	H さん	I さん	J さん	K さん	L さん	M さん	N さん	O さん	P さん	Q さん	R さん	S さん	T さん	U さん	V さん	集計
・地域のつながり	57	・お住まいの地域のことに関心がありますか？	4				●		●					●			●			●	●					6
〃	58	・地域との関わりに満足していますか？／地域のつながりは必要と思いますか？ ◎						●				●	●									●			●	5
〃	59	・地縁は生活に欠かせないと思いますか？／地縁が強すぎて困ることがありますか？			●											●	●								●	4
・地域活動	60	・お住まいの地域を良くしたり、盛り上げる活動や行事に参加していますか？（イベントを含む）	◎																							
・ボランティア	61	・長久手は、ボランティア活動がしやすい環境ですか？																								0
・近所付き合い	62	・近所付き合いをしていますか？	◎																							
	63	・近所の人と目を見て声を出して挨拶していますか？		●			●				●															3
〃	64	・近所同士の助け合いをしていますか？（おすそ分け、ごみ出し等々）／頼りになる知り合いが近所に居ますか？														●	●		●						●	4
・居場所	65	・お住まいの地域に（自宅以外に）居場所がありますか？（集いの場、行きつけの店等々）	1					●		●		●	●	●					●	●		●	●			9
・多世代交流	66	・お住まいの地域で異なる世代の人と付き合いがありますか？								●					●			●		●						4
・多文化共生	67	・外国人の友人はいますか？									●							●								2
〃	68	・お住まいの地域では異文化を受け入れる文化と風土がありますか？（あるいは、受け入れることができますか？）			●																					1
	69	・長久手は、年齢、国籍、障がいの有無、性別に関係なく誰もが住みやすいまちだと思いますか？	7										●	●	●						●		●	●		6
・家族	70	・家族とコミュニケーションをとる時間は十分ですか？（同居・別居を問わず）																						●		1
〃	71	・近くに家族（血縁者）はいますか？																								0
・友人	72	・あなたの友人数（地域内、地域外）		●																						1
〃	73	・何かあった時に助けてくれる人の数／「助けて」と言える人が近くに居るか？／悩みを相談できる人や場所	3				●	●	●							●						●	●	●		7
・孤立感、つながりの必要性	74	・家庭、近所、職場、学校の日常生活の場面で孤立感やつながりの必要性をどのように感じていますか？																●			●					2
〃	75	・あなたの地域では、困ったときに、頼りになる知人が近所や市内にいますか？	2	●	●				●	●	●	●			●				●							8

要調整

★ 要調整

対象別のものと要調整↓ 特に（障）

幸せを構成する「分野」８：防災・防犯

生活の良し悪しを左右する分野ごとの大切な「要素」		要素ごとの質問文の候補	優先度提示案	投票欄																							集計
				Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん	Gさん	Hさん	Iさん	Jさん	Kさん	Lさん	Mさん	Nさん	Oさん	Pさん	Qさん	Rさん	Sさん	Tさん	Uさん	Vさん	
・防災	76	・お住まいの地域の災害に対する備えは以前より確実ですか？（BCP、井戸、発電機等々）			●				●	●						●							●			5
〃	77	・お住まいの地域で災害に対する話し合いや訓練に参加していますか？	◎																								
〃	78	・お住まいの地域では、要援護者（災害弱者）は把握されていますか？	3	●	●		●			●						●	●			●		●				8
〃	79	・災害時の避難場所や避難方法を知っていますか？	2			●		●	●			●	●		●				●		●	●		●	●	11
〃	80	・家庭で災害に対する自主的な備えをしていますか？	1		●					●		●		●	●	●	●	●	●		●	●		●		12
・防犯	81	・お住まいの地域は治安が良く安心して暮らせていますか？	◎																								
〃	82	・お住まいの地域で交通事故の不安を感じますか？				●									●									●		3
〃	83	・あなたの地区では、安心して留守にできますか？				●	●		●				●				●			●						●	7
〃	84	・夜安心して歩けますか？／門灯や街路灯は点灯していますか？／痴漢に遭う不安		●			●	●				●		●				●	●								7
〃	85	・いざという時に頼れるところがありますか？（火災、救急等）119 番できますか？緊急時に長久手市を頼りにできますか？																					●		●	2
・予防	86	・お住まいの地域では安心安全を守る取組みが行われていますか？（登下校時の見守り、夜間パトロール、街灯整備など）	3	●				●					●	●				●		●	●		●			8

△

認知度にする？

幸せを構成する「分野」９：福祉

生活の良し悪しを左右する分野ごとの大切な「要素」		要素ごとの質問文の候補	優先度提示案	投票欄																							集計
				Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん	Gさん	Hさん	Iさん	Jさん	Kさん	Lさん	Mさん	Nさん	Oさん	Pさん	Qさん	Rさん	Sさん	Tさん	Uさん	Vさん		
・高齢者	87	・お住まいの地域は高齢者が暮らしやすい地域と思いますか？	2	●	●			●	●			●		●		●	●	●	●		●	●	●	●	●		15
・障がい者	88	・お住まいの地域は障がい者が暮らしやすい地域と思いますか？	4	●	●		●	●			●		●	●							●		●	●			10
・差別	89	・お住まいの地域は不当な差別がない地域と思いますか？			●						●										●						3
・介護	90	・複数で介護できていますか？（対象者限定）　親を介護できていますか？													●	●											2
〃	91	・あなたは、自分または家族の介護に対して不安を持っていますか？	3				●		●	●		●			●	●	●		●	●				●	●		11
・地域包括ケアシステム	92	・医療と介護の隙間はないですか？								●								●				●			●		4
・福祉サービス	93	・市が提供する福祉サービスを知っていますか？	1	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●		●	●	●				16
・地域福祉	94	・地域で困った人への助け合いができていますか？（生活困窮者、一人暮らし高齢者など）	◎																								
〃	95	・市内の公共交通で席を譲ったことがありますか？（あるいは譲ってもらったこと）											●							●							2
〃	96	・まちで見かけた障がいのある人や高齢者に手助けしたことがありますか？	◎																								

つながりと要調整

誰もが暮らしやすい

幸せを構成する「分野」１０：文化

生活の良し悪しを左右する分野ごとの大切な「要素」		要素ごとの質問文の候補	優先度提示案	投票欄																							集計
				Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん	Gさん	Hさん	Iさん	Jさん	Kさん	Lさん	Mさん	Nさん	Oさん	Pさん	Qさん	Rさん	Sさん	Tさん	Uさん	Vさん	
・伝統文化	97	・お住まいの地域には、自慢したいもの（風景、産物、文化、行事）などがありますか？	2	●	●			●	●		●	●	●	●	●		●			●		●		●	●	14
〃	98	・長久手の伝統文化をよく知っていますか？（長久手の戦い、昔話、方言等々）　※もう少し具体的な尋ね方が必要（代表的な資源に特化して）	◎																							
〃	99	・お年寄りから昔話を聞く機会はありますか？					●								●			●							●	4
〃	100	・これから長久手の文化にしていきたいものは存在しますか？						●	●	●	●													●		5
・芸術文化	101	・お住まいの地域には、芸術文化（劇、コンサート、美術展など）に接する機会がありますか？	◎																							
〃	102	・文化交流施設を利用していますか？（文化芸家、中央図書館、トヨタ博物館、杁ケ池体育館、名都美術館等々）	3	●				●				●	●				●	●				●	●			8
・生涯学習	103	・自己啓発に努めるための環境が整っていますか？市の生涯学習講座に参加していますか？　あなたの興味や知識や能力を磨いたり、伸ばしたりする機会や場所がありますか？	1	●	●					●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	16
〃	104	・お住まいの地域の文化活動は充実していますか？	4						●	●				●					●		●		●	●		7
〃	105	・得意なことを発表する機会はありますか？（スポットライトを浴びているか？）			●		●						●			●			●							5
・知識、能力	106	・自分の知識や能力に満足していますか？					●									●				●						3
・自己啓発	107	・目的を持って学んでいますか？																			●					1

幸せを構成する「分野」１１：生活インフラ

生活の良し悪しを左右する分野ごとの大切な「要素」		要素ごとの質問文の候補	優先度提示案	投票欄																							集計
				Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん	Gさん	Hさん	Iさん	Jさん	Kさん	Lさん	Mさん	Nさん	Oさん	Pさん	Qさん	Rさん	Sさん	Tさん	Uさん	Vさん		
・利便性	108	・お住まいの地域は買い物や通院に便利ですか？	◎																								
〃	109	・お住まいの公共交通は便利ですか？　出かける交通手段はありますか？　行きたい所にスムーズに行けますか？	◎																								
・住宅	110	・住宅を耐震化していますか？											●								●						2
・ライフライン	111	・電気、ガス、上下水道は、生活に支障なく、整備されていますか？		●	●			●							●						●		●			●	7
・道路	112	・お住まいの地域の道路は渋滞が多発していますか？	3		●	●		●	●			●	●				●	●	●					●	●		11
〃	113	・お住まいの地域では、通学や通勤が安全にできていますか？	1			●		●	●	●				●		●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	14
〃	114	・お住まいの地域には歩道が整備されていますか？		●			●			●		●				●		●		●							7
・雇用	115	・あなたの地域では、仕事が見つかりやすいと思いますか？／市内に働く場所はありますか？	1		●	●	●		●	●				●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	14
・ICT（通信）	116	・インターネットや携帯電話はつながりやすいですか？												●	●	●											3
〃	117	・あなたはインターネットをどれくらい使っていますか？		●			●					●	●				●										5

復活？

（６）第５回　ながくて幸せ実感調査隊ミーティング

①プログラム

日時：平成２６年１月２９日（水）午後７時から８時４５分まで

場所：市役所西庁舎２階第７・８会議室

内容・開会

・幸せ実感調査における調査票案について

・まとめ

・次回の予定

②会議の様子

幸せ実感調査隊かわら版 【vol. 6】

～「第5回、第6回ながくて幸せ実感調査隊ミーティング」を開催～

市が目指す市民一人ひとりの幸福度が高いまちに向けて、『ながくて幸せ実感調査隊』の第5回及び第6回ミーティングを開催しました（第５回平成26年１月29日第６回平成26年２月６日）。

現在の長久手がどのような状態にあるかを把握する「ながくて幸せ実感アンケート」の実施に向けて、第4回ミーティングの結果から作成した調査票案について、修正点や改善点を有志の「市民と職員」で話し合いました。

第４回のミーティングにおいて、分野ごとに５つの質問を選定するため、まずメンバーが各自で選定し、投票を行いました。

第５回、第６回では、その結果から作成した調査票案について、メンバー各自で修正点や改善点などを付箋に書き出し、出された 101 点の意見についてどのようにするか、一つ一つ納得するまで議論しました。

【議論の結果、改善した点】
- タイトル＋サブタイトルを表紙に付ける。（サブタイトルは第６回ミーティングでメンバーがそれぞれ案を出し、第７回ミーティングで決めることになりました。）
- 調査隊の活動等も記述したあいさつ文に修正。
- 少し温かみを出すため、ヘッダーに幸せを表すマークを入れて親しみを持たせる。
- 記入者の負担を減らすため、「上位３つを選択」→「順位づけをなくし、３つまで選択」とした。
- 記入者の負担を減らすため、どのような回答をすればよいか時間をかけて考えてしまう質問を削除。
- わかりにくい選択肢をわかりやすい選択肢に改善。
- 日常生活において普段関わっていない分野で回答しにくい場合（子どものいない家庭が子育て、教育に関して答えにくいなど）のために、「該当しない」という選択肢を作成。
- 「日常的にあいさつしているか」の質問を追加する。
- 回答がしやすいように質問の順序を入れかえる。
- ごみ資源の分別化について、回答者自身のことではなく、地域でできているかを問う質問に変更する。
- 子どもとのコミュニケーションについて、家庭内だけでなく、地域の子どもとのコミュニケーションについての問いを追加した。
- 答えづらいが削除できない質問について、注釈で解説を加える。
- せっかく有志の市民と職員が作ったアンケート票なので、調査隊の写真を載せる。

ながくて幸せ実感調査アンケート質問項目選定評価表

	問	生活の良し悪しを左右する分野ごとの大切な「要素」	質問	回答数	優先度	個人・地域	
						個人	地域
1. 幸せ感	1	・幸福度	・あなたは現在幸せですか。	1	◎	○	
	2	・重視した分野	・あなた自身の幸せにとって重要と思う分野を上位3つまで選んでください。	3		○	
	3	・2の内容	・2の具体的な内容をご記入ください	1		○	
	4	・不幸感や不安感	・あなたにとって不幸だと感じることや生活していく上で不安だと感じることはありますか。	1		○	
	5	・4の内容	・4の具体的な内容をご記入ください	1		○	
	5	・生活の満足度	・各生活項目の満足度（家計、就業、健康、自由な時間、生きがい、家族、友人、職場、コミュニティ、バランス、全般）	11	◎	○	
2. 住み心地	6	・住み心地	・長久手を住みよいまちだと思いますか。	1	◎		○
	7	・愛着	・長久手に愛着を感じていますか。	1	◎		○
	8	・定住	・今後も長久手に住み続けたいですか。	1			○
	9①	・魅力	・長久手に魅力的な点や魅力的でない点がありますか。	2			○
	9②	〃	・9①の具体的な内容をご記入ください	2			○
3. 暮らしや地域	10(1)	・運動	・体を動かしたり運動したりと健康的な暮らしができていると思いますか。	1		○	
①健康	10(2)	・運動の場、機会	・お住まいの地域では、気軽に運動をする場所や機会、散歩ができるような環境がありますか。	1	3		○
（こころとからだ）	10(3)	・食事	・健康的な食生活ができていると思いますか。	1		○	
	10(4)	・心の健康	・ストレスを発散する場や機会、精神的なやすらぎの場はありますか。	1	1	○	
	10(5)	・笑顔	・日頃から笑顔で心豊かな生活が出来ていると思いますか。	1	2	○	
	10(6)	・医療施設	・お住まいの地域は、病院やクリニックが充実していると思いますか。	1	◎		○
②子育て・教育	11(1)	・子育てのしやすさ	・長久手市は、安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思いますか。	1	1		○
	11(2)	〃	・お住まいの地域の子どもたちは、のびのびと育っていると思いますか。	1	◎		○
	11(3)	〃	・お住まいの地域には、子育てや教育に関するサービスや施設が整っていると思いますか。	1	2		○
	11(4)	〃	・お住まいの地域には、子育てや子どもの教育などについて相談できる人がいますか。相談できる場所がありますか。	1	3		○
	11(5)	・心の豊かな教育	・子どもとのコミュニケーションは十分取れていると思いますか。	1	4	○	
③環境	12(1)	・公園	・お住まいの地域には、公園や子どもの遊び場がありますか。	1	1		○
（自然と生活）	12(2)	・生態系	・お住まいの地域では自然の生き物（動植物）に触れあうことができるなど、豊かな自然環境があると思いますか。	1	◎		○
	12(3)	・街並み	・お住まいの地域の街並み（景観・風景）はきれいだと思いますか。	1	3		○
	12(4)	・ごみ、リサイクル	・ルールにしたがって、ごみ・資源の分別をしていますか。	1	◎	○	
	12(5)	〃	・節電や節水、環境に配慮した製品の購入など、日頃から環境に配慮した生活をしていますか。	1	4	○	
④つながり	13(1)	・地域活動・行事	・お住まいの地域を良くしたり、盛り上げたりしていくための活動や行事に参加していますか。	2	◎	○	
（個人と地域）	13(2)	・近所付き合い	・日常的に近所づきあいをしていますか。また、近所づきあいや地域とのつながりに満足していますか。	2	◎	○	
	13(3)	・居場所	・お住まいの地域には、自宅以外の居場所がありますか（集える場所、行きつけのお店など）。	1	1	○	
	13(4)	・役割	・お住いの地域であなたは「たつせ」がありますか。	1		○	
	13(5)	・友人	・困ったときに頼りになる（悩みを相談したり助けてと言ったりできる）知人・友人はいますか。	3	3	○	
	13(6)	・多文化共生	・国籍や文化の異なる人々にとっても住みやすいと思いますか。	1			○
⑤防災・防犯	14(1)	・防災	・お住まいの地域で災害に備えた話し合いや防災訓練に参加していますか。	1	◎		○
	14(2)	〃	・あなたの家庭では、災害に対する自主的な備えをしていますか。	1	1	○	
	14(3)	〃	・災害時の避難所と避難方法を知っていますか。	1	2	○	
	14(4)	・防犯	・お住まいの地域は、治安が良く、安心して暮らせますか。	1	◎		○
	14(5)	・予防	・お住まいの地域では、住民による登下校の見守り、夜間パトロールや街路灯設置など、安心安全を守る取組が行われていますか。	1	3		○
⑥福祉	15(1)	・地域福祉	・お住まいの地域では、地域で困った人への助け合いの取組はできていると思いますか。	1	◎	○	
	15(2)	〃	・まちで見かけた高齢者や障がいのある人、ベビーカーを使っているお母さんなどへの手助けをした経験がありますか。	1	◎	○	
	15(3)	・介護	・現在（あるいは将来の）、自分または家族の介護に対して不安を感じますか。	1	3	○	
	15(4)	・高齢者、障がい者	・お住まいの地域は、高齢者にとって暮らしやすい地域であると思いますか。障がいのある人にとって暮らしやすい地域であると思いますか。	2	2		○
	15(5)	・福祉サービス	・市の福祉サービスや市内の福祉事業者のサービスを知っていますか。	1	1		○
⑦文化	16(1)	・伝統文化	・長久手の歴史や伝統文化（「小牧・長久手の戦い」の地になったことや地域の昔話、棒の手等のお祭りなど）に関心がありますか。	1	◎	○	
	16(2)	・芸術文化	・長久手市は、芸術文化（演劇やコンサート、美術展など）に接したり取り組んだりする機会に恵まれていると思いますか。	1	◎		○
	16(3)	・生涯学習	・長久手市は、あなたの知的興味や知識、能力を磨いたり伸ばしたりする機会（生涯学習活動を行う機会）に恵まれていると思いますか。	1	1	○	
	16(4)	・伝統文化	・お住まいの地域には、自慢したい地域の「宝」（風景や産物、文化、行事など）がありますか。	1	2		○
	16(4)	・16(4)の内容	・16(4)の具体的な内容をご記入ください。	1			
⑧生活インフラ	17(1)	・利便性	・お住まいの地域は、買い物や通院に便利ですか。	1	◎		○
	17(2)	〃	・お住まいの地域は、出かける際の交通手段（バスやリニモ、徒歩や自転車）が便利ですか。	1	◎		○
	17(3)	・道路	・お住まいの地域は、通勤や通学等の際の交通面（歩行者や自転車）の安全が確保されていると思いますか。	1	1		○
	17(4)	・雇用	・お住まいの地域（長久手市及びその周辺地域）では、仕事が見つかりやすく就業しやすい環境（パート労働も含む）にあると思いますか。	1	1		○
	17(5)	・ICT（通信）	・インターネット（ツイッターやフェイスブック、ライン等も含む）や電子メールを利用していますか。	1		○	
⑨まちづくりの役割	18	・役割	・行政や民間企業、NPOや市民活動団体、地域コミュニティ、個人などがまちづくりに果たす役割の大きさはどのようになっていくと思いますか。	6			○
4. 属性	19(1)	性別	・あなたの性別は、どちらですか。	1	53		
	19(2)	年代	・あなたの年齢は、次のうちどれですか。	1			
	19(3)	職業	・あなたの職業は、次のうちどれですか。	1			
	19(4)	年収（世帯）	・あなたの家庭全体の年収（年金を含む。）はどのくらいですか。（現在お住まいの世帯でお答えください。）	1			
	19(5)	通勤・通学先など	・あなたの通勤先・通学先は、次のうちどれですか。	1			
	19(6)	住宅種別	・あなたのお住まいは、次のうちどれですか。	1			
	19(7)	同居人数	・あなたの同居人の総数は、あなたを含めて何人ですか。	1			
	19(8)	世帯構成	・あなたのお宅にはどのような方が同居していますか。	1			
	19(9)	家族形態	・あなたのご家族の形態は、次のうちどれですか。	1			
	19(10)	居住地（小学校区）	・あなたの小学校区はどこですか。	1			
	19(11)	居住年数	・あなたは、長久手市に居住して何年になりますか。	1			
5. その他	20	活動について	・「ながくて幸せのモノサシづくり」について、意義があると思いますか。	1			
（モノサシづくり）	21	モニター	・今後もこの調査に協力していただけますか。	1			
	22	モニター、活動参加	・この取組への興味や参加についてどのように思いますか。	1			
				92			

ながくて幸せ実感調査アンケート質問項目・調査隊意見まとめ

	問	生活の良し悪しを左右する分野ごとの大切な「要素」	質問	意見	回答数	優先度	個人・地域	
							個人	地域
表紙				市長のお願い文は1ページ独立したほうが良い。				
				統計的な～確認するため → 従来の統計的な～～～長久手の姿(幸せ実感)を確保し、市政に反映するため				
				タイトル＋サブタイトル 長久手幸せ実感アンケート サブタイトル例)～より幸せを実感できるまちにするために～				
				一目で狙いが分かるため				
				目的を明確にする。以下に文言を変えては？ ①まちづくりの目指す方向進め方を確立し、市民参加の在り方や協働のあり方を考える。 ②尺度をつくる。行政評価の仕組みを考える。				
				その手順として市民の生の声を聞き、現状と課題を明確化する。(アンケートを募る)				
				一目で主旨がわかるように「お願い文」の要点を太字にする。(キーワード)				
				1. 何のためのアンケートなのか 2. この結果がどのようにいかされるのか 3. その結果がいつごろどのようにリターンされるのか わかるように				
				住民意識調査とは何が違うのかいまひとつ目的が伝わってこない				
				全般 設問が大変多く最後まで真面目に答えてもらえるだろうか？				
				アンケート内容の概要をふれたほうがいいのではないか。(このアンケートは全〇問あり等)見通しが立たないと疲れてしまうのでは？				
				元々「幸福度」というものは主観的なもので極めて個人的。設問は言わば状況証拠に思えるがどうか？原点の話				
				"お住まいの地域"＝小学校区？ 長久手市全体についてと身近な地域があいまい？				
				ご自身の生活実感をもとにご記入いただいても結構です。				
				5. およそ〇〇分程度で、、、は不要では？				
1. 幸せ感	1	・幸福度	・あなたは現在幸せですか。		1	◎	○	
				冒頭に「あなた自身の幸せ感」とあるが、少し唐突なような気がする。アンケートを進めるうちに自問自答し我々と【自分が幸せ感】をクリアにしていくのではないか？				
				「とても幸せ」を「とても不幸」よりも前にした方がいいと思います。				
				問1は最後の方がいいのでは？				
				問1は最後の質問にする。(はじめに点数を入れるとその後に影響する。)				
				幸せ実感～少し温かみが欲しい 例えばヘッダーに幸せのマークを入れる。(例に青い鳥、四葉のクローバー、黄色いハンカチなど)				
				どても不幸→幸せでは無い				
	2	・重視した分野	・あなた自身の幸せにとって重要と思う分野を上位3つまで選んでください。		3		○	
				次の1～8の分野についての後に、以下の文面を入れて質問の趣旨をわかりやすく伝える 「あなたにとって、どのようなことが満たされたり、充実しているのかが幸福であると思われますか」				
				リストにある分野は、全ての人に必要な分野であり、男女や世代の違いでウェイトが違うだけではないか？順位付けする意義に疑問				
				上位3つ→この中から3つ選ぶ				
				重要だと思っている人とそうでない人との比較ができたら				
				順位づけに悩みます				
				分野ごとに「重要」「普通」「重要でない」と三段階で記入はどうか。。。				
				3ごみ出し？？ 削除したほうがいいのでは				
				ごみ出し→環境問題とのかかわりを具体的に記すとわかりやすい				
				家庭教育→学校・家庭教育				
				「家族関係」を重要な分野に位置づけている人も多いと思うのですが、どれにあてはまるか迷ってしまうかな？と感じました				
	3	・2の内容	・2の具体的な内容をご記入ください		1		○	
				問3、問4はそのままでは回答に時間を費やしてしまう。(回収率に影響)工夫すべき 例えば「・・・その具体的内容を問2の内容欄を参考に記入ください」				
				問3、問4事態を自由回答にする				
				問3. どういう内容を書けばよいのかピンと来なかった。設問を工夫するor例を入れてはどうか？				
				問4「不幸」問5「満足」問6「住み心地」というkeywordで質問する内容はあまりに概略しており、問2の質問との整合性がよくわからない、問2の質問に答えて意味を感ずるのは、P4以降である				
				「～重要な分野」3つの具体的な内容を問うが、どう書くことを期待しているかわかりにくい。→3行にするとか				
	4	・不幸感や不安感	・あなたにとって不幸だと感じることや生活していく上で不安だと感じることはありますか。		1		○	
	5	・4の内容	・4の具体的な内容をご記入ください		1		○	
				まあある→少しあるorどちらかといえばある				
				質問 最初の段階で「不幸・不安」について聞いているが、これは反意識的な意味か？不幸を感じさせることによってあえて幸せを絞り出しているのか？				
	6	・生活の満足度	・各生活項目の満足度(家計、就業、健康、自由な時間、生きがい、家族、友人、職場、コミュニティ、バランス、全般)		11	◎	○	
				まあ満足している→どちらかといえば満足している				
				(1)～(11)の項目はどんな意味があるのか？ それの意味・目的によって項目の設定方法が変わると思うので				
				(2)、(8)、(10)について職場を持っていない者は空白となるが？ 統計処理場ではどうか				
				P3 問5(9)、P6 問13(2)②重複				
2. 住み心地	7	・住み心地	・長久手を住みよいまちだと思いますか。		1	◎		○
	8	・愛着	・長久手に愛着を感じていますか。		1	◎		○
	9	・定住	・今後も長久手に住み続けたいですか。		1			○
	10①	・魅力	・長久手に魅力的な点や魅力的でない点がありますか。		2			○
				文章訂正 長久手の魅力についてお尋ねします				
				言い回しがくどい 一考を要す				
				回答がわかりにくい				
				問10①の設問は必要か？ ②の設問の工夫で問いたい事が聞けるのではないか？				
				回答を1. ある 2. ないにした方がいいのではないか？ 魅力的でない点はない等二重否定すると考えてしまうのではないかと思ったため				
	10②	〃	・9①の具体的な内容をご記入ください		2			○
3. 暮らしや地域	11(1)	・運動	・体を動かしたり運動したりと健康的な暮らしができていると思いますか。		1		○	
①健康	11(2)	・運動の場、機会	・お住まいの地域では、気軽に運動をする場所や機会、散歩ができるような環境がありますか。		1	3		○
(こころとからだ)				問11(1)(2)は近いので統合				
	11(3)	・食事	・健康的な食生活ができていると思いますか。		1		○	
	11(4)	・心の健康	・ストレスを発散する場や機会、精神的なやすらぎの場はありますか。		1	1	○	
	11(5)	・笑顔	・日頃から笑顔で心豊かな生活が出来ていると思いますか。		1	2	○	
	11(6)	・医療施設	・お住まいの地域は、病院やクリニックが充実していると思いますか。		1	◎		○
②子育て・教育	12	全体		問12 回答しにくい場合は未記入の方がいいのでは				
				※の内容のとおりにすると、※に該当するから「3」なのか、子どもはいるが実感として「3」なのか区別できないので統計があまり正確ではなくなる？				
				※注意書きは(4)、(5)についてのみでいいのではないか？				
				地域の子育て環境・子どもの貧困問題に関する具体的内容の項目がほしい。				
	12(1)	・子育てのしやすさ	・長久手市は、安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思いますか。		1	1		○
	12(2)	〃	・お住まいの地域の子どもたちは、のびのびと育っていると思いますか。		1	◎		○
	12(3)	〃	・お住まいの地域には、子育てや教育に関するサービスや施設が整っていると思いますか。		1	2		○
	12(4)	〃	・お住まいの地域には、子育てや子どもの教育などについて相談できる人がいますか。相談できる場所がありますか。		1	3		○
				質問を2つに分けたら				
	12(5)	・心の豊かな教育	・子どもとのコミュニケーションは十分取れていると思いますか。		1	4	○	
				子ども(〇自分の子ども ×地域の子ども) →問12の中に両方ふくまれた問があってわかりにくいかも・・・				
				「子ども」とは、家族か近所の子かわかりづらい。明確にした方が良いのでは。				
③環境	13	全体		③自然やごみ等などの環境について→など必要？ →エコロジー				
(自然と生活)	13(1)	・公園	・お住まいの地域には、公園や子どもの遊び場がありますか。		1	1		○
				問13(1)を②子育て教育についての項目へ移動させる				
	13(2)	・生態系	・お住まいの地域では自然の生き物(動植物)に触れあうことができるなど、豊かな自然環境があると思いますか。		1	◎		○
	13(3)	・街並み	・お住まいの地域の街並み(景観・風景)はきれいだと思いますか。		1	3		○
	13(4)	・ごみ、リサイクル	・ルールにしたがって、ごみ・資源の分別をしていますか。		1	◎	○	
				ごみ・資源の分別当然ですっ！近所の人が出来てるかを聞いたらいじわるですか？				
				周りが分別をしているか				
	13(5)	〃	・節電や節水、環境に配慮した製品の購入など、日頃から環境に配慮した生活をしていますか。		1	4	○	

④つながり	14(1)	・地域活動・行事	・お住まいの地域を良くしたり、盛り上げたりしていくための活動や行事に参加していますか。		2	◎	○	
(個人と地域)	14(2)	・近所付き合い	・日常的に近所づきあいをしていますか。また、近所づきあいや地域とのつながりに満足していますか。		2	◎	○	
				問14(2)② 選択肢の内容を、、、必要である とか めんどうだ とかにしたらどうでしょう？ 「あいさつ」してますか？という質問が欲しい。あいさつができるまち＝助けて！と言えるまち＝日本一の福祉のまちが市長の考え				
	14(3)	・居場所	・お住まいの地域には、自宅以外の居場所がありますか(集える場所、行きつけのお店など)。		1	1	○	
	14(4)	・役割	・お住いの地域であなたは「たつせ」がありますか。		1		○	
				人や地域のつながりについて、例えば、学区ごとにある地区の連合会の諸々の生活に対する影響度				
	14(5)	・友人	・困ったときに頼りになる(悩みを相談したり助けてと言ったりできる)知人・友人はいますか。		3	3	○	
	14(6)	・多文化共生	・国籍や文化の異なる人々にとっても住みやすいと思いますか。		1			○
⑤防災・防犯	15	全体		※防災訓練が行われていない場合、、、 未記入の方がいいのでは 防災訓練の折 一時避難所に移動の際、おとなりに声掛けしましたか？				
	15(1)	・防災	・お住まいの地域で災害に備えた話し合いや防災訓練に参加していますか。		1	◎		○
	15(2)	〃	・あなたの家庭では、災害に対する自主的な備えをしていますか。		1	1	○	
	15(3)	〃	・災害時の避難所と避難方法を知っていますか。		1	2	○	
	15(4)	・防犯	・お住まいの地域は、治安が良く、安心して暮らせますか。		1	◎		○
				問15 (4)と(5)は近いので統合				
	15(5)	・予防	・お住まいの地域では、住民による登下校の見守り、夜間パトロールや街路灯設置など、安心安全を守る取組が行われていますか。		1	3		○
				街路灯の設置・・・今は行政でやっている あとは地域活動であるため 街路灯は外してはどうか？いずれ自治会等でとりまとめて考えていく問題にはしたい。 質問(大項目)の順に意図はあるのか？(福祉はもっと前でも良いのでは？) 幅広い内容にしてほしい、例えば孤独死、孤立的生活環境に対する件 市の福祉サービスが充分だと思いますか Yes No→どのような点が？ ⇒より具体的な点が聞ける				
⑥福祉	16(1)	・地域福祉	・お住まいの地域では、地域で困った人への助け合いの取組はできていると思いますか。		1	◎	○	
				お住まいの地域では、地域、、、 地域2ついますか？				
	16(2)	〃	・まちで見かけた高齢者や障がいのある人、ベビーカーを使っているお母さんなどへの手助けをした経験がありますか。		1	◎	○	
				問2 不要では？ 「あまりない」はなしの方が良さそう。あるorない				
	16(3)	・介護	・現在(あるいは将来の)、自分または家族の介護に対して不安を感じますか。		1	3	○	
	16(4)	・高齢者、障がい者	・お住まいの地域は、高齢者にとって暮らしやすい地域であると思いますか。障がいのある人にとって暮らしやすい地域であると思いますか。		2	2		○
				「○」を付けた方は具体的な地域の宝があればご記入ください(自由回答にする) 円滑にアンケートをすすめるため 「高齢者や障がいのある人にとってくらしやすい、、、」と②「障がい者」→「障がいのある人」へ変更 "わからない"という選択もあるのでは、、、				
	16(5)	・福祉サービス	・市の福祉サービスや市内の福祉事業者のサービスを知っていますか。		1	1		○
				福祉サービス一何を想定しているのかよくわからない				
⑦文化	17	全体		文化・生涯学習について、市民の自己実現をさぐりあげる行政サイドの対策がほしい。 芸術文化の活動を行う場所や機会が充分ありますか。(具体的な質問)				
	17(1)	・伝統文化	・長久手の歴史や伝統文化(「小牧・長久手の戦い」の地になったことや地域の昔話、棒の手等のお祭りなど)に関心がありますか。		1	◎	○	
	17(2)	・芸術文化	・長久手市は、芸術文化(演劇やコンサート、美術展など)に接したり取り組んだりする機会に恵まれていると思いますか。		1	◎		○
	17(3)	・生涯学習	・長久手市は、あなたの知的興味や知識、能力を磨いたり伸ばしたりする機会(生涯学習活動を行う機会)に恵まれていると思いますか。		1	1	○	
	17(4)	・伝統文化	・お住まいの地域には、自慢したい地域の「宝」(風景や産物、文化、行事など)がありますか。		1	2		○
	17(4)	・16(4)の内容	・16(4)の具体的な内容をご記入ください。		1			
				あったら良いものがあれば記入				
⑧生活インフラ	18(1)	・利便性	・お住まいの地域は、買い物や通院に便利ですか。		1	◎		○
	18(2)	〃	・お住まいの地域は、出かける際の交通手段(バスやリニモ、徒歩や自転車)が便利ですか。		1	◎		○
				交通手段が便利か？の中に、公共交通と徒歩自転車があって、質問の意見が分かりづらい "交通手段が便利"＝バス、電車等公共交通機関のイメージ 徒歩？自転車？ 徒歩が便利というのがよくわからない。 生活インフラについて(1)(2)便利ですか → 便利でないに○印の人にどのように不便なのか具体的に書くところが必要。聞いただけでは積極的な対応が感じられない。 (1)(2)は校区と対比させるか？少々無理がある。この結果をどう考察するか？				
	18(3)	・道路	・お住まいの地域は、通勤や通学等の際の交通面(歩行者や自転車)の安全が確保されていると思いますか。		1	1		○
				交通面(歩行者や自転車)→車は？ 信号の有無や道幅など自動車にとっての安全という観点もあるかも・・・				
	18(4)	・雇用	・お住まいの地域(長久手市及びその周辺地域)では、仕事が見つかりやすく就業しやすい環境(パート労働も含む)にあると思いますか。		1	1		○
	18(5)	・ICT(通信)	・インターネット(ツイッターやフェイスブック、ライン等も含む)や電子メールを利用していますか。		1		○	
				この項目でききたいこと？？ 携帯持っている人と持っていない人に分かれるが、持っている人は大多数で、インターネットや電子メールを利用していない人は電話機能のみ使っている人でごく一部では。 ネットするとメールするは別の次元のような気がします。 ネット環境があるか？はどうでしょう。 選択肢変えても・・・・				
⑨まちづくりの役割	19	・役割	・行政や民間企業、NPOや市民活動団体、地域コミュニティ、個人などがまちづくりに果たす役割の大きさはどのようになっていくと思いますか。		6			○
				非常に難解で答えにくい もう少し工夫が必要 質問項目に「国もしくは県の役割」は入れなくて良いか？ 「幸福度の高いまち」とは？と自由記載の欄を作ったらどうか？ 設問がどう答えてよいかわからない。 その他の項目と整合性を持たせる。 ・幸福度の高いまちづくりを目指した主体は誰なのか 誰であるべきかを認識しているかを問わない「意識レベル」を問うことですか？ ・ものさしづくりとは何かをもっとわかりやすく！ 結果を評価するしくみと解釈するが、もっと課題をわかりやすく表現として注釈が必要ではないか？				
4. 属性	20	全体		4. あなたご自身についてお答えください。は基本的な質問であるので、アンケートの頭に持っていく方が、方が一最後まで回答してくれない場合にも分類できるのでは。 4. あなた自身についてお答えくださいは最初の方が良いのではないか 基本情報として、住所(長久手市○○)まであると良い→地区による幸せ度を知る 基本情報として、勤め先の組織の規模の選択はどうか？(企業規模による幸せ度の違い) 基本情報として、学歴はどうか？(ちょっと気になる程度ですが、学歴による幸せ度の違いを知る)				
	20(1)	性別	・あなたの性別は、どちらですか。		1	53		
	20(2)	年代	・あなたの年齢は、次のうちどれですか。		1			
				回答項目の並び順が1. ー 2. ー 3. ーと横に続いた方が見やすいのではないでしょうか。				
	20(3)	職業	・あなたの職業は、次のうちどれですか。		1			
				「学生・生徒」というジャンルになんとなく違和感・・・「学生」にしなかった意図がある？				
	20(4)	年収(世帯)	・あなたの家庭全体の年収(年金を含む。)はどのくらいですか。(現在お住まいの世帯でお答えください。)		1			
	20(5)	通勤・通学先など	・あなたの通勤先・通学先は、次のうちどれですか。		1			
				通学・通勤方法を追加したらどうか。(車、自転車、リニモ、地下鉄、Nバス等)				
	20(6)	住宅種別	・あなたのお住まいは、次のうちどれですか。		1			
	20(7)	同居人数	・あなたの同居人の総数は、あなたを含めて何人ですか。		1			
				同居人と2世帯同居 微妙に異なる家族型体 区別して問う方がよいのではありませんか				
	20(8)	世帯構成	・あなたのお宅にはどのような方が同居していますか。		1			
				【○はすべて】をなくして "あてはまるものをすべて選んで"に下線の方がわかりやすいと思う				
	20(9)	家族形態	・あなたのご家族の形態は、次のうちどれですか。		1			
	20(10)	居住地(小学校区)	・あなたの小学校区はどこですか。		1			
	20(11)	居住年数	・あなたは、長久手市に居住して何年になりますか。		1			
				以前住んでいた場所を聞いては？・・・H24住民意識調査で聞いていて、市外からの移住者の幸福度が高く興味深い結果だったので。				
5. その他	21	活動について	・「ながくて幸せのモノサシづくり」について、意義があると思いますか。		1			
(モノサシづくり)	22	モニター	・今後もこの調査に協力していただけますか。		1			
	23	モニター、活動参加	・この取組への興味や参加についてどのように思いますか。		1			
				ちょっとした意見・提案が書けるフリースペースがあってもよいのでは？ 双方向に！				
					92			

（7）第６回　ながくて幸せ実感調査隊ミーティング

①プログラム

日時：平成２６年２月６日（木）午後６時３０分から８時４５分まで

場所：市役所西庁舎３階学習室１・２

内容・開会

・幸せ実感調査における調査票案について

・まとめ

・次回の予定

②会議の様子

ながくて幸せ実感調査アンケート質問項目　調査隊意見まとめ					
	問	生活の良し悪しを左右する分野ごとの大切な「要素」		質問 意見	検討結果
表紙				市長のお願い文は1ページ独立したほうが良い。	アンケート票と一体とし、調査隊の活動等も記述したあいさつ文に修正。
				統計的な～確認するため　→　従来の統計的な～～～長久手の姿（幸せ実感）を確保し、市政に反映するため	
				タイトル＋サブタイトル　長久手幸せ実感アンケート　サブタイトル例）～より幸せを実感できるまちにするために～ 一目で狙いが分かるため	
				目的を明確にする。以下に文言を変えては？ ①まちづくりの目指す方向進め方を確立し、市民参加の在り方や協働のあり方を考える。 ②尺度をつくる。行政評価の仕組みを考える。 その手順として市民の生の声を聞き、現状と課題を明確化する。（アンケートを募る）	
				一目で主旨がわかるように「お願い文」の要点を太字にする。（キーワード）	
				1. 何のためのアンケートなのか 2. この結果がどのようにいかされるのか 3. その結果がいつごろどのようにリターンされるのか わかるように	
				住民意識調査とは何が違うのかいまひとつ目的が伝わってこない	
				全般　設問が大変多く最後まで真面目に答えてもらえるだろうか？	
				アンケート内容の概要をふれたほうがいいのではないか。（このアンケートは全〇問あり等）見通しが立たないと疲れてしまうのでは？	
				元々「幸福度」というものは主観的なもので極めて個人的。設問は言わば状況証拠に思えるがどうか？原点の話	
				”お住まいの地域”≒小学校区？　長久手市全体についてと身近な地域があいまい？	
				ご自身の生活実感をもとにご記入いただいても結構です。	
				5. およそ〇〇分程度で、、、は不要では？	

1. 幸せ感	1	・幸福度	・あなたは現在幸せですか。		
				冒頭に「あなた自身の幸せ感」とあるが、少し唐突なような気がする。アンケートを進めるうちに自問自答し我々と【自分が幸せ感】をクリアにしていくのではないか？	
				「とても幸せ」を「とても不幸」よりも前にした方がいいと思います。	左右を入れ替え、「10とても幸せ―0とても不幸せ」に修正
				問1は最後の方がいいのでは？	
				問1は最後の質問にする。（はじめに点数を入れるとその後に影響する。）	
				幸せ実感～少し温かみが欲しい　例えばヘッダーに幸せのマークを入れる。（例に青い鳥、四葉のクローバー、黄色いハンカチなど）	工夫する
				どても不幸→幸せでは無い	
	2	・重視した分野	・あなた自身の幸せにとって重要と思う分野を上位3つまで選んでください。		順位付けをやめて、3つまで選択。得意ない場合は「9」を記入
				次の1～8の分野についての後に、以下の文面を入れて質問の趣旨をわかりやすく伝える 「あなたにとって、どのようなことが満たされたり、充実しているのかが幸福であると思われますか」	
				リストにある分野は、全ての人に必要な分野であり、男女や世代の違いでウェイトが違うだけではないか？順位付けする意義に疑問	
				上位3つ→この中から3つ選ぶ	
				重要だと思っている人とそうでない人との比較ができたら	
				順位づけに悩みます	
				分野ごとに「重要」「普通」「重要でない」と三段階で記入はどうか。。。	
				3ごみ出し？？　削除したほうがいいのでは	
				ごみ出し→環境問題とのかかわりを具体的に記すとわかりやすい	
				家庭教育→学校・家庭教育	
				「家族関係」を重要な分野に位置づけている人も多いと思うのですが、どれにあてはまるか迷ってしまうかな？と感じました	
	3	・2の内容	・2の具体的な内容をご記入ください		問3は削除
				問3、問4はそのままでは回答に時間を費やしてしまう。（回収率に影響）工夫すべき 例えば「・・・その具体的内容を問2の内容欄を参考に記入ください」 問3、問4事態を自由回答にする	
				問3　どういう内容を書けばよいのかピンと来なかった。設問を工夫するor例を入れてはどうか？	
				問4「不幸」問5「満足」問6「住み心地」というkeywordで質問する内容はあまりに概略しており、問2の質問との整合性がよくわからない、問2の質問に答えて意味を感ずるのは、P4以降である	
				「～重要な分野」3つの具体的な内容を問うが、どう書くことを期待しているかわかりにくい。→3行にするとか	
	4	・不幸感や不安感	・あなたにとって不幸だと感じることや生活していく上で不安だと感じることはありますか。		問4は削除
	5	・4の内容	・4の具体的な内容をご記入ください		問5は削除
				まあある→少しあるorどちらかといえばある	
				質問　最初の段階で「不幸・不安」について聞いているが、これは反意識的な意味か？不幸を感じさせることによってあえて幸せを絞り出しているのか？	
	6	・生活の満足度	・各生活項目の満足度（家計、就業、健康、自由な時間、生きがい、家族、友人、職場、コミュニティ、バランス、全般）		
				まあ満足している→どちらかといえば満足している	意見のとおり修正
				(1)～(11)の項目はどんな意味があるのか？　それの意味・目的によって項目の設定方法が変わると思うので	
				(2)、(8)、(10)について職場を持っていない者は空白となるが？　統計処理場ではどうか	(2)就業、(8)職場の人間関係、(10)仕事と生活のバランスは、「6　該当しない」を選択肢に追加
				P3 問5(9)、P6 問13(2)②重複	
2. 住み心地	7	・住み心地	・長久手を住みよいまちだと思いますか。		
	8	・愛着	・長久手に愛着を感じていますか。		
	9	・定住	・今後も長久手に住み続けたいですか。		
	10①	・魅力	・長久手に魅力的な点や魅力的でない点がありますか。		
				文章訂正　長久手の魅力についてお尋ねします	意見のとおり修正
				回答を1. ある　2. ないにした方がいいのではないか？　魅力的でない点はない等二重否定すると考えてしまうのではないかと思ったため	
				言い回しがくどい　一考を要す	「ある」「ない」とし、直下に自由記入欄を設ける
				回答がわかりにくい	
				問10①の設問は必要か？　②の設問の工夫で問いたい事が聞けるのではないか？	
	10②	〃	・9①の具体的な内容をご記入ください		

3. 暮らしや地域	11(1)	・運動	・体を動かしたり運動したりと健康的な暮らしができていると思いますか。	
①健康	11(2)	・運動の場、機会	・お住まいの地域では、気軽に運動をする場所や機会、散歩ができるような環境がありますか。	
(こころとからだ)			問11(1)(2)は近いので統合	
	11(3)	・食事	・健康的な食生活ができていると思いますか。	
	11(4)	・心の健康	・ストレスを発散する場や機会、精神的なやすらぎの場はありますか。	
	11(5)	・笑顔	・日頃から笑顔で心豊かな生活が出来ていると思いますか。	
	11(6)	・医療施設	・お住まいの地域は、病院やクリニックが充実していると思いますか。	
②子育て・教育	12	全体	問12　回答しにくい場合は未記入の方がいいのでは	注意書きに、「回答しにくい場合は「6. 該当しない」に○を・・・」とし、(1)～(5)選択肢に「6. 該当しない」を追加する
			※の内容のとおりにすると、※に該当するから「3」なのか、子どもはいるが実感として「3」なのか区別できないので統計があまり正確ではなくなる？	
			※注意書きは(4)、(5)についてのみでいいのではないか？	
			地域の子育て環境・子どもの貧困問題に関する具体的内容の項目がほしい。	
	12(1)	・子育てのしやすさ	・長久手市は、安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思いますか。	
	12(2)	〃	・お住まいの地域の子どもたちは、のびのびと育っていると思いますか。	
	12(3)	〃	・お住まいの地域には、子育てや教育に関するサービスや施設が整っていると思いますか。	
	12(4)	〃	・お住まいの地域には、子育てや子どもの教育などについて相談できる人がいますか。相談できる場所がありますか。	
			質問を2つに分けたら	
	12(5)	・心の豊かな教育	・子どもとのコミュニケーションは十分取れていると思いますか。	
			子ども(○自分の子ども　×地域の子ども)　→問12の中に両方ふくまれた問があってわかりにくいかも・・・	(5)を①家庭内で子どもと・・・、②地域で子どもと・・・と2つに分ける
			「子ども」とは、家族か近所の子かわかりづらい。明確にした方が良いのでは。	
③環境	13	全体	③自然やごみ等などの環境について→など必要？　→エコロジー	「等」を削除
(自然と生活)	13(1)	・公園	・お住まいの地域には、公園や子どもの遊び場がありますか。	公園や屋外の遊び場が・・・と修正する。また(1)と(2)の順番を入れ替える
			問13(1)を②子育て教育についての項目へ移動させる	
	13(2)	・生態系	・お住まいの地域では自然の生き物(動植物)に触れあうことができるなど、豊かな自然環境があると思いますか。	
	13(3)	・街並み	・お住まいの地域の街並み(景観・風景)はきれいだと思いますか。	
	13(4)	・ごみ、リサイクル	・ルールにしたがって、ごみ・資源の分別をしていますか。	「お住まいの地域では、ルールに従ってごみ・資源の分別化ができていると思いますか」に修正(自身の行動→地域に対する実感)
			ごみ・資源の分別当然ですっ！近所の人が出来てるかを聞いたらいじわるですか？	
			周りが分別をしているか	
	13(5)	〃	・節電や節水、環境に配慮した製品の購入など、日頃から環境に配慮した生活をしていますか。	
④つながり	14(1)	・地域活動・行事	・お住まいの地域を良くしたり、盛り上げたりしていくための活動や行事に参加していますか。	
(個人と地域)	14(2)	・近所付き合い	・日常的に近所づきあいをしていますか。また、近所づきあいや地域とのつながりに満足していますか。	「日常的にあいさつや近所づきあいをしていますか。」に修正する
			問14(2)②　選択肢の内容を、、、必要である　とか　めんどうだ　とかにしたらどうでしょう？	
			「あいさつ」してますか？という質問が欲しい。あいさつができるまち＝日本一の福祉のまちが市長の考え	「①あいさつしていますか」を追加し、5択。以下、②近所付き合い、③その満足度
	14(3)	・居場所	・お住まいの地域には、自宅以外の居場所がありますか(集える場所、行きつけのお店など)。	
	14(4)	・役割	・お住いの地域であなたは「たつせ」がありますか。	
			人や地域のつながりについて、例えば、学区ごとにある地区の連合会の諸々の生活に対する影響度	
	14(5)	・友人	・困ったときに頼りになる(悩みを相談したり助けてと言ったりできる)知人・友人はいますか。	
	14(6)	・多文化共生	・国籍や文化の異なる人々にとっても住みやすいと思いますか。	

⑤防災・防犯	15	全体		※防災訓練が行われていない場合、、、 未記入の方がいいのでは	選択肢に「6. 知らない」を追加する。6拓にして良いかたかさん預かり
				防災訓練の折 一時避難所に移動の際、おとなりに声掛けしましたか？	
	15(1)	・防災	・お住まいの地域で災害に備えた話し合いや防災訓練に参加していますか。		
	15(2)	〃	・あなたの家庭では、災害に対する自主的な備えをしていますか。		
	15(3)	〃	・災害時の避難所と避難方法を知っていますか。		
	15(4)	・防犯	・お住まいの地域は、治安が良く、安心して暮らせますか。		
				問15 (4)と(5)は近いので統合	
	15(5)	・予防	・お住まいの地域では、住民による登下校の見守り、夜間パトロールや街路灯設置など、安心安全を守る取組が行われていますか。		
				街路灯の設置・・・今は行政でやっている あとは地域活動であるため 街路灯は外してはどうか？いずれ自治会等でとりまとめて考えていく問題にはしたい。	「街路灯」を「防犯灯」に修正。選択肢に「6. 知らない」を追加し、「3. どちらとも言えない・わからない」を「どちらとも言えない」に修正する。
				質問（大項目）の順に意図はあるのか？（福祉はもっと前でも良いのでは？）	
				幅広い内容にしてほしい。例えば孤独死、孤立的生活環境に対する件	
⑥福祉	16(1)	・地域福祉	・お住まいの地域では、地域で困った人への助け合いの取組はできていると思いますか。		
				お住まいの地域では、地域、、、 地域2ついりますか？	
	16(2)	〃	・まちで見かけた高齢者や障がいのある人、ベビーカーを使っているお母さんなどへの手助けをした経験がありますか。		(3)とし、「高齢者や障がいのある人、ベビーカーを使っている人など、まちで困った人がいるとき、手助けをすると思いますか。」と修正する
				問2 不要では？	
				「あまりない」はなしの方が良さそう。あるorない	
	16(3)	・介護	・現在（あるいは将来の）、自分または家族の介護に対して不安を感じますか。		(4)とする
	16(4)	・高齢者、障がい者	・お住まいの地域は、高齢者にとって暮らしやすい地域であると思いますか。障がいのある人にとって暮らしやすい地域であると思いますか。		(5)とし、①. ②の回答欄に「6. 分からない」を追加
				「高齢者や障がいのある人にとってくらしやすい、、、」と②「障がい者」→「障がいのある人」へ変更	意見のとおり修正
				”わからない”という選択もあるのでは、、、	
	16(5)	・福祉サービス	・市の福祉サービスや市内の福祉事業者のサービスを知っていますか。		(2)に移動する
				市の福祉サービスが充分だと思いますか Yes No→どのような点が？ ⇒より具体的な点が聞ける	
				福祉サービス→何を想定しているのかよくわからない	
⑦文化	17	全体		文化・生涯学習について、市民の自己実現をさぐりあげる行政サイドの対策がほしい。	
				芸術文化の活動を行う場所や機会が充分ありますか。（具体的な質問）	
	17(1)	・伝統文化	・長久手の歴史や伝統文化（「小牧・長久手の戦い」の地になったことや地域の昔話、棒の手等のお祭りなど）に関心がありますか。		
	17(2)	・芸術文化	・長久手市は、芸術文化（演劇やコンサート、美術展など）に接したり取り組んだりする機会に恵まれていると思いますか。		
	17(3)	・生涯学習	・長久手市は、あなたの知的興味や知識、能力を磨いたり伸ばしたりする機会（生涯学習活動を行う機会）に恵まれていると思いますか。		
	17(4)	・伝統文化	・お住まいの地域には、自慢したい地域の「宝」（風景や産物、文化、行事など）がありますか。		
	17(4)	・16(4)の内容	・16(4)の具体的な内容をご記入ください。		
				「〇」を付けた方は具体的な地域の宝があればご記入ください（自由回答にする） 円滑にアンケートをすすめるため	
				あったら良いものがあれば記入	

⑧生活インフラ	18(1)	・利便性	・お住まいの地域は、買い物や通院に便利ですか。		
	18(2)	〃	・お住まいの地域は、出かける際の交通手段（バスやリニモ、徒歩や自転車）が便利ですか。		
				交通手段が便利か？の中に、公共交通と徒歩自転車があって、質問の意見が分かりづらい	「お住まいの地域は、出かける際の移動が便利ですか」と修正する
				”交通手段が便利”＝バス、電車等公共交通機関のイメージ　徒歩？自転車？	
				徒歩が便利というのがよくわからない。	
				生活インフラについて(1)(2)便利ですか　→　便利でないに〇印の人にどのように不便なのか具体的に書くところが必要。聞いただけでは積極的な対応が感じられない。	
				(1)(2)は校区と対比させるか？少々無理がある。 この結果をどう考察するか？	
	18(3)	・道路	・お住まいの地域は、通勤や通学等の際の交通面（歩行者や自転車）の安全が確保されていると思いますか。		「お住まいの地域は、出かける際の移動の安全が確保されていますか」と修正する
				交通面（歩行者や自転車）→車は？　信号の有無や道幅など自動車にとっての安全という観点もあるかも・・・	
	18(4)	・雇用	・お住まいの地域（長久手市及びその周辺地域）では、仕事が見つかりやすく就業しやすい環境（パート労働も含む）にあると思いますか。		
	18(5)	・ICT（通信）	・インターネット（ツイッターやフェイスブック、ライン等も含む）や電子メールを利用していますか。		「インターネット（ツイッターやフェイスブック、ライン等も含む）や電子メールをコミュニケーション手段として利用していますか。」に修正。 直接の対話ではなく、通信インフラでのコミュニケーションの活用についての問いに修正。たかさんの意図に沿うものか確認。
				この項目でききたいこと？？　携帯持っている人と持っていない人に分かれるが、持っている人は大多数で、インターネットや電子メールを利用していない人は電話機能のみ使っている人でごく一部では。	
				ネットするとメールするは別の次元のような気がします。 ネット環境があるか？はどうでしょう。 選択肢変えても・・・・	
⑨まちづくりの役割	19	・役割	・行政や民間企業、NPOや市民活動団体、地域コミュニティ、個人などがまちづくりに果たす役割の大きさはどのようになっていくと思いますか。		
				非常に難解で答えにくい　もう少し工夫が必要	
				質問項目に「国もしくは県の役割」は入れなくて良いか？	
				「幸福度の高いまち」とは？と自由記載の欄を作ったらどうか？	
				設問がどう答えてよいかわからない。	
				その他の項目と整合性を持たせる。 ・幸福度の高いまちづくりを目指した主体は誰なのか　誰であるべきかを認識しているかを問わない「意識レベル」を問うことですか？ ・ものさしづくりとは何かをもっとわかりやすく！ 結果を評価するしくみと解釈するが、もっと課題をわかりやすく表現として注釈が必要ではないか？	

4. 属性	20	全体		4. あなたご自身についてお答えください。は基本的な質問であるので、アンケートの頭に持っていく方が、万が一最後まで回答してくれない場合にも分類できるのでは。	
				4. あなた自身についてお答えくださいは最初の方が良いのではないか	
				基本情報として、住所（長久手市〇〇）まであると良い→地区による幸せ度を知る	
				基本情報として、勤め先の組織の規模の選択はどうか？（企業規模による幸せ度の違い）	
				基本情報として、学歴はどうか？（ちょっと気になる程度ですが、学歴による幸せ度の違いを知る）	
	20(1)	性別	・あなたの性別は、どちらですか。		
	20(2)	年代	・あなたの年齢は、次のうちどれですか。		
				回答項目の並び順が1. ー 2. ー 3. ーと横に続いた方が見やすいのではないでしょうか。	
	20(3)	職業	・あなたの職業は、次のうちどれですか。		
				「学生・生徒」というジャンルになんとなく違和感・・・「学生」にしなかった意図がある？	意見のとおり修正
	20(4)	年収（世帯）	・あなたの家庭全体の年収（年金を含む。）はどのくらいですか。（現在お住まいの世帯でお答えください。）		
	20(5)	通勤・通学先など	・あなたの通勤先・通学先は、次のうちどれですか。		
				通学・通勤方法を追加したらどうか。（車、自転車、リニモ、地下鉄、Nバス等）	
	20(6)	住宅種別	・あなたのお住まいは、次のうちどれですか。		
	20(7)	同居人数	・あなたの同居人の総数は、あなたを含めて何人ですか。		
				同居人と2世帯同居　微妙に異なる家族型体　区別して問う方がよいのではありませんか	
	20(8)	世帯構成	・あなたのお宅にはどのような方が同居していますか。		
				【〇はすべて】をなくして　”あてはまるものをすべて選んで”に下線の方がわかりやすいと思う	意見のとおり修正
	20(9)	家族形態	・あなたのご家族の形態は、次のうちどれですか。		
	20(10)	居住地（小学校区）	・あなたの小学校区はどこですか。		
	20(11)	居住年数	・あなたは、長久手市に居住して何年になりますか。		
				以前住んでいた場所を聞いては？・・・H24住民意識調査で聞いていて、市外からの移住者の幸福度が高く興味深い結果だったので。	
5. その他	21	活動について	・「ながくて幸せのモノサシづくり」について、意義があると思いますか。		
（モノサシづくり）	22	モニター	・今後もこの調査に協力していただけますか。		
	23	モニター、活動参加	・この取組への興味や参加についてどのように思いますか。		
				ちょっとした意見・提案が書けるフリースペースがあってもよいのでは？　双方向に！	

（８）第７回　ながくて幸せ実感調査隊ミーティング

①プログラム

日時：平成２６年２月１２日（水）午後４時から午後５時まで

場所：市役所西庁舎３階教養会議室

内容・開会

・幸せ実感調査のサブタイトルを決定してアンケート調査票を完成

・幸せ実感調査隊活動と合わせて市長に報告

②会議の様子

幸せ実感調査隊かわら版 【vol. 7】

「第7回ながくて幸せ実感調査隊ミーティング」を開催

ながくて幸せ実感アンケート票が完成しました。

市が目指す市民一人ひとりの幸福度が高いまちに向けて、『ながくて幸せ実感調査隊』の第7回ミーティングを開催しました（平成26年2月12日）。

現在の長久手がどのような状態にあるかを把握する「ながくて幸せ実感アンケート」の実施に向けて、有志の「市民と職員」である調査隊が今まで何度も熱い議論を重ねてきました。

第7回ミーティングでは、調査隊全員の思いが形となり、「ながくて幸せのモノサシづくり」の基礎となる、「ながくて幸せ実感アンケート」が完成しました。

第７回のミーティングでは、始めに第５回、第６回のミーティングで議論してきたアンケートの修正内容を最終確認しました。

その後、メンバーから市長に対してこれまでの幸せ実感調査隊の活動報告を行い、作成したアンケート票を市長に手渡しました。

【ながくて幸せ実感アンケートについて】
- 「今の長久手の幸せを測る」をテーマに、「幸せ」に欠かせないことや大切なこと、確認すべきことについて、議論を重ねてきました。そして、市民のみなさんの幸せに対する実感や日常生活への思い、長久手や地域に対する考えを伺うため、調査を実施することとしました。
- 市民のみなさんの幸せ感を始め、健康、子育て・教育、環境、つながり、防災・防犯、福祉、文化・生涯学習、生活インフラの分野ごとに関する調査を行い、幸福度の高いまちの実現に向けた基礎データとして、今後の取組に活かしていきたいと思います。
- 今後は市内在住の5,000名（無作為）を対象にアンケートを実施します。

プレ調査の結果から変更した点について

調査票完成を市長に報告した後に、事務局経営管理課職員の家族に対してプレ調査を実施しました。その結果から以下のとおり調査票を改善しました。

また、以下の点以外にも簡単な文章の修正などを行っています。

問１　幸せ感の自由記述欄について

プレ調査において、いきなり筆が止まり、意欲を失うとの意見があり、この点を少しでも改善するため、「特に理由がない方は問２へ」としました。

問２　大事だと思う分野の選択

どれも大事なので３つ選択できないとの意見から、「『特に』大事と思う分野」と修正しました。

問１１ ⑹　国籍や文化の異なる人々にとっての住みやすさ

長久手では、外国人が少ないこともあろうかと思いますが、多文化共生に対して判断できない方がいるかと思いますので、選択肢に「６．わからない」を入れました。

問１６～１８　まちづくりにおける地域の役割について

プレ調査においても従来の質問は回答しづらいとの意見があり、今後のアプローチを見据えて、地域に入っていく際、地域の役割や地域住民としての意識について基礎的なデータがあった方が良いのではと考え、設定しました。

問１６は国の社会意識に関する世論調査の質問項目ですので、国との比較を通じて長久手の特性の把握が可能となります。

問１９　属性

（7）～（9）を修正しました。ここで把握したいのは、どのような家族で生活を営んでいるかということであり、その家族形態や同居人の種別（特に子供と高齢者の種別）と生活実感等との相関関係を分析することが大切かと思います。したがって、兵庫県や荒川区の調査を参考に、配偶者の有無、家族形態、自分を含む同居人という形にしました。

「ながくて幸せのモノサシづくり」新聞記事

読売新聞（H26.2.13）

「幸福度の高い」長久手市へ
住民アンケ20問決まる

ヒマラヤの小国ブータンが国づくりの考え方として取り入れている「GNH（国民総幸福量）*」を参考に、長久手市が取り組んでいる「幸福度の高いまち」づくりに向けたアンケート調査の質問項目がまとまり、12日、吉田一平市長に報告された。

GNHとは先代のブータン国王が1976年、国民総生産（GNP＝Gross National Product）より大切な国家理念として提唱したもので、経済成長以前に自然環境や伝統文化、地域の連携などを重視する考え。

同市は昨年4月、地域づくりにGNHの考えを取り入れていこうと、国内のGNH研究の第一人者、草郷孝好・関西大教授をアドバイザーに迎え、市民らを交え勉強会を行ってきた。

アンケートの質問項目は昨年10月から議論を重ねてきたもので、市の住み心地や、子育て・環境、防災防犯、福祉など20問を作成。今月末に18歳以上の市民から無作為に5000人を抽出し、発送する。市は回答を得たうえで、新年度から結果を分析し、市民が健康でいきいき生活できる町に向かっていくための「幸せのモノサシ」づくりに取り組むとしている。

市経営管理課の門前健係長は「できれば小学校区単位で特徴が出るよう分析したい」と話している。

*GNH Gross National Happiness

アンケートの質問項目を吉田市長（右）に手渡す市民ら

中日新聞（H26.2.14）

「幸福度調査」のアンケート完成
長久手市

長久手市が目指す「幸福度の高いまち」実現に向け、市民と協働して作成を進めていた幸福度調査アンケートの質問項目がまとまり、吉田一平市長に報告された。

質問項目は、市民目線の「幸せのモノサシづくり」に向け、昨年10月から市民を交えて議論を重ねてきたもの。市の住み心地、人とのつながり、子育て、環境、防災防犯などに関する実感を問う二十問を用意した。

今月末、十八歳以上の市民から無作為に五千人を抽出して郵送する。市は、得られた回答を基に二〇一四年度から分析を進め、各地域のまちづくりに生かす方針。

毎日新聞（H26.2.18）

幸せのモノサシづくりを本格化
長久手市当初予算案

長久手市は、幸福の尺度を市民参加で決める「ながくて幸せのモノサシづくり」に本格的に取り組む。17日発表した2014年度一般会計当初予算案に、事業費約2210万円を計上した。市民5000人を対象に、今年度中に「幸せ実感アンケート」を実施し、15年度をめどに幸せのモノサシとなる具体的な指標を協議していく。

市は昨年10月、若手職員10人と市民約10人で「ながくて幸せ実感調査隊」を結成した。草郷孝好・関西大教授をアドバイザーに会合を重ね、アンケートを作成し、今月末から3週間程度かけて回収する。質問は「あなたの幸せ感は10点満点で何点か」や「あなたにとって大切な生活分野は何か」など約80項目に上り、新年度に分析する。

一方、市の一般会計は、13年度当初比2・1％増の160億1000万円を計上した。幸せのモノサシづくりのほか、生活困窮者の自立支援に向けた国のモデル事業として県内の自治体で唯一、自立相談支援や就労訓練事業を行う。【山田泰生】

（９）第８回　ながくて幸せ実感調査隊ミーティング

①プログラム

日時：平成２６年５月９日（金）午後６時３０分から午後９時まで

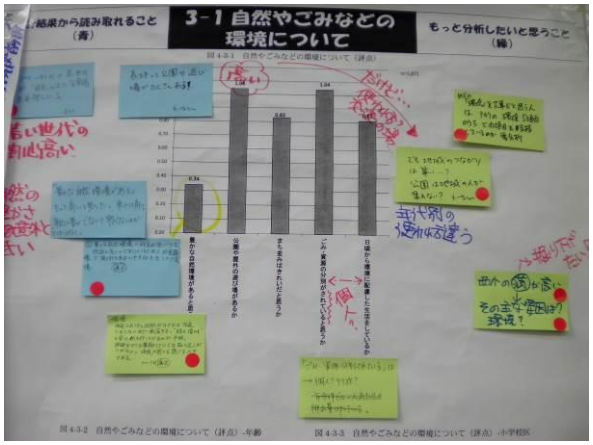
場所：市役所西庁舎３階研修室

内容・開会

・幸せ実感調査隊の進め方について

・幸せ実感アンケートの集計結果から「読み取れること」、「もっと分析したいと思うこと」を検討

②会議の様子



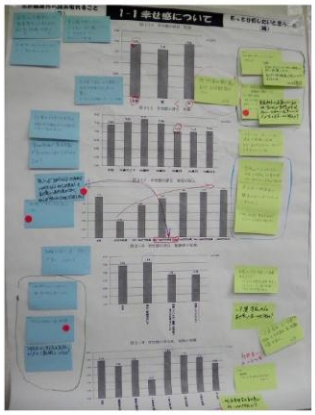
幸せ実感調査隊かわら版 【vol. 8】

～「第8回ながくて幸せ実感調査隊ミーティング」を開催～

市が目指す市民一人ひとりの幸福度が高いまちに向けて、『ながくて幸せ実感調査隊』の第8回ミーティングを開催しました(平成26年5月9日)。2月に「ながくて幸せ実感アンケート」を実施し、市民のみなさんからいただいた回答結果から長久手の現在の姿を話し合いました。

第８回のミーティングでは、「ながくて幸せ実感アンケート」で尋ねた分野ごとに、「集計結果から読み取れること」、「もっと分析したいこと」についてみんなで多くの意見を出し合い、分析を行いました。

アンケートについては、ミーティングでの意見を基に、引き続き、さらに詳細な分析を行っていきます。



「集計結果から読み取れること」（一例）

- 幸せと感じている人が多い。（幸せ感）
- 住み続けたいと思う人が増えている。（幸せ感）
- 特に 50 歳代が健康に不安を抱えている。（健康）
- 家庭で子どもとのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝはとれているが地域の子どもとのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝはあまりない。（子育て）
- 公園や遊び場が多い。東小校区は、自然は多いが公園等は少ない。（環境）
- つながりが大事だと考えない傾向にある。（つながり）
- 災害意識（参加も含めて）が低い。（防災・防犯）
- 福祉に対する幸せ感は低い。（福祉）
- 地域に自慢すべき「宝」がない。（文化・生涯学習）
- 生活インフラは充実していると感じる人が多い。（生活インフラ）

「もっと分析したいこと」（一例）

- 分野別結果に相関関係があるか分析したい。（全体）
- 小学校区別、年齢別、性別、収入別、職業別などとの関係性を分析したい。（全体）
- あいさつや近所付きあいに満足していないのはなぜか。（つながり）
- 福祉の充実感が低い原因は何だろう。（福祉）
- 長久手にとっての「宝」とは。（文化・生涯学習）
- 車を使う人と公共交通を使う人に幸せ感の違いはあるか。（生活インフラ）

【第９回ミーティング（予定）について】

今後のミーティングでは、アンケート結果のまとめと、アンケート結果から見えてくる長久手の現在の姿をどのように市民のみなさまにお伝えしていくか、アンケート結果をどのようにご活用していくかを検討していく予定です。

第8回幸せ実感調査隊ミーティング意見集約

意見（青■：わかること、緑■：分析したいこと）	分析結果（黄色■）、分析方法補足
アンケート全般	
・男性の回答率が低い理由（まちへの関心の薄さなど）	職業、年代など特徴の有無、他の調査の傾向
幸せ感について	
・年収300万円以上あれば幸福度に差はない	
・年収の多さと幸福度は比例している	
・子育て世代の幸福度が高い（同居者が大きく影響）	
・他の都市との比較	まずは長久手の幸せを測る
・日進市に通勤通学する人の幸福度が高く、尾張旭市が低い理由	日進市に通勤通学する人の世帯は、年収が平均より高く、配偶者のいる割合が高い。
・10年以内に長久手に流入してきた市民の意識	
・居住年数が長くなるにつれ幸福度が低くなる理由	一つの要因として、居住年数と回答者の年齢の相関が挙げられる。
・戸建て、借家の幸福度が高い理由	それぞれの属性（家族構成など）との関係性
・高齢者の幸福度が低くなる理由	健康や年収、居住年数との相関などでは？
・一般単身世帯の幸福度が低い理由	つながりとの相関が見受けられる。
重要だと思う分野	
・生活インフラは、30歳代以降割合が高くなる	
・20～40歳代は健康の次に環境の重要度が高い	
生活状況の満足度	
・つながりを大事に思っていない人が多い（P15、17）	
・西小校区の生活満足度が高い理由	一因として、年収300万円以上の割合が、市が洞小に次いで高いことが考えられるのでは？
・地域コミュニティや近所との関係の回答と職業との相関	
住みごこち	
・定住意向はH24調査より高くなっている	
・西小校区で住みよい、愛着があると回答した人の多くが魅力的でないと回答している理由	魅力的でない自由記述を確認
・H24市民意識調査から「住みよい」が減少した理由	属性（居住年数、年齢）の傾向が異なるため、比較すべきではない
・西小校区で住みよさが高い理由	一因として、年収300万円以上の割合が、市が洞小に次いで高いことが考えられるのでは？
・長小校区は定住意向は高いが、魅力的な点があると回答した人の割合が低い理由	
・市小は定住意向は高いが、魅力的な点がないと回答した人の割合が高い理由	
・住みよさと生活インフラとの関係	相対的に相関が認められる
・50歳代のまちへの愛着が低い理由	仕事との関係ではないか？
・年代別のまちの魅力の回答の傾向の有無	
健康	
・若い人ほど健康的な暮らしができていない人の割合が高い（70歳代以上は健康的な暮らしができている）	
・分野内の各項目は50歳代が相対的に低い	分野内のクロス集計により中身を分析。
・病院やクリニック、運動・散歩の場所等のハード面は充実しているがソフト面に課題がある（ただし、病院・クリニックは東小校区は低い）	
・関係施設の20～40歳代の利用度	関連データの有無
・日ごろから笑顔で心豊かな生活ができている、をどのように解釈しているか	分野間の相関分析や多様なクロス分析により要因を解明。生活状況の満足度や属性など。
・ストレス解消の場や機会と、医療機関の充実との相関	東小校区の分析
子育て・教育	
・安心して子どもを産み育てられるまちと、相談できる人・場所が相反している。	周知・宣伝不足か？そもそも相談しないのか？イメージのみ先行か？
・家庭内での子どもとのコミュニケーションは十分だが、地域の子どもとの接点が希薄（但し、親側の回答）	つながりの意欲が低い（大事だと思う分野の「つながり」が低いのと比例か？　世帯種別ごとの傾向を把握
・相談できる人や場所は中高年はマイナス	そもそも必要としていないのか、相談場所を知らないのか？
・安心して子どもを産み育てられるまちには何が重要か？	
・家庭内で子どもを持つ人と、持たない人との相違点	当事者分析
・地域の子どもとのコミュニケーションで「該当しない」が37%もいるのはなぜか？「該当しない」の回答割合が質問ごとに異なるのはなぜか？	属性を調査（学区別の傾向も見てみたい）

環境		
	・豊かな自然環境があると思う人の割合が低いのは、行政課題であり政策を打ち出すべき。東小校区は高い。	
	・公園や遊び場は多いようだが、地域のつながりが低い。公園は地域の集いの場となっていないのか？	年代別の使われ方が違うのでは？
	・東小は、自然環境は〇、公園・遊び場、まちなみは×	
	・子育て世代の公園・遊び場の満足度が高い。公園や遊び場は子育てしやすい条件か？	
	・大事だと思う分野で「環境」を選択した人がこの分野でどのような回答をしているか	
	・西小の「満」が高い。その主な要因は？環境？	掘り下げたい
つながり		
	・地域活動は、参加する人、しない人が固定化しているのではないか	裾野を広げる気軽な参加
	・地域の行事、活動に関心が薄い	すべての世代でつながりの意識が低い。つながり＝幸せの図式が当てはまらない。日常の身近なつながりを促すようなアプローチ、仕組みが必要か？
	・近くに（地域、市内）相談相手がいない	遠くの人の方が安心して話せるのかも？近くの人にはガード
	・大事な分野の「つながり」と当該分野の低さ、福祉の「地域の助け合い」の低さ、地域コミュニティへの参加意思の低さが比例している	
	・あいさつする人の割合は高い	あいさつの中身が重要
	・課題解決にコミュニティが中心となるべき意識は高いが、参加意思、つながりの意識は低い	これらの回答者の傾向を見てみる必要あり
	・たつせがある人の割合の経年変化（今後）	
	・高齢者の方がたつせや居場所がある人の割合高い。50歳代が低いのはなぜか？	50歳代は仕事との関係で、地域に関わる余裕がないためと思われる。
	・人や地域のつながりは東小が高い。	居住歴や年代等との相関を分析
防災・防犯		
	・参加するものについては他の分野も併せて低い	特に20歳代（学生、単身世帯）
	・防災への意識は相対的に低い	実態を含めた調査が必要では？
	・治安や防犯への意識は高いが、犯罪発生率は県下で7番目に高い	
	・西小校区で防災への取組に参加していない人の割合が低いのは意外	
	・総じて若い世代の防災・防犯への意識が低い	
	・地域の話し合いや訓練への参加と、まちづくりにおける地域の役割や地域のつながりとの関係	
	・自治体の加入率と話し合いや訓練の参加との関係	
福祉		
	・全体的に低いのは、該当する人が少ないからでは？	
	・福祉サービスに関する周知が不十分	年代別で大きな差がある
	・高齢者にとって暮らしやすいは、若者はそう思っているが、高齢者自身はそう思っていない。	
	・回答に地域差はないが、年齢差が大きい	
	・他の自治体との比較ができないか？	
	・助け合いは高い。自分の行動や意識に対する回答は高い傾向にある。	自分の行動、意識と地域の状態との回答の差を見てみると面白いかも？
	・介護の不安を感じる人が多いの要因は？	属性や分野内の傾向を見ると何か分かるかも？
文化・生涯学習		
	・文化に親しむ機会には恵まれていると感じている人が多いが、生涯学習の機会には恵まれていると感じる人は少ない	
	・地域の自慢の宝の存在に対する思いは低い	地域の宝に気づいていない人が多い
		長小校区と東小校区で高い理由
	・長小校区が他校区より相対的に高い理由	自由記入欄の確認（古戦場関係史跡か）
	・所得層別、就業別、移動の利便別？の傾向の有無	
生活インフラ		
	・買い物、移動は便利と感じている人の割合が多いが、一方で就業しやすい環境にない	
	・インターネット、メールは年代別で差が大きい	
	・東小校区で総じて生活インフラの満足度が低いが、重要な分野で生活インフラの重要度は低く、定住意向や愛着は強い。	定住意向や愛着の要因を分析
	・校区ごとの幸せ感の結果と生活インフラとの相関	

（10）第９回　ながくて幸せ実感調査隊ミーティング

①プログラム

日時：平成２６年７月４日（金）午後７時分から午後９時まで

場所：市役所西庁舎３階研修室

内容・開会

・幸せ実感調査隊関連の今後の活動について報告

・「ながくて幸せ実感調査隊・活動の振り返り」ワークショップ

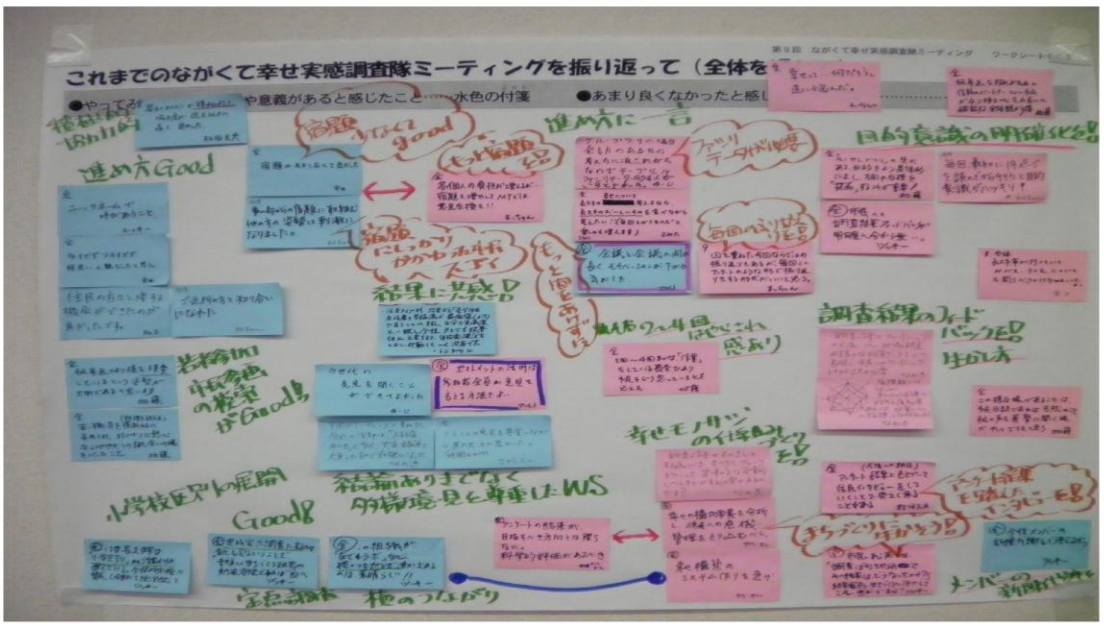
②会議の様子

幸せ実感調査隊かわら版 【vol. 9】

「第9回ながくて幸せ実感調査隊ミーティング」を開催

市が目指す市民一人ひとりの幸福度が高いまちに向けて、『ながくて幸せ実感調査隊』の第9回ミーティングを開催しました(平成26年7月4日)。新しいまちのかたちづくりの初期段階を担った幸せ実感調査隊の活動の振り返りを行いました。

第９回のミーティングでは、ながくて幸せ実感調査隊活動の振り返りとして、ながくて幸せ実感調査隊が取り組んだ、長久手方式による新たな手法での市民の行政参画の経緯や、ながくて幸せ実感アンケートの調査票作成、アンケートの集計結果分析等の活動内容、今後の展開に向けたメンバーの思いなどをワークシートにまとめました。



●やってみてよかったことや意義があると感じたこと・・水色の付箋

【積極的・協力的】
・参加メンバーが積極的で協力度が思った以上に高く良かった。
【進め方Ｇｏｏｄ】
・ニックネームで呼び合うこと。
・住民の方々と接する機会が出来たのが良かった。
【宿題少なくてＧｏｏｄ】
・宿題があまりなくて良かった。
・事務局からの宿題に取り組む他の方の姿勢は刺激になった。

●あまりよくなかったと感じたことや改善点・・赤色の付箋

【もっと宿題を】
・各個人の負担が増えるが宿題を増やしてＭＴでは意見交換を！
【進め方に一言】
・グループワークの場合、発言力のある方の考え方に流されがちなので、テーブルにファシリテータ的な人がいると良かった。

【第１０回ミーティング（予定）について】
「幸せ実感アンケート調査」の調査結果をどう今後に活かしていくか。調査結果から見えてくる長久手の現在と将来の姿に対する、課題やアイデアを引き出しまとめる予定です。

回　日時	やってみて良かったことや 意義があると感じたこと	あまり良くなかったと感じたことや 改善点
第１回 平成２５年 １０月２８日（月）	・フランクに話し合える雰囲気づくりにいろいろと配慮してくれた。 ・グループの方たちと意見交換しやすい。 ・「幸せのモノサシ」の意味、趣旨・定義が少し理解できた。 ・第1回、市民まつり、第2回の3回のミーティングのベースとなり進め方が大変良かった。	・最大公約数的意見で終始した。多数決で決めるとそれで決定してしまう時間不足。 ・長久手らしさを深めるためのヒントがほしい！ ・やや掘り下げが浅く、一般的意見
市民まつり １１月１０日（日）	・参加は出来なかったが住民と直接会って話すことは大事 ・雨の中で散歩がてらに集った市民の方の意識を少し理解できてよかった ・直接市民に意見を聞く機会をもらえてよかった ・直接市民に顔が見える調査をしたことは補完する意味でもデモンストレーションとしても良かった。 ・市民と職員直接お話	・アンケートの内容を今後の議論すべきテーマとの関係がよくわからず。・反映までの流れがわかりにくい。 ・準備期間が短くスタッフが少なくて、より多くの市民の声がきけなかったのでは・・・。 ・まつりで気分が高揚して、点数が高くなるかも。 ・落ち着いて話す場がなかった。 ・市民まつりのアンケート結果はどう反映されたか? ・やや準備不足
第２回 １１月２５日（月） 第３回 １２月９日（月）	・テーマを設定されていたため、たくさんの質問項目を思い浮かべることができ、人それぞれのシアワセについて知る事ができた。 ・グループで話し合うことによって新たな発見があった。 ・１つの分野を２つのグループで検討することで多様な意見が出た。 ・ゼロからアンケートの質問を生み出す過程が良かった。 ・「自分たちで作り上げた」という気持ち ・活発な意見が出たけど最大公約数的。 ・同じ参加者の質問の視点、発想にハッとさせられいい刺激になった。 ・質問項目から考えたので自分たちで作り上げたという気持ちになれた。 ・重要ポイントに赤丸（印）をしたり、発表したことでグループで話し合った内容が端的にわかった。	・第2回の8つの分野をより検討し拡大してほしかった。具体的にいうと「自己表現」についての項目等。 ・長久手らしい設問が少ない。長久手市の形容詞的な「ことば」がほしかった。 ・自己実現という項目が必要? ・２～4回は、やや「やらされ感」のある作業
第４回 １２月２０日（金）	・第4回の質問項目の抽出の方法も民主的で良かった。勢いや大声に流されることのない方法。 ・絞り込みを民主的に平等に行う方法で良かった。 ・シールを貼ることでより真剣に内容に向き合えた。 ・投票するという手法が面白かった。 ・懇親会もあって交流が加速できた。	
第５回 平成２６年 １月２９日（水） 第６回 ２月６日（木）	・一つひとつの項目に提案者がその質問に込められた想いを語ったのは、より質問を良いものにできたと思う。 ・参加者の思いが尊重されたので結果を受け入れ易かった。 ・みんなが納得するまで話し合いができた。 ・５・6回が特に充実！白熱した議論！ ・第6回、第７回と調査票案をみんなで叩いてより洗練されたものになった気がした。 ・事務局が考えた調査票案で気になった点を修正できる機会があり良かった。（気になる箇所もいくつかあったので）より良い調査票になったのでは。	・事前にみんなの意見を少しまとめてあったらよかったかな。（時間的にも、議論のしやすさでも） ・調査隊以外の意見も取り入れてもよかったかも。 ・翌週の会に参加できなくて残念だった。 ・時間、回数が増えた。
第７回 ２月１２日（水）	・参加者の合意による絞り込みの大切さをわかってもらえた事。	
第８回 ５月９日（金）	・単純に分析が楽しくて結果も興味深いものだった。 ・アンケートの結果の分析はいろいろな切り口の意見が出て面白かった。 ・多様な視点による分析、興味深く面白い ・アンケートの分析が詳細で、年齢別や地域別で差が出た事が良かった。	・「つながり」については各年代ともあまり重視していないことの意味するところも深めたかった。 ・アンケート結果について重点テーマを絞って分析を深めたかった。 ・振り返ってみると、この質問の意図は?と疑問を感じる質問もあった。 ・もっと早く幸せ調査隊に関われば良かった。 ・重点的なポイントの絞り込み不足? ・ややマクロ的だった。具体的なものさしにブレイク

		ダウンが必要。 ・でも、次回に向けて見直し必要か。 ・途中で目的や流れを見失ったかもしれない。
全体について	【積極的・協力的】 ・メンバーが積極的で協力度が思った以上に高く良かった。 【進め方Ｇｏｏｄ】 ・ニックネームで呼び合うこと。 ・多過ぎず少な過ぎず程よい人数だったと思う。 ・住民の方々と接する機会が出来たのが良かった。 ・ご近所の方と知り合いになれた。 【宿題少なくてＧｏｏｄ】 ・宿題があまりなくて良かった。 ・事務局の宿題に取り組む他の方の姿勢は刺激になった。 【結果に共感】 ・住居タイプ別結果より「県営住宅居住者の幸福感が最低値であることに対し、自分の実感度と一致し今後少しでも改善向上出来るよう自治会運営を通し行動していく次第だ。 ・多世代の意見を聞く事ができて良かった。 【結論ありきでなく多様な意見を尊重したWS】 ・9回のミーティングを重ねた今回の活動は「結論ありき」ではなく、大変誠実で充実したもので勉強になった。 ・一人ひとりの意見を尊重しながら時間をかけて進めたことが良かった。 ・ポストイットの活用は参加者全員が意見を言える方法で良い。 【若者参加・市民参画の模索がＧｏｏｄ】 ・市民参画のあり方を模索しているという姿勢が大切であると思う。 ・若い職員を横断的に部課を越えて集められ、まちづくりに熱心なシニア世代との話し合いの場をつくったこと。 【小学校別の展開　Ｇｏｏｄ】 ・いま長久手市は「小学区別」の活動が進んでいる。今後、方向性に賛成。分割して統治せよ。 【メンバーの新陳代謝を】 ・今後メンバーの新陳代謝を考えるか? 【定点調査、横のつながり】 ・変化を見るということで「幸福へのまちづくり政策」の効果測定であれば良い。 ・この組織が「なでラボ」など横のつながりで活かされるのは素晴らしい。	【進め方に一言】 ・グループワークの場合、発言力のある方の考え方に流されがちなので、テーブルにファシリテータ的な人がいると良かった。 ・長久手の幸せについて考えるなら、長久手の美味しいものを食べながら考えたい。毎回違うものだと楽しみも増える。 ・会議と会議の間が長くモチベーションが下がる気がした。 ・回を重ねた今回ならではの振り返りもあるが、毎回ミニアンケートような形で振り返りをする形式がいいと思う。 【もっと宿題を】 ・各個人の負担が増えるが宿題を増やしてMTでは意見交換を！ 【目的意識の明確化を】 ・「モノサシづくり」の先にある目的をより具体的に示し、方向や目標を「共有」することが重要。 ・毎回、最初に19ページを読んでから行うと目的意識がハッキリ。 ・市民へ結果フィードバックが明確に分らない。 【2～4回はやらされ感あり】 ・2回～4回は「作業」をしている感覚であり、市民をどう思っているとも思えた。 【調査結果のフィードバックを！活かし方】 ・調査結果のフィードバックの方法～地域格差や様々な現実データをどう表現し市民へのフィードバックとするか工夫が必要。座標軸ではないがまちづくり目標に対する達成度あるいは政策レベルの指標となりえないか? 【幸せのモノサシの仕組みづくりを】 ・調査結果をものさしとするには、もう少しブレークダウンして具体的な定量的レベルまでにする必要があるのでは? ・幸せの構成要素を分析し、将来への危機管理を取り込むべし。 ・幸せ構築のシステムづくりを急げ。 ・アンケート結果に基づいて住民インタビューをしていくことで見えてくることがある。 ・市民のある声では、「調査ばかりさせられてその結果はどうなったのか?」結果報告をまちづくりに活かしてこそ意義がある。 【その他】 ・幸せって何だろうと逆に悩んだ。 ・市民参画を進めるために信頼のパートナーとして市民がなり得ることをお互いに確認する実体験が必要。 ・長久手市が行っているNーバス、リニモについても問うべきではなかったか。 ・この様な場がある事は市民目線であれば当然のこと、市民の声を真摯に聞く場がやっとできたと思う。 ・アンケートの結果が目指すべき方向とは限らない。科学的評価があるべき。

（11）第 10 回　ながくて幸せ実感調査隊ミーティング

①プログラム

日時：平成２６年８月２２日（金）午後３時分から午後５時まで

場所：市役所西庁舎３階研修室

内容・開会

・アンケート結果中間報告書完成報告とローデータ等の利用方法の説明

・ながくて幸せ実感調査隊活動からみえてきた、まちづくりに関するアイデアを探すワークショップ

・ながくて幸せ実感アンケート結果活用に向けての説明

・ながくて幸せ実感調査隊活動総括

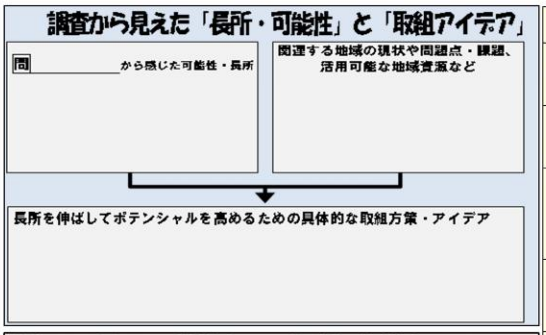
②会議の様子

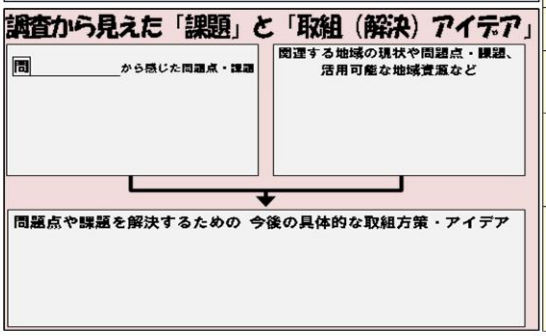
幸せ実感調査隊かわら版 【vol．１０】

「第１０回ながくて幸せ実感調査隊ミーティング」を開催

市が目指す市民一人ひとりの幸福度が高いまちに向けて、『ながくて幸せ実感調査隊』の第 10 回ミーティングを開催しました(平成26年８月22日)。約 10 か月に渡ったミーティングではこれまで、調査票の作成、結果の分析、活動の振り返りを行い、今回が最後となりました。今回は、アンケート結果の活用として、取組のアイデアを考えるワークショップを行いました。

第１０回のミーティングでは、ながくて幸せ実感調査アンケート結果から、まちの長所や可能性、課題を見つけ、地域の現状と重ねた上で、今後のまちづくりにおいての長所を伸ばす具体的な取組や、課題解決の取組のアイデア（対策、施策、イベント等）を考えました。結果の共有では、みんなで考えた取組アイデアは、議論だけで終わってしまうのではなく、実際に、行動に移していくことが必要であるとの声が多く上がりました。





可能性・長所	地域の現状・地域資源	取組アイデア
挨拶をする人の割合が高い。	知り合いでない人との挨拶は希薄。	あいさつリーダー、あいさつマイスター
「環境」を大切に思っている。	学生、若者、ボランティア	環境ビジョンのワークショップ開催。
家庭内でのコミュニケーション点数が高い。	核家族、コミュニケーション不足。	家族自慢発表会。
芸術文化に接する機会に恵まれている。	若い世代の近所づきあいが希薄。	アートフェスティバルの地域対抗戦。
問題点・課題	**地域の現状**	**取組アイデア**
単身世帯の幸せ感が低い。	学生が多い。	[学生塾]学生が子どもに勉強を教える。
地域の子どもとのコミュニケーションがとれていない。	地域に出てるのに抵抗が・・・	交流できる場所づくり。
市内の福祉サービスを知っている人が少ない。	介護をする(していく)中で不安を感じている人が少なくない。	事業所を実際に見学。様々なサービスをしってもらう。参加者同士での交流。

【今後の活動について】
今後は、「ながくて幸せ実感調査隊」の活動により得られた、ながくて幸せ実感調査アンケート及びその結果について、これまでの活動報告、結果の公表、アンケート結果データの提供などを行い、市民のみなさまに、この活動から得られた成果を地域の現状を測る道具として広く活用していただけるような取組をしていきたいと考えています。

分類	調査から見えた「長所」「可能性」	調査から見えた「短所」「問題点」	関連する現状・課題 活用可能な資源	取組アイデア
A グループ				
次に向けて…	項目の詳細に関する点		つながり　関係性	客観的な指標の組合わせ 1．ライフ・スタイル　2．家族とのつながり　3．地域とのつながり　4．自然とのつながり
場づくり	家庭内の子どもとのコミュニケーションはとれているが、地域の子どもとはとれていない。（問９）			登下校の時間中に大人が外に出る取り組みはないか。（例：花の水やり、犬の散歩、洗濯物ほし）
	地域における子育て環境に不満を思っている人が多い（問９）		香流園跡地の有効活用、公園やコミュニティセンターにする	用途地域として。第一種住居専用地域に地目を変更する。
		公園や遊び場、気軽に運動する場所や散歩道も整っている。（問8.10）		環境は整っているので、使用方法を充実できないか。まちづくりの拠点（井戸端会議、イベント等）にならないか。朝のラジオ体操とか
		公園が魅力		公園遊びのボランティア養成
連携		様々な「宝」の例を出してくれた。（問14）		広報・HP・ケーブルテレビ等で、長久手の「宝」と紹介し、実際にその場所やイベントに参加してもらい地域を盛り上げる。
		大切だと思う分野として若い世代ほど「文化・生涯学習」を選ぶ	地元の大学、学生、知識人、図書館	どんな「文化・生涯学習」を大切にするかのビジョンを共有する場を。若者・大学等で行うワークショップなど。「50 年後の文化・生涯学習」→人間図書館
		大切だと思う分野として若き世代ほど「環境」」を選択	地元の大学、学生、知識人という資源	どんな「環境」を保全するのかビジョンを共有する場を、若者・大学等で行う（ワークショップ）「50 年後の環境」
		健康と環境が大事だと思っている人が多い（問８）	香流川の徹底清掃。香流川を子どもたちの水遊び場に河川資源の二重行政	河川法の改正。香流川除草、清掃の県予算を長久手にする。香流川整備計画
コミュニティ	困った時に気軽に相談できる人が身近にいない		転勤族、新住民多い	若い人たちが知り合うためのサロンを！
	地域イベントにスタッフとして、来客としての参加がともに低く、数値の大差もない。（問 11）		参加者が同じ顔ぶれ	参加している人の情報発信。直接声をかけるのが一番だが、Facebook 等 SNS の活用。誘われた人に「〇〇さんに誘われて参加しました」カードの配布。←話すきっかけに。
	居住年数が短いほど幸せ		新旧住民の交流不足	ゆる～くつながれる機会づくり＋コーディネーター
	単身世帯の幸せ感が低い。（問 19）		共生ステーションや各地域の集会所	いつでも気軽に利用できるコミュニティスペースを作り、地域とのつながりを深める。
	まちづくりの必要性は感じているが、参加の意識は低い。（問 16～18）			いきなりイベントの参加はハードルが高いのでは。もっと身近な参加できるものはないか。廃品回収等？
		地域課題の解決にはコミュニティの役割が重要と思っている。（問 17）	自主、自立的な市民活動するグループがある。新しく活動を開始するグループがある。北保育園跡地、北小多目的室等	市の施策の内、この地域で未実施なことを実現していく。放課後子ども教室の開設。集会所をサロンに変える。
福祉	市内の福祉サービスを知っている人が少ない。（問 13）		介護をする（していく）中で不安を感じている人は少ない。	実際に事業所等を見学し、様々なサービスを知ってもらう。また、参加者同士で不安に思っていることを共有する。
	生活環境影響性		子どもの貧困、原因の改善	結論として、経済社会状況による影響・原因に対する取組

分類	調査から見えた「長所」「可能性」	調査から見えた「短所」「問題点」	関連する現状・課題 活用可能な資源	取組アイデア
福祉		少子・高齢化問題	人口増加・平均年齢も若者が多く将来が明るい。	今後の少子高齢化・人口減少問題に対し、長久手市が良きモデル地域となることを願う。
健康	つながりの重視は各年代ともに低い（つながりが重視されていない）		濃すぎず、薄すぎない「つながり」をつくる必要がある	小さな地区単位のスポーツ大会を年に一回ぐらい開催することから始める。健康・予防介護にも役立つ
	年齢が上がるほど魅力がないと感じている			魅力発見＋健康　ウォーキングイベント
雇用	雇用の場が地元に少ない（名古屋市等に出て働く）		「地産地消」地元で消費するものは地元でつくる	エネルギー・食糧、高齢者・障害者のケアといった地域内でのニーズあるものは、地域内でビジネス化する。→そのための研究の場を設定する。
B グループ				
環境	豊かな自然環境について評価が低い。（年齢、校区問わず）（問 4-3）		公園、田畑、森林、河川	公園について一元的に管理する仕組みづくり（市民×行政＋アドバイザー）が一体となり校区毎に組織をつくる。
		豊かな自然環境	竹藪が多く、管理されていない農地もある。高齢者等で手入れできない。	若い人や、関心のある人を集め、竹藪管理や、自然と触れ合う機会を作る。
あいさつ	あいさつについて意外と評点高いが、居場所はない（問 4-4）			全市的に「あいさつ運動」のキャンペーンを行い、定着させる。
地域活動への参加	参加しないには＝知らなかったもある？（問 18）			声掛け隊、口コミ流し隊がつくれるとかわるかも。家の塀にポスター貼ってもいいは隊とか。
	地域活動に「参加できない」「したくない」の理由（問 18）		高齢だから…自分にできるか不安…ちょっと後押しして楽しい経験が出来れば続ける？	「地域デビューの日」としてノウハウの講演会、ワークショップ、自由解散のお茶会（飲み会）を一時間程度、月一回開催。何か生まれればラッキーというくらいのスタンスで。
健康	病院やクリニックの充実は高いが、健康的な暮らしができていると思わない人が多い。（問 8）		○○（読めない？）若者、働き盛りの人の健康の方策	職場、学校での健康管理の参画アップ
	みんな健康が大切だと思っている（問 2）		運動できる機会が作れない	庭先や公園でラジオ体操を行う。例えば 5 人以上集まるなら特製ハンコをプレゼントして、スタンプを多く集めると何か特典があるとうれしい。
コミュニケーション、つながり	地域とのつながりについて評点が低い（問 11）		地域活動への参加が少ない。困った時頼れる友人、知人が地域にいない。	自治会加入率を上げる為にも、組長になった人に基本的なコミュニケーションスキルを伝えたり、マニュアルを作り、新住民への積極的な呼びかけ（働きかけ）を行う。
	地域のコミュニケーションを図る機会が少ない（問 9）		子供会のない地域も多くなっている	お母さん方と地域の高齢者とのお見合いパーティ。（お互いに合う前にマナー講座は必要）もしかしたら、マッチングがうまくいって、子供会運営を助けてくれる人がいると嬉しい。
	近所づきあいが難しい（問 4-9）			文化の家で、毎年「還暦祝い」（第二の成人式）市内の 60 歳対象者全員呼びかけ。
	子育て世代の幸せ感が高い。75 歳以上の高齢者と同居者の幸せ感が低くなっている。（問 1）		高齢者の多い地域で自由に集まる場の活用	自由に集まり楽しく語り合うサロンを地区に設置し、ボランティアの活用
	若い世代（20 歳以下）は長久手市に愛着を感じているが、子育て世代は全体に比べ低い（問 5）		関心が、家族中心に向いて生活しているように感じる。	児童、生徒と一緒に親も参加できるような、地域の活動を増やし、長久手を知る機会を増やし、愛着をもってもらう。
その他	単身世帯の幸せ感が低		学生が多い	地域活動への積極的な参加も学生が子

分類	調査から見えた「長所」「可能性」	調査から見えた「短所」「問題点」	関連する現状・課題 活用可能な資源	取組アイデア
	い。（問８）			供たちに勉強を教える。「学生塾」
	長久手は芸術文化に接したり取り組んだりする機会に恵まれている（問14）		若い世代の近所づきありが希薄	（例）NAF を地域単位で盛り上げる！展示や制作を通して、地域の人と交流
C グループ				
子育て相談の場	子育てや教育に関するサービス・施設が整っている。相談できる人・場所があると答える割合が低い。（問９）		子育てしやすい。子供の成長においては満足している人が多い反面、相談する相手や場所が充実していない。	気軽に相談できる場所をつくるのも大事だが、隣近所同士で相談できる関係になれば、より子育てしやすい町になる。
車社会	高齢者にとって暮らしにくい（問 13）			施設・道路バリアフリー化。見守り事業拡大
	住みよいまち（問４）		「車社会」を当然だと思えば住みよいが、車がなければ難儀な町。	まだ車を使用できているが、高齢者の不安をどう解決するか。あと 10 年で街の様子、市民の感覚は変化してくる。
	東小学校区の住みやすさ低め		交通の便が悪い	N―バスの増便・ワンコイン送迎サービス
		街並み（景観・風景）問題の外になるがバス停の周囲など（問 3.10(3)）	まあ、そう思う 46.8%微妙な数値。殺風景。	ベンチの一つも置けないか。老人の方たちの障害者の通学の人たちのために。
幸せづくりへのアクション	幸せ実感←住みやすい		幸せ指標からもっと工夫できないか	様々な分野での指標づくりが必要。また、その指標を上げていく為の活動（官民協同を前提として）
		住み続けたい人８割（問６）	自然・施設など整っている	地域のニーズに応じた行政、市民みんなで長久手をつくる仕組みの確立
文化・伝統		伝統・文化への関心は高い（問 14(1)）	伝統・文化の直接体験	学校の体育の授業で「棒の手」を取り入れる。「火縄銃」を撃ってみる。
健康	20 代~50 代の働き盛り世代が不健康と感じている。（問８）			働き世代をのみ対象とした健康教室（愛知医大や官民協働のチームづくりをして）
		既婚者で持ち家で比較的高所得（問 19）	平均年齢も低い	将来的に高齢化していくか。今は、活力もあり、余裕もある。今のうちに、社会的につながりをまちづくりに。
		公園や遊び場がある人が８割（問 10）		市民が健康になるためのイベント・コンテスト等を実施
自然	長久手が自然豊かと感じている人が多くない。（問 10）		緑豊空間が少ない（街路樹や公園の樹木）	街路樹を植える目標を立てる。残地に花瓶（自治体・子供会・シルバー会など自主的管理）
		長久手の立地特性から属性の傾向がある。自然環境の特徴もある。（問 19）		便利で災害が少ない。自然のバランスもよい。このバランスをしっかりと維持していく。
コミュニティ	困った時に頼りになる相手が市内よりも市外にいる方が多い。（問 11）		何かあった時、身近に相談できる相手がいない。	隣近所、市内で気軽に、初対面同士でも交流できるサロンや集会施設があるとよい。
	地域のつながりより自身の健康、環境、防犯が大事（問２）		地域のつながりよりも、直接的に自身の生活に結びつくことを重視	地域で行うなつりやイベント等を行うことで、つながりが生まれ、それが防災・防犯につながり、自身の生活も安心・安全、幸せに結びつくのでは。
	コミュニティの重要性を感じながらも自身は参加したいと思っていない人が多い。（問 16.18）		ハードル高い。面倒と感じている？	自治会単位等、お話ノートを回覧。近所の人に知っておいてほしいことや近況など書く。気軽にコミュニティ参加のきっかけになれば…
	地域の活動の参加が少ない（問 11）			様々なばらつきのある余力を活かす場づくり（機会、参加の方法の工夫など）（情報広報、誘い出し　集より）

分類	調査から見えた「長所」「可能性」	調査から見えた「短所」「問題点」	関連する現状・課題 活用可能な資源	取組アイデア
	地域行事・活動への参加が少ない（問 11）			・活動への参加回数に応じて住民税、固定資産税の減税 ・開催回数に応じて地域ごとに活動助成金を増額
		地域コミュニティ関係。西小校区関心高い。（問３）	共生ステーションの存在	他の地域でも常設させる。ステーションの活用法をどんどん考える。
その他	長久手の魅力「ある」「ない」が共存（問 7.14）		魅力を実感する機会増	ストレートにいいところや疑問をぶつけられる場をつくる（HP ひとこと書き込み、祭りで主張タイム）
		自然環境の豊かさの実感を発展させ、より効果的に。（問 10）	地域によっては廃屋に近い家や荒地がそのまま。	調査・地域の方と確認しながら利用できないだろうか。

[全体討議でのコメント]

- 庁内での情報の周知が課題
- 職員同士のノウハウや情報を伝える、広める
- 職員同士・市と職員の交流
- 調査隊の皆さんに担い手の一人として関わって頂きたい！&ぜひ応援してください！
- どうやって使っていくか？
- PDCA サイクル
- 定期的調査
- 市民アンケートとの調整
- 具体的なアクションに結びつけたい
- 「DO」をおこす！
- 体験してみる、見てみる、聞いてみる
- 登下校見守りボランティアなどを実施
- まち歩き、地域ツアーなどやりたい
- 歴史ツアー好評だった
- 私だけが知っているイチオシの魅力
- 強み、可能性を見つめ直して伸ばしていく！

ながくて幸せ実感調査隊メンバー

市民メンバー

大島　幸子
加藤　良行
北川　芳一
斎田　尊子
鈴木　裕二
竹澤　俊成
都築　徳紀
村田　元夫
松本　まり子
湯本　尚樹
渡辺　聖司

職員メンバー

宇井　正幸
飼沼　伸章
嵯峨　剛
髙野　至庸
寺嶋　佳奈
富田　昌樹
長谷川　礼菜
藤井　真由美
松田　彩
若杉　玲子

事務局

ながくて幸せのモノサシづくりアドバイザー　草郷孝好（関西大学社会学部教授）
長久手市役所行政経営部経営管理課
一般社団法人　地域問題研究所

２．評点算出結果一覧表（年齢別、小学校区別）

生活実感の実態の比較、分析をするため、年齢別、小学校区別に評点を算出しました。算出の方法は、下記により５段階の得点をつけて、回答者の平均となる評点を算出しました。なお、算出した評点については、小数点第３位で四捨五入しています。

選択肢	選択肢	選択肢	得点
1. 満足している	1. そう思う	1. ある	５点
2. どちらかといえば満足している	2. まあそう思う	2. まあある	４点
3. どちらともいえない	3. どちらともいえない	3. どちらともいえない	３点
4. どちらかといえば不満である	4. あまりそう思わない	4. あまりない	２点
5. 不満である	5. そう思わない	5. ない	１点

評点＝｛「1. そう思う」の回答者数×（５点）＋「2. まあそう思う」の回答者数×（４点）
＋「3. どちらともいえない」の回答者数×（３点）＋「4. あまりそう思わない」の回答者数
×（２点）＋「5. そう思わない」の回答者数×（１点）｝÷総回答者数

選択肢	選択肢	選択肢	得点
1. そう思う	1. 参加している	1. 行われている	５点
2. まあそう思う	2. まあ参加している	2. まあ行われている	４点
3. どちらともいえない	3. どちらともいえない	3. どちらともいえない	３点
4. あまりそう思わない	4. あまり参加していない	4. あまり行われていない	２点
5. そう思わない	5. 参加していない	5. 行われていない	１点
6. 該当しない	6. やっていることを知らない	6. やっていることを知らない	計算に含めない

評点＝｛「1. そう思う」の回答者数×（5点）＋「2. まあそう思う」の回答者数×（4点）
＋「3. どちらともいえない」の回答者数×（3点）＋「4. あまりそう思わない」の回答者数
×（2点）＋「5. そう思わない」の回答者数×（1点）｝÷（総回答者数－「6. 該当しない」の回答者数）

★問 16 については、以下の計算式で算出しています。

評点＝｛「1. 思っている」の回答者数×（４点）＋「2. あまり考えていない」の回答者数×（２点）｝
÷（総回答者数－「3. わからない」の回答者数）

問3　生活の満足度の評点

年齢別	平均値	20 歳代以下	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	件数
(6) 家族関係	3.87	4.08	3.99	3.94	3.73	3.75	3.79	1,802
(7) 友人関係	3.83	4.08	3.90	3.86	3.70	3.72	3.78	1,809
(3) 健康状況	3.66	4.02	3.85	3.68	3.55	3.50	3.46	1,822
(11) 生活全般	3.62	3.78	3.73	3.59	3.51	3.57	3.60	1,794
(8) 職場の人間関係	3.61	3.83	3.60	3.64	3.43	3.62	3.65	1,161
(2) 就業状況	3.54	3.66	3.65	3.51	3.47	3.42	3.46	1,321
(4) 自由な時間、充実した余暇	3.51	3.81	3.35	3.31	3.40	3.58	3.74	1,818
(5) 仕事や趣味、社会貢献などの生きがい	3.40	3.64	3.32	3.31	3.30	3.43	3.50	1,797
(10) 仕事と生活のバランス	3.35	3.38	3.23	3.30	3.29	3.51	3.57	1,248
(1) 家計の状況	3.34	3.44	3.34	3.27	3.30	3.36	3.40	1,816
(9) 地域コミュニティや近所との関係	3.24	3.21	3.24	3.28	3.13	3.20	3.32	1,796

小学校区別	平均値	長久手	西	東	北	南	市が洞	件数
(6) 家族関係	3.87	3.84	3.90	3.81	3.88	3.87	3.93	1,802
(7) 友人関係	3.83	3.87	3.87	3.80	3.79	3.81	3.83	1,809
(3) 健康状況	3.66	3.63	3.78	3.54	3.60	3.67	3.68	1,822
(11) 生活全般	3.62	3.58	3.72	3.50	3.58	3.65	3.71	1,794
(8) 職場の人間関係	3.61	3.67	3.76	3.55	3.58	3.57	3.55	1,161
(2) 就業状況	3.54	3.45	3.64	3.54	3.55	3.49	3.62	1,321
(4) 自由な時間、充実した余暇	3.51	3.53	3.64	3.43	3.38	3.52	3.53	1,818
(5) 仕事や趣味、社会貢献などの生きがい	3.40	3.37	3.53	3.33	3.36	3.39	3.38	1,797
(10) 仕事と生活のバランス	3.35	3.31	3.46	3.27	3.27	3.37	3.39	1,248
(1) 家計の状況	3.34	3.36	3.45	3.43	3.27	3.35	3.28	1,816
(9) 地域コミュニティや近所との関係	3.24	3.34	3.28	3.25	3.23	3.18	3.20	1,796

※問３　生活の満足度の評点については、平均値の評点が高い項目順に並べています。

問8 健康について

年齢別	平均値	20 歳代以下	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	件数
⑴健康的な暮らしができていると思うか	3.30	3.11	2.95	3.09	3.26	3.51	3.78	1,839
⑵気軽に運動をする場所や機会、散歩ができるような環境があるか	3.87	3.76	3.73	3.77	3.79	3.97	4.12	1,848
⑶健康的な食生活ができていると思うか	3.80	3.61	3.66	3.75	3.71	3.89	4.06	1,845
⑷ストレスを発散する場や機会、精神的なやすらぎの場はあるか	3.60	3.63	3.56	3.62	3.53	3.55	3.71	1,840
⑸日頃から笑顔で心豊かな生活ができていると思うか	3.70	3.84	3.70	3.71	3.51	3.68	3.74	1,846
⑹病院やクリニックが充実していると思うか	3.93	3.95	3.90	3.83	3.84	3.96	4.09	1,849

小学校区別	平均値	長久手	西	東	北	南	市が洞	件数
⑴健康的な暮らしができていると思うか	3.30	3.26	3.35	3.38	3.35	3.26	3.23	1,839
⑵気軽に運動をする場所や機会、散歩ができるような環境があるか	3.87	3.87	3.81	3.99	3.72	3.99	3.91	1,848
⑶健康的な食生活ができていると思うか	3.80	3.78	3.80	3.84	3.79	3.78	3.83	1,845
⑷ストレスを発散する場や機会、精神的なやすらぎの場はあるか	3.60	3.63	3.63	3.49	3.63	3.57	3.62	1,840
⑸日頃から笑顔で心豊かな生活ができていると思うか	3.70	3.71	3.76	3.62	3.67	3.67	3.75	1,846
⑹病院やクリニックが充実していると思うか	3.93	3.94	4.08	3.20	3.96	4.07	3.97	1,849

問9　子育て・教育について

年齢別	平均値	20 歳代以下	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	件数
⑴安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思うか	3.94	4.03	3.89	3.98	3.84	3.88	4.07	1,217
⑵地域の子どもたちは、のびのびと育っていると思うか	3.85	3.99	3.87	3.95	3.70	3.75	3.82	1,302
⑶子育てや教育に関するサービスや施設が整っていると思うか	3.30	3.57	3.17	3.36	3.31	3.23	3.30	1,236
⑷子育てや子どもの教育などについて相談できる人、相談できる場所があるか	3.11	3.36	3.21	3.24	2.81	2.89	2.97	1,079
⑸-①家庭内での子どもとあなたとのコミュニケーションは十分取れていると思うか	4.03	4.48	4.18	4.12	3.81	3.83	3.72	1,015
⑸-②お住まいの地域の子どもとあなたとのコミュニケーション	2.84	2.84	2.91	2.96	2.55	2.83	2.85	1,106

小学校区別	平均値	長久手	西	東	北	南	市が洞	件数
⑴安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思うか	3.94	4.00	4.05	3.74	3.92	3.89	3.95	1,217
⑵地域の子どもたちは、のびのびと育っていると思うか	3.85	3.90	3.89	3.85	3.84	3.80	3.84	1,302
⑶子育てや教育に関するサービスや施設が整っていると思うか	3.30	3.46	3.40	2.99	3.28	3.28	3.24	1,236
⑷子育てや子どもの教育などについて相談できる人、相談できる場所があるか	3.11	3.28	3.17	2.93	2.98	3.07	3.11	1,079
⑸-①家庭内での子どもとあなたとのコミュニケーションは十分取れていると思うか	4.03	4.02	4.05	3.87	4.02	4.02	4.13	1,015
⑸-②お住まいの地域の子どもとあなたとのコミュニケーション	2.84	2.98	2.73	2.83	2.77	2.78	2.95	1,106

問10　自然やごみなどの環境について

年齢別	平均値	20 歳代以下	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	件数
(1)豊かな自然環境があると思うか	3.34	3.35	3.35	3.36	3.42	3.23	3.31	1,843
(2)公園や屋外の遊び場があるか	4.04	4.17	4.24	4.14	3.96	3.84	3.91	1,849
(3)まち並みはきれいだと思うか	3.83	4.02	3.97	3.87	3.81	3.67	3.73	1,850
(4)ごみ・資源の分別がされていると思うか	4.04	4.01	4.00	3.97	3.90	4.11	4.22	1,854
(5)日頃から環境に配慮した生活をしているか	3.81	3.60	3.74	3.80	3.76	3.90	3.98	1,833

小学校区別	平均値	長久手	西	東	北	南	市が洞	件数
(1)豊かな自然環境があると思うか	3.34	3.44	3.12	3.99	3.13	3.38	3.34	1,843
(2)公園や屋外の遊び場があるか	4.04	3.97	4.03	3.73	3.88	4.24	4.29	1,849
(3)まち並みはきれいだと思うか	3.83	3.75	3.85	3.69	3.74	3.90	4.01	1,850
(4)ごみ・資源の分別がされていると思うか	4.04	4.11	4.02	4.01	4.08	3.93	4.08	1,854
(5)日頃から環境に配慮した生活をしているか	3.81	3.83	3.79	3.76	3.87	3.78	3.80	1,833

問11　人や地域のつながりについて

年齢別	平均値	20 歳代以下	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	件数
(1)-①地域活動や行事への参加（スタッフとして）	2.06	1.53	1.70	2.12	2.13	2.30	2.35	1,846
(1)-②地域活動や行事への参加（お客・来場者として）	2.32	1.90	2.35	2.51	2.15	2.41	2.37	1,834
(2)-①日常的あいさつ	3.96	3.58	4.02	4.17	3.88	3.96	3.93	1,857
(2)-②日常的な近所づきあい	3.25	2.63	3.01	3.25	3.19	3.45	3.67	1,855
(2)-②近所づきあいや地域とのつながり(満足度)	3.28	3.10	3.22	3.32	3.14	3.30	3.46	1,853
(3)自宅以外の居場所があるか	2.86	2.83	2.76	2.62	2.67	3.02	3.23	1,843
(4)「たつせ」があるか	2.62	2.52	2.45	2.51	2.47	2.76	2.93	1,830
(5)-①困った時に頼りになる知人・友人の有無(お住まいの地域)	3.08	2.87	3.12	3.19	2.81	2.98	3.30	1,848
(5)-②困った時に頼りになる知人・友人の有無(市内)	3.14	3.16	3.17	3.22	3.00	2.96	3.24	1,829
(5)-③困った時に頼りになる知人・友人の有無(市外)	3.97	4.20	4.21	4.07	3.84	3.81	3.68	1,835
(6)国籍や文化の異なる人々にとっても住みやすいと思うか	3.32	3.44	3.26	3.33	3.23	3.32	3.41	1,452

小学校区別	平均値	長久手	西	東	北	南	市が洞	件数
(1)-①地域活動や行事への参加（スタッフとして）	2.06	2.20	2.00	2.51	1.88	1.98	2.04	1,846
(1)-②地域活動や行事への参加（お客・来場者として）	2.32	2.49	2.23	2.45	2.23	2.27	2.34	1,834
(2)-①日常的あいさつ	3.96	4.01	3.83	3.95	4.04	3.93	4.04	1,857
(2)-②日常的な近所づきあい	3.25	3.46	3.14	3.60	3.30	3.13	3.11	1,855
(2)-②近所づきあいや地域とのつながり(満足度)	3.28	3.37	3.21	3.46	3.33	3.23	3.22	1,853
(3)自宅以外の居場所があるか	2.86	3.01	2.79	2.97	2.86	2.80	2.82	1,843
(4)「たつせ」があるか	2.62	2.68	2.58	2.86	2.61	2.58	2.57	1,830
(5)-①困った時に頼りになる知人・友人の有無(お住まいの地域)	3.08	3.28	2.88	3.22	3.09	3.07	3.04	1,848
(5)-②困った時に頼りになる知人・友人の有無(市内)	3.14	3.37	2.87	3.25	3.26	3.05	3.07	1,829
(5)-③困った時に頼りになる知人・友人の有無(市外)	3.97	3.89	3.99	3.89	4.06	3.95	3.97	1,835
(6)国籍や文化の異なる人々にとっても住みやすいと思うか	3.32	3.30	3.35	3.26	3.26	3.34	3.40	1,452

問12 防災・防犯について

年齢別	平均値	20 歳代以下	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	件数
(1)災害に備えた話し合いや防災訓練に参加しているか	2.28	1.92	2.15	2.25	2.12	2.35	2.57	1,520
(2)災害に対する自主的な備えをしているか	3.13	2.79	3.02	3.19	3.06	3.21	3.34	1,854
(3)災害時の避難所と避難方法を知っているか	3.47	2.86	3.15	3.66	3.47	3.65	3.75	1,856
(4)治安が良く、安心して暮らせるか	3.49	3.77	3.37	3.45	3.36	3.48	3.66	1,845
(5)安全安心を守る取組が行われているか	3.68	3.62	3.61	3.76	3.65	3.67	3.70	1,463

小学校区別	平均値	長久手	西	東	北	南	市が洞	件数
(1)災害に備えた話し合いや防災訓練に参加しているか	2.28	2.34	2.07	2.44	2.34	2.20	2.33	1,520
(2)災害に対する自主的な備えをしているか	3.13	3.15	3.09	2.95	3.19	3.17	3.18	1,854
(3)災害時の避難所と避難方法を知っているか	3.47	3.59	3.46	3.37	3.43	3.50	3.49	1,856
(4)治安が良く、安心して暮らせるか	3.49	3.55	3.61	3.44	3.63	3.30	3.38	1,845
(5)安全安心を守る取組が行われているか	3.68	3.49	3.72	3.52	3.93	3.70	3.63	1,463

問13 福祉について

年齢別	平均値	20 歳代以下	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	件数
地域で困った人への助け合いはできていると思うか	2.89	3.04	2.87	2.82	2.73	2.87	3.04	1,825
市の福祉サービスや市内の福祉事業者のサービスを知っているか	2.53	2.08	2.11	2.35	2.52	2.78	3.15	1,851
高齢者や障がいのある人を手助けをすることができると思うか	3.77	3.73	3.73	3.78	3.86	3.86	3.69	1,841
現在（あるいは将来の）自分または家族の介護に対して不安を感じるか	2.39	2.64	2.48	2.24	2.19	2.44	2.46	1,850
高齢者にとって暮らしやすい	3.02	3.35	3.01	3.07	2.86	2.89	3.11	1,338
障がいのある人にとって暮らしやすい	2.78	3.15	2.73	2.69	2.61	2.72	2.94	1,202

小学校区別	平均値	長久手	西	東	北	南	市が洞	件数
⑴地域で困った人への助け合いはできていると思うか	2.89	2.93	2.91	2.97	2.96	2.80	2.81	1,825
⑵市の福祉サービスや市内の福祉事業者のサービスを知っているか	2.53	2.67	2.58	2.76	2.50	2.44	2.38	1,851
⑶高齢者や障がいのある人を手助けをすることができると思うか	3.77	3.72	3.70	3.80	3.82	3.82	3.76	1,841
⑷現在（あるいは将来の）自分または家族の介護に対して不安を感じるか	2.39	2.39	2.46	2.44	2.38	2.38	2.33	1,850
⑸-①高齢者にとって暮らしやすい	3.02	3.12	3.06	2.85	3.10	2.96	2.99	1,338
⑸-②障がいのある人にとって暮らしやすい	2.78	2.86	2.91	2.62	2.74	2.75	2.76	1,202

問 14　文化・生涯学習について

年齢別	平均値	20 歳代以下	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	件数
(1)長久手の歴史や伝統文化に関心があるか	3.34	3.31	3.13	3.38	3.15	3.43	3.59	1,853
(2)長久手市は芸術文化に接したり取り組んだりする機会に恵まれていると思うか	3.45	3.42	3.39	3.62	3.37	3.36	3.53	1,847
(3)長久手市はあなたの知的興味や知識、能力を磨いたり伸ばしたりする機会に恵まれていると思うか	3.04	3.10	2.92	3.03	2.96	3.01	3.24	1,836
(4)お住まいの地域には、自慢したい地域の「宝」があるか	2.83	2.98	2.70	2.95	2.73	2.80	2.88	1,831

小学校区別	平均値	長久手	西	東	北	南	市が洞	件数
(1)長久手の歴史や伝統文化に関心があるか	3.34	3.53	3.39	3.36	3.29	3.32	3.17	1,853
(2)長久手市は芸術文化に接したり取り組んだりする機会に恵まれていると思うか	3.45	3.55	3.45	3.44	3.49	3.42	3.44	1,847
(3)長久手市はあなたの知的興味や知識、能力を磨いたり伸ばしたりする機会に恵まれていると思うか	3.04	3.13	3.08	2.98	3.10	2.97	2.99	1,836
(4)お住まいの地域には、自慢したい地域の「宝」があるか	2.83	3.06	2.72	3.03	2.78	2.79	2.69	1,831

問 15　生活インフラについて

年齢別	平均値	20 歳代以下	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	件数
(1)買い物や通院に便利か	3.90	3.89	4.04	4.04	3.87	3.83	3.70	1,852
(2)出かける際の移動が便利か	3.75	3.62	3.71	3.90	3.74	3.79	3.69	1,849
(3)出かける際の移動の安全が確保されていると思うか	3.64	3.60	3.53	3.68	3.64	3.66	3.73	1,826
(4)就業しやすい環境にあると思おうか	2.89	3.07	2.93	2.99	2.88	2.80	2.77	1,790
(5)インターネットや電子メールをコミュニケーション手段として利用しているか	3.31	4.28	4.15	3.93	3.41	2.49	1.97	1,827

小学校区別	平均値	長久手	西	東	北	南	市が洞	件数
(1)買い物や通院に便利か	3.90	3.75	4.05	2.37	4.06	4.30	4.12	1,852
(2)出かける際の移動が便利か	3.75	3.61	4.04	2.88	3.83	4.07	3.63	1,849
(3)出かける際の移動の安全が確保されていると思うか	3.64	3.59	3.79	3.15	3.62	3.91	3.54	1,826
(4)就業しやすい環境にあると思おうか	2.89	2.85	3.00	2.63	2.90	2.99	2.89	1,790
(5)インターネットや電子メールをコミュニケーション手段として利用しているか	3.31	3.02	3.34	2.92	3.26	3.54	3.63	1,827

まちづくりにおける地域の役割について

年齢別	平均値	20 歳代以下	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	件数
問16 何か社会のために役立ちたいと思っているか	2.90	2.88	2.85	3.02	3.02	2.87	2.79	1,835
問17 課題解決のために地域のコミュニティが中心に進めていく事が重要になると思うか	4.02	4.08	3.99	4.03	3.98	4.01	4.07	1,830
問18 コミュニティが中心になって進めていく場合、それに参加するか	2.89	2.77	2.79	2.83	2.83	3.10	2.97	1,834

小学校区別	平均値	長久手	西	東	北	南	市が洞	件数
問16 何か社会のために役立ちたいと思っているか	2.90	2.98	2.81	2.72	2.81	3.04	2.94	1,835
問17 課題解決のために地域のコミュニティが中心に進めていく事が重要になると思うか	4.02	4.02	4.02	4.01	3.95	4.10	4.06	1,830
問18 コミュニティが中心になって進めていく場合、それに参加するか	2.89	2.95	2.78	2.90	2.88	2.87	2.96	1,834

３．担当職員による深読み分析

深読み分析１：暮らしや住まいの地域に関する評価と地域とのつながりとの関係は？

○地域とのつながりに関して積極的ではない

暮らしや住まいの地域について、各分野（問８～１５）における評点を一覧にまとめ、回答者自身の行動や実感（表１、２の「自身」欄）と地域の状況に関する実感（表１、２の「地域」欄）に分類しました。

・回答者自身の行動や実感に関して評点が高い項目は、「家庭内の子どもとのコミュニケーション」(4.03)、「困ったときに頼りになる知人友人（市外）」(3.97)、「日常的なあいさつ」(3.96）となっています。

・一方、評点が低い項目は、「地域活動への参加（スタッフ）」(2.06)、「防災・防災訓練への参加」(2.28)、「地域活動への参加（お客・来場者）」(2.32）となっており、「地域でたつせがあるか」(2.62)、「地域の子どもとのコミュニケーション」(2.84)、「自宅以外の居場所」(2.86）も低い状況にあります。これらは、いずれも地域とのつながりに関する項目であることから、総じて地域とのつながりに関する行動や意識は積極的な状況にあるとはいえないことがうかがえます。

・地域の状況の実感に関して評点が高い項目は、「ごみや資源の分別」(4.04)、「地域に公園や屋外の遊び場があるか」(4.03)、「安心して出産・子育てできるまち」(3.94）となっています。

・一方、評点が低い項目は、「地域の自慢したい宝」(2.83)、「就業しやすい環境」(2.89）が平均的な評価である 3 点未満であり、3 点以上あるものの、「興味・知識・能力を磨き伸ばす機会」(3.04)、「子育て・教育で相談できる人・場所」(3.11）も高い評点とはいえない状況にあり、地域への密着や愛着を醸成する風土づくりが求められています。

表１「評点が高い項目（3.5 以上)」

分野	項目	評点	自身	地域
健康	病院やクリニックの充実	3.93		○
	運動の場所・機会、散歩の環境	3.87	○	○
	健康的な食生活	3.80	○	
	笑顔で心豊かな生活	3.70	○	
	ストレス発散の場や機会、精神的なやすらぎ	3.60	○	
子育て・教育	家庭内の子どもとのコミュニケーション	4.03	○	
	安心して出産・子育てできるまち	3.94		○
	地域の子どもがのびのびと育っているか	3.85		○
環境	地域に公園や屋外の遊び場があるか	4.03		○
	地域ではごみや資源の分別ができているか	4.04		○
	まち並み	3.83		○
	環境に配慮した生活	3.81	○	
人や地域のつながり	困ったとき頼りになる知人友人（市外）	3.97	○	
	日常的なあいさつ	3.96	○	
防災・防犯	安全安心を守る取組	3.68		○
文化・生涯学習	－			
生活インフラ	買い物・通院の利便性	3.90		○
	移動の利便性	3.75		○
	移動の安全確保	3.64		○

表２「評点が低い項目（3.5以下)」

分野	項目	評点	自身	地域
健康	健康的な暮らし	3.30	○	
子育て・教育	地域の子どもとのコミュニケーション	2.84	○	
	子育て・教育で相談できる人・場所	3.11	○	○
	子育て・教育のサービスや施設	3.30		○
自然	豊かな自然環境	3.34		○
人や地域のつながり	地域活動への参加（スタッフ）	2.06	○	
	地域活動への参加（お客・来場者）	2.32	○	
	地域でたつせがあるか	2.62	○	
	自宅以外の居場所	2.86	○	
	困ったとき頼りになる知人友人（地域）	3.08	○	
	困ったとき頼りになる知人友人（市内）	3.14	○	
	近所づきあいや地域とのつながりの満足度	3.28	○	
	国籍や文化の異なる人々の住みやすさ	3.32		○
防災・防犯	防災・防災訓練への参加	2.28	○	
	災害の備え	3.13	○	
	災害時の避難所・避難方法の認知	3.47	○	
	治安	3.49		○
文化・生涯学習	地域の自慢したい宝	2.83		○
	興味・知識・能力を磨き伸ばす機会に恵まれたまち	3.04		○
	歴史や伝統文化への関心	3.34		○
	芸術文化に接したり取り組む機会に恵まれたまち	3.45		○
生活インフラ	就業しやすい環境	2.89		○
	IT・電子メールの利用	3.31	○	

深読み分析２：家族との関係は幸せ感や生活の満足度に影響を及ぼすのか？

○家族関係は幸せ感に大きく影響を及ぼす

家族関係の幸せ感への影響について、問３「生活の満足度」における「家族関係」の回答別に幸せ感を評点化しました。

・家族関係に「満足している」「まあ満足している」を合わせた“家族関係に満足という評価”をした回答者の幸せ感の点数は平均で7.81となり、全体平均の7.41より高くなっています。

・一方、家族関係に「満足していない」「あまり満足していない」を合わせた“家族関係に不満という評価”をした回答者の幸せ感の点数は平均で5.07となり、“家族関係に満足という評価”や全体平均に比べて著しく低くなっています。

○家族関係は生活満足度にも影響を及ぼす

家族関係の生活満足度への影響について、問３「生活の満足度」における「家族関係」の回答別に、問３のその他の項目の回答について評点化しました。

・“家族関係に満足という評価”をした回答者で最も評点が高いのは「仕事や趣味、社会貢献などの生きがい」(3.38)で、反対に“家族関係に不満という評価”をした回答者の評点（1.50）は最も低く、家族の存在や家族との関係は、生きがいに大きく影響を及ぼす傾向にあることがうかがえます。

・そのほか、「就業状況」、「自由な時間や充実した余暇」、「仕事と生活のバランス」、「健康」、「生活全般」についても、“家族関係に満足という評価”をした回答者とそうでない回答者との差が大きくなっています。

・一方、「地域コミュニティや近所との関係」は家族関係に満足、あるいは不満であっても評点の差はほとんど見られません。

表３「家族関係の満足度別に見た幸福度と生活満足度の状況」

	家族関係の評点		満足と不満の差 ①－②
	①満足 「満足」＋「まあ満足」	②不満 「不満」＋「やや不満」	
幸福度（平均7.41）	7.81	5.07	2.74
生活満足度（評点）			
家計	2.89	2.55	0.34
就業	2.84	1.72	1.12
健康	2.87	1.99	0.88
自由な時間・余暇の充実	2.63	1.64	0.99
生きがい	3.38	1.50	1.88
家族関係	―	―	―
友人関係	2.62	2.08	0.54
職場の人間関係	2.85	2.16	0.69
コミュニティ・近所づきあい	2.56	1.69	0.87
仕事と生活のバランス	2.62	1.72	0.90
生活全般	2.56	1.74	0.82

深読み分析３：人や地域とのつながりは幸せ感に影響を及ぼすのか？

○人や地域とのつながりに肯定的な人は幸せ感も高い

つながりに関する各質問項目の幸せ感への影響について、問１１「人や地域とのつながりについて」の質問ごとに、肯定的な回答と否定的な回答別に、それぞれ幸せ感を点数化しました。

・いずれの質問においても、肯定的な回答をした人の方がそうでない回答をした人よりも幸せ感が高くなっています。

・また、肯定的な回答をした人の点数は、いずれの質問でも全体平均よりも高く、否定的な回答をした人の点数は、いずれの質問でも全体平均を下回っています。

表４「つながりに関する回答別に見た幸福度」

			Ⅰ　つながり 肯定的な回答 1,2	Ⅱ　つながり 否定的な回答 4,5	Ⅰ－Ⅱ
問 11	(1)	①　地域活動（スタッフ参加）	7.68	7.30	0.38
		②　地域活動（来客参加）	7.74	7.26	0.48
	(2)	①　あいさつ	7.60	6.73	0.87
		②　近所づきあい	7.68	7.12	0.56
		③　地域とのつながり満足度	7.88	6.79	1.09
	(3)	自宅以外の地域の居場所	7.78	7.09	0.69
	(4)	地域の居場所と役割（たつせ）	8.07	7.08	0.99
	(5)	①　頼りになる人（地域）	7.80	6.97	0.83
		②　頼りになる人（市内）	7.76	7.02	0.74
		③　頼りになる人（市外）	7.63	6.52	1.11
	(6)	多文化共生	7.77	7.01	0.76

○地域で活躍の場や居場所がある人は生きがいの満足度も高い

地域における活躍の場や居場所の有無と生きがいへの影響に関して、問１１（４）「地域でたつせがあるか」について、肯定的な回答と否定的な回答別に、問３「生活全般の満足度」における「仕事や趣味、社会貢献などの生きがい」（以下「生きがい」という。））の回答の特性を見てみました。

・「生きがい」の単純集計では、“満足の評価”（「満足」＋「まあ満足」）をした割合は 45.2%となっていますが、地域でたつせがあることに肯定的な人は 68.4%と、単純集計より 23.2 ポイント高く、否定的な人の生きがいの満足度に比べて倍近く高くなっています。

・一方、地域でたつせがあることに否定的な回答をした人は、生きがいについても満足度が低く、肯定的な人に比べて４倍以上“生きがいに不満の評価”（「不満」＋「やや不満」）をしています。

※「たつせがある」とは、「立つ瀬がない」の対義語で、「だれもが地域で役割を担い、活躍し、必要とされ、生きがいを持って楽しく過ごすことができる」ことを表した長久手市の造語です。

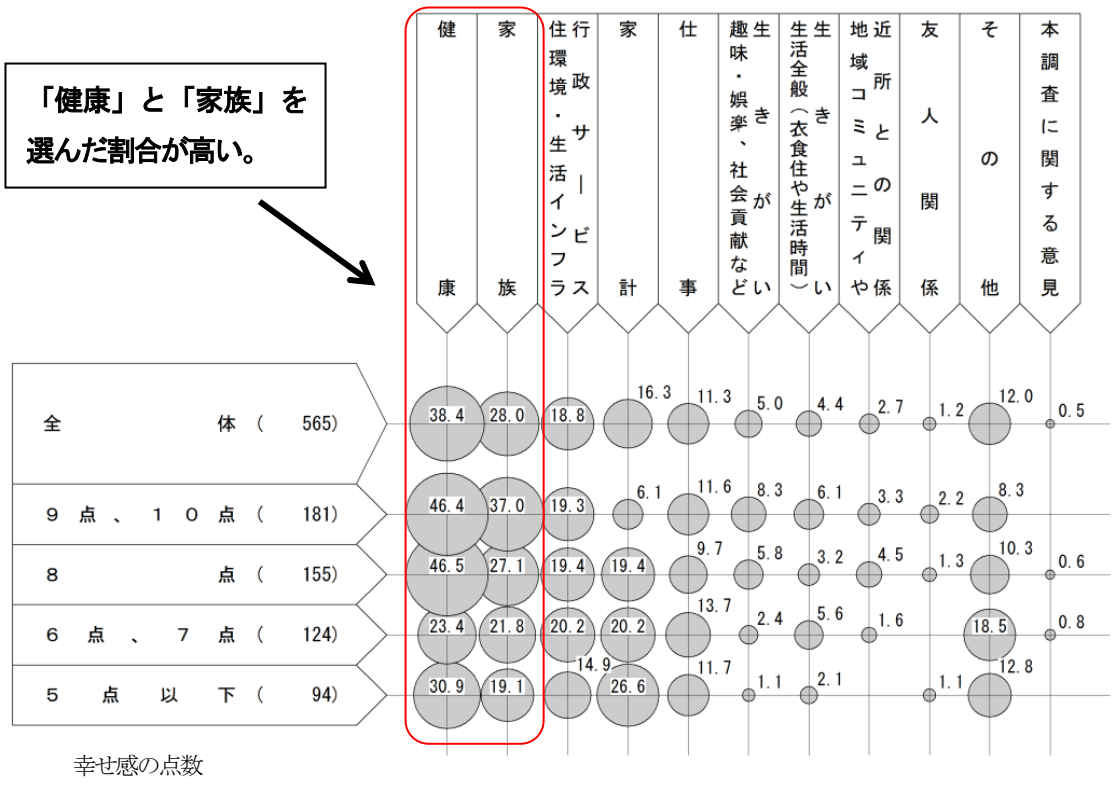
表５「地域のたつせの回答別に見た生きがいの満足度」

問３（５）「仕事や趣味、社会貢献などの生きがい」の回答の傾向			
	問３（５） 単純集計	問１１（４）地域におけるたつせ	
		肯定的「1 ある」 「2 まあある」	否定的「4 あまりない」「5 ない」
１　満足	10.8%	22.7%	7.9%
２　まあ満足	45.2% 34.4%	68.4% 45.7%	34.4% 26.5%
３　どちらでもない	36.6%	20.8%	37.6%
４　やや不満	10.6%	4.7%	15.2%
５　不満	14.3% 3.7%	6.3% 1.4%	25.7% 10.5%
－回答なし	4.0%	4.7%	2.3%

深読み分析４：家族と健康、そして幸せ。

幸せ感の点数を選んだ理由として「健康」や「家族」を選ぶ割合が高くなっていました。このことについては、内閣府が実施した「平成２３年度国民生活選好度調査」の結果でも同様のことがいえました。また、結果を分析すると、幸せ感の点数と健康状況、家族関係は他の項目に比べて、やや強い相関関係があることがわかりました。従って、ながくて幸せ実感アンケートの結果から、長久手市においても、「健康」や「家族」は、市民の幸福度の向上に寄与する項目であると思われました。そのため、「健康」や「家族」の状況は、人によって様々ではありますが、「健康」をさらに充実させる取組を行い、また、「家族」についても、市でできることは何かを考えてみたいと思いました。

幸せ感の点数を選んだ理由



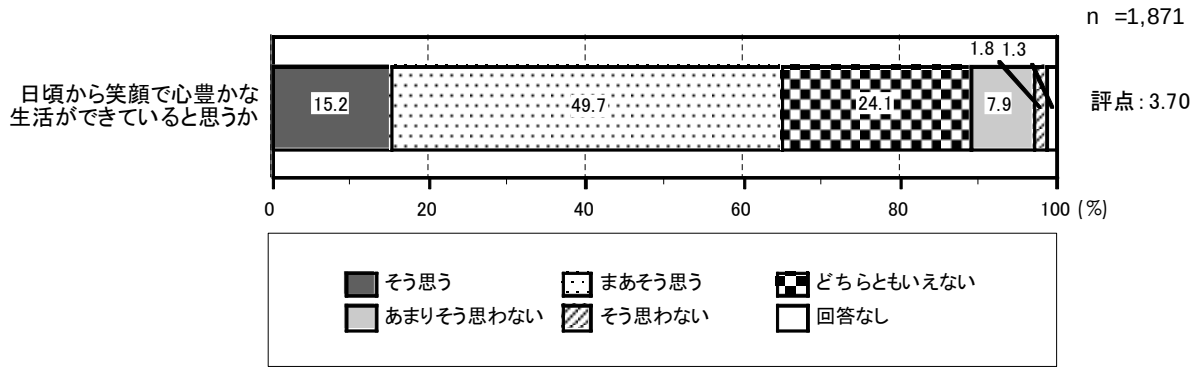
幸せ感の点数

深読み分析５：幸せ度と笑顔の関係について

ながくて幸せ実感アンケートの健康分野の質問項目に「日頃から笑顔で心豊かな生活ができているか」(問８（５)) があります。この項目は健康分野のなかで、心の健康についての質問をしています。回答結果は「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は64.9%となり、「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた割合は9.7%となりました。また、この結果について、幸せ感の点数との相関関係を分析したところ、やや強い相関あり、他の質問項目に比べると高い相関関係があることがわかりました。

ところで、なぜ私がこの質問項目を取上げ、分析をしてみたかといいますと、ながくて幸せ実感アンケートは、市民と行政が協働し、長久手市独自の視点で必要な質問項目を作り上げたものであり、その取組の中から、「笑顔」という言葉が、心の健康を問う質問項目に選ばれたということにあります。また、気になって、他市町の調査票を調べてみましたが、心の健康を問う質問項目で「笑顔」であるかどうかという質問は、意外かもしれませんがほとんど見られませんでした。

これらのことから、「笑顔」は本市において、幸せに関するキーワードの一つとなり、日頃から「笑顔」で生活ができているかということが長久手市の幸せを測るモノサシの一つになり得るのではと感じました。

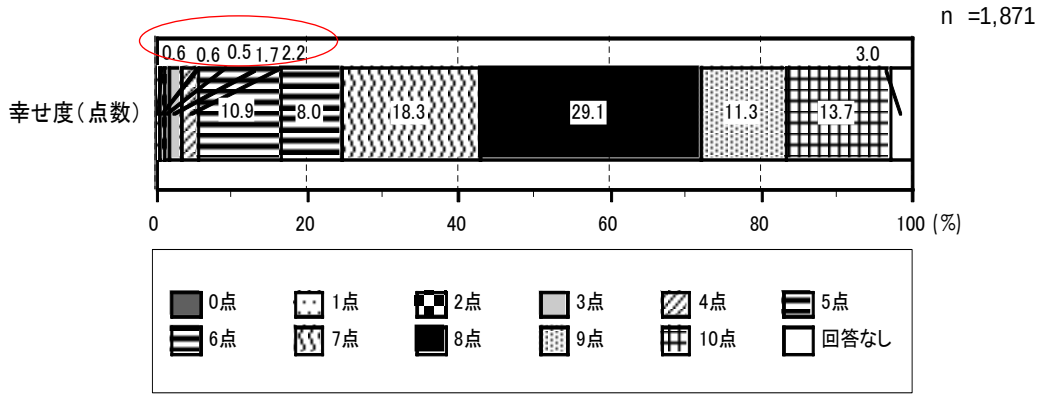


深読み分析６：長久手市の幸せ感は本当に高いのか？

長久手市の幸せ感の結果について、全体の平均点数は7.41となり、内閣府が実施した「平成２３年度国民生活選好度調査」における個人の幸福感の平均値6.41と比べると、1.00ポイントも高い水準にあることがわかりました。少子高齢社会のなかで、現在も人口が増加し、若い世代が多く住んでいる本市は住みよいまちだと言われており、市民の幸福度も高いのかもしれません。

しかし、気になる数値もあります。それは、幸せ感の点数が4点以下の回答者が5.6%、0点の回答者が0.6%みえたということです。この割合を実数にして考えてみると、このアンケートの調査対象である18歳以上の長久手市の人口はおよそ4万人であり、単純に計算すると、幸せ感の点数が4点以下の人は約2,200人、0点の人は約240人のということになります。果たして、この人数は「多い」と言えるのでしょうか。それとも、「少ない」と言えるのでしょうか。議論が必要であると感じました。

幸せ感の点数



４．アドバイザーによる一考察

ながくて幸せ実感アンケート調査（2014）にみる
市民発案の生活実感領域項目と生活評価の関係について

関西大学教授　草郷孝好

1　はじめに

長久手市は、現在、市民主体で生活の質の高いまちづくりの実現を目指しており、すでに、質の高い市民生活を具体的にイメージし、その実現のため、さまざまな取り組みに着手しつつある。今後、これらの取り組みを展開していくことで、長久手市民の生活がどのように変わっていくのかを把握していくしくみが必要となる。そこで、長久手市は、「幸せ実感調査」を構想した。本調査隊の具体的な活動は、質問紙によるアンケート調査によって市民自身による生活自己評価を収集・分析し、市民の生活変化をプラスとマイナスの両面からフォローするしくみの構築を目指すものである。

まず、2013 年に長久手の有志市民と市役所の職員からなる「ながくて幸せ実感調査隊」が立ち上げられ、本調査隊の手で、「ながくて幸せ実感アンケート」が準備・実施された。本調査の際立った特徴は、アンケート票の中に、長久手市における総合的に生活評価を行う質問群を盛り込んだことに加え、既存の生活実感（「幸福度」や善き生活を表す「ウェル・ビーイング」）に関する学術研究成果や自治体等の政策実践事例を参考にしつつ、長久手市民独自の視点に立った質の高い市民生活実現に欠かせない領域項目を選定、項目ごとに個別質問群を作成した点にある。調査隊の発案による質問群選定作業は、市民自治の視点から高く評価できるものの、他方で、果たして、このように選定された諸領域が長久手市民の生活とどう関わりを持っているかは、データ収集前の段階では予見できない。そこで、選定された領域項目が長久手市民の総合的な生活評価と関わりを持つものになっているのかどうかに焦点をあて、収集されたデータを分析することによって、市民参画・主導型の生活調査設計の意義や可能性について考えてみたい。

2　アンケート調査票の策定～5 つの包括的生活評価と８つの重要領域項目群

ながくて幸せ実感調査隊が作成したアンケート票には、生活を総合的に評価するために、「幸せ感」、「生活への満足度」、「地域への愛着」、「地域の住みやすさ」、「今後も住み続けたいかどうか（居住意向）」の５つの質問を盛り込んでいる。また、市民生活の変化を評価するために、8 つの重要領域と各領域の質問群を策定、盛り込んでいる。8 つの領域は、次の通りである。（ただし、個別領域の質問内容については、質問票(P. 235～246)を参照のこと。）

① 健康領域
② 子育て教育領域
③ 環境領域
④ つながり領域
⑤ 防災防犯領域
⑥ 福祉領域
⑦ 文化生涯学習領域
⑧ 生活インフラ領域

3 包括的な生活評価と生活の質を左右する領域項目の関係についての分析方法

本調査では、個別回答者の目線で、自分自身の生活の良し悪しを総合的に評価してもらう質問項目を５つ用意している。これらは、「個人の幸せ感」、「生活への満足度」、「長久手の住みやすさ」、「長久手への愛着」、そして、「今後の居住意向」である。他方、８つの領域は、長久手市民の生活の質を多面的に検討し、将来の生活の質を構想しつつ選定されたものである。市民による包括的な生活評価の回答と８つの領域ごとの回答の間には、何らかの関係が認められると予想される。そこで、実際に回収された調査データを基に、相関分析と回帰分析を活用して、生活評価項目と領域項目間の関係性の有無とその程度を調べてみることにした。

分析に際して、8 つの領域項目ごとの回答者による生活評価を把握するために、領域項目ごとの回答者得点の平均点を算出（「領域項目得点」）することにした。各質問への回答を、プラスの評価には最高５点、最低１点とし、1 点刻みで回答データを整理した。収集されたデータをもとにして、領域ごとの得点を計測し、この得点を使って、領域項目得点と生活評価データの間にどのような関係が見出せるのかを検討することとした。

分析①　５つの総合的生活評価項目（幸せ感、生活への満足度、地域の住みやすさ、地域への愛着、今後の居住意向）と８つの領域項目得点の間の相関分析（P.214 用語解説）を行う。これによって、質の高い生活に重要な領域項目と総合的生活評価（個人生活の観点（幸福、満足）と地域生活の観点（住みやすさ、愛着、今後の居住意向））の間に何らかの関係性が見てとれるかどうかを確認する。

*留意点：回答者の領域ごとの回答数は、「該当なし」や無回答の有無によって、異なっている。たとえば、子育てに関する質問は、子どもと接する機会のない回答者には回答することは難しい。そこで、今回の各回答者の領域別平均得点の算出に際しては、該当なしや無回答の質問は、計算からは外している。したがって、厳密に言えば、回答者間で、個別回答者平均得点の計測に反映されている質問項目数が異なっていることを留意すべきである。

分析②　８つの生活の質のために重要な領域項目得点の間に相関があるかどうかを確認する。

分析③　５つの総合的生活評価項目（幸せ感、生活への満足度、地域の住みやすさ、地域への愛着、今後の居住意向）は、どの個人属性によって異なるのか、重回帰分析（P.214 用語解説）を行い、関連性を分析する。

分析④　5 つの総合的生活評価項目（幸せ感、生活への満足度、地域の住みやすさ、地域への愛着、今後の居住意向）ごとに、8 つの領域項目得点を用いて、重回帰分析を行い、各々の生活評価項目と関係の深い領域はどれなのかを分析する。

4 分析の結果

1)　表１（P.215）は、5 つの総合的活評価項目（幸せ感、生活への満足度、地域の住みやすさ、地域への愛着、今後の居住意向）の間の相関係数を示したものである。これを見ると明らかなのは、①幸せ感と満足度の間には、高い相関関係があること、②地域の住みやすさと愛着の間には、高い相関関係があること、③幸せ感や満足度と地域の住みやすさの間には相関があること、④住み続けたいかどうかと幸福感や満足度には関係が見られないこと、である。

2)　次に、今回収集された回答をもとにして、８つの領域項目の平均得点を見てみると、次のレーダーチャート（図１）の通りである。

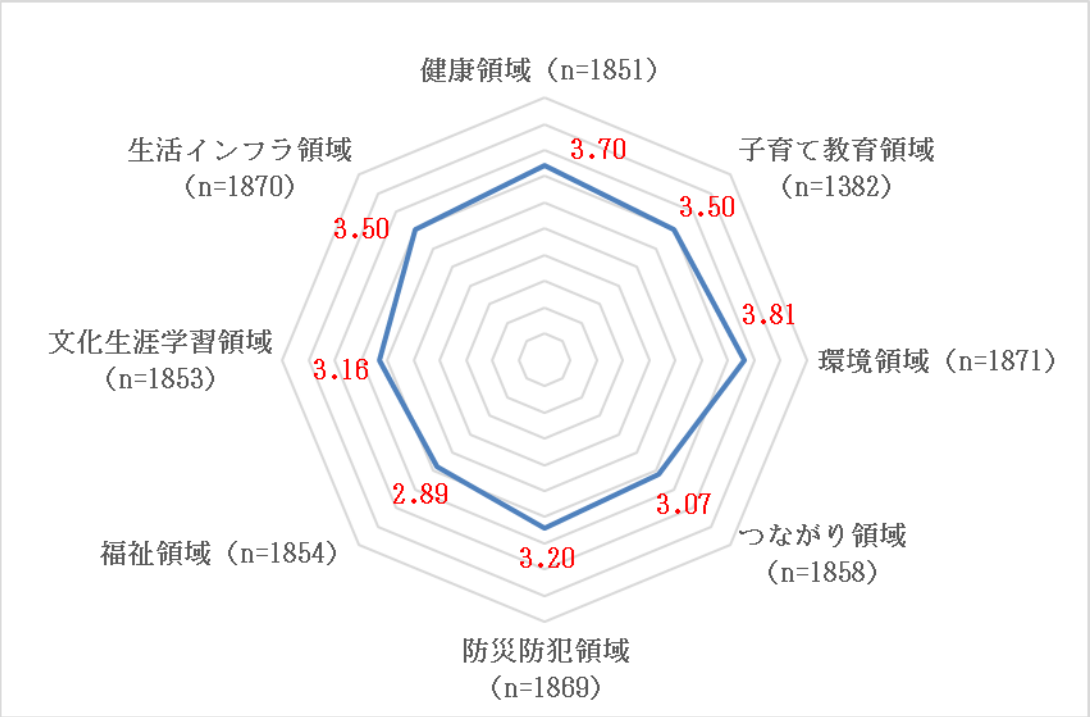


図１：８つの領域項目の全回答者の領域得点（平均）

各領域の平均得点は、最高５点、最低１点として、得点化されている。８つの領域の中で、平均得点の高い領域は、環境領域（3.81 点）、次に健康（3.70 点）、生活インフラ（3.50 点）、そして、子育て教育（3.50 点）である。他方、平均得点の低い領域は、福祉（2.89 点）、つながり（3.07 点）、文化生涯学習（3.16 点）、そして、防災防犯（3.20 点）である。子育て教育と防災防犯の間に得点差（0.3 点）があるので、ここに線を引くことで、比較的市民評価の高い４つの項目と低い４つの項目に分かれる。

では、8 領域項目間でどのような関係があるのかを確かめておきたい。表 2（P. 216）は、8 つの領域項目の平均得点間の相関関係を示しており、これによって、各領域相互間の相関関係（独立度合い）を確認することができる。この結果から言えることは、①8 領域項目間には、相互に正の相関関係がある。相関の程度は、およそ半数が弱い（0.2 以上 0.4 未満）正の相関関係を、また、残りの半数がやや強い正の相関関係（0.4 以上 0.6 未満）を持っている。②個別項目間の中で、最も高い相関関係にあるのは、「つながり」と「福祉」の項目間であり、最も低い相関関係にあるのは、「つながり」と「生活インフラ」である。③8 領域項目の中で、他の領域と比較的高い相関関係を持っているのは、「健康」領域である。

3)　表３（P. 217）は、５つの生活評価項目と８つの領域項目間の相関関係を示している。これにより、①いずれの項目間においても、正の関係が確認できる。②幸せ感、満足度と健康領域の間には、比較的高い正の相関が認められる。③住みやすさと子育てや生活インフラの間には、比較的高い正の相関を認められる。④愛着と文化生涯学習の間には、比較的高い正の相関を認められる。⑤今後も住み続けるかどうかと８領域項目間には、相関関係は見て取れず、住み続ける意思決定理由は別のところに理由があるようである。

4)　表４（P. 219）から表８（P. 227）までは、５つの生活評価項目ごとに、個人属性データを用いて、重回帰分析を行った結果である。以下、統計的有意差に基づき確認できたことを書き出しておく。

(1) 幸せ感と個人属性（表 4）（P. 219）

① 女性に比べて、男性は、幸せ感が低い。

② 18－19 歳を比較基準とすると、年齢が上昇するにつれて、幸せ感は高くなっているが、80 歳以上の場合には、統計的有意を持って、幸せ感が高い。

③ 無職を比較基準とした場合、会社員、公務員、学生の幸せ感が高い。

④ 年収は、100 万円未満を比較基準とすると、収入が上昇することによって、幸せ感が高まることが確認される。とくに、高収入になればなるだけ、幸せ感の度合いが高い。

⑤ 住宅に関しては、一戸建て所有を比較基準とすると、その他の住宅形態の場合には、幸せ感が低いことが確認された。社宅寮生活者も、統計的な有意差を認めることはできないが、幸せ感が低いようである。

⑦ 既婚を比較基準とすると、未婚者は幸せ感が低いことがわかる。

⑧ 家族形態に関して、単身家族を比較基準とすると、夫婦のみの家族は幸せ感が高い。また、家族の中で、幼児のいる家族の幸せ感は高いが、75 歳以上の高齢者のいる家族の幸せ感は、統計的な有意差はないが、やや低いことがわかる。

⑨ 居住暦に関しては、3 年未満の居住暦を比較基準とすると、10 年以上の長期居住暦を持つ人の幸せ感が低い。

(2) 満足度と個人属性（表 5）（P. 221）

① 性別に関しては、男女間で統計的に有意な差異は見出せない。

② 年齢に関しては、統計的有意な差異は見出せないが、40 歳代はやや満足度が低いようである。

③ 職業に関しては、アルバイトパートと学生が満足度が高く、家事専従や会社員も統計的には弱く有意であるが、満足度は高い。

④ 年収に関しては、収入上昇と生活の満足度には強い因果関係があることが確認される。

⑤ 住宅に関しては、賃貸や借家で生活している人のほうが、一戸建て所有者に比べて、生活への満足度が低いことがわかる。

⑥ 既婚を比較基準とすると、未婚者の満足度が低いことがわかる。

⑦ 家族形態に関しては、単身世帯を比較基準とすると、二世代家族の満足度がやや低い。

⑧ 居住暦に関しては、3 年未満を比較基準とすると、30 年以上の長期間居住暦を有する人の満足度はやや低い。

(3) 住みやすさと個人属性（表 6）（P. 223）

① 性別に関しては、男女間で住みやすさの程度に差異は見られない。

② 年齢に関しては、統計的に有意な差異は見られない。ただ 50 歳代後半は住みやすさの評価が低いようである。

③ 職業に関しては、統計的に有意な差異は見られない。ただ自営業の人は、住みやすさの評価が少し高いようである。

④ 年収に関しては、統計的に有意な差異は見られない。

⑤ 住宅に関しては、一戸建て所有に比べて、社宅官舎寮やその他の住宅の人の住みやすさの評価は低い。

⑥ 既婚に比べて未婚がやや低いようであるが、統計的には有意ではない。

⑦ 家族構成や居住暦と住みやすさには、統計的に有意な差異は見られない。

(4) 愛着と個人属性（表 7）(P. 225)

① 性別や年齢と愛着の間には、統計的に有意な差異は見られない。

② 職業に関しては、自営業、会社員、その他の職業の人の愛着は高い。

③ 年収に関しては、統計的に有意な差異は見られない。

④ 住宅に関しては、一戸建て所有を比較基準とすると、社宅官舎寮やその他の住宅に暮らしている人は、愛着が少ないことがわかる。

⑤ 家族形態に関しては、単身家族を比較基準とすると、統計的には有意ではないものの、二世代家族や三世代家族の方が愛着が高いようである。

⑦ 乳児のいる人は、長久手への愛着が高い。

⑧ 居住暦に関しては、3 年未満の居住者を比較基準とすると、居住暦が長ければ長いほど、長久手への愛着が高くなっていることがわかる。

(5) 今後も住み続けるかどうかと個人属性（表 8）(P. 227)

① 性別、年齢、職業、年収に関しては、今後の居住意欲との間では、統計的に有意な差異は見られない。

② 住宅に関しては、一戸建て所有を比較基準とすると、一戸建て借家、賃貸マンションアパート、社宅官舎寮、県営住宅、その他の住宅の人は、今後の居住意欲が低い。

③ 大学生・大学院生・専門学校生がいる場合、今後の居住意欲が低い。

5) 表 9（P. 229）から表 14（P. 234）は、5 つの生活評価項目ごとに、8 つの領域項目の平均得点を用いて、重回帰分析を行ったものであり、これによって、今回の調査において、5 つの生活評価項目と関係の深い領域はどれかを整理してみる。

(1) 幸せ感と８つの領域項目得点との重回帰分析（表 9）(P. 229)

① 健康、つながり、生活インフラ、子育て教育、環境の順で、幸せ感を増加させる重要な領域であることがわかる。

② 防災防犯、福祉領域、文化生涯学習領域は、幸せ感と関連性の深いものとなっていない。

(2) 生活への満足感と８つの領域項目得点との重回帰分析（表 10）(P. 230)

① 健康、生活インフラ、つながり、子育て教育の順で、生活への満足感と関連性のある重要領域であることがわかる。

② 環境、文化生涯学習、福祉、防災防犯領域は、生活の満足感と関連性のあるものとはなっていない。

(3) 長久手の住みやすさと８つの領域項目得点との重回帰分析（表 11）(P. 231)

① 生活インフラ、子育て教育、文化生涯学習、健康、環境の順で、長久手を住みやすい地域かどうかに関して、正の関連性があることがわかる。

② 福祉は、長久手を住みやすい地域かどうかに関して、正の関連性があるが統計的有意はない。

③ つながりは、長久手を住みやすい地域かどうかに関して、負の関連性がある。

(4) 長久手への愛着と８つの領域項目得点との重回帰分析（表 12）(P. 232)

① 文化生涯学習、健康、つながり、子育て、生活インフラの順で、長久手の愛着に関して、正の関連性があることがわかる。

② 環境、防災防犯、福祉の領域は、長久手の愛着とは関連性がないようである。

(5) 今後の居住意向と８つの領域項目得点との重回帰分析（表 13）（P. 233）

① 文化生涯学習、生活インフラ、子育て教育の順で、今後の居住意向に関して、正の関連性があることがわかる。

② 福祉は、今後の居住意向に関して、正の関連性があるが、統計的に有意ではない。

③ 健康、環境、つながり、防災防犯は、今後の居住意向とは関連性がないようである。

(6) ５つの包括的生活評価と８つの生活領域項目間の関係まとめ（表 14）（P. 234）

① 表 13（P. 233）のように、市民生活の何を評価するかによって、その評価される対象と関連性のある要素が異なることもわかる。

② 特筆できるのは、子育て教育領域と生活インフラ領域の２つは、5 つの評価項目すべてに対して関連性が深い領域であることである。

③ 反対に、防災防犯領域や福祉領域は、どれひとつとして、関連性が認められない。本来、まちづくりの重点項目である防災防犯や福祉が生活評価項目と関係性が薄い点は、長久手の課題であるのかもしれない。

5 まとめ（個人的感想）

５つの総合的生活評価項目と８つの領域得点の関係について、収集されたデータをもとにして分析した。今回の分析結果から、今後、市民主体の調査活動を進めるに際して、参考になる点や注意すべき点を記しておく。

○ 将来の長久手市民の質の高い生活にとって重要な８つの領域は、現在の長久手市民の生活全般の評価軸と接点を持っていることがわかった。ただ、領域によっては、現時点においては、市民生活と深い関連を持っているわけではないこともわかった。現状で、十分によい状態にある領域項目もあれば、今後、重点的に力を入れていくべき項目があるという捉え方ができるのはないかと思う。

○ 今回の現状を探る調査結果から、8 つの領域間には、比較的評価の高い領域とそうではない領域に分かれていることがわかった。そこで、今後、継続して幸せ実感調査を行うことになれば、調査のたびに、各領域の得点推移を精査し、得点の低い領域に関しては、その領域内の質問群の中からどの質問への回答が低いのかを把握するなどして、長久手市民の生活改善のために取られるべき対策は何かを検討する際に大いに参考にできるのではないかと思う。

○ 調査データを新しい市民活動や行政施策の市民への波及効果を分析するために活用できる。とりわけ、市民に対して、本調査の結果を積極的に開示していけば、より多くの市民から、長久手市の生活変化を踏まえた提案や長久手のまちづくりへの参画を得ることにつながるのではないかと思う。

6 参考（用語解説）

解説１　相関分析とは…

同時に２つの量的変数データの間に、何らかの関係性があるかどうかを確かめるために活用される統計分析手法の１つである。本来は、連続性のある量的変数データのための分析手法であるが、今回、この手法を活用することにより、同一回答者から得られた２つのデータ（異なる質問への回答結果や個別回答結果をもとにして算定した領域ごとの得点結果）の間に、何らかの関係（１つの質問（または得点）への回答傾向ともう１つの質問（または得点）への回答傾向に似たような動きがあるかどうか）を簡便に確かめることとした。たとえば、「幸せ感」と「生活への満足度」を例に取ると、横軸ｘに幸せ感を縦軸ｙに生活への満足度を取り、平面図を準備する。その平面図に、各回答者の「幸せ感」への回答結果と「生活への満足度」の回答結果の組み合わせに相当する位置に点を１つずつ書きこんでいく。

たとえば、幸せ感８点で生活への満足度７点の場合は、横軸８と縦軸７の交点に点を書き込む。この交点の書き込み作業を全回答者の回答結果に対して行うと、回答者総数分の点が同一平面図の中に書き込まれる。これを散布図と呼ぶが、これらの交点の集まり具合（凝集度合）を分析することによって、２つの変数の間の関係性を確認することができる。もしも、「幸せ感の評点」と「生活への満足度の評点」の間に強い関係がある場合（たとえば、幸せ感の評点が高い(低い)と生活への満足度への評点も高い(低い)）には、平面図に45度の角度の右肩上がりの直線（y=x：切片０で傾きは１の直線））を書き込めば、その直線の周辺部に多くの点が集まる。しかし、反対に幸せ感と生活への満足度への評点の間に関係性があまり認められない場合（幸せ感が高くても、生活への満足度の評点は高・中・低様々な回答があるような状態）には、点は平面図の中のいたるところにばらついた状態で書き込まれる。相関係数は、このように２つの変数の間の凝集度合を判定するために開発され、散布図を作成する代わりに、相関係数を算出することによって、２つの変数の関係の有無や度合いを簡便に確認することができる。

解説２　回帰分析とは…

複数の変数データの間の相互の関係性を分析するために開発された統計分析手法の１つである。相関分析が、相関係数によって、２つの変数間の直線的な関連の有無と度合いの確認を助ける手法であるのに対して、回帰分析は、複数の変量間の関連が具体的にどのような関係にあるのかを確かめることを目指し、その関係を示す関係式を推定していく。たとえば、幸せ感と生活への満足度の関係式を突き止める場合には、y=a+bx という一般式を想定し、式中のa(切片)とb(傾き)の値を推定し、関係式を突き止めることを助けるのが回帰分析である。傾きｂの値が１に近づけば、２つの変数間の関係性は強くなり、傾きｂが正か負かによって、２つの変数間の関連の方向性（負の場合には、幸せ感が高くなると、反対に生活への満足度は低くなるというような反対の方向性を示す）を確かめることができる。このような２つの変量の間の回帰分析を単回帰分析と呼ぶが、回帰分析の場合には、2つ以上の変量間の関連を同時に分析することができ、これを重回帰分析と呼ぶ。今回の確認作業では、重回帰分析を用いることで、幸せ感などの個人的な地域生活評価項目と関連性のある項目があるのかどうか、あるとすれば、どの程度の関連性を持っているのかどうかを統計的に推定することにした。Ｒは相関係数を示し、R^2は、決定係数（回帰分析によって、どこまで説明できたかという説明力）を示す。留意点としては、今回行った相関分析や回帰分析は、あくまでも、収集されたデータの間の関連性を簡便的に確認するために行ったに過ぎず、変数間の因果関係の分析ではない。変数間の因果関係を詳細に分析するためには、個別のクロス表分析やロジスティック分析などを活用すべきである。

表１：５つの生活評価項目間の相関

		現在の幸せ感	生活への満足度	長久手の住みやすさ	長久手への愛着	長久手に今後も住み続けたい
現在の幸せ感	Pearson の相関係数	1	.649**	.400**	.315**	.156**
	有意確率（両側）		.000	.000	.000	.000
	度数	1815	1756	1814	1814	1488
生活への満足度	Pearson の相関係数	.649**	1	.418**	.343**	.153**
	有意確率（両側）	.000		.000	.000	.000
	度数	1756	1794	1794	1794	1471
長久手の住みやすさ	Pearson の相関係数	.400**	.418**	1	.592**	.375**
	有意確率（両側）	.000	.000		.000	.000
	度数	1814	1794	1860	1860	1526
長久手への愛着	Pearson の相関係数	.315**	.343**	.592**	1	.404**
	有意確率（両側）	.000	.000	.000		.000
	度数	1814	1794	1860	1860	1526
長久手に今後も住み続けたい	Pearson の相関係数	.156**	.153**	.375**	.404**	1
	有意確率（両側）	.000	.000	.000	.000	
	度数	1488	1471	1526	1526	1526

**. 相関係数は 1% 水準で有意（両側）です。

表２：８つの生活評価項目間の相関

		健康領域得点（平均）	子育て教育領域得点（平均）	環境領域得点（平均）	つながり領域得点（平均）	防災防犯領域得点（平均）	福祉領域得点（平均）	文化生涯学習領域得点（平均）	生活インフラ領域得点（平均）
健康領域得点（平均）	Pearson の相関係数	1	.507**	.513**	.469**	.404**	.474**	.367**	.354**
	有意確率（両側）		.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000
	度数	1851	1382	1851	1838	1849	1836	1835	1850
子育て教育領域得点（平均）	Pearson の相関係数	.507**	1	.497**	.367**	.287**	.467**	.377**	.407**
	有意確率（両側）	.000		.000	.000	.000	.000	.000	.000
	度数	1382	1382	1382	1372	1381	1369	1368	1382
環境領域得点（平均）	Pearson の相関係数	.513**	.497**	1	.372**	.341**	.413**	.418**	.343**
	有意確率（両側）	.000	.000		.000	.000	.000	.000	.000
	度数	1851	1382	1871	1858	1869	1854	1853	1870
つながり領域得点（平均）	Pearson の相関係数	.469**	.367**	.372**	1	.505**	.563**	.448**	.240**
	有意確率（両側）	.000	.000	.000		.000	.000	.000	.000
	度数	1838	1372	1858	1858	1856	1841	1840	1857
防災防犯領域得点（平均）	Pearson の相関係数	.404**	.287**	.341**	.505**	1	.481**	.372**	.264**
	有意確率（両側）	.000	.000	.000	.000		.000	.000	.000
	度数	1849	1381	1869	1856	1869	1853	1852	1868
福祉領域得点（平均）	Pearson の相関係数	.474**	.467**	.413**	.563**	.481**	1	.465**	.312**
	有意確率（両側）	.000	.000	.000	.000	.000		.000	.000
	度数	1836	1369	1854	1841	1853	1854	1852	1853
文化生涯学習領域得点（平均）	Pearson の相関係数	.367**	.377**	.418**	.448**	.372**	.465**	1	.272**
	有意確率（両側）	.000	.000	.000	.000	.000	.000		.000
	度数	1835	1368	1853	1840	1852	1852	1853	1852
生活インフラ領域得点（平均）	Pearson の相関係数	.354**	.407**	.343**	.240**	.264**	.312**	.272**	1
	有意確率（両側）	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	
	度数	1850	1382	1870	1857	1868	1853	1852	1870

**. 相関係数は 1% 水準で有意（両側）です。

表3：５つの生活評価項目と８つの生活領域項目間の相関

		現在の幸せ感	生活への満足度	長久手の住みやすさ	長久手への愛着	長久手に今後も住み続けたい	健康領域得点（平均）	子育て教育領域得点（平均）	環境領域得点（平均）	つながり領域得点（平均）	防災防犯領域得点（平均）	福祉領域得点（平均）	文化生涯学習領域得点（平均）	生活インフラ領域得点（平均）
現在の幸せ感	Pearson の相関係数	1	.649**	.400**	.315**	.156**	.459**	.336**	.306**	.300**	.243**	.261**	.214**	.298**
	有意確率（両側）		.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000
	度数	1815	1756	1814	1814	1488	1797	1346	1815	1802	1813	1798	1798	1814
生活への満足度	Pearson の相関係数	.649**	1	.418**	.343**	.153**	.543**	.365**	.333**	.319**	.264**	.312**	.272**	.334**
	有意確率（両側）	.000		.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000
	度数	1756	1794	1794	1794	1471	1776	1333	1794	1782	1793	1777	1777	1793
長久手の住みやすさ	Pearson の相関係数	.400**	.418**	1	.592**	.375**	.381**	.453**	.360**	.243**	.238**	.319**	.330**	.406**
	有意確率（両側）	.000	.000		.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000
	度数	1814	1794	1860	1860	1526	1841	1376	1860	1847	1858	1843	1842	1859
長久手への愛着	Pearson の相関係数	.315**	.343**	.592**	1	.404**	.387**	.338**	.326**	.353**	.288**	.319**	.404**	.271**
	有意確率（両側）	.000	.000	.000		.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000
	度数	1814	1794	1860	1860	1526	1841	1376	1860	1847	1858	1843	1842	1859
長久手に今後も住み続けたい	Pearson の相関係数	.156**	.153**	.375**	.404**	1	.106**	.196**	.102**	.144**	.124**	.163**	.230**	.131**
	有意確率（両側）	.000	.000	.000	.000		.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000
	度数	1488	1471	1526	1526	1526	1509	1146	1526	1517	1525	1512	1511	1526
健康領域得点（平均）	Pearson の相関係数	.459**	.543**	.381**	.387**	.106**	1	.507**	.513**	.469**	.404**	.474**	.367**	.354**
	有意確率（両側）	.000	.000	.000	.000	.000		.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000
	度数	1797	1776	1841	1841	1509	1851	1382	1851	1838	1849	1836	1835	1850
子育て教育領域得点（平均）	Pearson の相関係数	.336**	.365**	.453**	.338**	.196**	.507**	1	.497**	.367**	.287**	.467**	.377**	.407**
	有意確率（両側）	.000	.000	.000	.000	.000	.000		.000	.000	.000	.000	.000	.000
	度数	1346	1333	1376	1376	1146	1382	1382	1382	1372	1381	1369	1368	1382
環境領域得点（平均）	Pearson の相関係数	.306**	.333**	.360**	.326**	.102**	.513**	.497**	1	.372**	.341**	.413**	.418**	.343**
	有意確率（両側）	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000		.000	.000	.000	.000	.000
	度数	1815	1794	1860	1860	1526	1851	1382	1871	1858	1869	1854	1853	1870
つながり領域得点（平均）	Pearson の相関係数	.300**	.319**	.243**	.353**	.144**	.469**	.367**	.372**	1	.505**	.563**	.448**	.240**
	有意確率（両側）	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000		.000	.000	.000	.000
	度数	1802	1782	1847	1847	1517	1838	1372	1858	1858	1856	1841	1840	1857
防災防犯領域得点（平均）	Pearson の相関係数	.243**	.264**	.238**	.288**	.124**	.404**	.287**	.341**	.505**	1	.481**	.372**	.264**
	有意確率（両側）	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000		.000	.000	.000

	度数	1813	1793	1858	1858	1525	1849	1381	1869	1856	1869	1853	1852	1868
福祉領域得点（平均）	Pearson の相関係数	.261**	.312**	.319**	.319**	.163**	.474**	.467**	.413**	.563**	.481**	1	.465**	.312**
	有意確率（両側）	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000		.000	.000
	度数	1798	1777	1843	1843	1512	1836	1369	1854	1841	1853	1854	1852	1853
文化生涯学習領域得点（平均）	Pearson の相関係数	.214**	.272**	.330**	.404**	.230**	.367**	.377**	.418**	.448**	.372**	.465**	1	.272**
	有意確率（両側）	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000		.000
	度数	1798	1777	1842	1842	1511	1835	1368	1853	1840	1852	1852	1853	1852
生活インフラ領域得点（平均）	Pearson の相関係数	.298**	.334**	.406**	.271**	.131**	.354**	.407**	.343**	.240**	.264**	.312**	.272**	1
	有意確率（両側）	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	
	度数	1814	1793	1859	1859	1526	1850	1382	1870	1857	1868	1853	1852	1870

**. 相関係数は 1% 水準で有意（両側）です。

表４：幸せ感と個人属性の重回帰分析

	標準化されていない係数			
	B	標準誤差	t	有意確率
(定数)	5.560	.702	7.923	.000
男性	-.382	.114	-3.352	.001
年齢20_24	.556	.484	1.148	.251
年齢25_29	.813	.597	1.362	.173
年齢30_34	.557	.589	.945	.345
年齢35_39	.485	.588	.824	.410
年齢40_44	.563	.589	.956	.339
年齢45_49	.300	.600	.499	.618
年齢50_54	.204	.602	.339	.735
年齢55_59	.411	.615	.668	.504
年齢60_64	.350	.607	.577	.564
年齢65_69	.704	.633	1.112	.266
年齢70_74	.835	.639	1.307	.191
年齢75_79	1.057	.664	1.592	.112
年齢80以上	1.487	.669	2.223	.026
農林業	-.497	1.267	-.392	.695
自営業	.354	.225	1.576	.115
会社員	.482	.166	2.908	.004
公務員	.586	.282	2.079	.038
団体職員	.561	.468	1.197	.231
アルバイトパート	.187	.166	1.126	.260
学生	1.920	.529	3.631	.000
家事専従	.294	.161	1.825	.068
その他の職業	.514	.308	1.667	.096
年収100万円以上300万円未満	.740	.258	2.869	.004
年収300万円以上500万円未満	.993	.256	3.874	.000
年収500万円以上700万円未満	1.279	.265	4.825	.000
年収700万円以上1000万円未満	1.302	.269	4.833	.000
年収1000万円以上	1.512	.285	5.304	.000
一戸建て借家	.104	.387	.269	.788
分譲マンション	-.072	.122	-.590	.556
賃貸マンションアパート	-.051	.146	-.348	.728
社宅官舎寮	-.911	.579	-1.573	.116
県営住宅	-.370	.365	-1.015	.310
その他の住宅	-2.246	.909	-2.472	.014

離婚死別	−.219	.211	−1.039	.299
未婚	−.847	.229	−3.706	.000
夫婦だけ	.573	.249	2.300	.022
二世代家族	.364	.229	1.585	.113
三世代家族	.160	.294	.543	.587
その他の家族形態	.235	.488	.481	.630
乳児あり	.611	.230	2.654	.008
幼児あり	.158	.157	1.009	.313
小学生あり	.134	.151	.892	.373
中学生あり	.053	.194	.274	.784
高校生あり	−.103	.192	−.537	.592
大学生院生専門学校生あり	.105	.198	.529	.597
高齢者 65_74 歳あり	.198	.171	1.158	.247
高齢者 75 歳以上あり	−.256	.170	−1.507	.132
居住 3_5 年	−.136	.187	−.727	.467
居住 6_9 年	−.211	.174	−1.208	.227
居住 10_19 年	−.346	.172	−2.020	.044
居住 20_29 年	−.430	.191	−2.252	.024
居住 30 年以上	−.418	.191	−2.188	.029

a. 従属変数 現在の幸せ感

R=0.369 R^2=0.136

表５：生活への満足度と個人属性の重回帰分析

	標準化されていない係数		t	有意確率
	B	標準誤差		
(定数)	3.520	.314	11.211	.000
男性	-.073	.051	-1.426	.154
年齢20_24	-.086	.216	-.399	.690
年齢25_29	-.104	.266	-.389	.697
年齢30_34	-.191	.263	-.726	.468
年齢35_39	-.144	.262	-.551	.582
年齢40_44	-.230	.262	-.877	.380
年齢45_49	-.435	.268	-1.624	.105
年齢50_54	-.336	.269	-1.250	.211
年齢55_59	-.374	.274	-1.364	.173
年齢60_64	-.160	.271	-.593	.553
年齢65_69	-.169	.283	-.598	.550
年齢70_74	-.013	.286	-.047	.963
年齢75_79	-.033	.297	-.110	.912
年齢80以上	.186	.299	.623	.533
農林業	.020	.565	.036	.971
自営業	.159	.099	1.601	.110
会社員	.144	.074	1.938	.053
公務員	.018	.126	.143	.887
団体職員	.120	.209	.576	.565
アルバイトパート	.156	.074	2.103	.036
学生	.620	.236	2.622	.009
家事専従	.138	.072	1.900	.058
その他の職業	.179	.134	1.332	.183
年収100万円以上300万円未満	.205	.117	1.754	.080
年収300万円以上500万円未満	.396	.116	3.423	.001
年収500万円以上700万円未満	.545	.119	4.568	.000
年収700万円以上1000万円未満	.690	.121	5.683	.000
年収1000万円以上	.779	.128	6.066	.000
一戸建て借家	-.279	.169	-1.656	.098
分譲マンション	-.071	.054	-1.307	.191
賃貸マンションアパート	-.128	.066	-1.945	.052
社宅官舎寮	-.398	.258	-1.543	.123
県営住宅	.003	.165	.019	.985
その他の住宅	-1.110	.405	-2.743	.006

離婚死別	−.149	.096	−1.556	.120
未婚	−.237	.102	−2.317	.021
夫婦だけ	−.070	.113	−.623	.533
二世代家族	−.190	.105	−1.820	.069
三世代家族	−.217	.134	−1.622	.105
その他の家族形態	−.256	.218	−1.175	.240
乳児あり	.133	.103	1.286	.199
幼児あり	.033	.070	.472	.637
小学生あり	−.038	.067	−.565	.572
中学生あり	−.043	.086	−.502	.615
高校生あり	−.019	.087	−.215	.830
大学生院生専門学校生あり	.026	.088	.295	.768
高齢者 65_74 歳あり	.120	.076	1.568	.117
高齢者 75 歳以上あり	−.076	.076	−1.001	.317
居住 3_5 年	−.004	.084	−.052	.959
居住 6_9 年	−.078	.078	−1.008	.314
居住 10_19 年	−.070	.076	−.909	.363
居住 20_29 年	−.078	.085	−.919	.358
居住 30 年以上	−.145	.086	−1.698	.090

a. 従属変数 生活への満足度

R=0.336 R^2=0.113

表6：長久手の住みやすさと個人属性の重回帰分析

	標準化されていない係数		t	有意確率
	B	標準誤差		
(定数)	4.299	.293	14.656	.000
男性	-.032	.047	-.677	.499
年齢20_24	.069	.202	.342	.732
年齢25_29	-.043	.250	-.170	.865
年齢30_34	-.108	.247	-.437	.662
年齢35_39	-.238	.246	-.964	.335
年齢40_44	-.135	.247	-.548	.584
年齢45_49	-.181	.251	-.720	.471
年齢50_54	-.292	.252	-1.158	.247
年齢55_59	-.409	.257	-1.588	.112
年齢60_64	-.336	.254	-1.323	.186
年齢65_69	-.207	.265	-.783	.434
年齢70_74	-.267	.267	-1.000	.317
年齢75_79	-.313	.278	-1.125	.261
年齢80以上	-.170	.279	-.609	.542
農林業	-.135	.533	-.253	.800
自営業	.152	.092	1.643	.101
会社員	.070	.069	1.006	.314
公務員	-.042	.117	-.362	.718
団体職員	-.118	.197	-.597	.551
アルバイトパート	.043	.069	.621	.534
学生	.250	.221	1.132	.258
家事専従	-.020	.067	-.291	.771
その他の職業	-.029	.126	-.232	.817
年収100万円以上300万円未満	-.025	.107	-.232	.816
年収300万円以上500万円未満	.029	.107	.273	.785
年収500万円以上700万円未満	.124	.110	1.121	.262
年収700万円以上1000万円未満	.159	.112	1.417	.157
年収1000万円以上	.131	.119	1.099	.272
一戸建て借家	.180	.156	1.154	.249
分譲マンション	.025	.051	.481	.630
賃貸マンションアパート	.041	.061	.660	.509
社宅官舎寮	-.604	.244	-2.476	.013
県営住宅	-.023	.153	-.150	.881
その他の住宅	-.918	.382	-2.400	.016

離婚死別	.008	.087	.086	.931
未婚	-.145	.095	-1.523	.128
夫婦だけ	-.033	.104	-.318	.750
二世代家族	-.018	.096	-.189	.850
三世代家族	.110	.123	.893	.372
その他の家族形態	-.304	.205	-1.484	.138
乳児あり	.131	.097	1.351	.177
幼児あり	-.006	.066	-.084	.933
小学生あり	-.086	.063	-1.365	.173
中学生あり	.025	.081	.315	.753
高校生あり	-.100	.081	-1.237	.216
大学生院生専門学校生あり	.057	.082	.688	.492
高齢者 65_74 歳あり	.018	.071	.249	.803
高齢者 75 歳以上あり	.045	.071	.633	.527
居住 3_5 年	.099	.078	1.259	.208
居住 6_9 年	.075	.073	1.031	.303
居住 10_19 年	.101	.072	1.410	.159
居住 20_29 年	.073	.080	.920	.358
居住 30 年以上	.048	.080	.600	.549

a. 従属変数 長久手の住みやすさ

R=0.236 R^2=0.056

表７：長久手の愛着と個人属性の重回帰分析

	標準化されていない係数		t	有意確率
	B	標準誤差		
(定数)	3.690	.325	11.357	.000
男性	-.057	.053	-1.086	.278
年齢20_24	.115	.224	.511	.609
年齢25_29	.039	.277	.142	.887
年齢30_34	-.147	.273	-.536	.592
年齢35_39	-.173	.273	-.632	.527
年齢40_44	-.072	.273	-.263	.792
年齢45_49	-.131	.279	-.471	.637
年齢50_54	-.293	.279	-1.050	.294
年齢55_59	-.326	.285	-1.145	.253
年齢60_64	-.362	.281	-1.290	.197
年齢65_69	-.015	.293	-.052	.959
年齢70_74	-.045	.296	-.152	.879
年齢75_79	-.066	.308	-.214	.831
年齢80以上	-.027	.309	-.088	.930
農林業	-.244	.591	-.414	.679
自営業	.282	.102	2.753	.006
会社員	.160	.077	2.092	.037
公務員	.042	.130	.322	.747
団体職員	-.046	.218	-.210	.834
アルバイトパート	.123	.077	1.604	.109
学生	.238	.244	.973	.331
家事専従	-.020	.074	-.268	.789
その他の職業	.322	.140	2.296	.022
年収100万円以上300万円未満	.020	.119	.166	.868
年収300万円以上500万円未満	.016	.118	.131	.896
年収500万円以上700万円未満	.062	.122	.510	.610
年収700万円以上1000万円未満	.046	.124	.368	.713
年収1000万円以上	.035	.132	.265	.791
一戸建て借家	-.015	.172	-.086	.931
分譲マンション	-.035	.057	-.618	.536
賃貸マンションアパート	-.085	.068	-1.248	.212
社宅官舎寮	-.978	.270	-3.621	.000
県営住宅	.242	.170	1.423	.155
その他の住宅	-.849	.423	-2.006	.045

離婚死別	.048	.096	.500	.617
未婚	−.008	.106	−.073	.942
夫婦だけ	.152	.115	1.324	.186
二世代家族	.176	.106	1.662	.097
三世代家族	.210	.136	1.543	.123
その他の家族形態	.010	.227	.042	.966
乳児あり	.291	.107	2.714	.007
幼児あり	−.023	.073	−.320	.749
小学生あり	−.109	.070	−1.567	.117
中学生あり	.108	.089	1.207	.228
高校生あり	−.020	.089	−.221	.825
大学生院生専門学校生あり	.097	.091	1.066	.286
高齢者 65_74 歳あり	−.073	.079	−.927	.354
高齢者 75 歳以上あり	−.070	.078	−.902	.367
居住 3_5 年	.244	.087	2.810	.005
居住 6_9 年	.239	.081	2.970	.003
居住 10_19 年	.312	.079	3.931	.000
居住 20_29 年	.381	.088	4.312	.000
居住 30 年以上	.515	.088	5.846	.000

a. 従属変数 長久手への愛着

R=0.291 R^2=0.085

表8：今後住み続けるかどうかと個人属性の重回帰分析

	標準化されていない係数		t	有意確率
	B	標準誤差		
(定数)	1.953	.077	25.503	.000
男性	.012	.012	1.043	.297
年齢20_24	.076	.054	1.412	.158
年齢25_29	.077	.064	1.204	.229
年齢30_34	.040	.064	.635	.526
年齢35_39	.050	.063	.786	.432
年齢40_44	.051	.063	.803	.422
年齢45_49	.086	.064	1.339	.181
年齢50_54	.068	.064	1.049	.294
年齢55_59	.044	.066	.662	.508
年齢60_64	.068	.065	1.047	.295
年齢65_69	.061	.068	.896	.370
年齢70_74	.050	.068	.728	.467
年齢75_79	.080	.071	1.132	.258
年齢80以上	.072	.071	1.024	.306
農林業	-.005	.123	-.042	.967
自営業	.034	.023	1.481	.139
会社員	.008	.018	.447	.655
公務員	-.022	.030	-.755	.450
団体職員	.035	.053	.659	.510
アルバイトパート	.011	.018	.635	.525
学生	-.006	.056	-.104	.917
家事専従	.021	.017	1.187	.236
その他の職業	.008	.033	.252	.801
年収100万円以上300万円未満	.000	.027	-.012	.990
年収300万円以上500万円未満	-.010	.027	-.376	.707
年収500万円以上700万円未満	-.004	.028	-.132	.895
年収700万円以上1000万円未満	-.018	.028	-.619	.536
年収1000万円以上	-.035	.030	-1.150	.250
一戸建て借家	-.085	.041	-2.097	.036
分譲マンション	-.004	.013	-.343	.731
賃貸マンションアパート	-.051	.016	-3.168	.002
社宅官舎寮	-.386	.079	-4.859	.000
県営住宅	-.070	.038	-1.852	.064
その他の住宅	-1.020	.176	-5.794	.000

離婚死別	−.019	.022	−.844	.399
未婚	.002	.025	.098	.922
夫婦だけ	−.039	.027	−1.433	.152
二世代家族	−.020	.025	−.781	.435
三世代家族	−.008	.031	−.249	.803
その他の家族形態	−.089	.055	−1.628	.104
乳児あり	−.003	.024	−.140	.888
幼児あり	.025	.017	1.502	.133
小学生あり	.007	.016	.403	.687
中学生あり	−.025	.021	−1.202	.230
高校生あり	.005	.021	.267	.790
大学生院生専門学校生あり	−.037	.021	−1.794	.073
高齢者 65_74 歳あり	.008	.018	.418	.676
高齢者 75 歳以上あり	.006	.018	.353	.724
居住 3_5 年	−.014	.020	−.702	.483
居住 6_9 年	−.021	.019	−1.121	.262
居住 10_19 年	−.023	.019	−1.247	.213
居住 20_29 年	−.018	.020	−.875	.382
居住 30 年以上	−.009	.020	−.453	.650

a. 従属変数 長久手に今後も住み続けたい

R=0.284 R^2=0.081

表9：幸せ感と８つの領域得点との重回帰分析

	標準化されていない係数		t	有意確率
	B	標準誤差		
(定数)	1.574	.344	4.579	.000
健康領域得点（平均）	.763	.089	8.621	.000
子育て教育領域得点（平均）	.222	.077	2.888	.004
環境領域得点（平均）	.206	.095	2.166	.030
つながり領域得点（平均）	.302	.078	3.862	.000
防災防犯領域得点（平均）	.005	.076	.069	.945
福祉領域得点（平均）	-.019	.100	-.186	.852
文化生涯学習領域得点（平均）	-.087	.070	-1.251	.211
生活インフラ領域得点（平均）	.249	.067	3.714	.000

a. 従属変数 現在の幸せ感

R=0.472　R^2=0.223

表 10：生活への満足感と８つの領域得点との重回帰分析

	標準化されていない係数		t	有意確率
	B	標準誤差		
(定数)	.648	.144	4.500	.000
健康領域得点（平均）	.500	.037	13.562	.000
子育て教育領域得点（平均）	.075	.032	2.355	.019
環境領域得点（平均）	.046	.040	1.157	.247
つながり領域得点（平均）	.082	.033	2.497	.013
防災防犯領域得点（平均）	-.006	.032	-.181	.856
福祉領域得点（平均）	.020	.042	.490	.625
文化生涯学習領域得点（平均）	.027	.029	.936	.349
生活インフラ領域得点（平均）	.089	.028	3.142	.002

a. 従属変数 生活への満足度

R=0.558　R^2=0.312

表 11：長久手の住みやすさと８つの領域得点との重回帰分析

	標準化されていない係数		t	有意確率
	B	標準誤差		
(定数)	1.460	.132	11.080	.000
健康領域得点（平均）	.129	.034	3.787	.000
子育て教育領域得点（平均）	.222	.030	7.486	.000
環境領域得点（平均）	.104	.037	2.819	.005
つながり領域得点（平均）	-.070	.030	-2.294	.022
防災防犯領域得点（平均）	.022	.030	.751	.453
福祉領域得点（平均）	.068	.038	1.768	.077
文化生涯学習領域得点（平均）	.114	.027	4.243	.000
生活インフラ領域得点（平均）	.201	.026	7.738	.000

a. 従属変数 長久手の住みやすさ

R=0.549　R^2=0.301

表 12：長久手への愛着と８つの領域得点との重回帰分析

	標準化されていない係数		t	有意確率
	B	標準誤差		
(定数)	1.249	.155	8.049	.000
健康領域得点（平均）	.180	.040	4.470	.000
子育て教育領域得点（平均）	.093	.035	2.660	.008
環境領域得点（平均）	.060	.043	1.390	.165
つながり領域得点（平均）	.128	.036	3.579	.000
防災防犯領域得点（平均）	.036	.035	1.019	.308
福祉領域得点（平均）	.013	.045	.294	.769
文化生涯学習領域得点（平均）	.261	.032	8.246	.000
生活インフラ領域得点（平均）	.070	.031	2.273	.023

a. 従属変数 長久手への愛着

R=0.508　R^2=0.258

表 13：今後住み続けるかどうかと８つの領域得点との重回帰分析

	標準化されていない係数		t	有意確率
	B	標準誤差		
(定数)	1.693	.039	43.326	.000
健康領域得点（平均）	-.012	.010	-1.224	.221
子育て教育領域得点（平均）	.023	.008	2.717	.007
環境領域得点（平均）	-.003	.010	-.294	.769
つながり領域得点（平均）	.004	.009	.483	.629
防災防犯領域得点（平均）	-.002	.008	-.218	.827
福祉領域得点（平均）	.018	.011	1.653	.099
文化生涯学習領域得点（平均）	.036	.007	4.755	.000
生活インフラ領域得点（平均）	.021	.007	2.882	.004

a. 従属変数 長久手に今後も住み続けたい

R=0.285　R^2=0.081

表 14：5 つの包括的評価項目と 8 つの生活領域得点の重回帰分析によるまとめ

	幸せ感	生活への満足感	長久手の 住みやすさ	長久手への愛着	今後の居住意向
健康領域得点（平均）	◎	◎	◎	◎	
子育て教育領域得点（平均）	◎	○	◎	◎	◎
環境領域得点（平均）	○		◎		
つながり領域得点（平均）	◎	○	○	◎	
防災防犯領域得点（平均）					
福祉領域得点（平均）					
文化生涯学習領域得点（平均）			◎	◎	◎
生活インフラ領域得点（平均）	◎	◎	◎	○	◎

◎ $p < 0.01$, ○ $p < 0.05$

５．ながくて幸せ実感アンケート調査票

調査票

ながくて幸せ実感アンケート
～みんなでつくろう　幸せのモノサシ～

ご協力のお願い

日ごろから、市政の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。長久手市では現在、市民のみなさまとともに様々な取組みを重ねながら**「幸福度の高いまち」**を目指しています。

このようなまちづくりを進めていくに当たり、①みなさまは「幸せ」に対してどのような考えをお持ちなのか？　②みなさまの幸せの実感をどのように確認すればよいのか？　③幸福度の高いまちとはどんなまちなのか？　という点についてしっかり議論し、長久手が理想の姿に向かっているかを確認していく道具が必要なのではと考え、市民目線による**「ながくて幸せのモノサシづくり」**に取り組んでいます。

そこで、**有志の市民と市職員による「ながくて幸せ実感調査隊」**を結成し、まずは**「今の長久手の幸せを測る」**をテーマに、「幸せ」に欠かせないことや大切なこと、確認すべきことについて、何度も議論を重ねました。そして調査隊では、市民のみなさまの幸せに対する実感や日常生活への思い、長久手や地域に対するお考えを伺うため、**『ながくて幸せ実感アンケート』（調査票）**を作成し、調査を実施することとしました。

このアンケートで表されたみなさまの思いやお考えは、幸福度の高いまちの実現に向けた基礎データとして、今後のみなさまとの取組に活かしていきたいと思います。

市民のみなさまには、このアンケートの趣旨をご理解賜り、大変お手数とは存じますがご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成 26 年 2 月

長久手市長

○幸せ実感調査隊に関する情報は、市ホームページ及び３月号広報をご覧ください。
（http://www.city.nagakute.lg.jp/keiei/shiawasetyousatai.html）

○お問い合わせ　長久手市行政経営部経営管理課
TEL0561－56－0600（直通）担当：門前、清水

ご記入にあたって

1　この調査は、市内にお住いの満 18 歳以上の方の中から、無作為に選んだ 5,000 名の方にご協力をお願いするものです。

2　この調査結果の集計や分析は統計的に処理いたしますので、個人の回答内容が公表されるなど、ご迷惑をおかけすることはございません。

3　ご記入の際に　ご本人が都合により記入いただけない場合は、ご家族のどなたかお一人がご自身のこととして記入いただければ幸いです。

4　**調査票の返送は、**同封の返送用の封筒に入れていただき**３月２４日（月）までにポストにご投函をお願いします。**

１．あなたの幸せ感についてお答えください。

問１　あなたは現在幸せですか。「とても幸せ」を１０点、「とても不幸」を０点とすると、何点くらいになると思いますか。あてはまる数字（点数）を選んでください。【○は１つ】

「と て も 幸 せ」 ←→ 「とても不幸」

10 点　9 点　8 点　7 点　6 点　5 点　4 点　3 点　2 点　1 点　0 点

また、その点数を選んだ理由がある方は、自由にご記入ください。なお、特に理由がない方は、問２にお進みください。

問２　次の 8 つの分野の中からあなたにとって「特に大事だと思う分野」を３つまで選んでその番号を回答欄に記入してください。なお、「特に大事だと思う分野はない」という場合には、左端の欄に「9」を記入してください。

分野	内容
1.　健康	健康な生活習慣、運動・ストレス発散の場、保健医療など
2.　子育て・教育	地域の子育て環境、家庭教育など
3.　環境	自然環境・景観、ごみ出し、環境に配慮した生活など
4.　つながり	地域活動や行事、近所付き合い、居場所や相談相手など
5.　防災・防犯	地域防災、家庭防災、地域の治安、安全安心への取組など
6.　福祉	地域福祉、介護、高齢者・障がい者福祉など
7.　文化・生涯学習	歴史伝統・芸術文化の土壌、生涯学習環境など
8.　生活インフラ	生活の利便性や安全性、就業確保、インターネットなど

●あなたにとって特に大事だと思う分野の回答欄

※「特に大事と思う分野はない」という場合は、左端の欄に「9」を記入してください。

問３　あなたは、次の（1）から（11）までの項目についてどの程度満足していますか。(1)から（11）までの項目それぞれについて、１～５の中から１つずつ選んでください。

※(2)、(8)、(10)については、あなたの就業状況や就業形態によって回答が難しい場合は、「6. 該当しない」に○をつけてください。

質問項目 ＼ 回答項目（選択肢）	1 満足している	2 どちらかといえば満足している	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば不満である	5 不満である	6 該当しない
(1)　家計の状況（所得・消費）	1	2	3	4	5	
(2)　就業状況（仕事の有無・安定）	1	2	3	4	5	6
(3)　健康状況	1	2	3	4	5	
(4)　自由な時間、充実した余暇	1	2	3	4	5	
(5)　仕事や趣味、社会貢献などの生きがい	1	2	3	4	5	
(6)　家族関係（子育て、教育、夫婦、父母）	1	2	3	4	5	
(7)　友人関係	1	2	3	4	5	
(8)　職場の人間関係	1	2	3	4	5	6
(9)　地域コミュニティや近所との関係	1	2	3	4	5	
(10) 仕事と生活のバランス	1	2	3	4	5	6
(11) 生活全般 ※上記の(1)～(10)の項目を総合的にみた時の満足度	1	2	3	4	5	

２．長久手の住み心地についてお答えください。

問４　長久手を住みよいまちだと思いますか。次の中から選んでください。【○は１つ】

1.　住みよい	2.　まあ住みよい	3.　どちらともいえない	4.　やや住みにくい	5.　住みにくい

問５　長久手に愛着を感じていますか。次の中から選んでください。【○は１つ】

1.　愛着を感じている	2.　まあ愛着を感じている	3.　どちらともいえない	4.　あまり愛着を感じていない	5.　愛着を感じていない

問６　今後も長久手に住み続けたいですか。次の中から選んでください。【○は１つ】

1.　住み続けたい	2.　転出したい	3.　わからない

問７　長久手には「魅力的な点」や「魅力的でない点」がありますか【○はそれぞれ１つ】
また、それはどんなことですか。「1. ある」を選んだ方は、それぞれ３つまで記入してください。

「魅力的な点」 （好きなところ、良いところ、強み）	
1.　ある	2.　ない（問８へ）

「魅力的でない点」 （嫌いなところ、悪いところ、弱み）	
2.　ある	3.　ない（問８へ）

１：
２：
３：

１：
２：
３：

３．あなたの暮らしやお住まいの地域のことについてお答えください。

① 健康について

問８　次の（１）～（６）の各質問についてご回答ください。

（１）体を動かしたり運動したりと健康的な暮らしができていると思いますか。【○は１つ】

1.　そう思う	2.　まあそう思う	3.　どちらともいえない	4.　あまりそう思わない	5.　そう思わない

（２）お住まいの地域では、気軽に運動をする場所や機会、散歩ができるような環境がありますか。【○は１つ】

1.　ある	2.　まあある	3.　どちらともいえない	4.　あまりない	5.　ない

（３）健康的な食生活ができていると思いますか。【○は１つ】

1.　そう思う	2.　まあそう思う	3.　どちらともいえない	4.　あまりそう思わない	5.　そう思わない

（４）ストレスを発散する場や機会、精神的なやすらぎの場はありますか。【○は１つ】

1.　ある	2.　まあある	3.　どちらともいえない	4.　あまりない	5.　ない

（５）日頃から笑顔で心豊かな生活ができていると思いますか。【○は１つ】

1.　そう思う	2.　まあそう思う	3.　どちらともいえない	4.　あまりそう思わない	5.　そう思わない

（６）お住まいの地域では、病院やクリニックが充実していると思いますか。【○は１つ】

1.　そう思う	2.　まあそう思う	3.　どちらともいえない	4.　あまりそう思わない	5.　そう思わない

② 子育て・教育について

問９　次の（１）～（５）の各質問についてご回答ください。

※ご家族の中にお子さんがいない、子どもと接する機会が少ないなどの理由から回答しにくい場合は、「6. 該当しない」に○をつけてください。

（１）長久手市は、安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思いますか。【○は１つ】

1. そう思う	2. まあそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない	6. 該当しない

（２）お住まいの地域の子どもたちは、のびのびと育っていると思いますか。【○は１つ】

1. そう思う	2. まあそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない	6. 該当しない

（３）お住まいの地域には、子育てや教育に関するサービスや施設が整っていると思いますか。【○は１つ】

1. そう思う	2. まあそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない	6. 該当しない

（４）お住まいの地域には、子育てや子どもの教育などについて相談できる人がいる、あるいは、相談できる場所がありますか。【○は１つ】

1. そう思う	2. まあそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない	6. 該当しない

（５）子どもとのコミュニケーションは十分取れていると思いますか。【○は１つ】

①家庭内での子どもとあなたとのコミュニケーション

1. そう思う	2. まあそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない	6. 該当しない

②お住まいの地域の子どもとあなたとのコミュニケーション

1. そう思う	2. まあそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない	6. 該当しない

③ 自然やごみなどの環境について

問10　次の（１）～（５）の各質問についてご回答ください。

（１）お住まいの地域では、自然の生き物（動植物）に触れ合うことができるなど、豊かな自然環境があると思いますか。【○は１つ】

1. そう思う	2. まあそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない

（２）お住まいの地域には、公園や屋外の遊び場がありますか。【○は１つ】

1. ある	2. まあある	3. どちらともいえない	4. あまりない	5. ない

（3）お住まいの地域のまち並み（景観・風景）はきれいだと思いますか。【○は１つ】

1.	そう思う	2.	まあそう思う	3.	どちらともいえない	4.	あまりそう思わない	5.	そう思わない

（4）お住まいの地域では、ルールにしたがって、ごみ・資源の分別がされていると思いますか。【○は１つ】

1.	されている	2.	まあされている	3.	どちらともいえない	4.	あまりされていない	5.	されていない

（5）節電や節水、環境に配慮した製品の購入など、日頃から環境に配慮した生活をしていますか。【○は１つ】

1.	している	2.	まあしている	3.	どちらともいえない	4.	あまりしていない	5.	していない

④ 人や地域のつながりについて

問11　次の（1）～（6）の各質問についてご回答ください。

（1）過去３年以内に、お住まいの地域を良くしたり、地域を盛り上げたりしていくための活動や行事に参加していますか。【○は１つ】

①スタッフとして

1.	参加している	2.	まあ参加している	3.	どちらともいえない	4.	あまり参加していない	5.	参加していない

②お客・来場者として

1.	参加している	2.	まあ参加している	3.	どちらともいえない	4.	あまり参加していない	5.	参加していない

（2）日常的にあいさつや近所づきあいをしていますか。また、近所づきあいや地域とのつながりに満足していますか。【○は１つ】

①あいさつ

1.	している	2.	まあしている	3.	どちらともいえない	4.	あまりしていない	5.	していない

②近所づきあい

1.	している	2.	まあしている	3.	どちらともいえない	4.	あまりしていない	5.	していない

③近所づきあいや地域とのつながり

1.	満足している	2.	まあ満足している	3.	どちらともいえない	4.	あまり満足していない	5.	不満である

（3）お住まいの地域には、自宅以外の居場所がありますか（集える場所、行きつけのお店など）。【○は１つ】

1. ある	2. まあある	3. どちらともいえない	4. あまりない	5. ない

（4）お住まいの地域であなたは「たつせ」がありますか。【○は１つ】

※「たつせがある」とは、「立つ瀬がない」の対義語で、「だれもが地域で役割を担い、活躍し、必要とされ、生きがいを持って楽しく過ごすことができる」ことを表した長久手市の造語です。

1. ある	2. まあある	3. どちらともいえない	4. あまりない	5. ない

（5）困ったときに頼りになる（悩みを相談したり助けてと言ったりできる）知人・友人はいますか。お住まいの地域、市内、市外それぞれについてお答えください。【○はそれぞれ１つ】

①お住まいの地域

1. いる	2. まあいる	3. どちらともいえない	4. あまりいない	5. いない

②市内

1. いる	2. まあいる	3. どちらともいえない	4. あまりいない	5. いない

③市外

1. いる	2. まあいる	3. どちらともいえない	4. あまりいない	5. いない

（6）長久手市は、国籍や文化の異なる人々にとっても住みやすいと思いますか。【○は１つ】

1. そう思う	2. まあそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない	6. わからない

⑤ 防災・防犯について

問12　次の（1）～（5）の各質問についてご回答ください。

（1）お住まいの地域で災害に備えた話し合いや防災訓練に参加していますか。【○は１つ】

1. 参加している	2. まあ参加している	3. どちらともいえない	4. あまり参加していない	5. 参加していない	6. やっていることを知らない

（2）あなたの家庭では、災害に対する自主的な備えをしていますか。【○は１つ】

1. している	2. まあしている	3. どちらともいえない	4. あまりしていない	5. していない

（3）災害時の避難所と避難方法を知っていますか。【○は１つ】

1. 知っている	2. まあ知っている	3. どちらともいえない	4. あまり知らない	5. 知らない

（4）お住まいの地域は、治安が良く、安心して暮らせますか。【○は１つ】

1. そう思う	2. まあそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない

（5）お住まいの地域では、住民による登下校の見守り、夜間パトロールや防犯灯設置など、安全安心を守る取組が行われていますか。【○は１つ】

1. 行われている	2. まあ行われている	3. どちらともいえない	4. あまり行われていない	5. 行われていない	6. やっていることを知らない

⑥ 福祉について

問13　次の（1）～（5）の各質問についてご回答ください。

（1）お住まいの地域では、地域で困った人への助け合いはできていると思いますか。

【○は１つ】

1. そう思う	2. まあそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない

（2）市の福祉サービスや市内の福祉事業者のサービスを知っていますか。【○は一つ】

1. よく知っている	2. おおむね知っている	3. 少しは知っている	4. ほとんど知らない	5. まったく知らない

（3）高齢者や障がいのある人、ベビーカーを使っている人など、まちで困っている人がいるとき、手助けをすることができると思いますか。【○は１つ】

1. そう思う	2. まあそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない

（4）現在（あるいは将来の）、自分または家族の介護に対して不安を感じますか。【○は１つ】

1. 不安を感じない	2. あまり不安を感じない	3. どちらともいえない	4. やや不安を感じる	5. 不安を感じる

（5）お住まいの地域は、高齢者にとって暮らしやすい地域であると思いますか。障がいのある人にとって暮らしやすい地域であると思いますか。【○は１つ】

※ご家族の中や身近なところに高齢者や障がいのある人がいない、あるいは接する機会が少ないなどの理由から回答しにくい場合は、「6. 該当しない」に○をつけてください。

①高齢者にとって暮らしやすい

1. そう思う	2. まあそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない	6. 該当しない

②障がいのある人にとって暮らしやすい

1. そう思う	2. まあそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない	6. 該当しない

⑦ 文化・生涯学習について

問14　次の（1）～（4）の各質問についてご回答ください。

（1）長久手の歴史や伝統文化（「小牧・長久手の戦い」の地になったことや地域の昔話、棒の手等のお祭りなど）に関心がありますか。【○は１つ】

1.	関心がある	2.	まあ関心がある	3.	どちらともいえない	4.	あまり関心がない	5.	関心がない

（2）長久手市は、芸術文化（演劇やコンサート、美術展など）に接したり取り組んだりする機会に恵まれていると思いますか。【○は１つ】

1.	そう思う	2.	まあそう思う	3.	どちらともいえない	4.	あまりそう思わない	5.	そう思わない

（3）長久手市は、あなたの知的興味や知識、能力を磨いたり伸ばしたりする機会（生涯学習活動を行う機会）に恵まれていると思いますか。【○は１つ】

1.	そう思う	2.	まあそう思う	3.	どちらともいえない	4.	あまりそう思わない	5.	そう思わない

（4）お住まいの地域には、自慢したい地域の「宝」（風景や産物、文化、行事など）がありますか。【○は１つ】

1.	ある	2.	まあある	3.	どちらともいえない	4.	あまりない	5.	ない

＊「3」～「5」に「○」を付けた方は問 15 へお進みください。

（4）で「1. ある」「2. まあある」に「○」を付けた方は、あなたがお住まいの地域の「宝」であると思うものを、具体的にあげてください。

⑧ 生活インフラ（交通や買い物生活など）について

問15　次の（1）～（5）の各質問についてご回答ください。

（1）お住まいの地域は、買い物や通院に便利ですか。【○は１つ】

1.	便利である	2.	まあ便利である	3.	どちらともいえない	4.	あまり便利ではない	5.	便利ではない

（2）お住まいの地域は、出かける際の移動が便利ですか。【○は１つ】

※出かける際の移動とは、リニモやバスなどの公共交通機関、自動車や自転車、徒歩など、日常的に利用している交通手段を指します。

1.	便利である	2.	まあ便利である	3.	どちらともいえない	4.	あまり便利ではない	5.	便利ではない

（3）お住まいの地域は、出かける際の移動の安全が確保されていると思いますか。【○は１つ】

※出かける際の移動とは、リニモやバスなどの公共交通機関、自動車や自転車、徒歩など、日常的に利用している交通手段を指します。

1. そう思う	2. まあそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない

（4）お住まいの地域（長久手市及びその周辺地域）では、仕事が見つかりやすく就業しやすい環境（パート労働も含む）にあると思いますか。【○は１つ】

1. そう思う	2. まあそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない

（5）インターネット（ツイッターやフェイスブック、ライン等も含む）や電子メールをコミュニケーション手段として利用していますか。【○は１つ】

1. 利用している	2. まあ利用している	3. どちらともいえない	4. あまり利用していない	5. 利用していない

⑨ まちづくりにおける地域の役割について

問16　あなたは、日ごろ地域社会の一員として、何か社会のために役立ちたいと思っていますか。それとも、あまりそのようなことは考えていませんか。【○は１つ】

1. 思っている	2. あまり考えていない	3. わからない

問17　地域にはさまざまな課題があると思われますが、このような課題を解決していくためには、地域のコミュニティが中心になって進めていくことが今後ますます重要になると思いますか。【○は１つ】

※地域の課題とは、例えば、ひとり暮らし高齢者などの見守り支援や防犯・防災、子育てや青少年の健全育成、環境保全など、その地域が日常的に抱える問題が考えられます。

1. そう思う	2. まあそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない

問18　問17のような取組などを地域コミュニティが中心になって進めていく場合、それに参加しますか。【○は１つ】

1. 参加する	2. まあ参加する	3. 参加したいができない	4. 参加したくない	5. わからない

※「1」「2」「5」に「○」を付けた方は、問19へお進みください。

問18で「3. 参加したいができない」「4. 参加したくない」に「○」を付けた方は、その理由をご記入ください。

４．あなたご自身についてお答えください。

問19　次の（１）～（11）の各質問についてご回答ください。

（１）あなたの性別は、どちらですか。【○は１つ】

1.　男	2.　女

（２）あなたの年齢は、次のうちどれですか。【○は１つ】

1.　１８～１９歳	2.　２０～２４歳	3.　２５～２９歳	4.　３０～３４歳
5.　３５～３９歳	6.　４０～４４歳	7.　４５～４９歳	8.　５０～５４歳
9.　５５～５９歳	10.　６０～６４歳	11.　６５～６９歳	12.　７０～７４歳
13.　７５～７９歳	14.　８０歳以上		

（３）あなたの職業は、次のうちどれですか。【○は１つ】

1.　農林業	2.　自営業	3.　会社員	4.　公務員
5.　団体職員	6.　アルバイト、パートタイマー	7.　学生	8.　家事専従
9.　無職	10.　その他（　　）		

（４）あなたの家庭全体の年収（年金を含む。）はどのくらいですか。（現在お住まいの世帯でお答えください。）【○は１つ】

1.　100 万円未満	2.　100～300 万円未満	3.　300～500 万円未満
4.　500～700 万円未満	5.　700～1000 万円未満	6.　1000 万円以上

（５）あなたの通勤先・通学先は、次のうちどれですか。【○は１つ】

1.　自宅（家事専従・無職を除く）	2.　自宅以外の市内	3.　名古屋市
4.　尾張旭市	5.　瀬戸市	6.　豊田市
7.　日進市	8.　1～7 以外の愛知県内	9.　愛知県外
10.　通勤・通学に該当しない		

（６）あなたのお住まいは、次のうちどれですか。【○は１つ】

1.　一戸建て持ち家	2.　一戸建て借家	3.　分譲マンション
4.　賃貸マンション・アパート	5.　社宅、官舎、寮	6.　県営住宅
7.　その他（　　）		

（７）あなたには配偶者がいますか。【○は１つ】

1.　現在、配偶者がいる（婚姻届の有無にかかわらず、お答えください）
2.　結婚していたが、離婚・死別等で現在は配偶者がいない
3.　結婚したことはない

（８）あなたのご家族の形態は、次のうちどれですか。【○は１つ】

1.　単身世帯（一人暮らし）	2.　夫婦だけ
3.　自分（たち）と子、又は自分（たち）と親（二世代家族）	4.　親と子と孫（三世代家族）
5.　その他（　　）	

（９）あなたの同居のご家族には、次のいずれかにあてはまる方がいますか。あなたご自身を含めて、あてはまる人をすべて選んでください。

1.　乳児（１歳未満）	2.　幼児（１歳から小学校入学前まで）	3.　小学生
4.　中学生	5.　高校生	6.　大学（院）生・専門学校生
7.　６５～７４歳の高齢者	8.　７５歳以上の高齢者	9.　あてはまる人はいない

(10) あなたの小学校区はどこですか。【○は１つ】
≪※ご不明の方は、同封の小学校区区域一覧及び学区図を参考にして選んでください。≫

1. 長久手小学校区	2. 西小学校区	3. 東小学校区
4. 北小学校区	5. 南小学校区	6. 市が洞小学校区

(11) あなたは、長久手市に居住して何年になりますか。【○は１つ】

1. ３年未満	2. ３～５年	3. ６～９年
4. １０～１９年	5. ２０～２９年	6. ３０年以上

５．ながくて幸せ実感について

問 20　市では、「幸福度が高いまち」を目指して、市民のみなさまの生活実感に基づいたまちの姿や課題をみなさまとともに確認していく「ながくて幸せのモノサシづくり」に取り組んでいきます。こうした取組について意義があると思いますか。

1. そう思う	2. まあそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない

問 21　長久手というまちの姿をみなさまと共有するため、今後も定期的にこのアンケートを継続します。あなたは、今後もこの調査に協力していただけますか。（３年に１度程度を予定しています。）

1. 協力したい	2. 協力したくない

問 22　市では、平成 26 年度から本格的に市民と職員との協働による「ながくて幸せのモノサシづくり」に取り組んでいきます。あなたのこの取組への興味・関心についてお答えください。（１か月に１～２回、１回あたり２～３時間程度を予定しています。）

1. この取組に興味があり、積極的に関わりたい
2. この取組に興味があり、求められれば検討する
3. この取組に興味はあるが、自分は関わりたいと思わない
4. この取組には興味、関心がない

問 21 で「1」に「○」を付けた方、問 22 で「1」か「2」に「○」を付けた方で、差し支えなければお名前と住所を教えてください。今後の具体的な取組の際にご案内させていただきたいと思います。
なお、個人情報の取り扱いには十分留意し、この取組以外には利用いたしません。

（お名前）	（ご住所） 〒 長久手市

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
この**調査票を**同封の返送用封筒に入れて、**３月２４日（月）までに**ポストへ入れてください。

ながくて幸せ実感アンケート　報告書

～みんなでつくろう　幸せのモノサシ～

平成２６年１２月

発　行　　長久手市
愛知県長久手市岩作城の内６０番地１
編　集　　長久手市行政経営部経営管理課
電話（０５６１）５６－０６００（直通）
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ　http://www.city.nagakute.lg.jp/